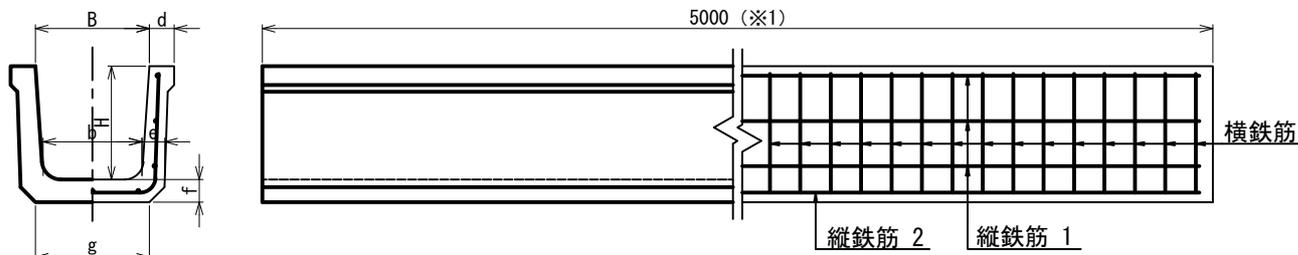


名称	U型溝	標準設計番号	共 - I - 1
		工種記号	PU



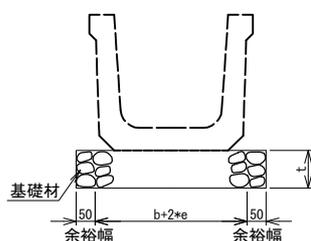
項目 呼び名	寸法 (mm)							鉄筋						参考 質量 (kg)
	B	H	b	d	e	f	g	縦鉄筋1		縦鉄筋2		横鉄筋		
								径	本数	径	本数	径	本数	
300	300	300	260	65	60	60	300	3.2	3×2	6.0	4	4.0	40	660
450	450	450	400	75	70	70	430	4.0	4×2	6.0	4	5.0	65	1120
600	600	600	540	90	80	80	600	D6	5×2	6.0	5	D6	65	1740
許容差	±2		±3	±2	±3		—	—						—

※1 許容差は±6とする。

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 側溝間は、モルタル又は同等以上の止水材料を用いる構造となっている。

参考図表

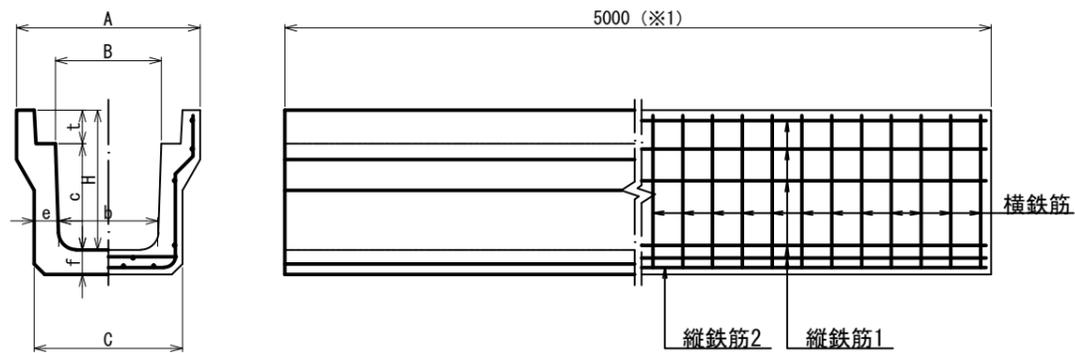


参考数量 延長1m当り

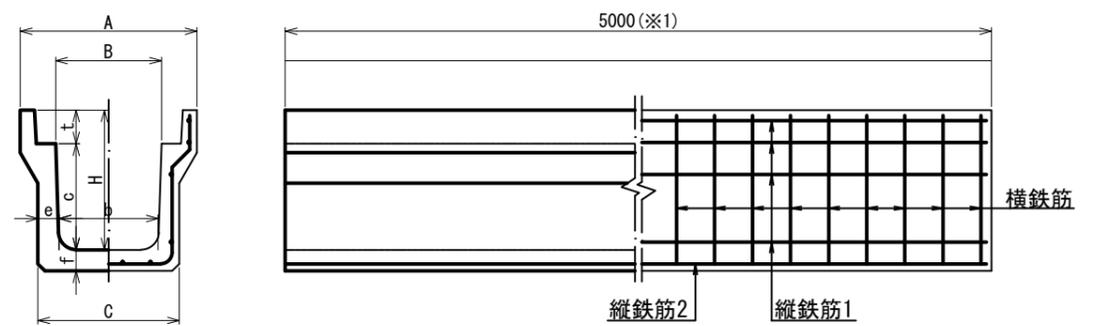
項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
300	50	100	0.048
450			0.064
600			0.080

名称	道路用側溝	標準設計番号	共-I-3 共-I-5
		工種記号	PUT CT

車道用



歩道用



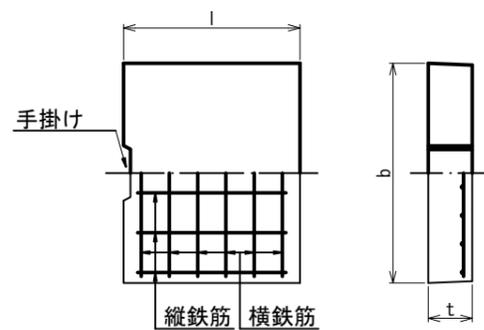
項目 呼び名	寸法 (mm)									横鉄筋				縦鉄筋				参考 質量 (kg)
	A	B	C	H	b	c	e	f	t	外側		底版内側		縦鉄筋1		縦鉄筋2		
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	
300	520	300	420	395	280	300	70	70	95	5.0	60	5.0	60	4.0	10	6.0	5	960
400	630	400	510	510	370	400	70	70	110	D6	59	D6	30	4.0	13	6.0	5	1230
500	750	500	620	625	460	500	80	80	125	D6	59	D6	30	4.0	15	6.0	5	1670
許容差	±3									-								-

※1 許容差は±6とする。

項目 呼び名	寸法 (mm)									鉄筋						参考 質量 (kg)
	A	B	C	H	b	c	e	f	t	横鉄筋		縦鉄筋1		縦鉄筋2		
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	
250	450	250	340	340	230	250	55	55	90	4.0	25	4.0	4×2	6.0	4	684
300	500	300	400	395	280	300	60	60	95	4.0	25	4.0	4×2	6.0	4	830
400	600	400	500	510	370	400	65	65	110	5.0	25	4.0	5×2	6.0	4	1090
500	720	500	600	625	460	500	70	70	125	5.0	25	4.0	6×2	6.0	4	1420
許容差	±3									-						-

※1 許容差は±6とする。

C型



項目 呼び名	寸法 (mm)			鉄筋				参考 質量 (kg)
	b	t	l	横鉄筋		縦鉄筋		
	径	本数	径	本数	径	本数		
250	362	90	500	D6	6	4.0	3	36
300	412	95	500	D10	4	D6(6.0)	4	43
400	512	110	500	D10	5	D6(6.0)	5	63
500	622	125	500	D10	6	D6(6.0)	6	87
許容差	±3			-				-

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 断面寸法は JIS 5372 による。
- ・ 側溝間は、モルタル又は同等以上の止水材料を用いる構造となっている。
- ・ 手掛けは省くことが出来る。

参考図表

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m³)	
車道用	300	50	100	0.052
	400			0.061
	500			0.072
歩道用	250	50	100	0.044
	300			0.050
	400			0.060
500	0.070			

名称

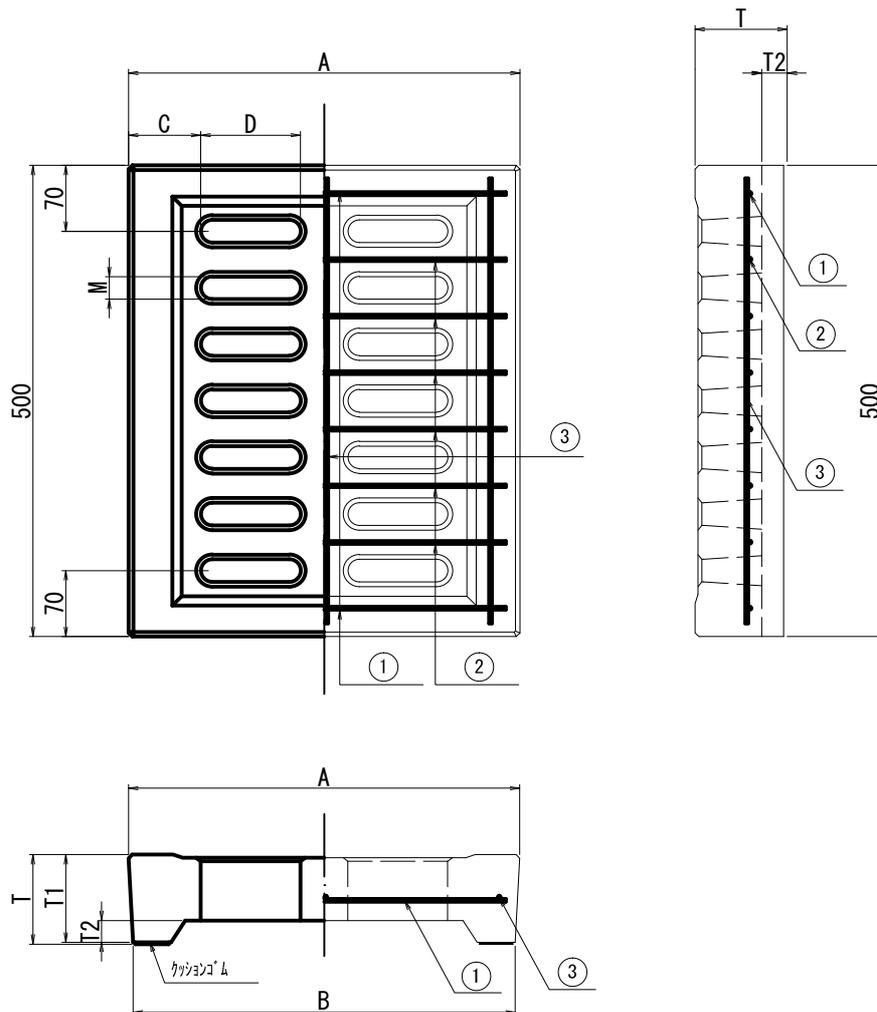
道路用側溝ふた

標準設計番号

共-I-5

工種記号

CGT



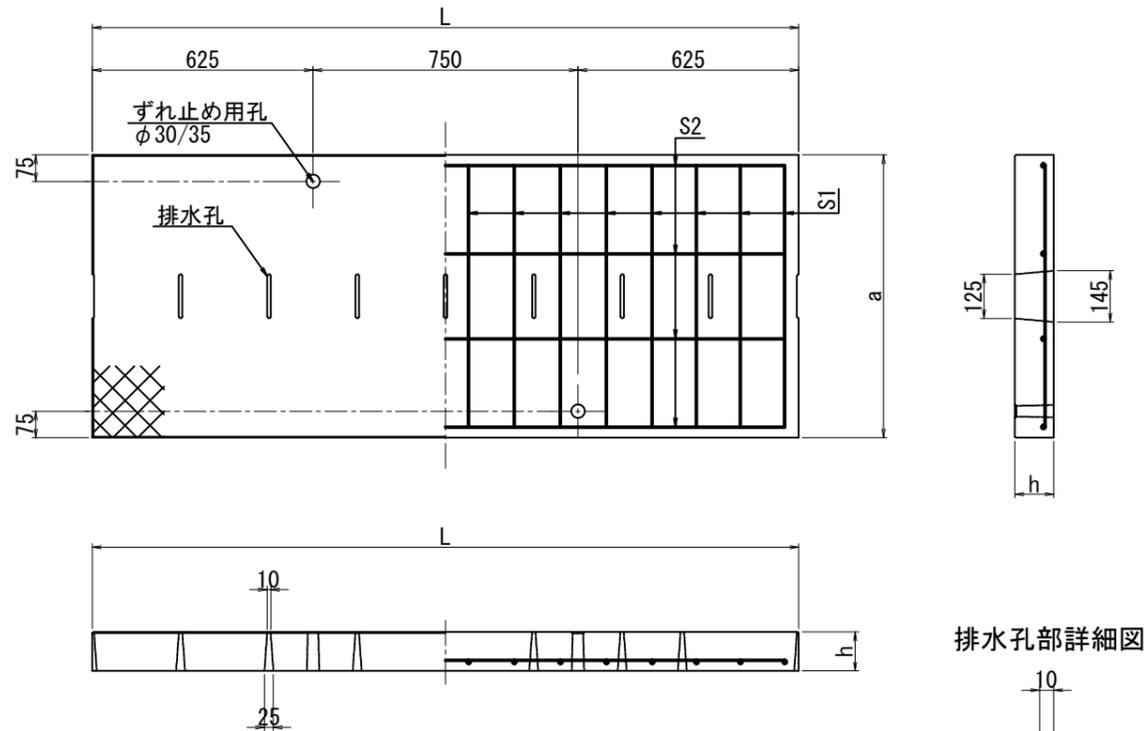
呼び名	寸法 (mm)								①		②		③		参考質量 (kg)
	A	B	C	D	M	T	T1	T2	径	本数	径	本数	径	本数	
250	362	352	76	80	24	90	88	23	D10	8	-	-	D10	3	27
250(細目)	362	352	76	80	10	90	88	23	D10	2	D 6	8	D10	3	28
300	412	402	76	105	24	95	98	23	D10	8	-	-	D10	3	31
300(細目)	412	402	65	116	10	95	98	30	D10	10	-	-	D10	3	31
400	512	502	86	145	20	110	108	23	D13	8	-	-	D10	3	46
500	622	612	75	211	20	125	123	33	D13	8	-	-	D10	3	53
許容差	±3		-			±2	-	-	-						

特記事項

- ・  $\sigma_{ck}=45N/mm^2$  以上。
- ・ 鉄筋はSD295Aとする。
- ・ 歩道用製品もある。
- ・ 長さ寸法L=500の許容差は±3mmとする。
- ・ 蓋かかり部分に騒音対策としてゴムなどのクッション材を用いる。

名称	側溝再生用蓋	標準設計番号	—
		工種記号	—

I 型

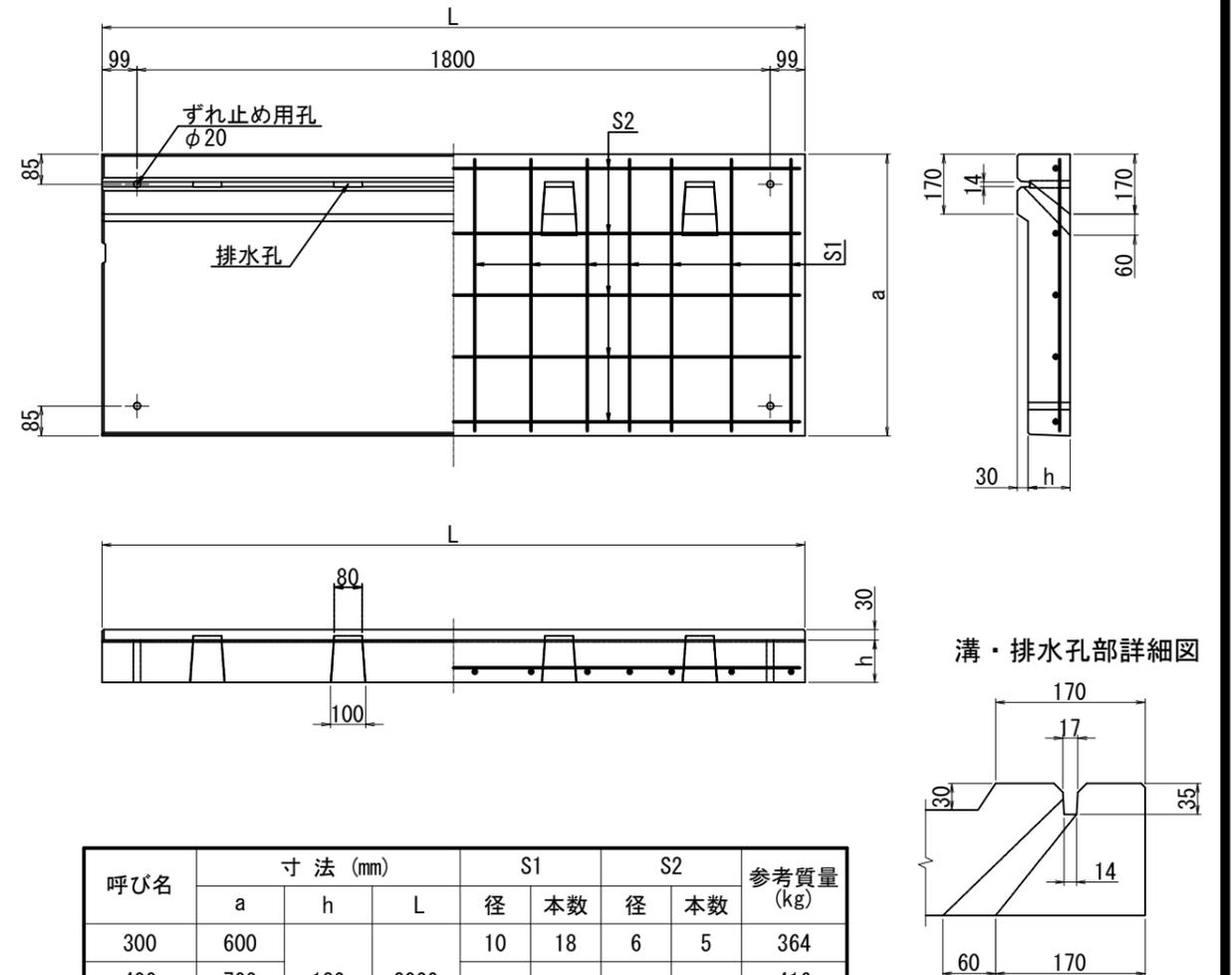


呼び名	寸法 (mm)			S1		S2		参考質量 (kg)		
	a	h	L	径	本数	径	本数			
300	600	100	2000	10	16	10	4	281		
400	700							328		
500	800	110						10	4	411
600	900	130						10	6	546
700	1000	150				10	6	720		
許容差	±3					±6	—		—	

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A とする。
- ・ 上記標準タイプの外に、管理孔グレーチング付き、乗入れ横断用、製品長1m、0.5m、歩道用の製品もある。

II 型



呼び名	寸法 (mm)			S1		S2		参考質量 (kg)		
	a	h	L	径	本数	径	本数			
300	600	120	2000	13	14	10	5	364		
400	700							416		
500	800							10	5	473
600	900							10	5	334
700	1000					10	6	370		
800	1100					150	1000	13	8	10
900	1200	10	7	10	7	442				
1000	1300						478			
許容差	±3		±6	—		—		—		

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A とする。
- ・ 蓋上にアスファルトを舗設し、暗渠構造とする。
- ・ 縦断および乗入れ横断に適用する。
- ・ 上記標準タイプの外に、横断用、製品長1mの製品もある。

名称

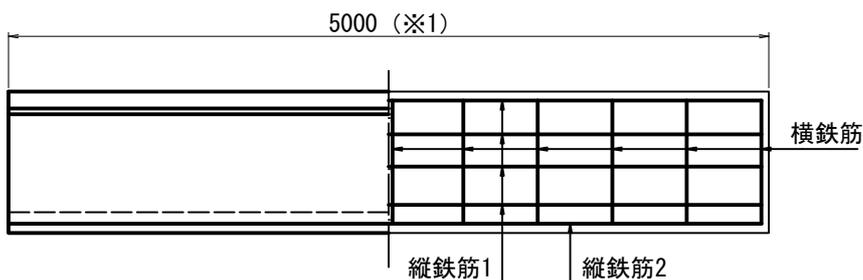
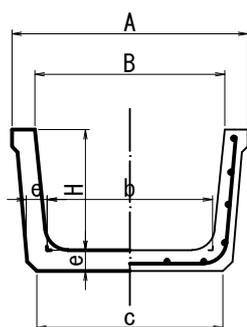
# ベンチフリューム

標準設計番号

共-I-6

工種記号

BF



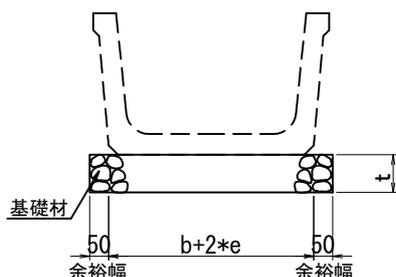
項目 呼び名	寸法 (mm)							鉄筋						参考 質量 (kg)
	A	B	H	b	c	e	縦鉄筋1		縦鉄筋2		横鉄筋			
							径	本数	径	本数	径	本数		
I 型	300	380	300	200	260	300	40	3.2	3×2	6	3	3.2	50	343
	400	510	400	260	345	395	50	4	3×2	6	4	4	50	571
	500	620	500	320	435	490	55	5	4×2	6	4	4	55	770
	600	690	600	380	520	580	60	5	4×2	6	4	5	50	943
	800	900	800	490	695	770	75	5	4×2	6	5	6	50	1490
	1000	1110	1000	600	875	965	90	5	4×2	6	6	6	60	2180
II 型	300	390	300	300	260	300	45	3.2	3×2	6	3	4	45	490
	400	500	400	400	340	400	50	4	4×2	6	3	5	45	718
	500	610	500	500	430	500	60	5	5×2	6	4	6	40	1050
	600	730	600	600	520	600	70	5	5×2	6	4	6	50	1450
	800	950	800	800	690	800	90	6	6×2	6	5	9	35	2430
	1000	1190	1000	1000	870	1000	110	6	7×2	6	6	9	45	3760
許 容 差	300	-	±3	±2	±3	-	±2							-
	400-500	-	±5	±3	±5	-	+3,-2							-
	600-1000	-	±7	±5	±7	-	+5,-2							-

※1 許容差は±5とする。

## 特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SR235 および JIS G 3532 に規定する鉄線、または SD295A とする。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 側溝間は、モルタル又は同等以上の止水材料を用いる構造となっている。

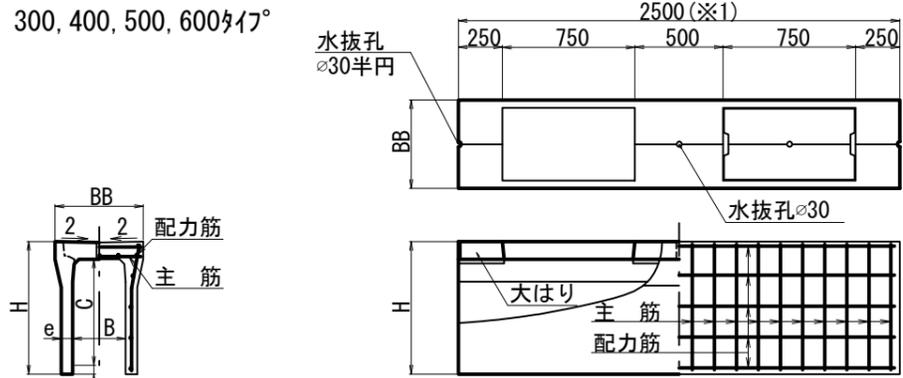
## 参考図表



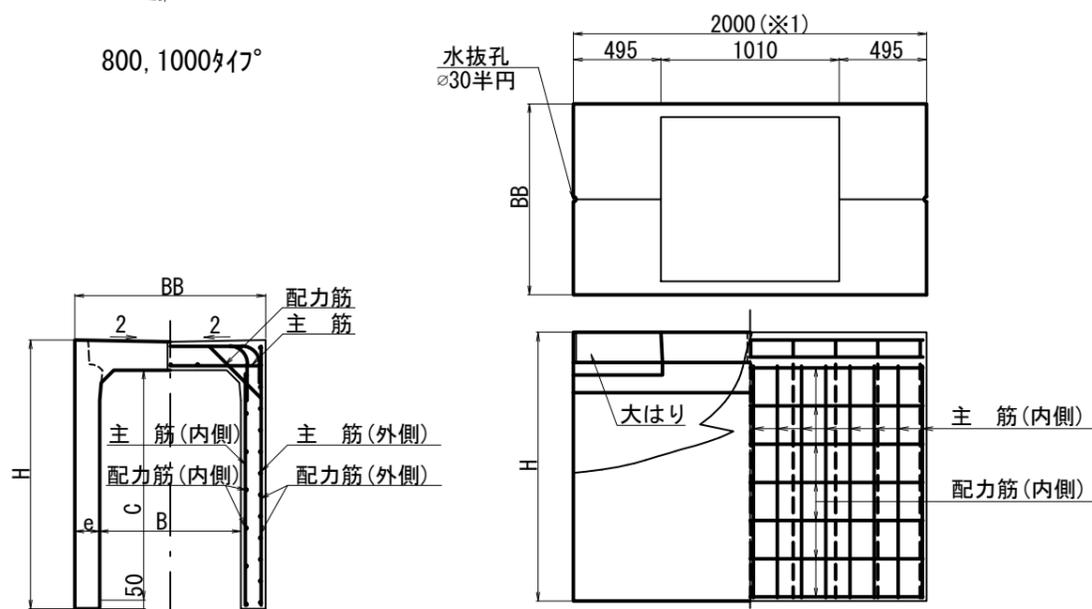
参考数量		延長1m当り			
項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )		
I 型	300	50	100	0.044	
	400			0.055	
	500			0.065	
	600			0.074	
	800			0.095	
	1000			0.116	
II 型	300	50	100	0.045	
	400			0.054	
	500			0.065	
	600			0.076	
	800			0.097	
	1000			0.119	

名称	自由勾配側溝	標準設計番号	共-I-10 共-I-11
		工種番号	FU C-C-T

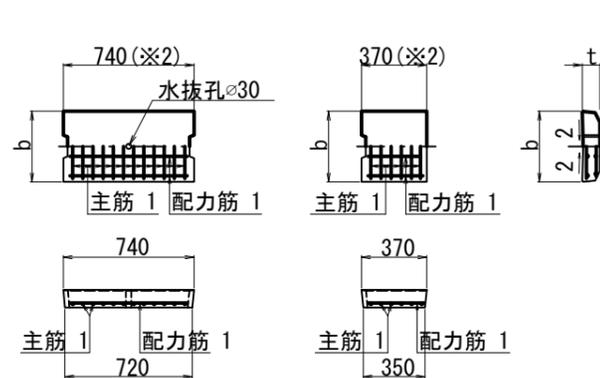
300, 400, 500, 600タイプ



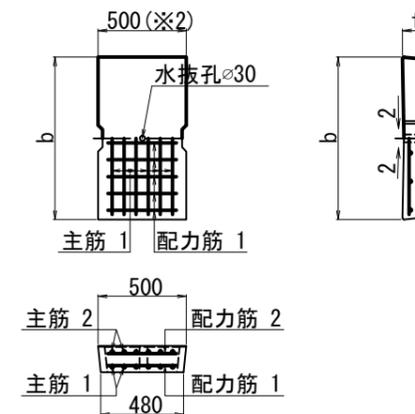
800, 1000タイプ



300, 400, 500, 600タイプ



800, 1000タイプ



項目 呼び名	寸法(mm)		配筋						参考 質量 (kg)
	b	t	主筋 1		配力筋 1		配力筋 2		
			径	本数	径	本数	径	本数	
L=740	300	400	D6	10	5.0	4	-	-	68
	400	500		10		5	-	-	99
	500	600	D10	6	6.0	6	-	-	134
	600	700		6		6	-	-	175
L=370	300	400	D6	5	5.0	4	-	-	34
	400	500		5		5	-	-	49
	500	600	D10	3	6.0	6	-	-	67
	600	700		3		6	-	-	87
L=500	800	920	D13	8	6.0	8	-	-	170
	1000	1130	D16	6		10	D6	6	4.0

(注) L=370の蓋はT-10用とする

※2 許容差は、+5、-3 とする。

特記事項

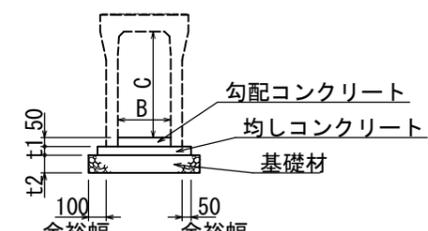
- ・ 詳細は、「自由勾配側溝資料集(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。
- ・ インバートコンクリートの最小厚さは 50mm 以上とする。

項目 呼び名	寸法 (mm)					配筋						参考 質量 (kg)
	BB	H	B	C	e	側壁部 (片側当り)				大はり部 (250mm当り)		
						主筋(内側) 径×本数	配力筋(内側) 径×本数	主筋(外側) 径×本数	配力筋(外側) 径×本数	主筋 径×本数	配力筋 径×本数	
300×400		550		400		4.0×18	3.2×4	-	-	D6×3	4.0×4	590
×600	500	750	300	600	75	5.0×20	3.2×5	-	-	D6×3	4.0×4	770
×800		950		800		D6×16	4.0×6	-	-			940
400×500		660		500		5.0×18	3.2×5	-	-	D6×4	4.0×4	760
×700	610	860	400	700	80	D6×16	3.2×6	-	-	D6×4	4.0×4	960
×900		1060		900		D6×20	4.0×7	-	-			1150
500×600		783		600		5.0×24	3.2×5	-	-	D6×4	4.0×6	980
×800	720	983	500	800	85	D6×17	4.0×6	-	-	D6×4	4.0×6	1180
×1000		1183		1000		D6×20	4.0×8	-	-			1390
600×700		899		700		5.0×28	3.2×6	-	-	D10×3	5.0×7	1210
×900	830	1099	600	900	90	D6×19	4.0×7	-	-	D10×3	5.0×7	1420
×1100		1299		1100		D6×22	4.0×9	-	-			1640
800×900		1121		900		5.0×11	4.0×6	D10×6	D6×7	D10×5	D6×4	1800
×1100	1080	1321	800	1100	140	5.0×15	4.0×7	D10×6	D6×8	D10×5	D6×4	2070
×1300		1521		1300		D6×12	D6×6	D10×7	D6×9			2340
1000×1100		1343		1100		5.0×15	5.0×7	D10×6	D6×5	D13×4	D6×4	2350
×1300	1300	1543	1000	1300	150	D6×12	D6×6	D10×7	D6×6			2640
×1500		1743		1500		D6×15	D6×7	D10×9	D6×8			2930
許容差	300, 400	±5			±3							-
	500, 600	±7	±5	±7	±5							-
	800, 1000	±7			+4、-3							-

※1 許容差は、±6 とする。

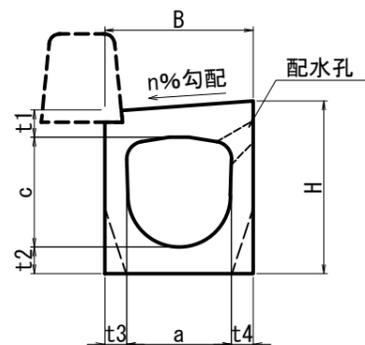
参考図表

項目 呼び名	参考数量					延長1m当り	
	勾配コン クリート厚 (mm)	勾配コン クリート ( $\text{m}^3$ )	均しコン クリート厚 t1 (mm)	均しコン クリート ( $\text{m}^3$ )	型枠面積 ( $\text{m}^2$ )	基礎材厚 t2 (mm)	基礎材 ( $\text{m}^3$ )
300×400							
×600	50	0.015	50	0.028	0.100	100	0.065
×800							
400×500							
×700	50	0.020	50	0.033	0.100	100	0.076
×900							
500×600							
×800	50	0.025	100	0.077	0.200	100	0.087
×1000							
600×700							
×900	50	0.030	100	0.088	0.200	100	0.098
×1100							
800×900							
×1100	50	0.040	160	0.189	0.320	150	0.192
×1300							
1000×1100							
×1300	50	0.050	200	0.280	0.400	150	0.225
×1500							

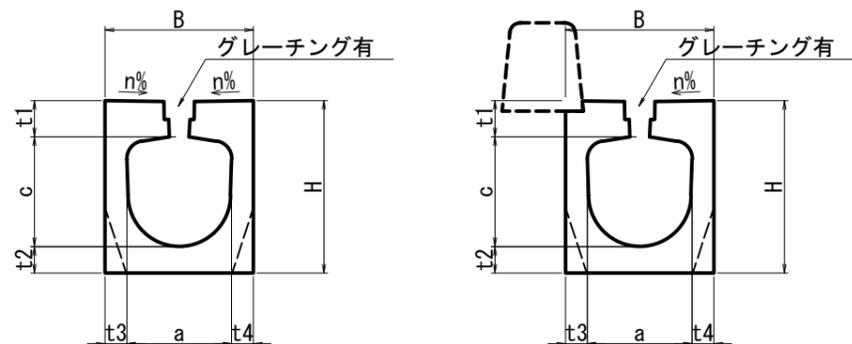


名称	函渠型側溝	標準設計番号	共-I-12
		工種記号	PC-I~III

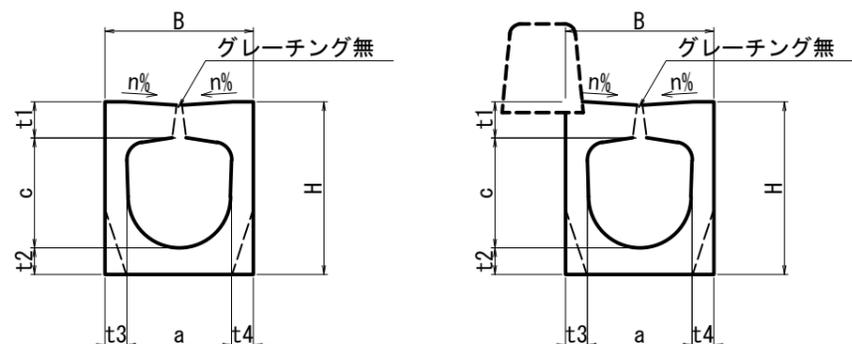
タイプ1 排水性舗装用縦断函渠



タイプ2 貫通型スリット式側溝



タイプ3 断続スリット式側溝



I型 排水性舗装用縦断函渠

呼び名	寸法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
I 25	420	454	250	250	90	90	85	85	2000	6	642
I 30	520	510	350	300	90	90					790
I 40	570	690	400	400	160	100					1130
I 50	690	810	500	500	170	110					1560
許容差	+5, -3	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	-	-

II型 貫通型スリット式側溝

呼び名	寸法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
II 30	420	488	300	300		75	60	60	1998	2	520
II 40	540	600	400	400		85	70	70			775
許容差	+5, -3	+5, -3	±3	±3		±3	±3	±3	±5	-	-

III型 断続スリット式側溝

呼び名	寸法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
III 33	420	455	300	300	85	70	60	60	2000	6	484
III 34		555		400							545
III 35		655		500							605
III 44	530	570	400	400	95	75	65	65	2000	6	700
III 45		670		500							770
III 46		770		600							835
許容差	+5, -3	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	-	-

IV型 (トンネル用) 薄肉 貫通型スリット式側溝 / 断続スリット式側溝

呼び名	寸法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
IV 20	300	414	170	250	75	85	65	65	2000	2	403
IV 30	385	485	250	310	80	90	65	70			556
許容差	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	-	-

V型 薄肉 排水性舗装用縦断函渠 / 貫通型スリット式側溝 / 断続スリット式側溝

呼び名	寸法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)	
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		片流れ	フラット
V 25	310	423	200	300	65	55	55	55	2000	2	343	358
V 30	360	499	250	375	65	55	55	55			437	452
V 35	420	599	300	450	70	75	60	60			582	597
V 40	470	675	350	525	70	75	60	60			671	685
V 50	580	841	450	675	80	80	65	65			988	998
V 60	700	1022	550	825	90	100	75	75			1450	1465
許容差	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	-	-	-

VI型 断続スリット式側溝

呼び名	寸法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
VI 33	420	460	300	300	90	70	60	60	2000	2	460
許容差	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	-	-

VII型 断続スリット式側溝

呼び名	寸法 (mm)									n (%)	参考質量 (kg)
	B	H	a	c	t1	t2	t3	t4	L		
VII 20	300	404	170	255	79	70	65	65	2000	2	350
VII 30	390	546	250	375	86	85	70	70			530
許容差	+5, -3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±3	±5	-	-

特記事項

- ・ 詳細は、「函渠型側溝設計資料集(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ 鉄筋は SD295A 及び JIS A 3532 に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線とする。
- ・ 吊り下げ孔を設けるなど施工に配慮することができる。
- ・ 側溝間の接合は、止水機能を有する構造。

名称

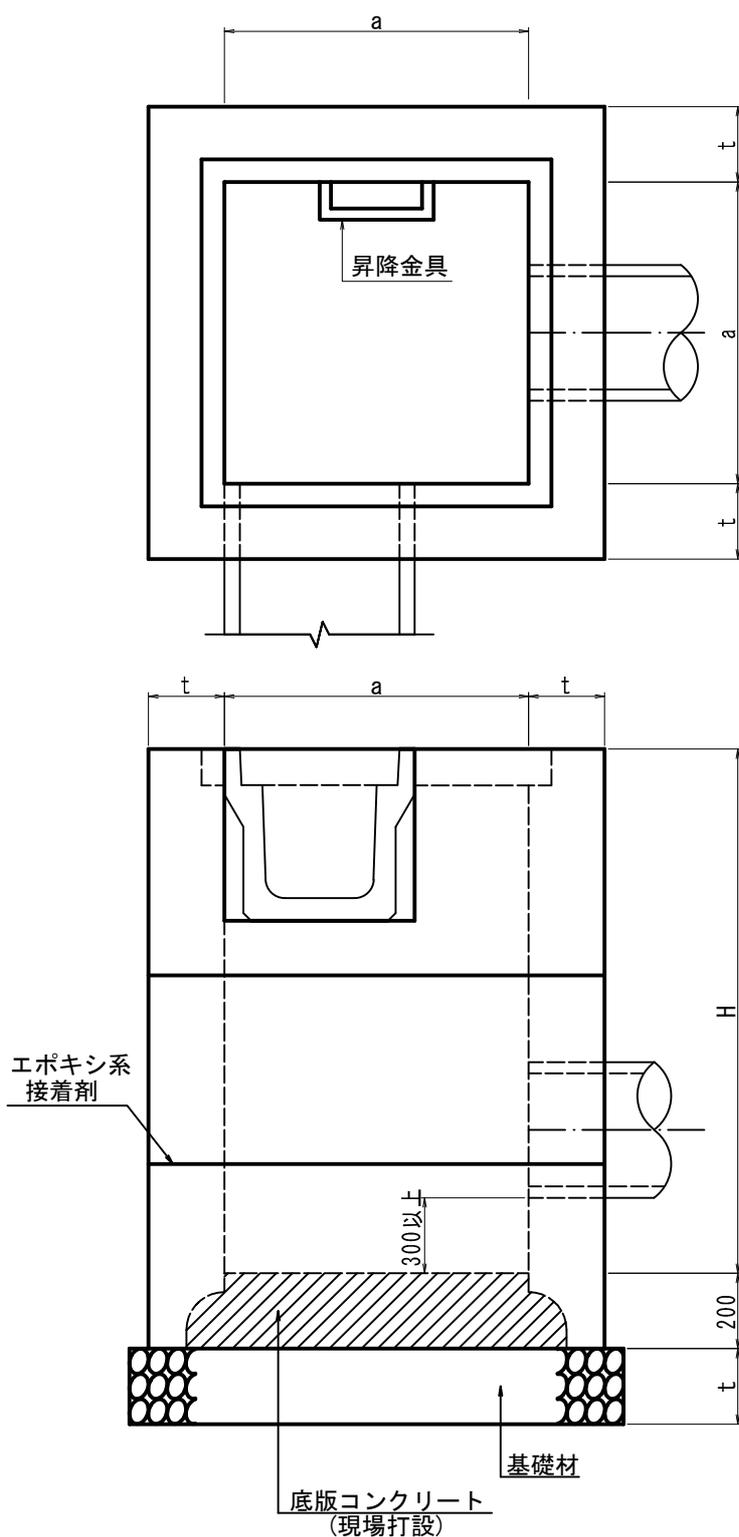
# 組立型集水桝

標準設計番号

共-Ⅲ-3

工種記号

Ms



呼び名	寸法 (mm)			内空積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)
	H	t	a		
600	600	150	600	0.216	790
	800			0.288	1000
	1000			0.360	1200
800	1000	200	800	0.640	2120
	1200			0.768	2490
	1400			0.896	2860
	1600			1.024	3220
	1800			1.152	3590
1000	1400	200	1000	1.400	3430
	1600			1.600	3870
	1800			1.800	4310
	2000			2.000	4750
	2200			2.200	5190
1200	1800	200	1200	2.592	5030
	2000			2.880	5540
	2200			3.168	6060
	2400			3.456	6570
	2600			3.744	7090
許容差	±10	+8,-4	±10	—	—

### 特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 桝の組合せは、エポキシ系接着剤を用いて接合する。
- ・ 1面に1箇所の流出入孔を原則とする。
- ・ 内高が1.2m以上の場合は、必要な位置に昇降金具を取り付ける。
- ・ 蓋の強度は、開孔部強度を十分考慮すること。

### 参考図表

呼び名	参考数量		1個当り		
	寸法 a+2t (mm)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )	底版コンクリート (m <sup>3</sup> )
600	900	50	150	0.150	0.079
800	1200			0.254	0.145
1000	1400			0.338	0.221
1200	1600			0.434	0.313

名称

連結ボックスカルバート

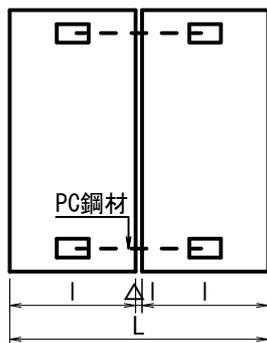
標準設計番号

共-IV-1

工種記号

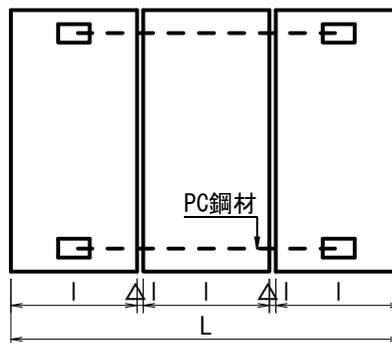
RBX(P)  
RBX(R)

2本連結



n=2本の場合  
 $L=2l+\Delta l$

3本連結



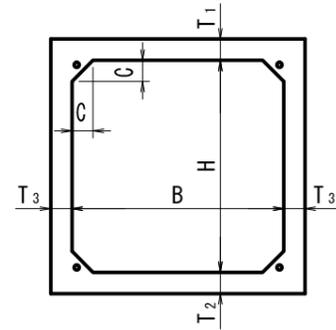
n=3本連結の場合  
 $L=3l+2\Delta l$

呼び名 B×H	寸法(mm)		参考質量(kg)					
	L		PC				RC	
	2本連結	3本連結	150型・300型		600型		2本連結	3本連結
1000×1000	4000	6000	6080	9120	7360	11040	6320	9480
1000×1500			7320	10980	8860	13290	7620	11430
1200×1200			7080	10620	8560	12840	7360	11040
1500×1000			8860	13290	8860	13290	8940	13410
1500×1500			10360	-	10360	-	10340	-
1800×1500			11260	-	13620	-	12100	-
1800×1800			12160	-	14700	-	13000	-
2000×1500			11860	-	15300	-	13960	-
2000×2000			13360	-	18060	-	15560	-
許容差			+20, -10	+30, -15	-			

特記事項

- ・詳細は「連結函渠・連結管渠設計施工要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・ボックスの寸法等は、PCボックスカルバート、RCボックスカルバートによる。
- ・連結用PC鋼材は、PC鋼棒A種2号以上またはPCより線A種以上とする。

名称	PCボックスカルバート	標準設計番号	共-IV-2
		工種記号	BX(P)



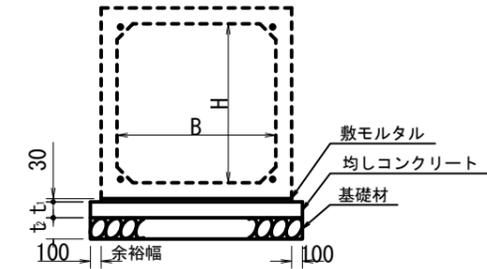
呼び名 B×H	150・300型						600型					
	寸法(mm)					参考質量 (kg)	寸法(mm)					参考質量 (kg)
	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	T <sub>3</sub>	C	L		T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	T <sub>3</sub>	C	L	
600×600	125	125	125	100	2000	1920	125	125	125	100	2000	1920
800×800	125	125	125	100	2000	2420	125	125	125	100	2000	2420
1000×1000	125	125	125	150	2000	3040	150	150	150	150	2000	3680
1000×1500	125	125	125	150	2000	3660	150	150	150	150	2000	4430
1200×1200	125	125	125	150	2000	3540	150	150	150	150	2000	4280
1500×1000	150	150	150	150	2000	4430	150	150	150	150	2000	4430
1500×1500	150	150	150	150	2000	5180	150	150	150	150	2000	5180
1800×1500	150	150	150	150	2000	5630	180	180	180	150	2000	6810
1800×1800	150	150	150	150	2000	6080	180	180	180	150	2000	7350
2000×1500	150	150	150	150	2000	5930	200	200	200	150	2000	8030
2000×2000	150	150	150	150	2000	6680	200	200	200	150	2000	9030
2300×1500	180	180	180	150	2000	7710	230	230	230	150	2000	10020
2300×2000	180	180	180	150	2000	8610	230	230	230	150	2000	11170
2300×2300	180	180	180	150	2000	9150	230	230	230	150	1500	8900
2500×1500	180	180	180	150	2000	8070	260	260	250	150	1500	8830
2500×2000	180	180	180	150	2000	8970	260	260	250	150	1500	9770
2500×2500	200	200	200	150	2000	11030	260	260	250	150	1500	10710
2800×1500	200	200	200	200	2000	9800	280	280	280	200	1500	10510
2800×2000	200	200	200	200	2000	10800	280	280	280	200	1500	11560
2800×2800	200	200	200	200	1500	9300	280	280	280	200	1000	8820
3000×2000	250	250	200	200	1500	9680	350	350	300	200	1000	9500
3000×2500	250	250	200	200	1500	10430	350	350	300	200	1000	10250
3000×3000	250	250	250	200	1500	12490	350	350	300	200	1000	11000
3500×2500	300	300	250	300	1000	9580	380	380	300	300	1000	11990
許容差	呼び名		内幅及び内高				厚さ		有効長			
	600×600~800×800		± 4				+4, -2		+10, -5			
	1000×1000~2500×2500		± 6				+6, -3					
	2800×1500~3000×3000		± 7				+6, -4					
	3500×2500		±10				+8, -4					

- 注) 1. 150型、300型、600型の適用土被り (h) は、150型では0.5m ≤ h ≤ 1.5m  
 300型では1.5m < h ≤ 3.0m、600型では3.0m < h ≤ 6.0mの場合を示す。  
 2. 有効長は、目地代を考慮し (L-5mm) とする。  
 3. L (目地代を含む) は1500mm、1000mmとすることができる。

特記事項

- ・詳細は、「プレキャストボックスカルバート設計施工要領・同解説 (日本PCボックスカルバート製品協会)」による。
- ・σ<sub>c</sub>k = 40N/mm<sup>2</sup> 以上。
- ・鉄筋は、SD295AまたはSD345とする。

参考図表

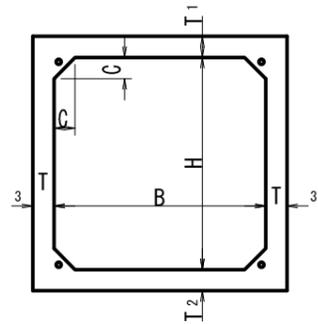


延長1m当り

呼び名 B×H	150・300型				
	コンクリート厚 t <sub>1</sub> (mm)	コンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	基礎材厚 t <sub>2</sub> (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
600×600	100	0.105	0.200	200	0.210
800×800	100	0.125	0.200	200	0.250
1000×1000	100	0.145	0.200	200	0.290
1000×1500	150	0.218	0.300	200	0.290
1200×1200	150	0.248	0.300	200	0.330
1500×1000	150	0.300	0.300	200	0.400
1500×1500	150	0.300	0.300	200	0.400
1800×1500	150	0.345	0.300	200	0.460
1800×1800	150	0.345	0.300	200	0.460
2000×1500	150	0.375	0.300	200	0.500
2000×2000	150	0.375	0.300	200	0.500
2300×1500	150	0.429	0.300	200	0.572
2300×2000	150	0.429	0.300	200	0.572
2300×2300	150	0.429	0.300	200	0.572
2500×1500	150	0.459	0.300	200	0.612
2500×2000	150	0.459	0.300	200	0.612
2500×2500	150	0.465	0.300	200	0.620
2800×1500	150	0.510	0.300	200	0.680
2800×2000	150	0.510	0.300	200	0.680
2800×2800	150	0.510	0.300	200	0.680
3000×2000	150	0.540	0.300	200	0.720
3000×2500	150	0.540	0.300	200	0.720
3000×3000	150	0.555	0.300	200	0.740
3500×2500	150	0.630	0.300	200	0.840

呼び名 B×H	600型				
	コンクリート厚 t <sub>1</sub> (mm)	コンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	基礎材厚 t <sub>2</sub> (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
600×600	100	0.105	0.200	200	0.210
800×800	100	0.125	0.200	200	0.250
1000×1000	100	0.150	0.200	200	0.300
1000×1500	150	0.225	0.300	200	0.300
1200×1200	150	0.255	0.300	200	0.340
1500×1000	150	0.300	0.300	200	0.400
1500×1500	150	0.300	0.300	200	0.400
1800×1500	150	0.354	0.300	200	0.472
1800×1800	150	0.354	0.300	200	0.472
2000×1500	150	0.390	0.300	200	0.520
2000×2000	150	0.390	0.300	200	0.520
2300×1500	150	0.444	0.300	200	0.592
2300×2000	150	0.444	0.300	200	0.592
2300×2300	150	0.444	0.300	200	0.592
2500×1500	150	0.480	0.300	200	0.640
2500×2000	150	0.480	0.300	200	0.640
2500×2500	150	0.480	0.300	200	0.640
2800×1500	150	0.534	0.300	200	0.712
2800×2000	150	0.534	0.300	200	0.712
2800×2800	150	0.534	0.300	200	0.712
3000×2000	150	0.570	0.300	200	0.760
3000×2500	150	0.570	0.300	200	0.760
3000×3000	150	0.570	0.300	200	0.760
3500×2500	150	0.645	0.300	200	0.860

名称	RCボックスカルバート	標準設計番号	共-IV-2
		工種記号	BX(R)



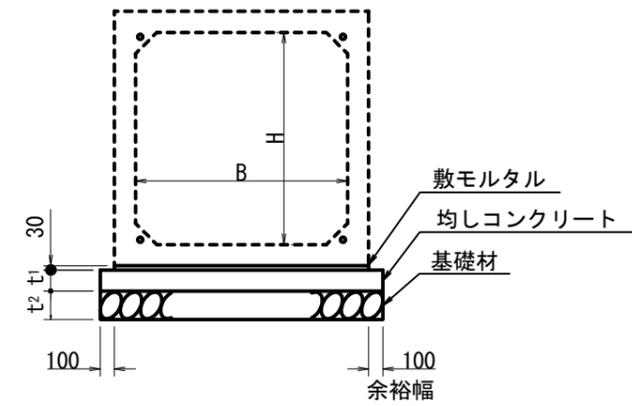
呼び名 B×H	寸法(mm)					参考質量 (kg)
	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	T <sub>3</sub>	C	L	
600×600	130	130	130	100	2000	2000
800×800	130	130	130	100	2000	2520
1000×1000	130	130	130	150	2000	3160
1000×1500	130	130	130	150	2000	3810
1200×1200	130	130	130	150	2000	3680
1500×1000	160	160	140	150	2000	4470
1500×1500	160	160	140	150	2000	5170
1800×1500	170	170	150	150	2000	6050
1800×1800	170	170	150	150	2000	6500
2000×1500	180	180	160	200	2000	6980
2000×2000	180	180	160	200	2000	7780
2300×1500	200	200	180	200	1500	6320
2300×2000	200	200	180	200	1500	6990
2300×2300	200	200	180	200	1500	7400
2500×1500	220	220	200	200	1500	7340
2500×2000	220	220	200	200	1500	8090
2500×2500	220	220	200	200	1500	8840
2800×1500	240	240	220	200	1000	5740
2800×2000	240	240	220	200	1000	6290
2800×2800	240	240	220	200	1000	7170
3000×2000	260	260	240	300	1000	7370
3000×2500	260	260	240	300	1000	7970
3000×3000	260	260	240	300	1000	8570
3500×2500	310	310	250	300	1000	9780
許容差	呼び名	内幅及び内高		厚さ	有効長	
	600×600~800×800	± 4		+4, -2	+10, -5	
	1000×1000~2500×2500	± 6		+6, -3		
	2800×2000~3000×3000	± 7		+6, -4		
3500×2500	±10		+8, -4			

- 注) 1. 適用土被り (h) は、 $0.2m \leq h \leq 3.0m$   
 2. L (目地代を含む) は1500mm、1000mmとすることができる。

特記事項

- ・詳細は、「プレキャストボックスカルバート設計・施工マニュアル (全国ボックスカルバート協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 35N/mm^2$  以上。
- ・鉄筋は、SD295AまたはSD345とする。

参考図表



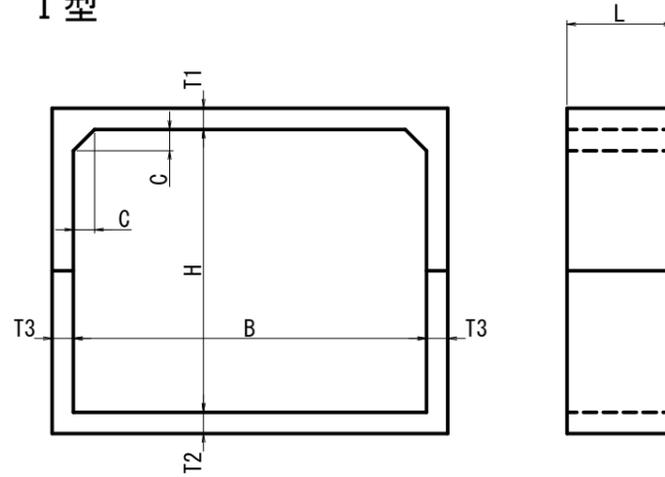
呼び名 B×H	コンクリート厚 $t_1$ (mm)	コンクリート ( $m^3$ )	型枠面積 ( $m^2$ )	延長1m当り	
				基礎材厚 $t_2$ (mm)	基礎材 ( $m^3$ )
600×600	100	0.106	0.200	200	0.212
800×800	100	0.126	0.200	200	0.252
1000×1000	100	0.146	0.200	200	0.292
1000×1500	150	0.219	0.300	200	0.292
1200×1200	150	0.249	0.300	200	0.332
1500×1000	150	0.297	0.300	200	0.396
1500×1500	150	0.297	0.300	200	0.396
1800×1500	150	0.345	0.300	200	0.460
1800×1800	150	0.345	0.300	200	0.460
2000×1500	150	0.378	0.300	200	0.504
2000×2000	150	0.378	0.300	200	0.504
2300×1500	150	0.429	0.300	200	0.572
2300×2000	150	0.429	0.300	200	0.572
2300×2300	150	0.429	0.300	200	0.572
2500×1500	150	0.465	0.300	200	0.620
2500×2000	150	0.465	0.300	200	0.620
2500×2500	150	0.465	0.300	200	0.620
2800×1500	150	0.516	0.300	200	0.688
2800×2000	150	0.516	0.300	200	0.688
2800×2800	150	0.516	0.300	200	0.688
3000×2000	150	0.552	0.300	200	0.736
3000×2500	150	0.552	0.300	200	0.736
3000×3000	150	0.552	0.300	200	0.736
3500×2500	150	0.630	0.300	200	0.840

名称	大型ボックスカルバート I 型	標準設計番号	共-IV-3
		工種記号	LBX (I)

特記事項

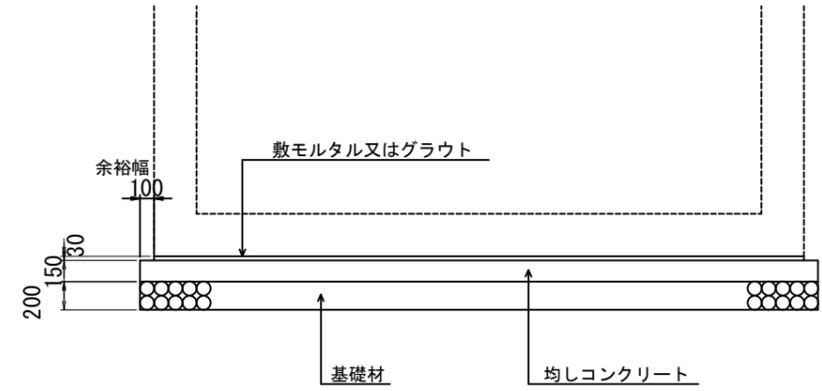
- ・上下部材の接合は鋳鉄製金具及びHTボルトにて行う。
- ・ $\sigma_{ck}=40N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋はSD295AまたはSD345とする。

I 型



土かぶり	呼び名		製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)	
	B	× H	T1	T2	T3	C	L		
1.0m	4000	× 3000	300	300	300	300	1495	17.4	
	4000	× 4000	300	300	300	300	1495	19.6	
	4000	× 5000	300	300	300	300	1495	21.9	
	4500	× 3000	300	300	300	300	1495	18.5	
	4500	× 4000	300	300	300	300	1495	20.7	
	4500	× 5000	300	300	300	300	1495	23.0	
	5000	× 3000	300	300	300	300	1495	19.6	
	5000	× 4000	300	300	300	300	1495	21.9	
	5000	× 5000	300	300	300	300	1495	24.1	
	5500	× 3000	300	300	300	300	1495	20.7	
	5500	× 4000	300	300	300	300	1495	23.0	
	6000	× 4000	300	300	300	300	1495	24.1	
2.0m	4000	× 3000	300	300	300	300	1495	17.4	
	4000	× 4000	300	300	300	300	1495	19.6	
	4000	× 5000	300	300	350	300	1495	24.0	
	4500	× 3000	300	300	300	300	1495	18.5	
	4500	× 4000	300	350	300	300	1495	21.7	
	4500	× 5000	350	350	350	300	1495	27.0	
	5000	× 3000	350	350	300	300	1495	21.7	
	5000	× 4000	350	350	300	300	1495	24.0	
	5000	× 5000	350	350	350	300	1495	28.3	
	5500	× 3000	350	350	350	300	1495	24.4	
	3.0m	4000	× 3000	300	350	300	300	1495	18.2
		4000	× 4000	300	350	300	300	1495	20.5
4000		× 5000	350	350	350	300	1495	25.7	
4500		× 3000	350	350	350	300	1495	21.8	
4500		× 4000	350	400	350	300	1495	25.4	
4500		× 5000	350	400	400	300	1495	30.1	
5000		× 3000	350	400	350	300	1495	24.2	
5000		× 4000	350	400	350	300	1495	26.8	
5000		× 5000	350	450	400	300	1495	32.6	
5500		× 3000	400	450	400	300	1495	29.3	
許容差	±10		+8, -4		-	+10, -5			

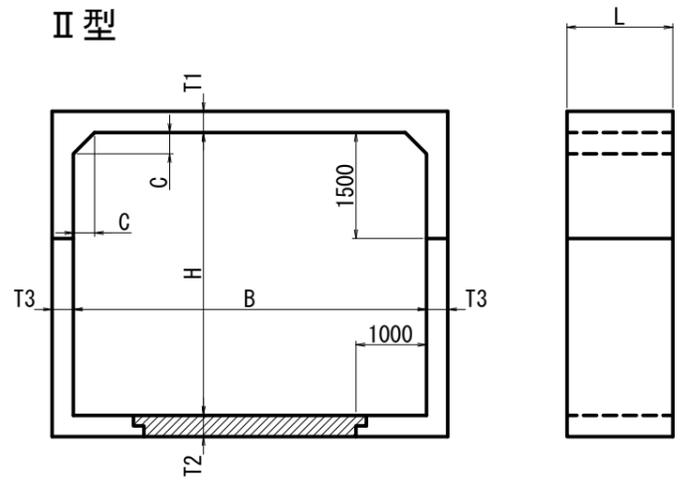
参考図表



参考数量

土かぶり	呼び名		均しコンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> )	敷モルタル	
	B	× H				グラウト (m <sup>3</sup> )	
1.0m	4000	× 3000	0.720	0.300	0.960	0.138	
	4000	× 4000	0.720	0.300	0.960	0.138	
	4000	× 5000	0.720	0.300	0.960	0.138	
	4500	× 3000	0.795	0.300	1.060	0.153	
	4500	× 4000	0.795	0.300	1.060	0.153	
	4500	× 5000	0.795	0.300	1.060	0.153	
	5000	× 3000	0.870	0.300	1.160	0.168	
	5000	× 4000	0.870	0.300	1.160	0.168	
	5000	× 5000	0.870	0.300	1.160	0.168	
	5500	× 3000	0.945	0.300	1.260	0.183	
	5500	× 4000	0.945	0.300	1.260	0.183	
	6000	× 4000	1.020	0.300	1.360	0.198	
2.0m	4000	× 3000	0.720	0.300	0.960	0.138	
	4000	× 4000	0.720	0.300	0.960	0.138	
	4000	× 5000	0.735	0.300	0.980	0.141	
	4500	× 3000	0.795	0.300	1.060	0.153	
	4500	× 4000	0.795	0.300	1.060	0.153	
	4500	× 5000	0.810	0.300	1.080	0.156	
	5000	× 3000	0.870	0.300	1.160	0.168	
	5000	× 4000	0.870	0.300	1.160	0.168	
	5000	× 5000	0.885	0.300	1.180	0.171	
	5500	× 3000	0.960	0.300	1.280	0.186	
	3.0m	4000	× 3000	0.720	0.300	0.960	0.138
		4000	× 4000	0.720	0.300	0.960	0.138
4000		× 5000	0.735	0.300	0.980	0.141	
4500		× 3000	0.810	0.300	1.080	0.156	
4500		× 4000	0.810	0.300	1.080	0.156	
4500		× 5000	0.825	0.300	1.100	0.159	
5000		× 3000	0.885	0.300	1.180	0.171	
5000		× 4000	0.885	0.300	1.180	0.171	
5000		× 5000	0.900	0.300	1.200	0.174	
5500		× 3000	0.975	0.300	1.300	0.189	

名称	大型ボックスカルバートⅡ型	標準設計番号	共-Ⅳ-4
		工種記号	LBX(Ⅱ)



土かぶり	呼び名		製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
	B	H	T1	T2	T3	C	L	
1.0m	5500	× 5000	300	350	300	300	1495	26.4
	6000	× 5000	300	400	300	300	1495	28.8
	6500	× 5000	350	400	350	350	1495	33.7
	6500	× 6000	400	450	400	350	1495	41.6
	7000	× 5000	400	450	400	350	1495	40.2
	7000	× 6000	400	450	400	350	1495	43.2
	7500	× 5000	400	450	400	350	1495	41.8
	7500	× 6000	400	450	400	350	1495	44.8
	8000	× 5000	450	450	400	350	1495	45.0
	8000	× 6000	450	500	400	350	1495	49.6
	8500	× 5000	450	500	450	400	1495	50.8
	8500	× 6000	450	500	450	400	1495	54.2
	9000	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-	-
	9500	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9500	× 6000	-	-	-	-	-	-
10000	× 5000	-	-	-	-	-	-	
10000	× 6000	-	-	-	-	-	-	
許容差	±10		+8, -4		-		+10, -5	

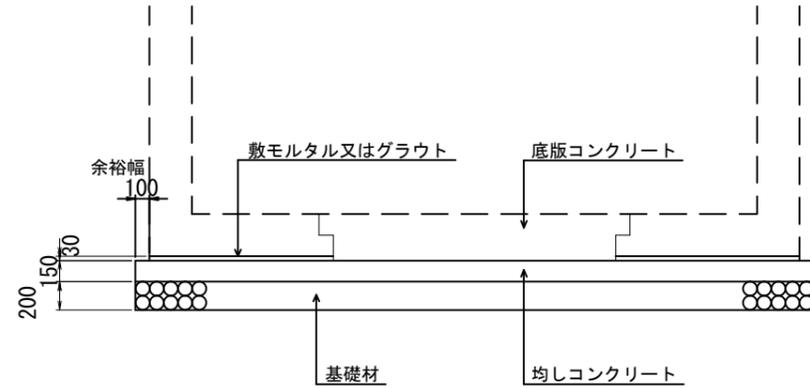
土かぶり	呼び名		製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
	B	H	T1	T2	T3	C	L	
2.0m	5500	× 4000	350	450	350	300	1495	29.3
	5500	× 5000	350	450	350	300	1495	32.0
	6000	× 4000	350	450	350	300	1495	30.8
	6000	× 5000	350	450	350	300	1495	33.5
	6500	× 5000	450	500	450	350	1495	43.6
	6500	× 6000	450	500	450	350	1495	46.9
	7000	× 5000	450	550	450	350	1495	46.8
	7000	× 6000	450	550	450	350	1495	50.2
	7500	× 5000	450	550	450	350	1495	48.7
	7500	× 6000	500	550	500	350	1495	56.2
	8000	× 5000	500	600	500	350	1495	56.1
	8000	× 6000	500	600	500	350	1495	59.9
	8500	× 5000	550	600	500	400	1495	60.1
	8500	× 6000	550	650	500	400	1495	65.6
	9000	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-	-
	9500	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9500	× 6000	-	-	-	-	-	-
	10000	× 5000	-	-	-	-	-	-
	10000	× 6000	-	-	-	-	-	-
3.0m	5500	× 4000	400	500	400	300	1495	33.5
	5500	× 5000	400	500	400	300	1495	36.5
	6000	× 4000	450	550	400	300	1495	37.7
	6000	× 5000	450	600	400	300	1495	42.0
	6500	× 5000	500	600	500	350	1495	50.0
	6500	× 6000	500	600	500	350	1495	53.7
	7000	× 5000	500	650	500	350	1495	53.5
	7000	× 6000	500	650	500	350	1495	57.3
	7500	× 5000	550	650	500	350	1495	57.3
	7500	× 6000	550	650	550	350	1495	63.7
	8000	× 5000	600	700	550	350	1495	65.2
	8000	× 6000	600	700	550	350	1495	69.3
	8500	× 5000	650	800	600	400	1495	75.6
	8500	× 6000	650	750	600	400	1495	78.3
	9000	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-	-
許容差	±10		+8, -4		-		+10, -5	

特記事項

- ・ 上下部材の接合はP C鋼材にて行う。
- ・ 底版部材の接合は現場打ちコンクリートにて行う。
- ・  $\sigma_{ck}=40N/mm^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295AまたはSD345とする。

名称	大型ボックスカルバートⅡ型	標準設計番号	共-Ⅳ-4
		工種記号	LBX(Ⅱ)

参考図表



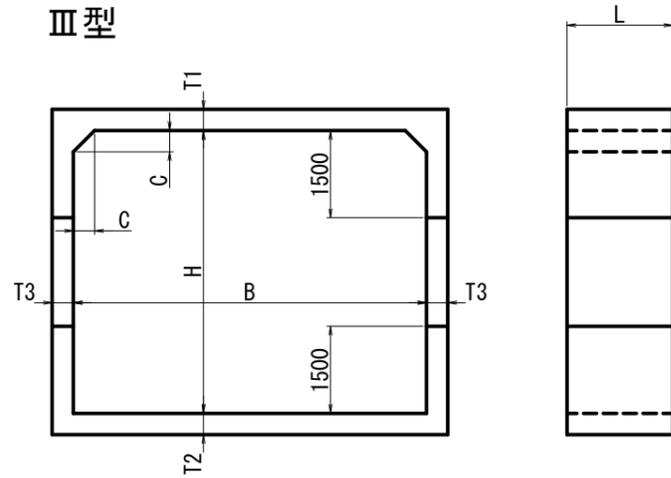
参考数量

土かぶり	呼び名		延長1m当り				
	B	H	均しコンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> )	敷モルタルグラウト (m <sup>3</sup> )	底板コンクリート (m <sup>3</sup> )
1.0m	5500	× 5000	0.945	0.300	1.260	0.078	1.365
	6000	× 5000	1.020	0.300	1.360	0.078	1.760
	6500	× 5000	1.110	0.300	1.480	0.081	1.975
	6500	× 6000	1.125	0.300	1.500	0.084	1.975
	7000	× 5000	1.200	0.300	1.600	0.084	2.445
	7000	× 6000	1.200	0.300	1.600	0.084	2.445
	7500	× 5000	1.275	0.300	1.700	0.084	2.685
	7500	× 6000	1.275	0.300	1.700	0.084	2.685
	8000	× 5000	1.350	0.300	1.800	0.084	2.925
	8000	× 6000	1.350	0.300	1.800	0.084	3.230
	8500	× 5000	1.440	0.300	1.920	0.087	3.495
	8500	× 6000	1.440	0.300	1.920	0.087	3.495
	9000	× 5000	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-
	9500	× 5000	-	-	-	-	-
	9500	× 6000	-	-	-	-	-
10000	× 5000	-	-	-	-	-	
10000	× 6000	-	-	-	-	-	

参考図表

土かぶり	呼び名		延長1m当り				
	B	H	均しコンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> )	敷モルタルグラウト (m <sup>3</sup> )	底板コンクリート (m <sup>3</sup> )
2.0m	5500	× 4000	0.960	0.300	1.280	0.081	1.725
	5500	× 5000	0.960	0.300	1.280	0.081	1.725
	6000	× 4000	1.035	0.300	1.380	0.081	1.965
	6000	× 5000	1.035	0.300	1.380	0.081	1.965
	6500	× 5000	1.140	0.300	1.520	0.087	2.435
	6500	× 6000	1.140	0.300	1.520	0.087	2.435
	7000	× 5000	1.215	0.300	1.620	0.087	2.955
	7000	× 6000	1.215	0.300	1.620	0.087	2.955
	7500	× 5000	1.290	0.300	1.720	0.087	3.245
	7500	× 6000	1.305	0.300	1.740	0.090	3.245
	8000	× 5000	1.380	0.300	1.840	0.090	3.535
	8000	× 6000	1.380	0.300	1.840	0.090	3.840
	8500	× 5000	1.455	0.300	1.940	0.090	4.155
	8500	× 6000	1.455	0.300	1.940	0.090	4.485
	9000	× 5000	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-
9500	× 5000	-	-	-	-	-	
9500	× 6000	-	-	-	-	-	
10000	× 5000	-	-	-	-	-	
10000	× 6000	-	-	-	-	-	
3.0m	5500	× 4000	0.975	0.300	1.300	0.084	1.905
	5500	× 5000	0.975	0.300	1.300	0.084	1.905
	6000	× 4000	1.050	0.300	1.400	0.084	2.375
	6000	× 5000	1.050	0.300	1.400	0.084	2.580
	6500	× 5000	1.155	0.300	1.540	0.090	2.895
	6500	× 6000	1.155	0.300	1.540	0.090	2.895
	7000	× 5000	1.230	0.300	1.640	0.090	3.465
	7000	× 6000	1.230	0.300	1.640	0.090	3.465
	7500	× 5000	1.305	0.300	1.740	0.090	3.805
	7500	× 6000	1.320	0.300	1.760	0.093	3.805
	8000	× 5000	1.395	0.300	1.860	0.093	4.450
	8000	× 6000	1.395	0.300	1.860	0.093	4.450
	8500	× 5000	1.485	0.300	1.980	0.093	5.475
	8500	× 6000	1.485	0.300	1.980	0.096	5.145
	9000	× 5000	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-

名称	大型ボックスカルバートⅢ型	標準設計番号	共-Ⅳ-5
		工種記号	LBX(Ⅲ)



土かぶり	呼び名		製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
	B	H	T1	T2	T3	C	L	
1.0m	5500	× 5000	300	300	300	300	1495	25.2
	6000	× 5000	300	350	300	300	1495	27.6
	6500	× 5000	350	400	350	350	1495	33.7
	6500	× 6000	400	400	400	350	1495	40.2
	7000	× 5000	400	400	400	350	1495	38.7
	7000	× 6000	400	400	400	350	1495	41.7
	7500	× 5000	400	450	400	350	1495	41.8
	7500	× 6000	400	450	400	350	1495	44.8
	8000	× 5000	450	450	400	350	1495	45.0
	8000	× 6000	450	500	400	350	1495	49.6
	8500	× 5000	450	500	450	400	1495	50.8
	8500	× 6000	450	500	450	400	1495	54.2
	9000	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-	-
	9500	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9500	× 6000	-	-	-	-	-	-
10000	× 5000	-	-	-	-	-	-	
10000	× 6000	-	-	-	-	-	-	
許容差	±10		+8, -4		-	+10, -5		

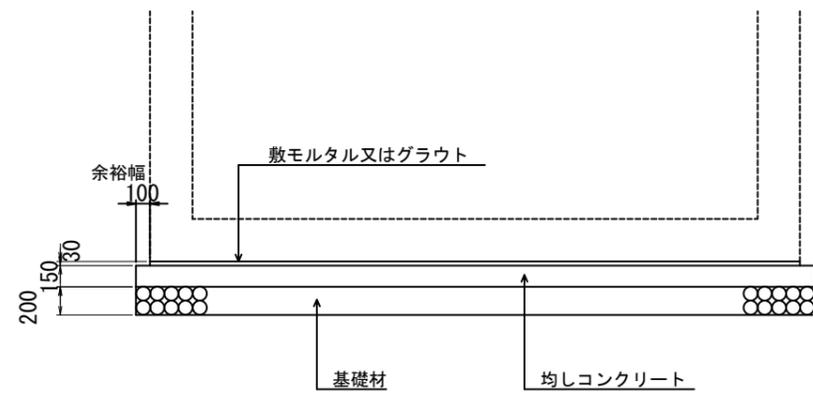
土かぶり	呼び名		製品寸法 (mm)					1セット質量 (t)
	B	H	T1	T2	T3	C	L	
2.0m	5500	× 4000	350	400	350	300	1495	28.2
	5500	× 5000	350	400	350	300	1495	30.8
	6000	× 4000	350	400	350	300	1495	29.6
	6000	× 5000	350	450	350	300	1495	33.5
	6500	× 5000	450	500	450	350	1495	43.6
	6500	× 6000	450	500	450	350	1495	46.9
	7000	× 5000	450	500	450	350	1495	45.3
	7000	× 6000	450	550	450	350	1495	50.2
	7500	× 5000	450	500	450	350	1495	47.1
	7500	× 6000	500	550	500	350	1495	56.2
	8000	× 5000	500	550	500	350	1495	54.5
	8000	× 6000	500	600	500	350	1495	59.9
	8500	× 5000	550	600	500	400	1495	60.1
	8500	× 6000	550	650	500	400	1495	65.6
	9000	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-	-
	9500	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9500	× 6000	-	-	-	-	-	-
	10000	× 5000	-	-	-	-	-	-
	10000	× 6000	-	-	-	-	-	-
3.0m	5500	× 4000	400	450	400	300	1495	32.3
	5500	× 5000	400	450	400	300	1495	35.3
	6000	× 4000	450	500	400	300	1495	36.4
	6000	× 5000	450	550	400	300	1495	40.7
	6500	× 5000	500	550	500	350	1495	48.6
	6500	× 6000	500	550	500	350	1495	52.3
	7000	× 5000	500	600	500	350	1495	52.0
	7000	× 6000	500	600	500	350	1495	55.8
	7500	× 5000	550	600	500	350	1495	55.7
	7500	× 6000	550	650	550	350	1495	63.7
	8000	× 5000	600	650	550	350	1495	63.5
	8000	× 6000	600	650	550	350	1495	67.6
	8500	× 5000	650	750	600	400	995	49.1
	8500	× 6000	650	750	600	400	995	52.1
	9000	× 5000	-	-	-	-	-	-
	9000	× 6000	-	-	-	-	-	-
許容差	±10		+8, -4		-	+10, -5		

特記事項

- ・ 上下部材の接合はP C鋼材にて行う。
- ・  $\sigma_{ck}=40N/mm^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295AまたはSD345とする。

名称	大型ボックスカルバートⅢ型	標準設計番号	共-Ⅳ-5
		工種記号	LBX(Ⅲ)

参考図表



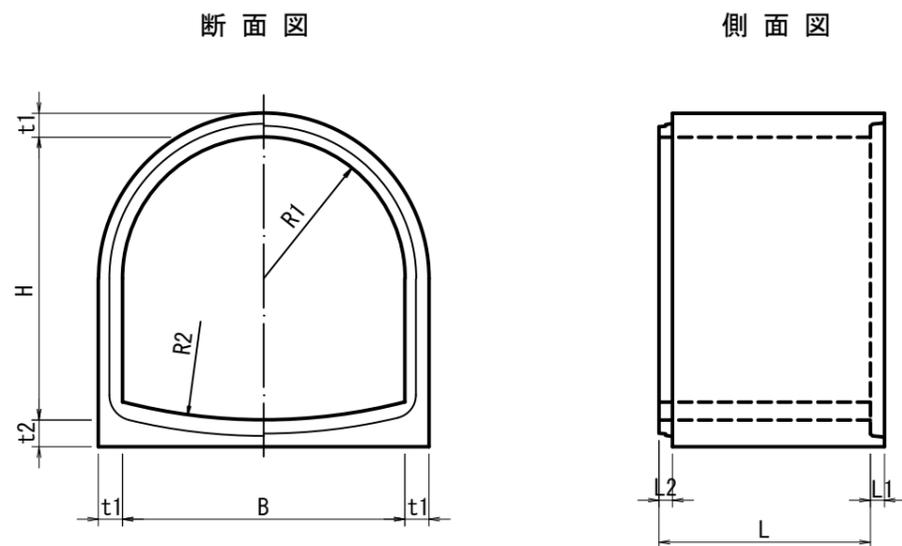
参考数量 延長1m当り

土かぶり	呼び名		均しコンクリート (m³)	型枠面積 (m²)	基礎材 (m³)	敷モルタルグラウト (m³)
	B	H				
1.0m	5500	5000	0.945	0.300	1.260	0.183
	6000	5000	1.020	0.300	1.360	0.198
	6500	5000	1.110	0.300	1.480	0.216
	6500	6000	1.125	0.300	1.500	0.219
	7000	5000	1.200	0.300	1.600	0.234
	7000	6000	1.200	0.300	1.600	0.234
	7500	5000	1.275	0.300	1.700	0.249
	7500	6000	1.275	0.300	1.700	0.249
	8000	5000	1.350	0.300	1.800	0.264
	8000	6000	1.350	0.300	1.800	0.264
	8500	5000	1.440	0.300	1.920	0.282
	8500	6000	1.440	0.300	1.920	0.282
	9000	5000	-	-	-	-
	9000	6000	-	-	-	-
	9500	5000	-	-	-	-
	9500	6000	-	-	-	-
10000	5000	-	-	-	-	
10000	6000	-	-	-	-	

参考図表

土かぶり	呼び名		均しコンクリート (m³)	型枠面積 (m²)	基礎材 (m³)	敷モルタルグラウト (m³)
	B	H				
2.0m	5500	4000	0.960	0.300	1.280	0.186
	5500	5000	0.960	0.300	1.280	0.186
	6000	4000	1.035	0.300	1.380	0.201
	6000	5000	1.035	0.300	1.380	0.201
	6500	5000	1.140	0.300	1.520	0.222
	6500	6000	1.140	0.300	1.520	0.222
	7000	5000	1.215	0.300	1.620	0.237
	7000	6000	1.215	0.300	1.620	0.237
	7500	5000	1.290	0.300	1.720	0.252
	7500	6000	1.305	0.300	1.740	0.255
	8000	5000	1.380	0.300	1.840	0.270
	8000	6000	1.380	0.300	1.840	0.270
	8500	5000	1.455	0.300	1.940	0.285
	8500	6000	1.455	0.300	1.940	0.285
	9000	5000	-	-	-	-
	9000	6000	-	-	-	-
9500	5000	-	-	-	-	
9500	6000	-	-	-	-	
10000	5000	-	-	-	-	
10000	6000	-	-	-	-	
3.0m	5500	4000	0.975	0.300	1.300	0.189
	5500	5000	0.975	0.300	1.300	0.189
	6000	4000	1.050	0.300	1.400	0.204
	6000	5000	1.050	0.300	1.400	0.204
	6500	5000	1.155	0.300	1.540	0.225
	6500	6000	1.155	0.300	1.540	0.225
	7000	5000	1.230	0.300	1.640	0.240
	7000	6000	1.230	0.300	1.640	0.240
	7500	5000	1.305	0.300	1.740	0.255
	7500	6000	1.320	0.300	1.760	0.258
	8000	5000	1.395	0.300	1.860	0.273
	8000	6000	1.395	0.300	1.860	0.273
	8500	5000	1.485	0.300	1.980	0.291
	8500	6000	1.485	0.300	1.980	0.291
	9000	5000	-	-	-	-
	9000	6000	-	-	-	-

名称	アーチボックスカルバート	標準設計番号	共-IV-9
		工種記号	ABX



特記事項

- ・詳細は、「アーチカルバート設計施工要覧(日本アーチカルバート工業会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 40\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は SD295A とする。

寸法表 (I型・II型・特厚型)

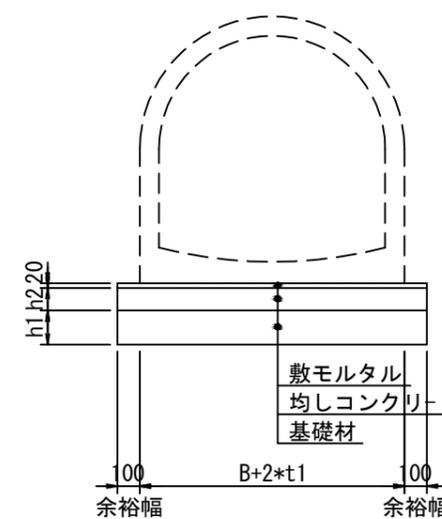
呼び名	寸法 (mm)									参考質量 (kg)
	B	H	L	t1	t2	R1	R2	L1	L2	
1000×1000	1000	1000	2000	120 150	130 180	500	2000	80	75	2570 3380
1200×1200	1200	1200	2000	130 160	140 190	600	2400	80	75	3330 4260
1500×1500	1500	1500	2000	140 180	160 210	750	3000	80	75	4510 5910
1800×1800	1800	1800	2000	160 200	170 230	900	3600	100	95	6050 7810
2000×2000	2000	2000	1500	170 220	190 270	1000	4000	100	95	5430 7310
2200×2200	2200	2200	1500	180 230	200 290	1100	4400	100	95	6310 8460
2500×2500	2500	2500	1500	190 250	210 320	1250	5000	100	95	7550 10490
2800×2800	2800	2800	1000	210 270	230 330	1400	5600	100	95	6220 8310
3000×3000	3000	3000	1000	220 280	240 360	1500	6000	100	95	6970 9380

注1 幅に対する高さ比 (H/B) は、0.7, 0.8, 0.9, 1.0, 1.1, 1.2がある。  
 注2 t1, t2寸法および参考質量について、上段はI・II型を、下段は特厚型を示す。

寸法許容差

内 幅	B, H	t1, t2	L
1000~1200	±6	+4, -2	+10, -5
1500~2000	±8	+6, -3	
2200~3000	±10	+8, -4	

参考図表



参考数量

延長1m当り

呼び名	項目	余裕幅 (m)	h1 (m)	h2 (m)	基礎材 (m <sup>3</sup> )	均しコンクリート (m <sup>3</sup> )	敷きモルタル (m <sup>3</sup> )
1000×1000	0.100	0.100	0.150	0.100	0.216	0.144	0.029
					0.249	0.166	0.033
1500×1500			0.200	0.150	0.396	0.297	0.040
					0.464	0.348	0.046
2000×2000			0.250	0.200	0.508	0.381	0.051
					0.552	0.414	0.055
2500×2500			0.250	0.200	0.770	0.616	0.062
2800×2800					0.855	0.684	0.068
3000×3000					0.910	0.728	0.073

名称

## 大型アーチカルバート

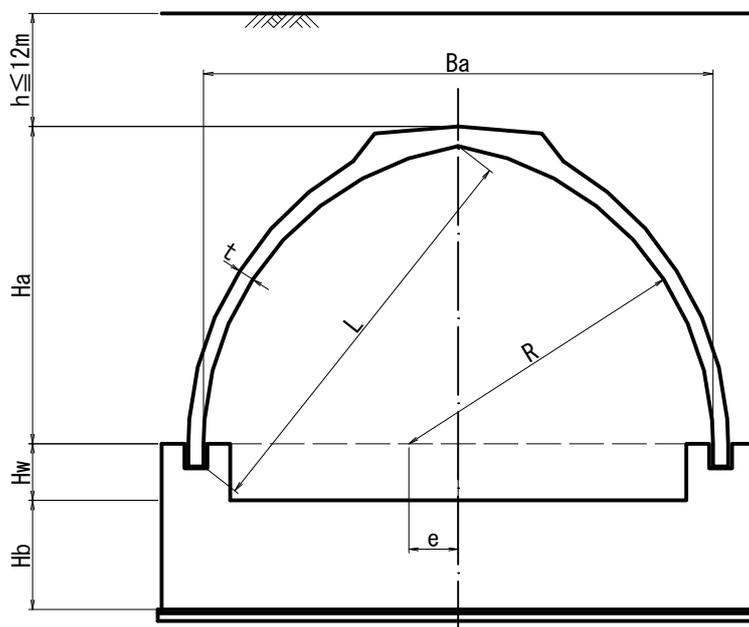
標準設計番号

-

工種記号

-

## 断面図



Ba : 構造内幅 (6m~12m)  
 e : 偏心距離  
 Ha : 部材外高さ (偏心距離により変化)  
 Hw : 縦壁高さ (現場施工)  
 Hb : 底版の厚さ (現場施工)

部材タイプ	寸法 (mm)		
	部材の厚さ t	製品延長 B	部材内半径 R
S	250	2490	4000
A	300	2490	4000 6000
B	400	2490	4000 6000
C	500	1990	6000

寸法許容差 (mm)		
長さ L	製品延長 B	厚さ t
± 10	± 5	

## 特記事項

- ・ 詳細は、「大型プレキャストアーチカルバート設計・施工要領」による。
- ・  $\sigma_{ck}=60\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A または SD345 とする。

名称

# 組合せ暗渠

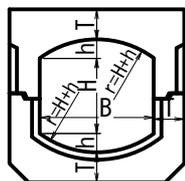
標準設計番号

-

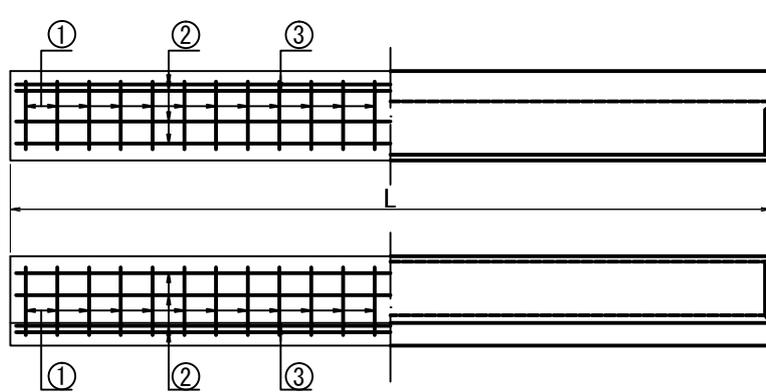
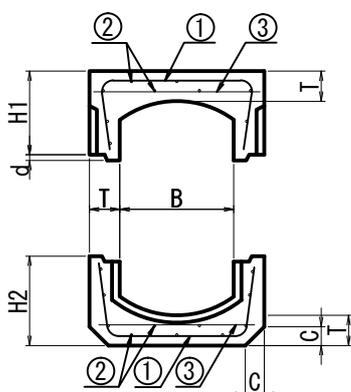
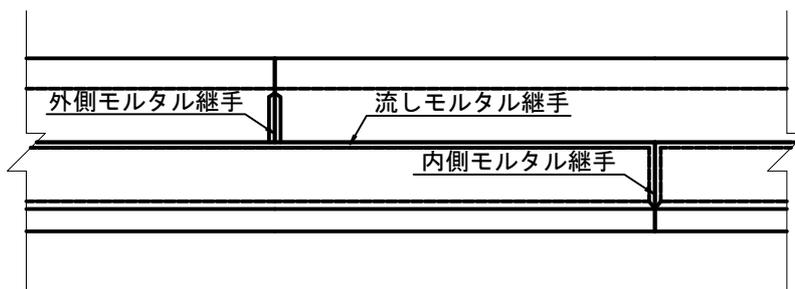
工種記号

-

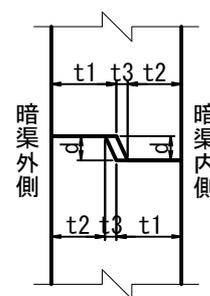
断面



側面



上下組合せ部詳細図



呼び名	鉄筋					
	①		②		③	
	径	本数	径	本数	径	本数
300	D10	24	D6	9	D10	24
450	D13	18	D6	11	D13	18
600	D13	20	D6	13	D13	20

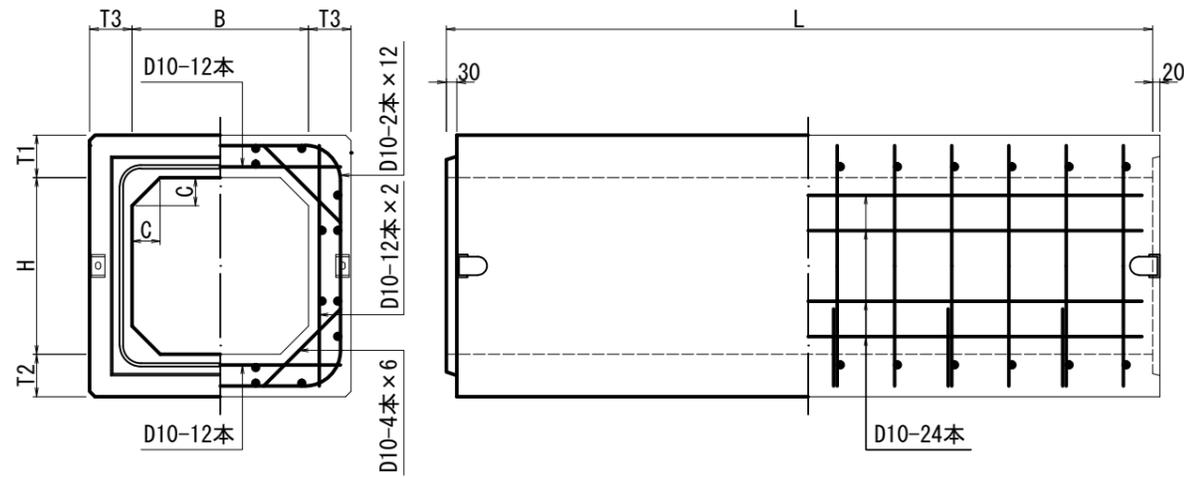
呼び名	寸法(mm)												参考質量(kg)	
	L	B	T	H	h	H1	H2	r	t1	t2	t3	d		c
300	2000	300	80	200	50	222	238	250	40	33	7	15	50	619
450	2000	450	100	300	75	315	335	375	50	40	10	20	60	1140
600	2000	600	110	400	100	400	420	500	55	45	10	20	60	1660
許容差	±3	±2	±2	-		±2		-						

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295Aとする。

名称	小断面ボックスカルバート	標準設計番号	—
		工種記号	—

I 型



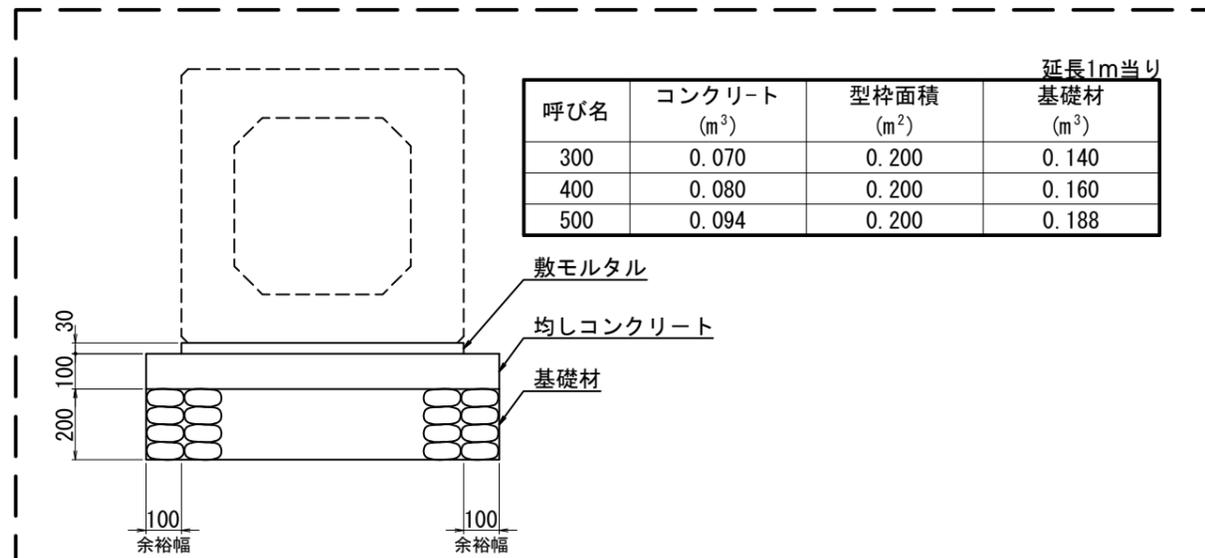
呼び名 B × H	寸法 (mm)							参考質量 (kg)
	B	H	T1	T2	T3	C	L	
300 × 300	300	300	100	100	100	50	2000	800
400 × 400	400	400	100	100	100	50	2000	990
500 × 500	500	500	120	120	120	80	2000	1,510
許容差	±4		+4, -2		-		+10, -5	-

注) 適用土被りは、0.2m~3.0m

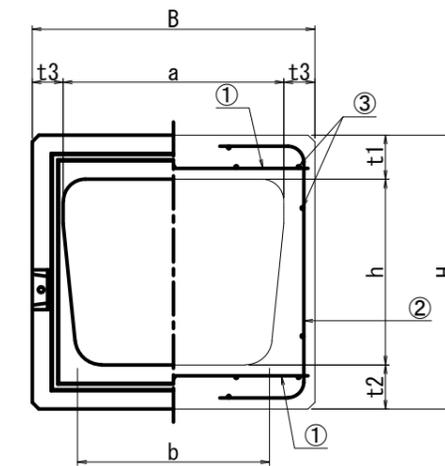
特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 35\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295Aとする。
- ・ 吊り下げ孔を用いる等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 製品の接合はボルト又はプレートにて行う。
- ・ 継ぎ手構造は、止水機能を有すること。

参考図表



II 型



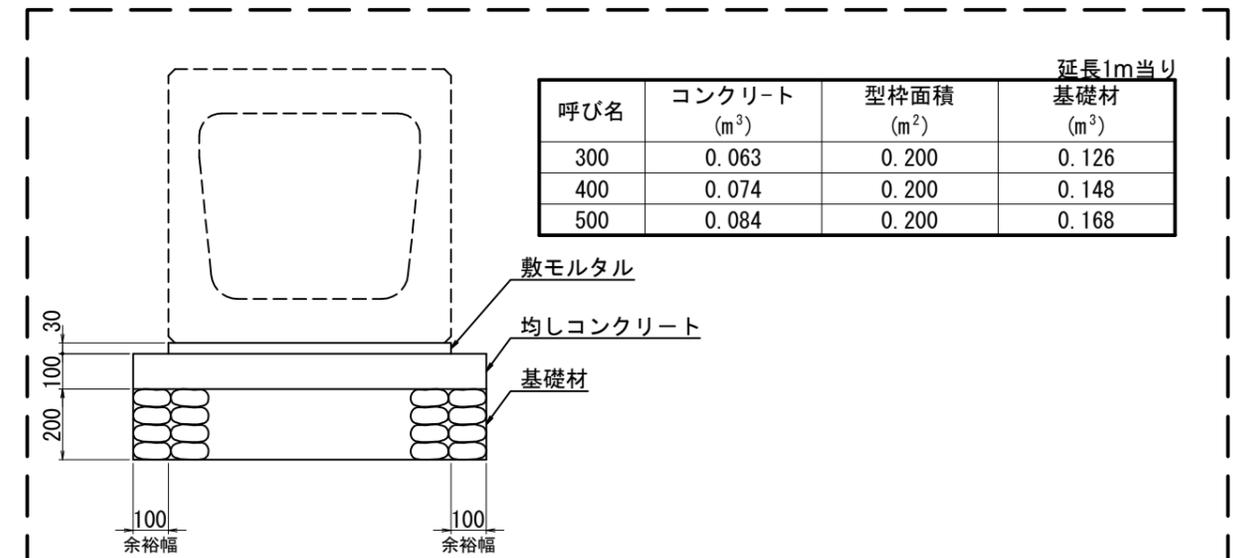
呼び名	寸法 (mm)									鉄筋						参考質量 (Kg)
	a	b	h	t1	t2	t3	B	H	L	①		②		③		
										径	本数	径	本数	径	本数	
300	300	260	300	80	80	65	430	460	2000	D10	18	D10	18	φ6	12	540
400	400	345	360	90	90	70	540	540	2000	D10	20	D10	20	φ6	16	748
500	500	435	420	100	100	70	640	620	2000	D13	14	D13	14	φ6	18	954
許容差	±4		+4, -2		-		+10, -5		-							-

注) 適用土被りは、0.2m~3.0m

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。
- ・ 吊り下げ孔を用いる等、施工に配慮することが出来る。
- ・ 製品の接合はボルト又はプレートにて行う。
- ・ 継ぎ手構造は、止水機能を有すること。

参考図表



名称

# 法枠ブロック

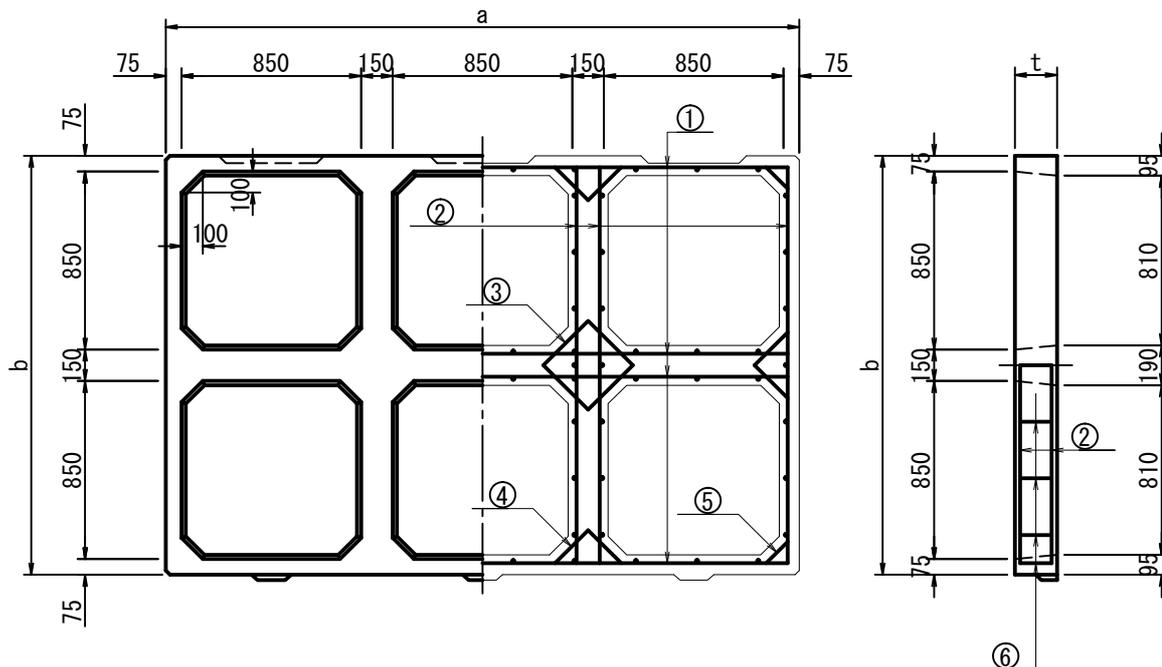
標準設計番号

共-V-1

工種記号

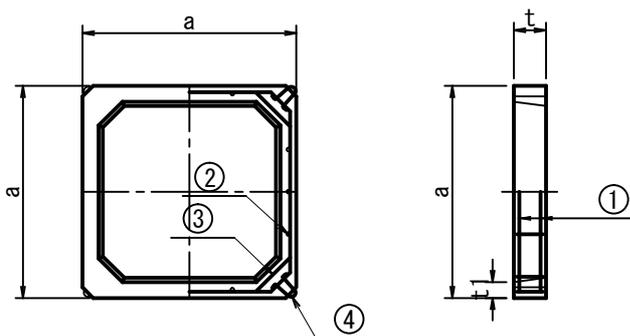
PF I ~ PF II

## I 型



呼び名	寸法 (mm)			鉄筋												参考質量 (kg)
				①		②		③		④		⑤		⑥		
	a	b	t	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
I 型	3000	2000	200	D10	8	D10	12	4	16	4	24	4	8	4	82	985
許容差	±5			-												-

## II 型



呼び名	寸法 (mm)			鉄筋								参考質量 (kg)
				①		②		③		④		
	a	t	t1	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
II型-150	1000	150	75	6	2	4	20	4	8	6	4	118
II型-200	1000	200	75	6	2	4	20	4	8	6	4	158
許容差	±3	+5, -3	±3	-								-

### 特記事項

- ・ 詳細は、「法枠ブロック設計施工要領(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ I型は $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上、II型は $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

名称

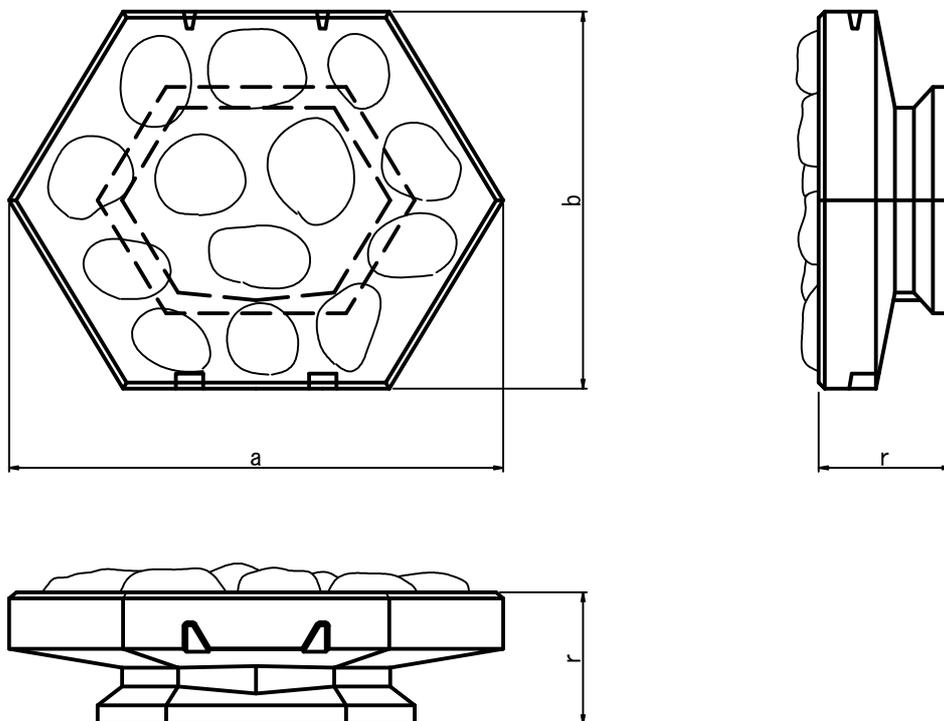
# 石張ブロック

標準設計番号

共-VI-1

工種記号

SK



呼び名	寸法 (mm)			参考質量(kg)
	a	b	r	
標準	1300	1000	350	565
許容差	±3	±3	+8 -5	-

### 特記事項

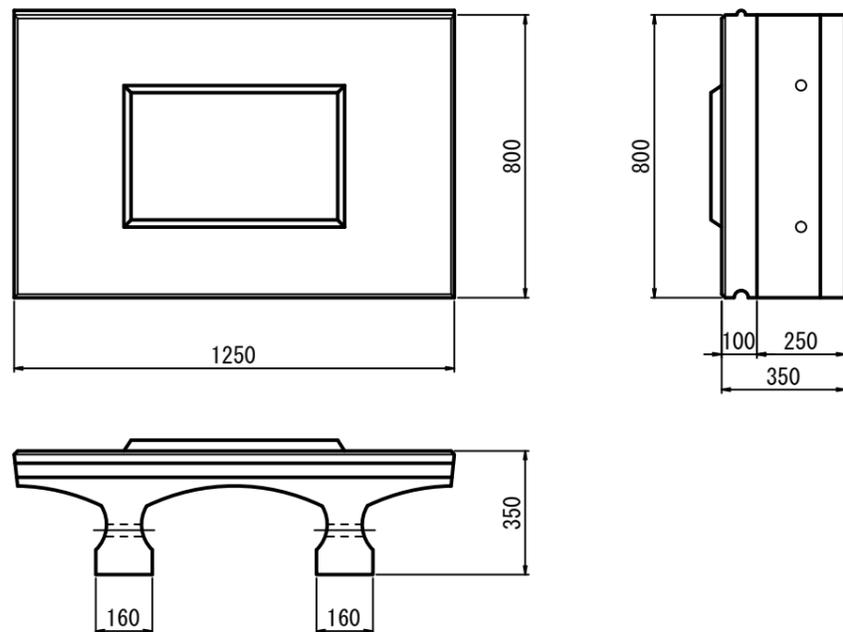
- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 栗石・玉石等を配置する。
- ・ ブロック間の接合には連結金具を用いて、モルタルを充填する。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

### 参考図表

#### 参考数量

名称	規格	胴込めコンクリート量 (m <sup>3</sup> )
標準	1300 × 1000 × 350	0.120
根石	1300 × 500 × 350	0.047
天端	1300 × 500 × 350	0.047
端部	650 × 1000 × 350	0.051

名称	積ブロック	標準設計番号	共-VI-3
		工種記号	Rπ1~Rπ2

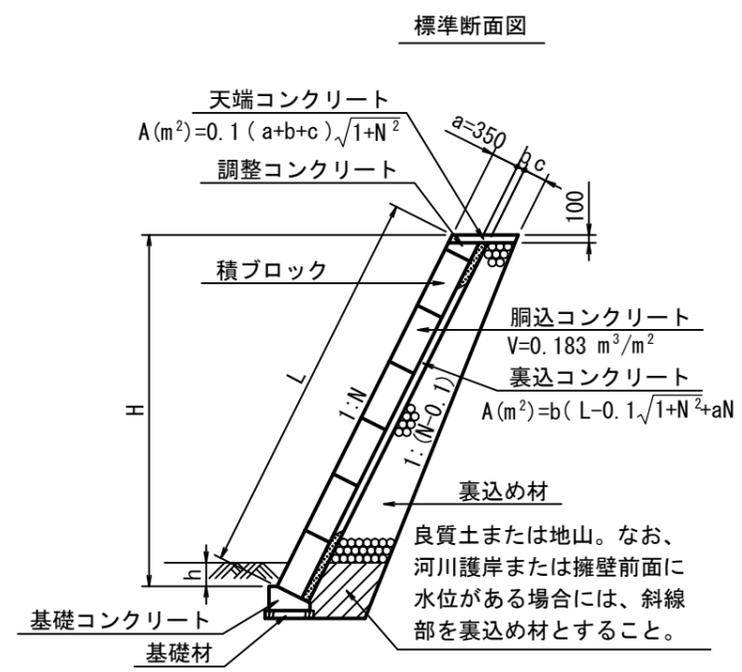


参考質量 (kg)	寸法許容差	
400	面	控え
	±5	+10, -5

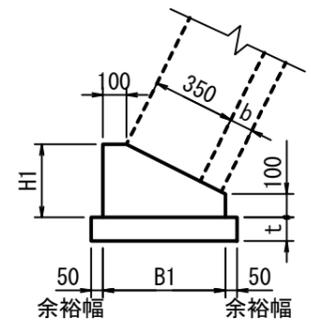
特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 面の模様は自由とする。
- ・ 控長350mm以上500mm未満については、裏込めコンクリートで対応することとする。
- ・ 水抜き孔を設けることができる。
- ・ ブロック形状は、水平積を考慮した形状とすることができる。

参考図表



裏込め材料計算一般式 (m <sup>2</sup> )	
擁壁前面に水位がない場合	$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} (2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H-h+0.1))$
河川護岸または擁壁前面に水位がある場合	$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} (0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H_1+t))$



	延長1m当り						
項目	B1	H1	基礎コンクリート	基礎型枠面積	基礎材余裕幅	基礎材厚 t	基礎材
b	(mm)	(mm)	(m <sup>3</sup> )	(m <sup>2</sup> )	(mm)	(mm)	(m <sup>3</sup> )
b=0cm	430	250	0.083	0.350	50	100	0.053
b=10cm	520	300	0.144	0.400			0.062
b=15cm	550	350	0.136	0.450			0.065

名称

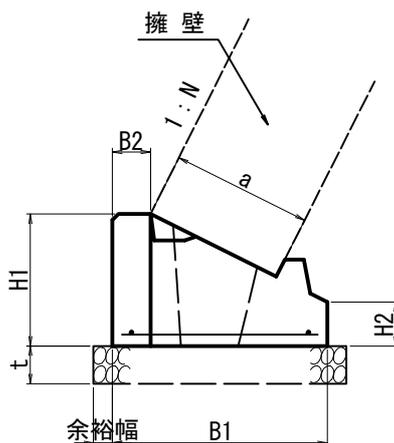
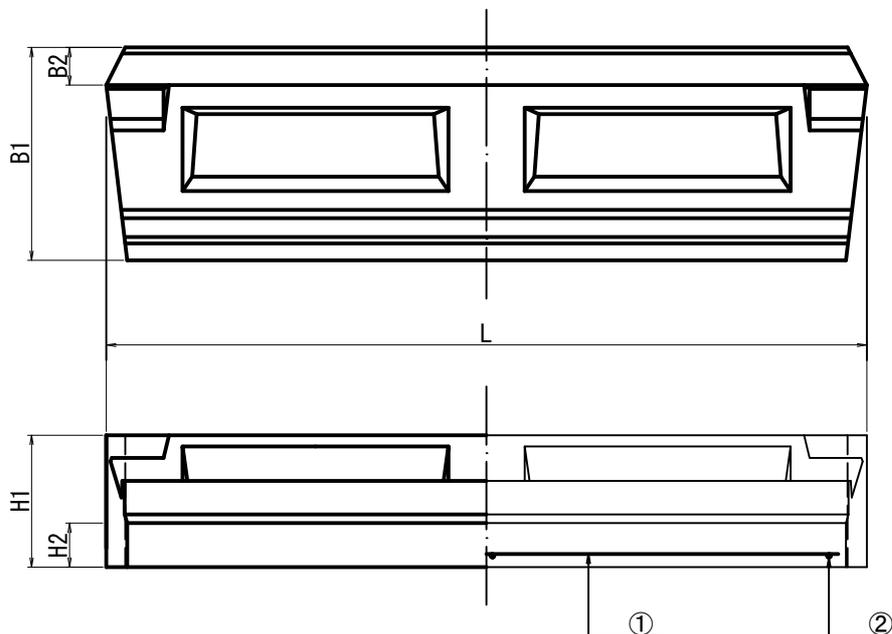
# ブロック積基礎

標準設計番号

共-VI-3

工種記号

-



項目 呼び名	寸法 (mm)						鉄筋				参考 質量 (kg)
	B1	B2	a	H1	H2	L	①		②		
N-0.5	565	100	370	350	117	2000	径 D10	本数 2	径 D10	本数 3	510
許容差	±3		-	±3		+5,-3	-				-

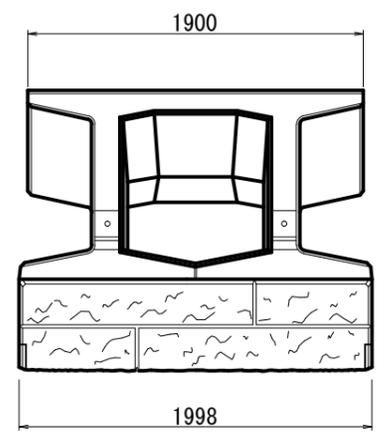
## 特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 用心鉄筋は、SD295Aとする。
- ・ ブロックの結合は、専用プレート金具を使用し、間詰コンクリートを打設する。
- ・ 3分・4分等の法面勾配が急になる場合には、均しコンクリートで調整する。

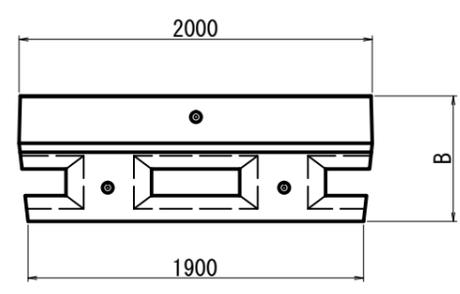
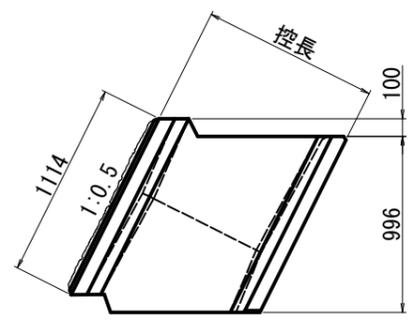
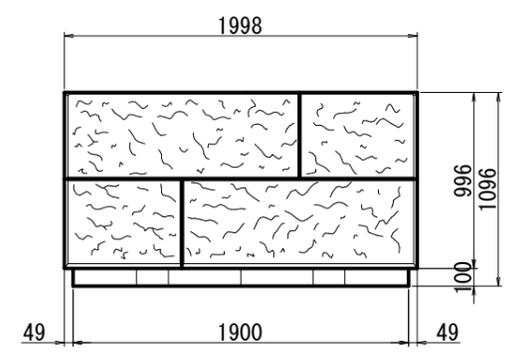
## 参考図表

項目 呼び名	参考数量 延長1m当り			
	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 ( $\text{m}^2$ )	中詰コン クリート ( $\text{m}^3$ )
N-0.5	50	100	0.665	0.035

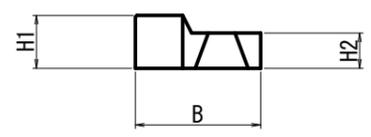
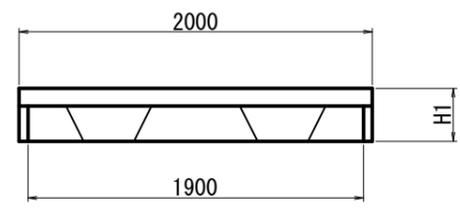
名称	大型コンクリート積ブロック	標準設計番号	-
		工種記号	-



呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
	控長	長さ	高さ	
50型	500	1998	996	1580
75型	750	1998	996	1820
100型	1000	1998	996	2070
許容差	+10, -5	±5	±5	-



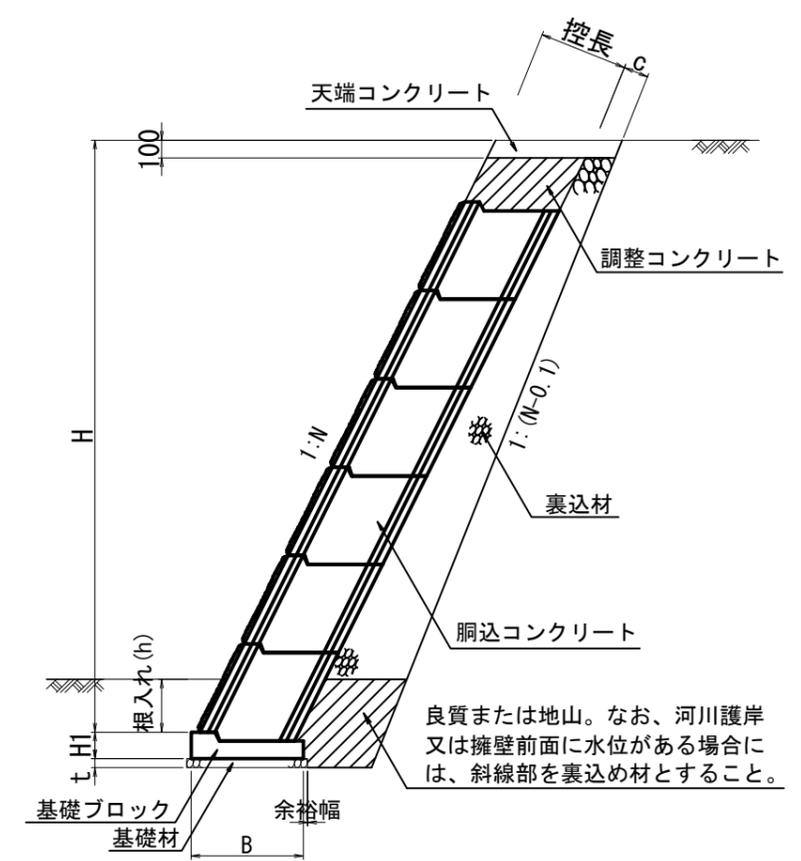
呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
	H1	H2	B	
50型	300	200	710	650
75型	300	200	990	860
100型	300	200	1270	1050
許容差	±3			-



特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 表面模様は自由とする。

参考図表



参考数量

項目	本体 (1個当り)		基礎工 (延長1m当り)		
	胴込め コンクリート ( $\text{m}^3$ )	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 ( $\text{m}^2$ )	胴込め コンクリート ( $\text{m}^3$ )
50型	0.508	50	100	0.810	0.027
75型	0.966			1.090	0.036
100型	1.424			0.137	0.048

裏込め材料計算一般式 ( $\text{m}^2$ )

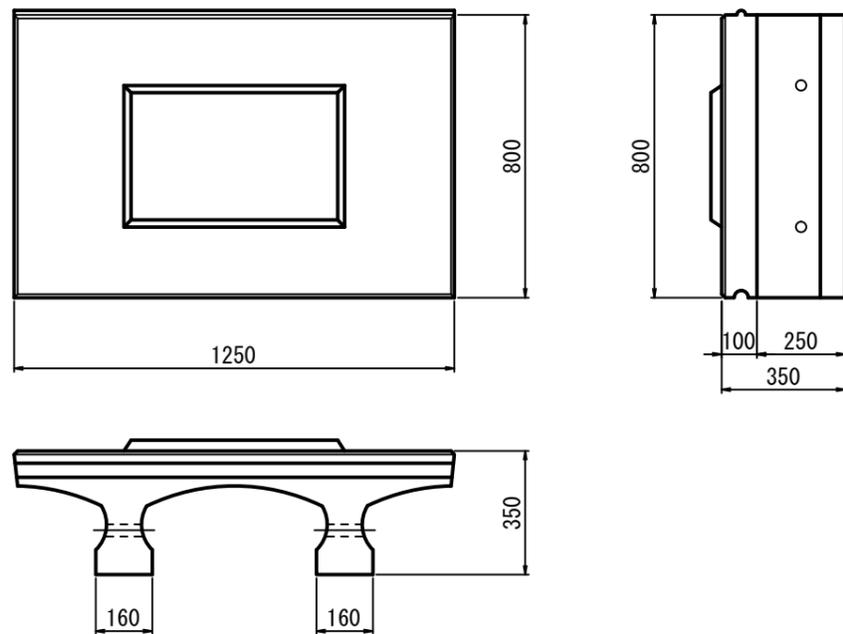
擁壁前面に水位がない場合

$$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} (2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H-h+0.1))$$

河川護岸または擁壁前面に水位がある場合

$$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} (0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H_1+t))$$

名称	張ブロック	標準設計番号	共-VI-4
		工種記号	Kπ1~Kπ3

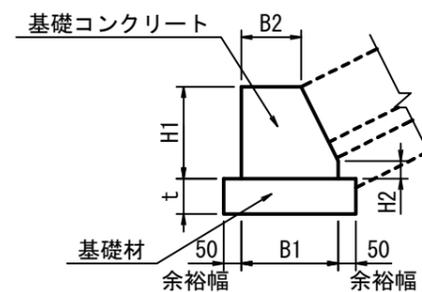
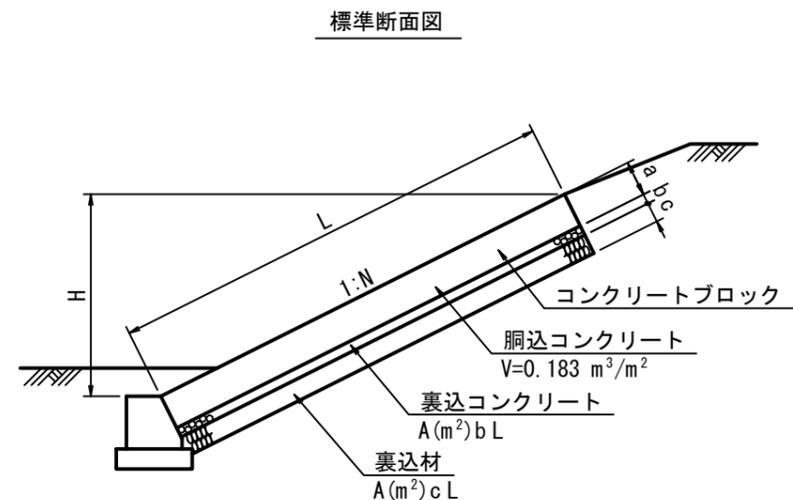


参考質量 (kg)	寸法許容差	
400	面	控え
	±5	+10, -5

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 面の模様は自由とする。
- ・ 水抜き孔を設けることができる。

参考図表



項目	B1	B2	H1	H2	基礎コンクリート (m³)	基礎型枠面積 (m²)	基礎材余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	延長1m当り
									基礎材 (m³)
N	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)					
1.0	700	300	500	100	0.270	1.166	50	100	0.08
1.5	560			100	0.228	1.077			0.066
2.0	550			-	0.213	1.059			0.065

名称

# 大型平張ブロック

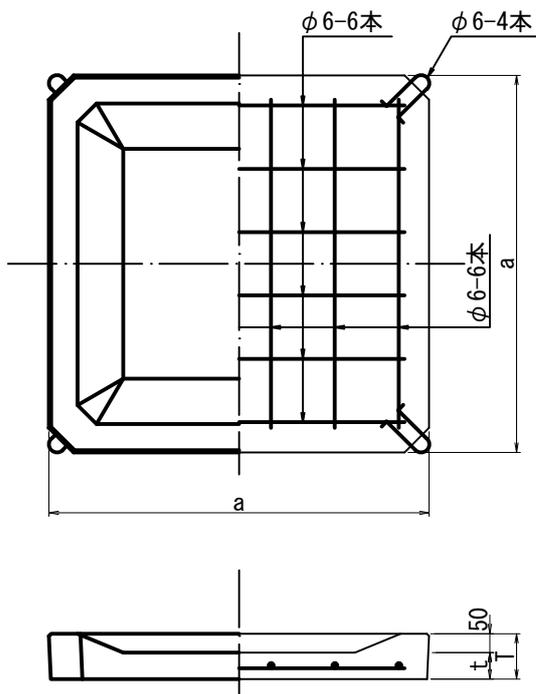
標準設計番号

共-VI-5

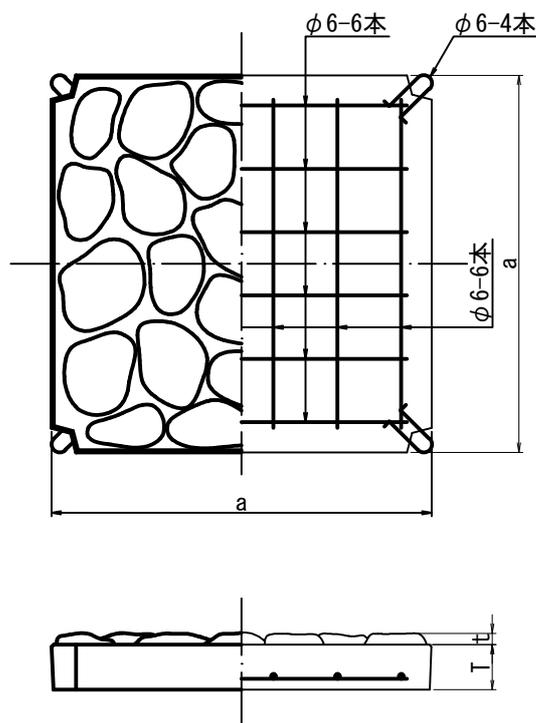
工種記号

FB

I 型



II 型



呼び名		寸法 (mm)			参考質量 (kg)
		a	T	t	
I 型	120	1000	120	70	200
	150	1000	150	100	270
	200	1000	200	150	385
	250	1000	250	200	495
II 型	100	1000	100	30	255
	120	1000	120	30	300
	150	1000	150	30	370
許容差		±3	+5,-3	+5,-3	—

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 用心鉄筋はJIS G 3532に規定する鉄線とする。
- ・ モルタルや金具を用いてブロック同士を接合する。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

1m <sup>2</sup> 当り					1m <sup>2</sup> 当り				
項目		裏込材厚 t (mm)	裏込材 (m <sup>3</sup> )	間詰め モルタル (m <sup>3</sup> )	項目		裏込材厚 t (mm)	裏込材 (m <sup>3</sup> )	間詰め モルタル (m <sup>3</sup> )
I 型	120	200	0.200	0.0010	II 型	100	200	0.200	0.0008
	150			0.0012					
	200			0.0016					
	250			0.0020					

名称	大型植栽ブロック	標準設計番号	共-VI-6
		工種記号	RT

製品本体

呼び名	寸法(mm)									参考重量(kg)
	a1	a2	a3	a4	T1	T2	H1	H2	L1	
I型	1100	735	—	—	765	715	200	150	4000	2570
II型	1008	576	1365	933	715	745	180	150		2760
寸法許容差	±5									±10

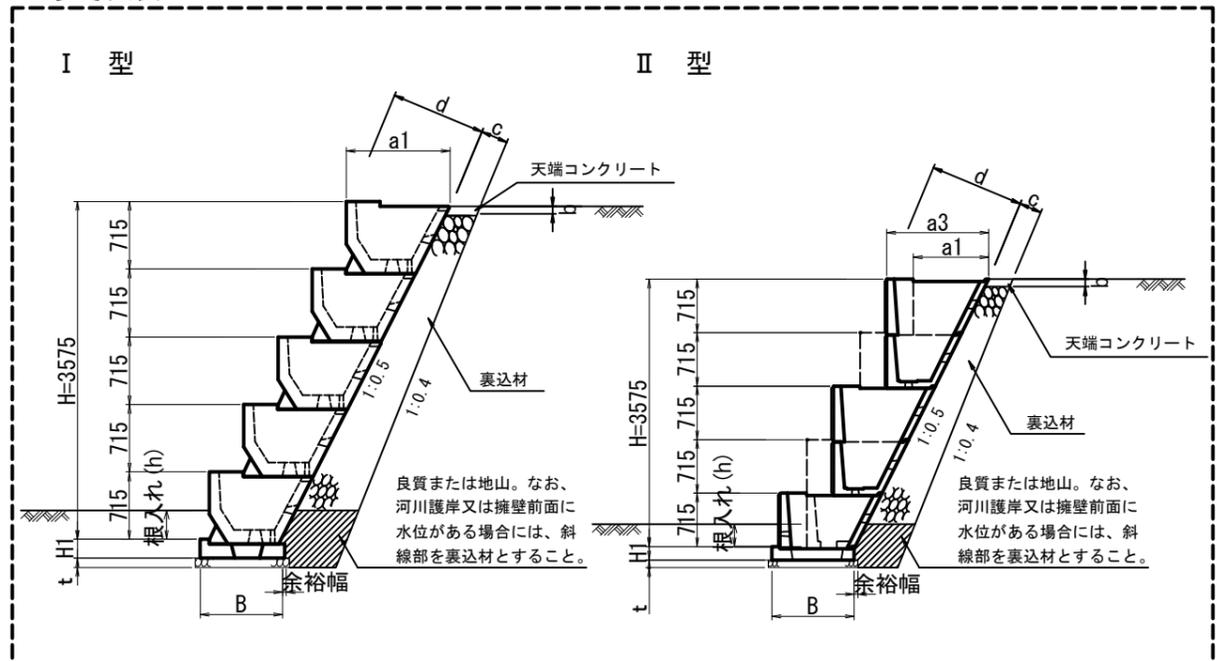
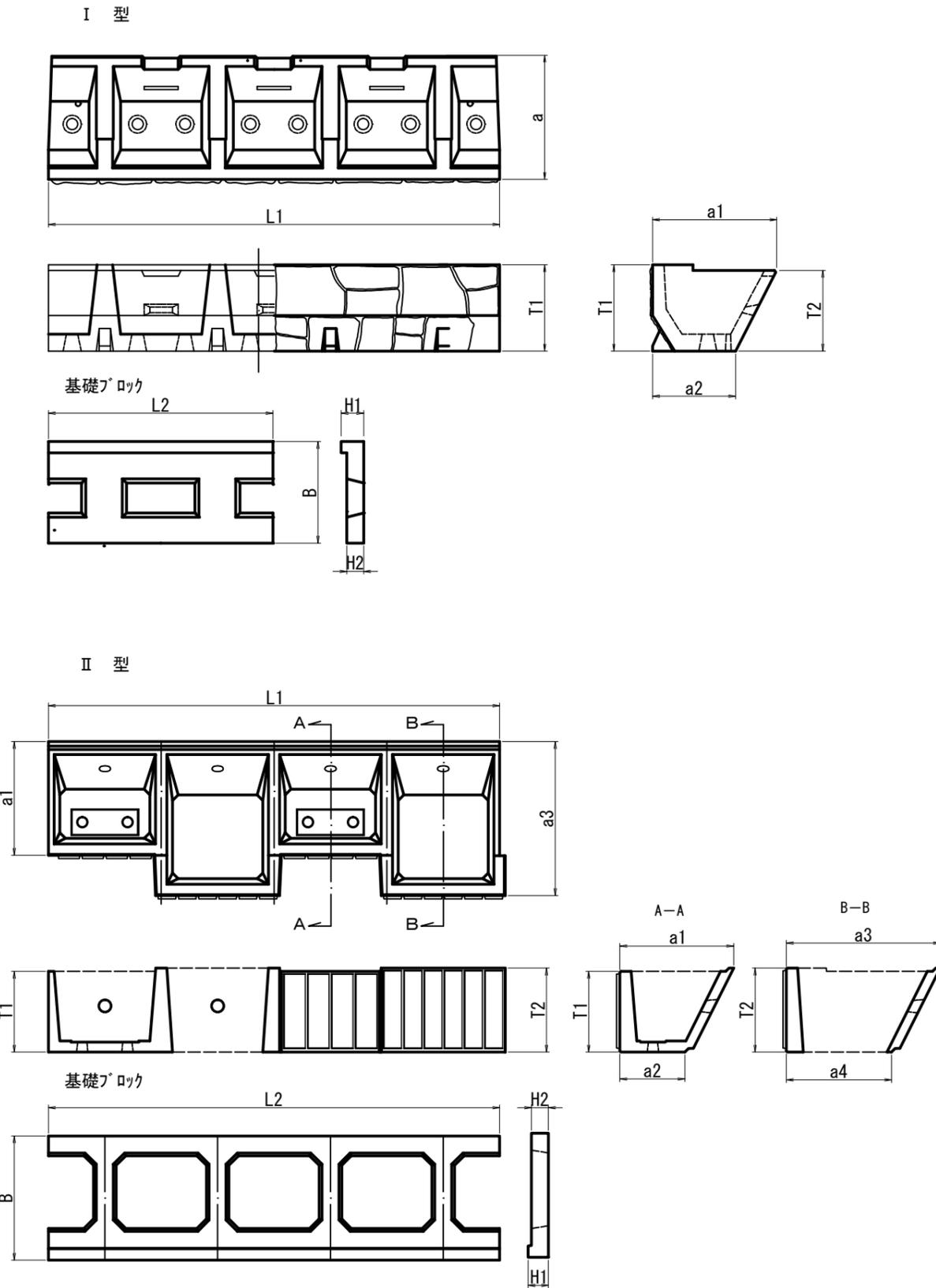
基礎ブロック

呼び名	寸法(mm)		参考重量(kg)
	B	L2	
I型	900	1990	495
II型	1100	4000	830
寸法許容差	±5	±10	

特記事項

- ・詳細は、「大型植栽ブロック施工マニュアル(社団法人 日本建設機械化協会北陸支部)」, 「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=24N/mm$  以上。

参考図表



参考数量

項目	本体 (1個当り)				基礎工 (延長1m当り)		
	天端高 b (mm)	根入れ h (mm)	基礎ブロック 胴込量 (m <sup>3</sup> )	客土 (m <sup>3</sup> )	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>2</sup> )
I型	100	300	0.058	0.314	50	100	0.100
II型	—	—	—	—	—	—	0.120

裏込め材料計算一般式 (m<sup>2</sup>)

擁壁前面に水位がない場合

$$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} (2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+h+0.1))$$

河川護岸または擁壁前面に水位がある場合

$$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} (0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H_1+t))$$

名称

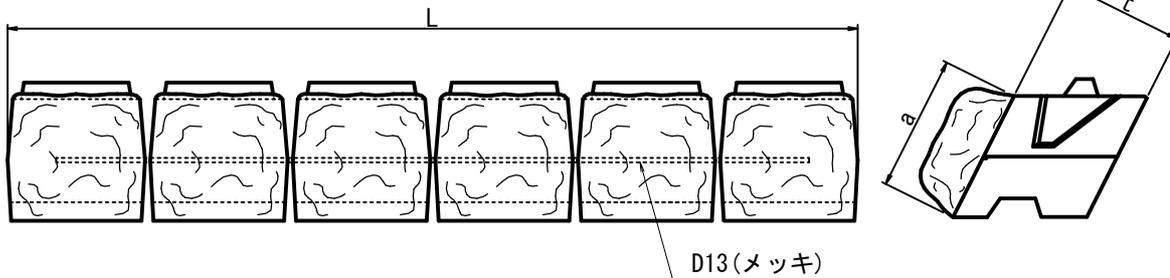
擬石型積ブロック

標準設計番号

共-VI-7

工種記号

RG



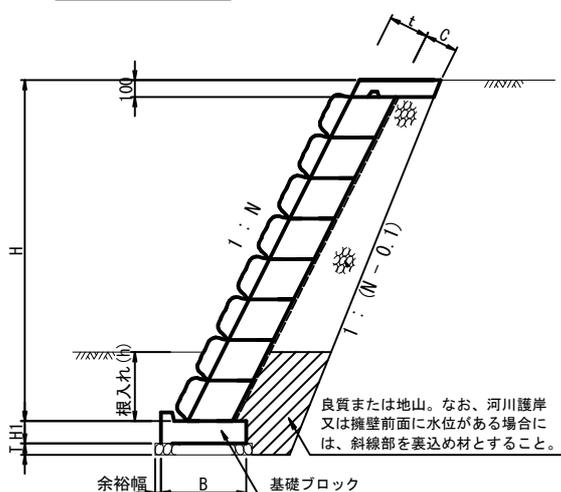
呼び名	寸法 (mm)			1ヶ当り 占有面積	質量
	L	a	t		
t350	500~2500	400~	350以上	1.0m <sup>2</sup> 以上	350kg/m <sup>2</sup> 以上
許容差	±5	±5	+10, -5	-	-

特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A とする。
- ・ 面模様は自由とする。

参考図表

標準断面図



裏込め材料計算一般式 (m<sup>2</sup>)

擁壁前面に水位がない場合

$$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} \left( 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H-h+0.1) \right)$$

河川護岸または擁壁前面に水位がある場合

$$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} \left( 0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H_1+T) \right)$$

名称

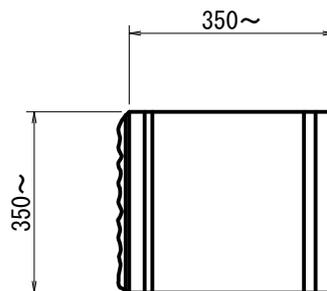
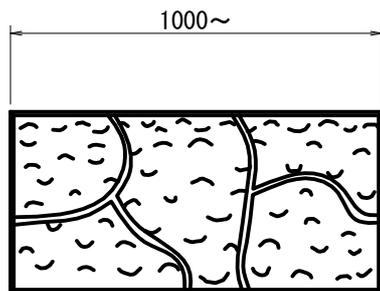
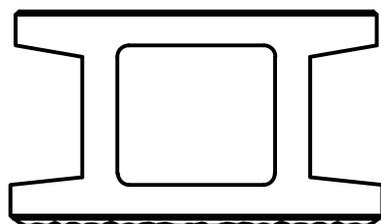
# 中空型積ブロック

標準設計番号

共-VI-8

工種記号

RC



参考質量 (kg/m<sup>2</sup>)

350以上

寸法許容差

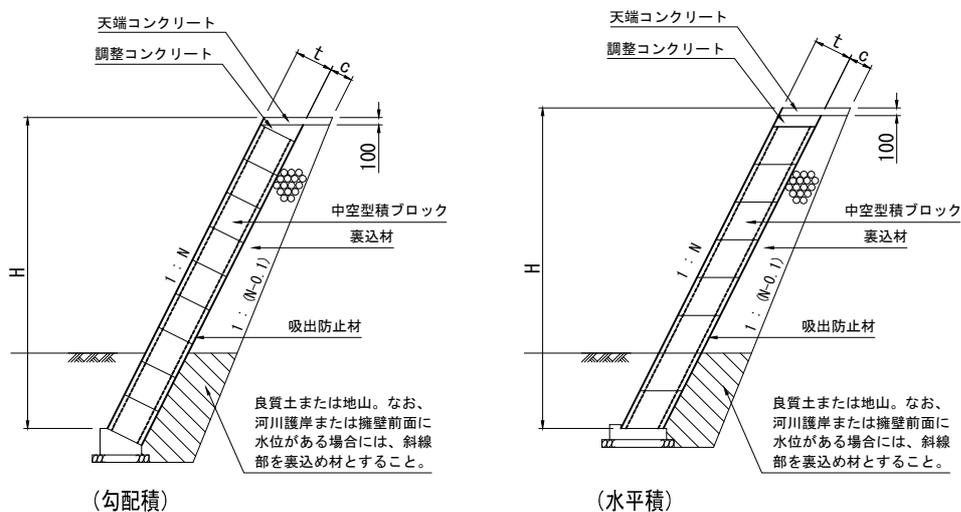
面	控え
±5	+10, -5

### 特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・表面模様は自由とする。
- ・ブロック1個当りの法面積(法長方向)は  $0.5 \text{ m}^2$  以上とする。
- ・水平積構造もこれに含む。

### 参考図表

### 標準構造図



裏込め材厚さ (mm)	C
裏込め材が良好な場合	200
裏込め材が普通な場合	300

名称

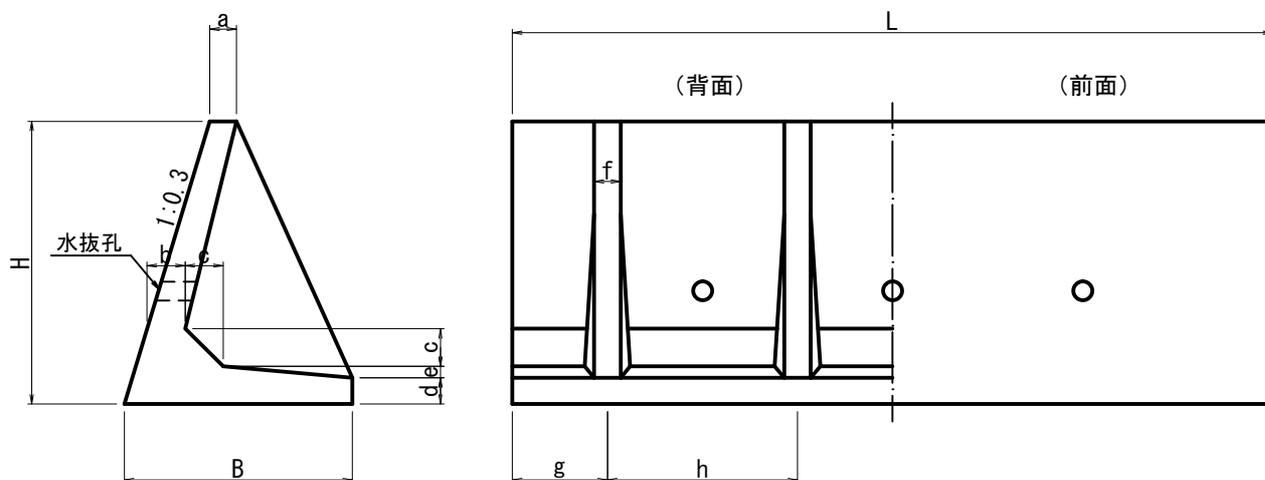
# 法先ブロック

標準設計番号

共-VII-1

工種記号

NW

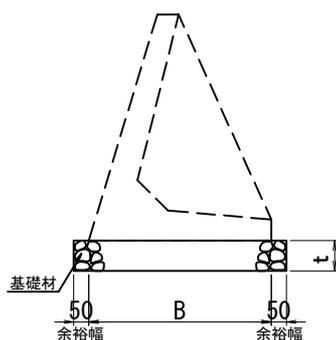


呼び名	寸法 (mm)											参考質量 (kg)
	H	B	a	b	d	c	e	f	g	h	L	
500	500	450	70	70	70	70	-	70	250	500	2000 1000	355 178
750	750	600	70	100	70	100	30	70	250	500	2000 1000	644 322
許容差	±3					-					+5, -3	-

## 特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ L寸法については、500mmとすることができる。この場合、控壁は中央に1箇所設けること。

## 参考図表

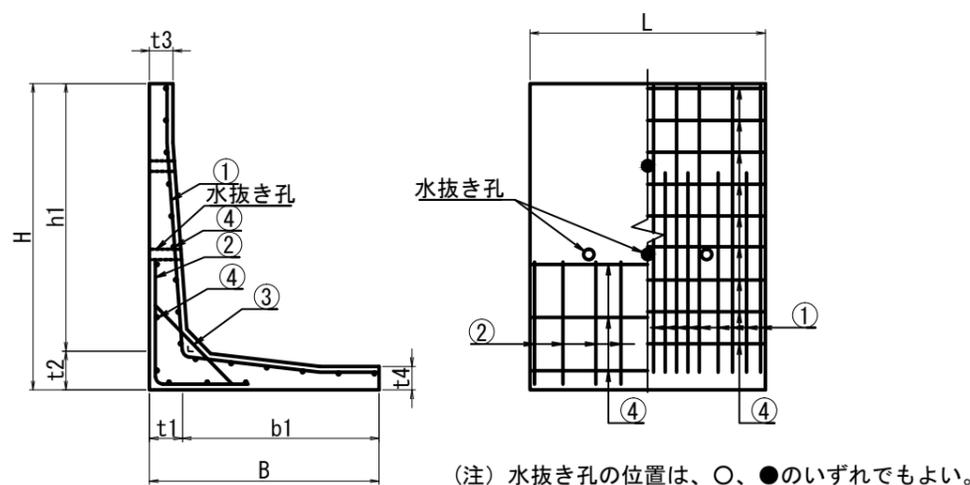


## 参考数量

延長1m当り

項目	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
呼び名			
500	50	100	0.055
750			0.070

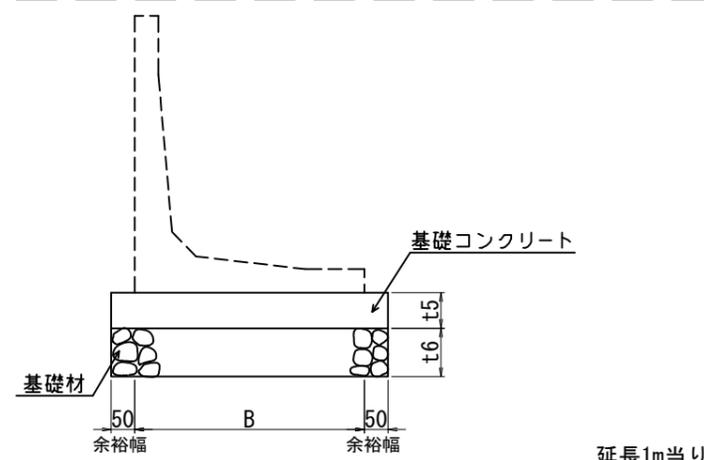
名称	L型擁壁	標準設計番号	共-VII-2
		工種記号	LW



特記事項

- ・  $\sigma_c k = 30N/mm^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295Aとする。
- ・ 底版にグラウト注入用の小径の孔を設けることができる。

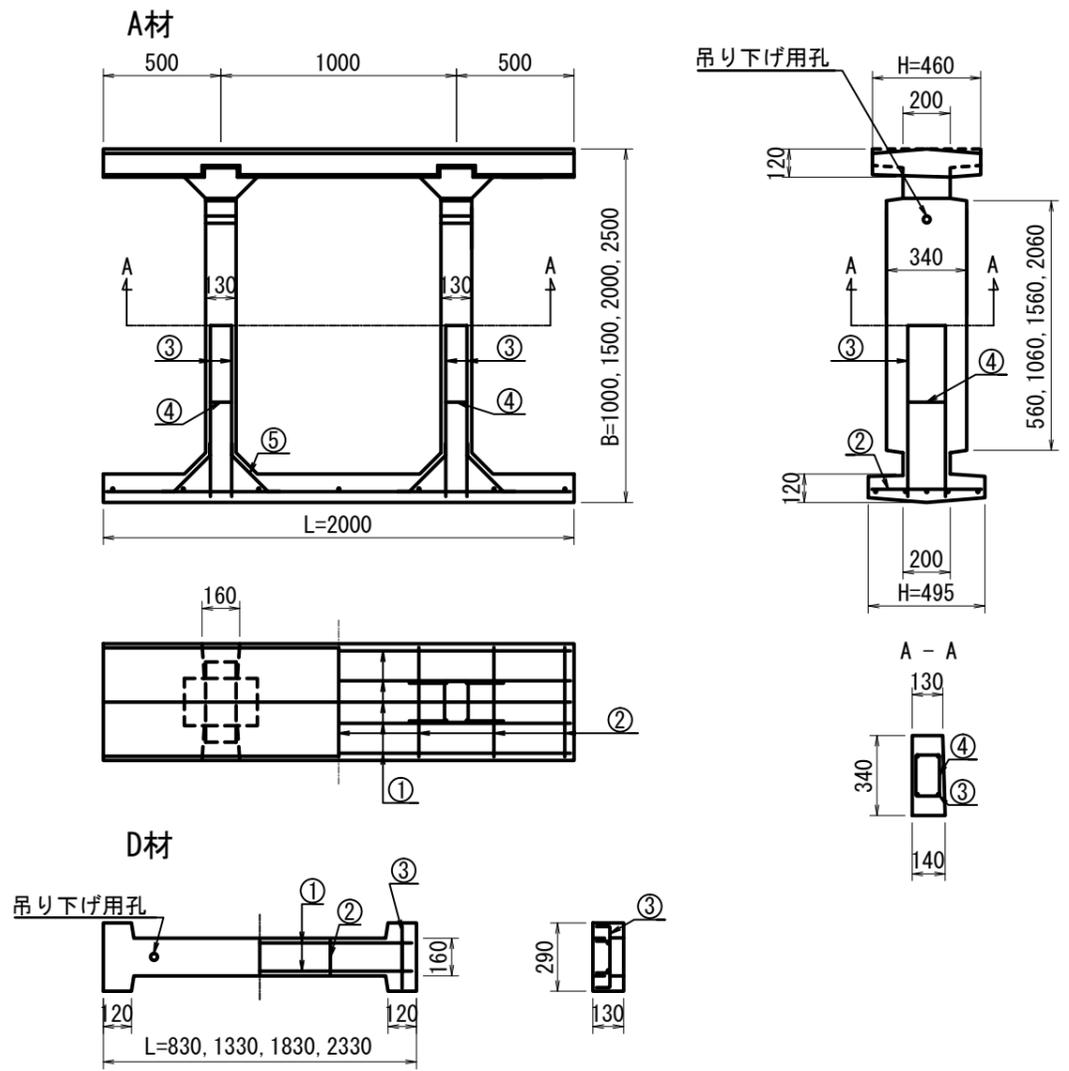
参考図表



呼び名	寸法 (mm)										鉄筋				参考質量 (kg)
	H	B	h1	b1	t1	t2	t3	t4	L	①		④			
										径	本数	径	本数		
1000	AI	800	700							D6	21	D6	11	1750	
	AII	1000	900							D6	21	D6	11	1950	
	BI	850	750	100	100	100	100	4000	D6	29	D6	15	1800		
	BII	1200	1100							D6	29	D6	15	2150	
1500	CI	1250	1150							D6	33	D6	17	2200	
	AI	1050	925							D10	21	D10	11	2740	
	AII	1300	1175							D10	21	D10	11	2990	
	BI	1200	1075	125	125	100	100	4000	D10	25	D10	13	2890		
2000	BII	1400	1275							D10	25	D10	13	3090	
	CI	1550	1425							D10	33	D10	17	3240	
	AI	1300	1150							D10	33	D10	17	3930	
	AII	1550	1400							D10	33	D10	17	4180	
2500	BI	1500	1350	150	150	100	100	4000	D10	41	D10	21	4130		
	BII	1700	1550							D10	41	D10	21	4330	
	CI	1850	1700							D13	29	D13	15	4480	
	AI	1600	1420							D13	26	D13	14	5460	
3000	AII	1800	1620							D13	26	D13	14	5660	
	BI	2500	1750	180	180	100	100	4000	D13	34	D13	18	5610		
	BII	2000	1820							D13	34	D13	18	5860	
	CI	2150	1970							D13	42	D13	22	6010	
3500	AI	1850	1625							D13	34	D13	18	7500	
	AII	2100	1875							D13	34	D13	18	7750	
	BI	3000	2050	225	225	100	100	4000	D13	42	D13	22	7700		
	BII	2300	2075							D13	42	D13	22	7950	
4000	CI	2450	2225							D16	34	D16	18	8100	
	AI	2150	1850							D13	17	D13	9	6110	
	AII	2350	2050							D13	17	D13	9	6260	
	BI	3500	2050	300	300	150	150	2000	D13	21	D13	11	6260		
4500	BII	2600	2300							D13	21	D13	11	6450	
	CI	2700	2400							D16	17	D16	9	6520	
	AI	2400	2100							D16	17	D16	9	6670	
	AII	2600	2300							D16	17	D16	9	6820	
5000	BI	4000	2350	300	300	150	150	2000	D16	21	D16	11	6860		
	BII	2900	2600							D16	21	D16	11	7050	
	CI	3000	2700							D16	25	D16	13	7120	
	許容差	+10 -5	—			+5 -2		+10 -5						—	

呼び名	項目	基礎コンクリート リート余裕幅 (mm)	基礎コンクリート リート厚 t5 (mm)	コンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠 面積 (m <sup>2</sup> )	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t6 (mm)	基礎材
								(m <sup>3</sup> )
1000	AI	50	100	0.090	0.200	50	200	0.180
	AII			0.110	0.200			0.220
	BI			0.095	0.200			0.190
	BII			0.130	0.200			0.260
1500	CI	50	100	0.135	0.200	50	200	0.270
	AI			0.115	0.200			0.230
	AII			0.140	0.200			0.280
	BI			0.130	0.200			0.260
2000	BII	50	100	0.150	0.200	50	200	0.300
	CI			0.165	0.200			0.330
	AI			0.140	0.200			0.280
	AII			0.165	0.200			0.330
2500	BI	50	150	0.160	0.200	50	200	0.320
	BII			0.180	0.200			0.360
	CI			0.195	0.200			0.390
	AI			0.255	0.300			0.340
3000	AII	50	150	0.285	0.300	50	200	0.380
	BI			0.278	0.300			0.370
	BII			0.315	0.300			0.420
	CI			0.338	0.300			0.450
3500	AI	50	150	0.293	0.300	50	200	0.390
	AII			0.330	0.300			0.440
	BI			0.323	0.300			0.430
	BII			0.360	0.300			0.480
4000	CI	50	150	0.383	0.300	50	200	0.510
	AI			0.338	0.300			0.450
	AII			0.368	0.300			0.490
	BI			0.368	0.300			0.490
4500	BII	50	150	0.405	0.300	50	200	0.540
	CI			0.420	0.300			0.560
	AI			0.375	0.300			0.500
	AII			0.405	0.300			0.540
5000	BI	50	150	0.413	0.300	50	200	0.550
	BII			0.450	0.300			0.600
	CI			0.465	0.300			0.620
	AI			0.375	0.300			0.500

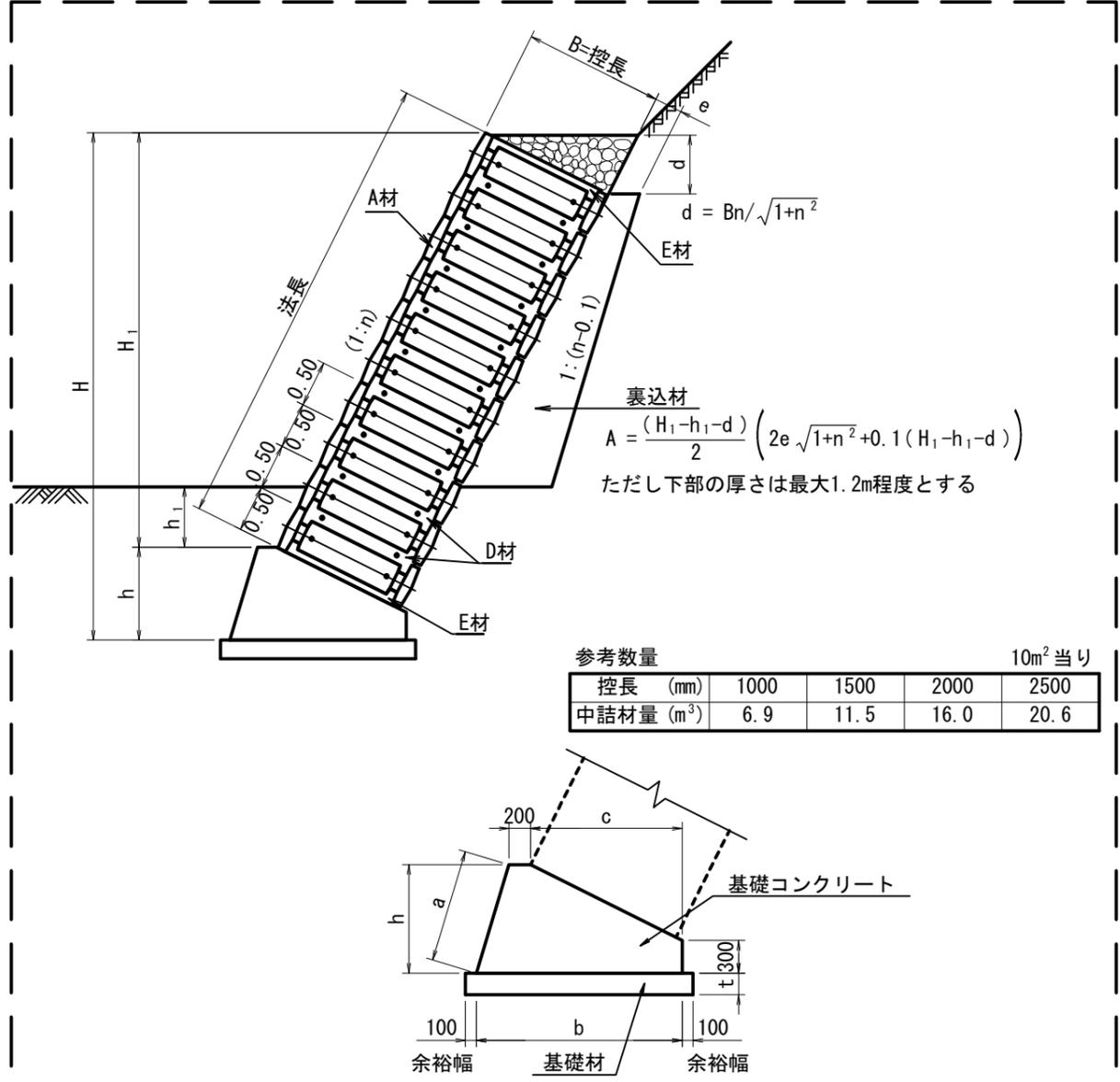
名称	井桁擁壁(フレーム型)	標準設計番号	共-VII-4
		工種記号	IW



呼び名	寸法 (mm)	鉄筋										参考 質量 (Kg)
		①		②		③		④		⑤		
A材	B	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
	1000											
	1500	D10	10	D10	14	D10	8	5		D10	16	
	2000											
D材	1000											52
	1500	D10	2	5	2							77
	2000											102
	2500											127
許容差 (mm)		B±3、H±3、L±5										

特記事項  
 ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。  
 ・ 鉄筋は、SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

参考図表



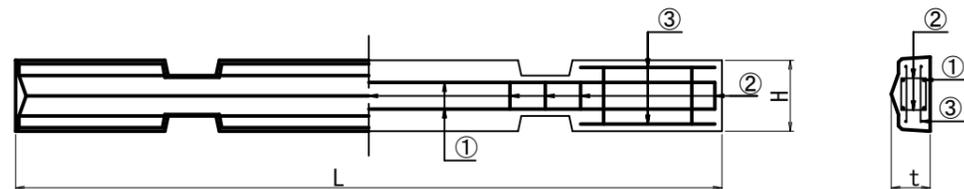
控長 (mm)	項目 n	h (mm)	a (mm)	b (mm)	c (mm)	基礎コン クリート (m <sup>3</sup> )	基礎 型枠面積 (m <sup>2</sup> )	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
1000	0.3	600	608	1300	1000	0.600	0.908	100	200	0.300
	0.4	680	687	1250	950	0.636	0.987			0.290
	0.5	750	776	1300	900	0.698	1.076			0.300
1500	0.3	750	757	1800	1500	0.975	1.057	100	200	0.400
	0.4	860	883	1800	1400	1.070	1.183			0.400
	0.5	1000	1044	1900	1400	1.260	1.344			0.420
2000	0.3	900	906	2300	2000	1.425	1.206	100	200	0.500
	0.4	1060	1089	2350	1900	1.637	1.389			0.510
	0.5	1200	1265	2400	1800	1.830	1.565			0.520
2500	0.3	1020	1031	2750	2400	1.865	1.331	100	200	0.590
	0.4	1240	1276	2850	2350	2.244	1.576			0.610
	0.5	1450	1534	3000	2300	2.665	1.834			0.640

名称	井桁擁壁(組合せ型)	標準設計番号	共-VII-5
		工種記号	IC

I 型

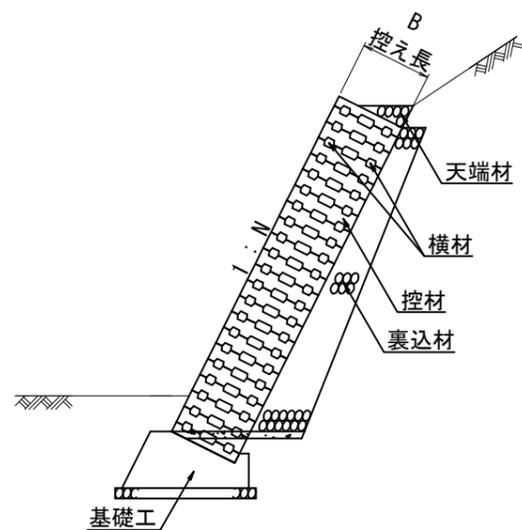
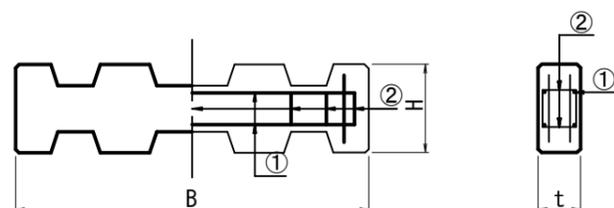
横材

A材



控材

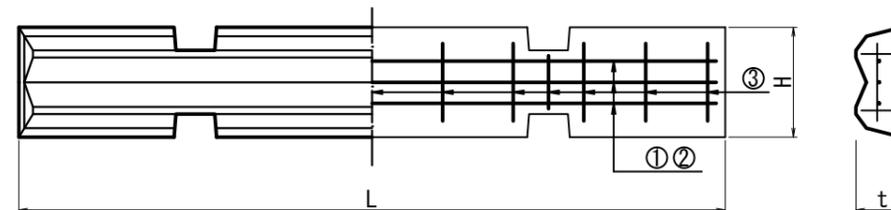
B材



II 型

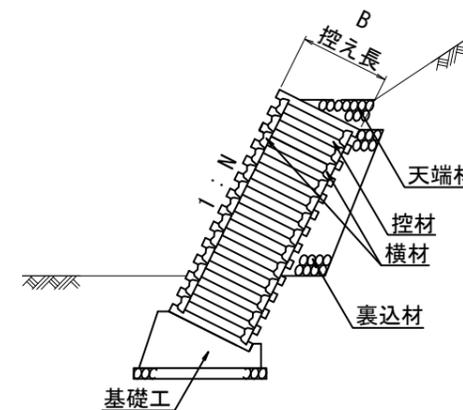
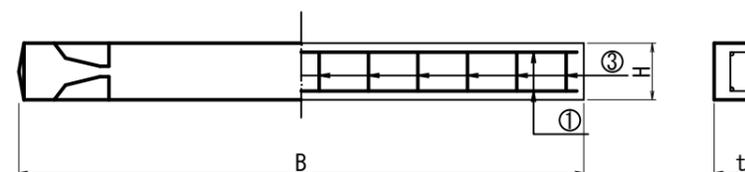
横材

A材



控材

Dc材



呼び名		寸法 (mm)				鉄筋						参考質量 (kg)	
		L	B	t	H	①		②		③			
						径	本数	径	本数	径	本数		
I 型	A材	A-1	2000	—	110	210	D10	4	5.0	9	5.0	8	86
		A-2	1250							8			52
		A-3	2250							12			95
	B材	B-1	—	1000	120	250	D10	4	5.0	7	—	—	54
		B-2	—	1660						9			106
		B-3	—	2320						12			150
II 型	A材	A-1	2000	—	150	310	D10	3	D6	3	5.0	26	176
		A-1	1000									7	52
	Dc材	1660	—	1660	—	—	—	—	—	—	—	10	87
許容差		+5,-3	+5,-3	+5,-3	+5,-3	—						—	

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

名称

境界標

標準設計番号

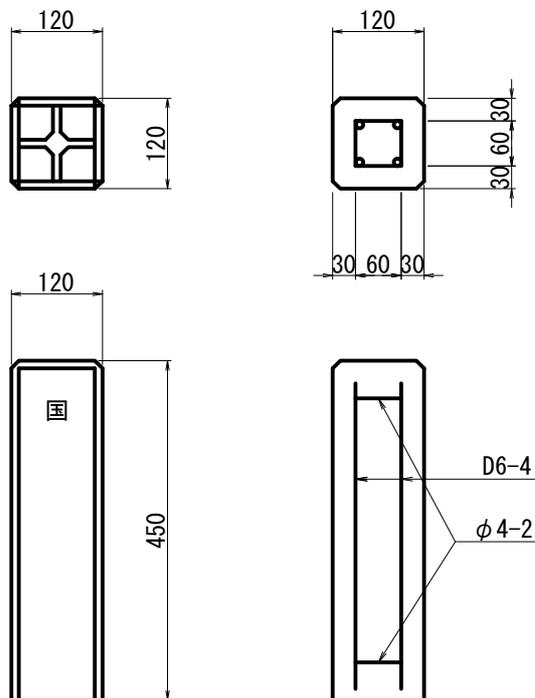
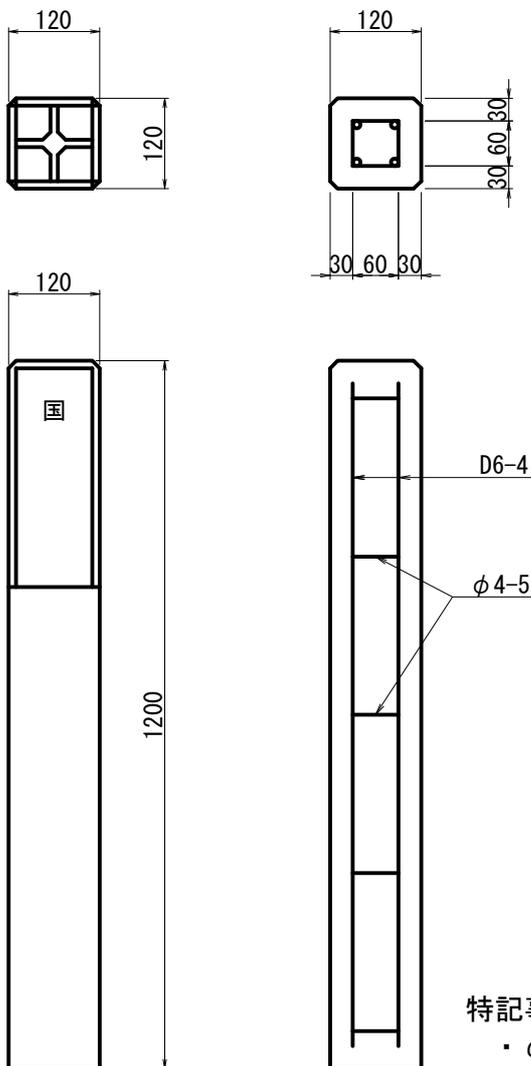
共-Ⅷ-2

工種記号

K

I 型

II 型

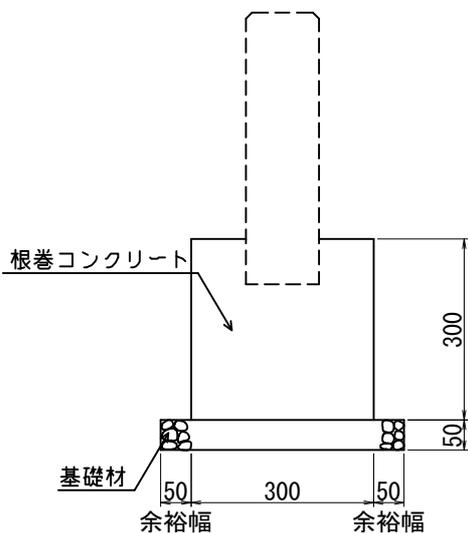


呼び名	I 型	II 型
参考質量 (kg)	39	15
許容差 (mm)	幅	±2
	長さ	+5, -2

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

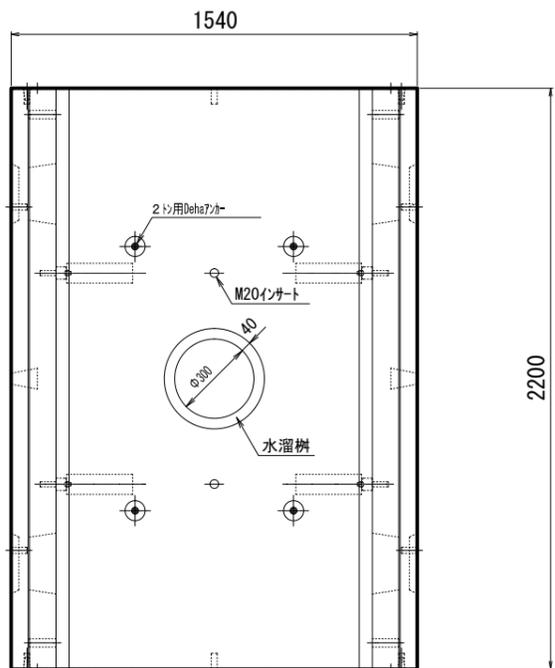
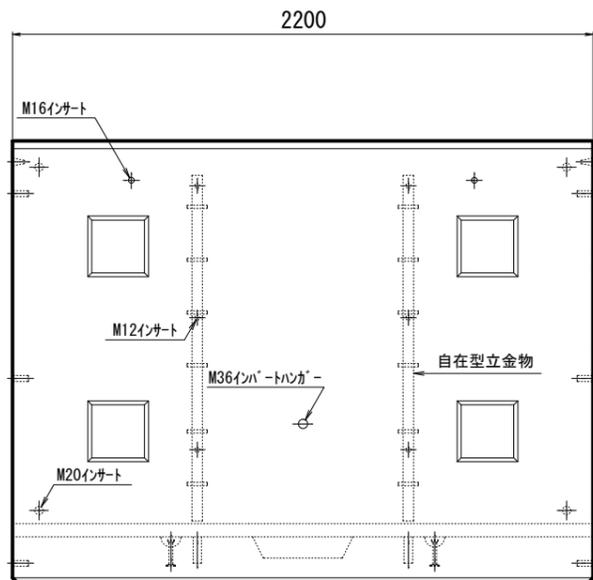
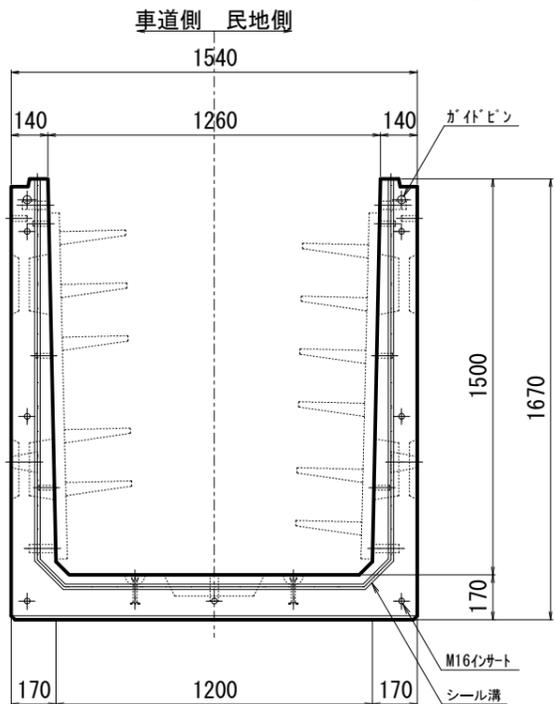
参考図表



項目 呼び名	コンクリート ( $\text{m}^3$ )	型枠面積 ( $\text{m}^2$ )	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	1本当り
					基礎材 ( $\text{m}^3$ )
II 型	0.027	0.360	50	50	0.008

名称	電線共同溝 (CCBOX)	標準設計番号	共-VIII-3
		工種記号	CCBX

分岐接続部 I 型

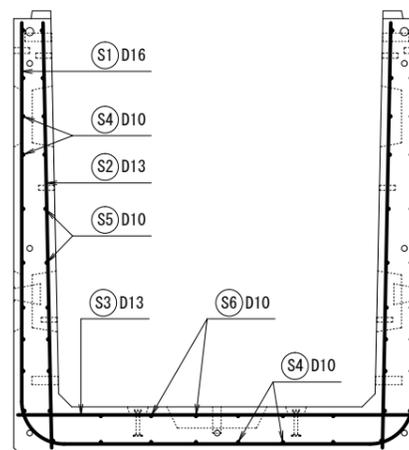


許容差

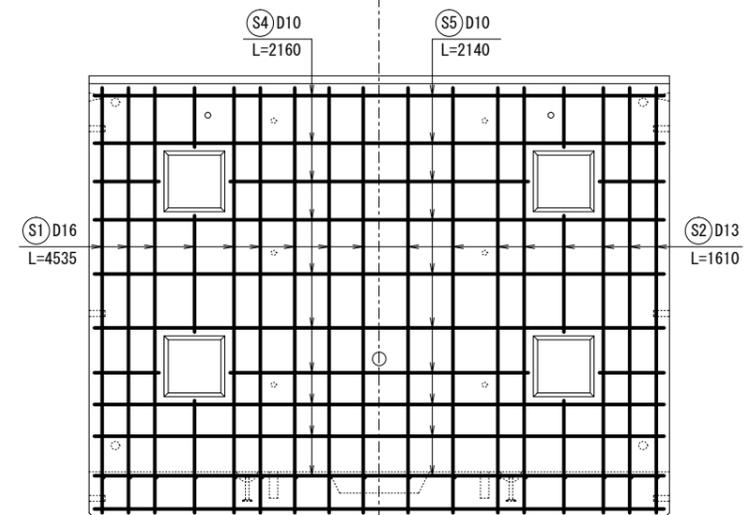
幅・高さ	長さ	部材厚さ
±5	+10,-5	+4,-3

製品参考質量 3850kg

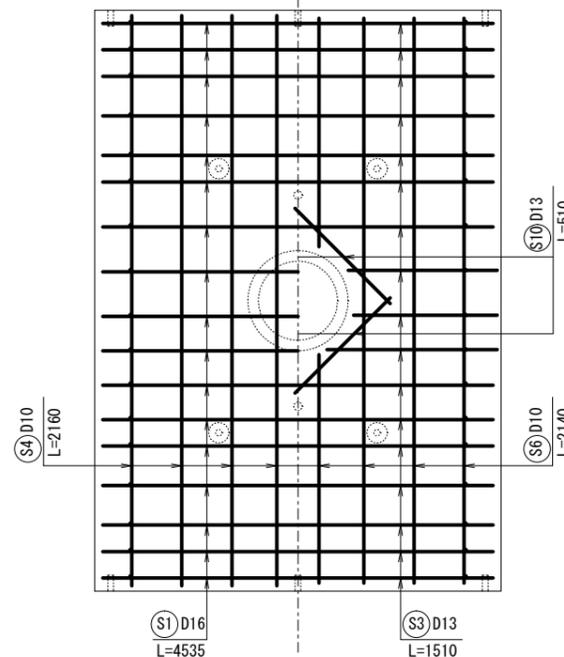
断面図



側壁



底板



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単重 (kg)	重量 (kg)
S1	D16	4535	17	1.560	117.023
S2	D13	1610	34	0.995	52.397
S3	D13	1510	17	0.995	24.511
S4	D10	2160	28	0.560	32.659
S5	D10	2140	20	0.560	22.758
S6	D10	2140	6	0.560	6.731
S10	D13	510	4	0.995	2.030
合計					
	D16				117.023
	D13				78.938
	D10				62.148
	総合計				258.109

特記事項

・構造の詳細は以下による。

電線共同溝マニュアル (案)

電線共同溝マニュアル (案) 改訂版

電線共同溝 (技術) マニュアル (改訂案)

H12.11 建設省北陸地方建設局

H16.10 国土交通省北陸地方整備局

H27.10 北陸地方無電柱化協議会

・  $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$  以上。

・ 鉄筋はSD295A及びJIS A 3532に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線とする。

・ 柵には他に低圧分岐柵、横断柵、柱体接続柵、通信接続柵、特殊部II型などがある。

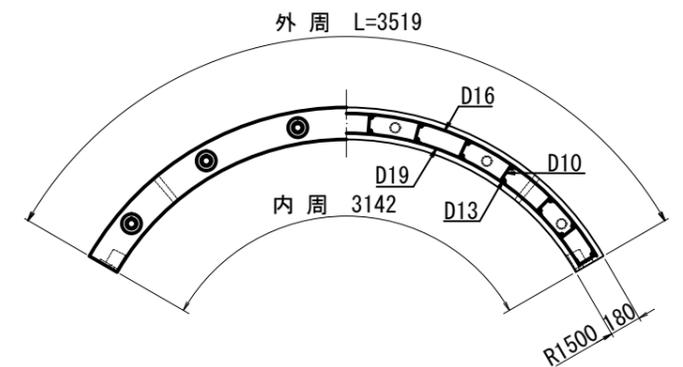
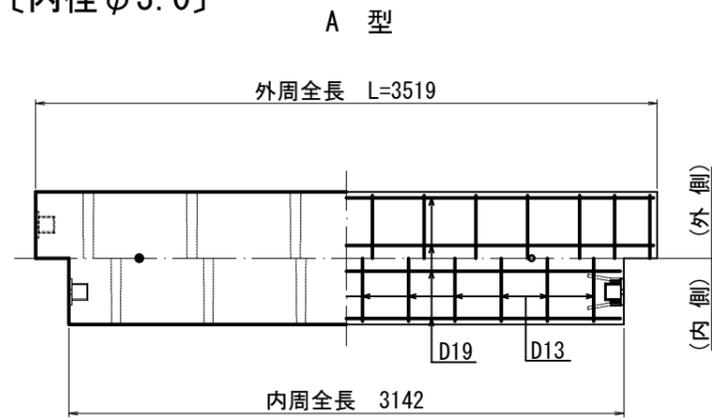
・ それらの製品図はH16.10国土交通省北陸地方整備局 電線共同溝マニュアル (案) 改訂版による。

・ 旧タイプ (4期) 製品は電線共同溝マニュアル (案) (H12.11 建設省北陸地方建設局) による。

名称	組立集水井筒	標準設計番号	共-Ⅷ-4
		工種記号	砂-集水

一般構造図 (内径φ3.5)

自重沈下方式  
〔内径φ3.0〕

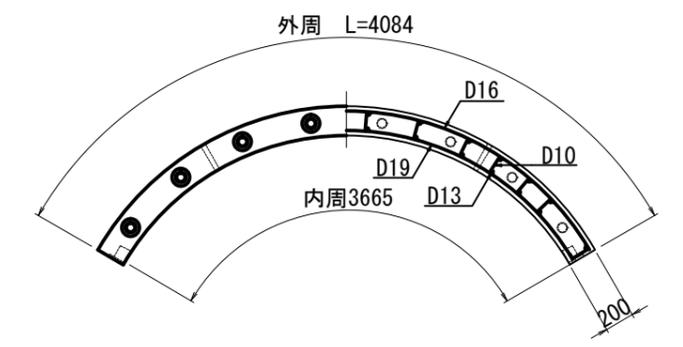
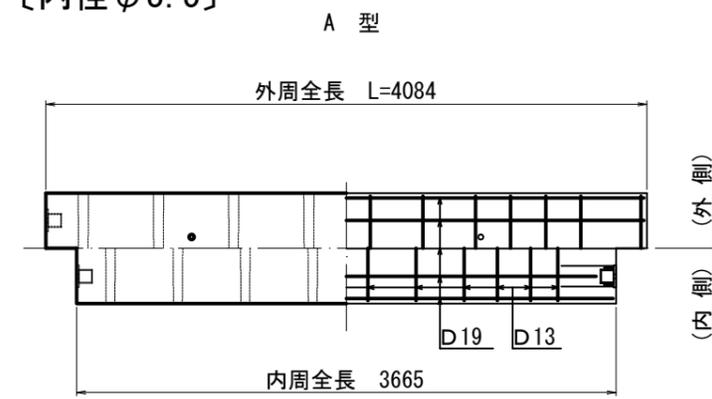


自沈方式	タイプ	参考質量(kg)
	A型	1040
	B型	1040
	C型	815

寸法許容差

L	H	t
±3	±3	±3

〔内径φ3.5〕

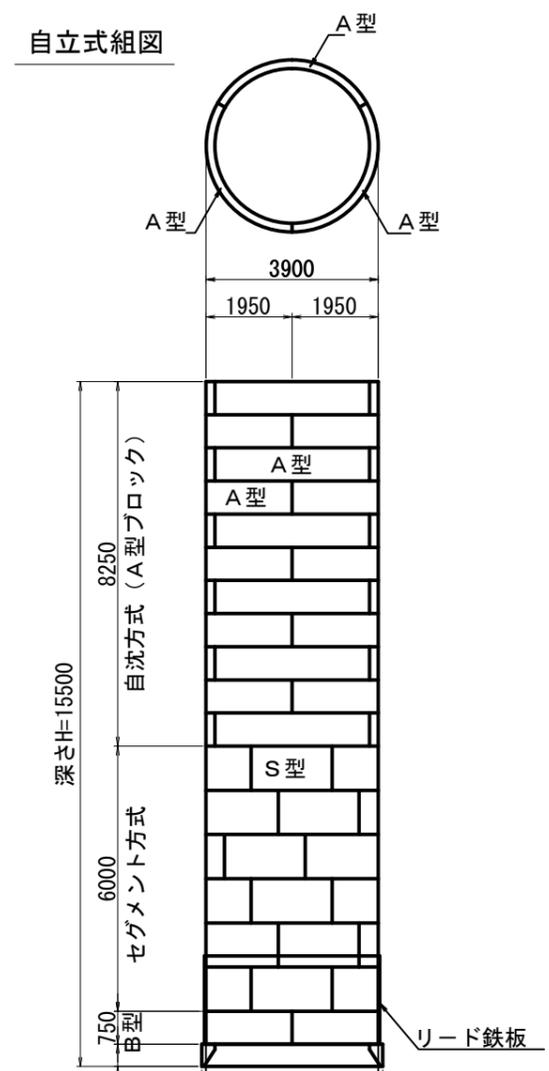


自沈方式	タイプ	参考質量(kg)
	A型	1340
	B型	1360
	C型	1030

寸法許容差

L	H	t
±3	±3	±3

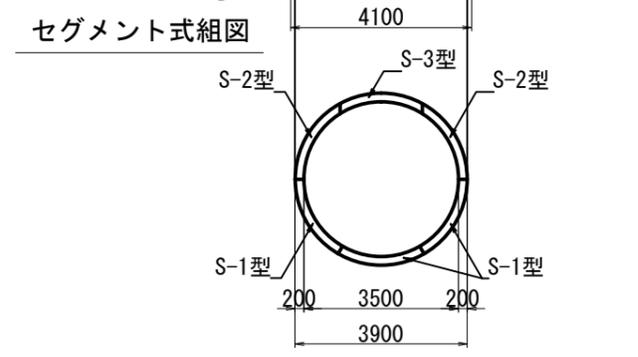
自立式組図



縦方向挿入鉄筋径

内径(m)	径	本数
φ 3.0	D16	18本
φ 3.5	D19	24本

セグメント式組図



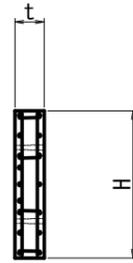
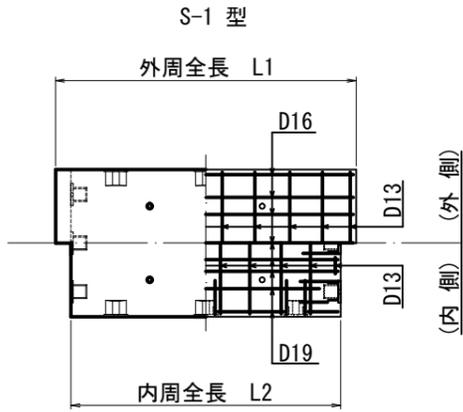
特記事項

- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k=40N/mm^2$  以上。
- ・鉄筋は、SD295Aとする。ただし、自沈方式に用いる縦方向挿入鉄筋はSD345とする。

名称	組立集水井筒	標準設計番号	共-Ⅷ-4
		工種記号	砂-集水

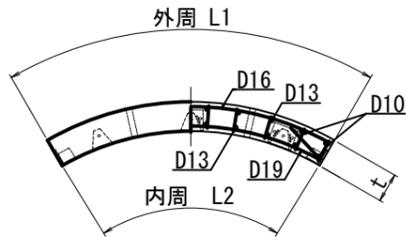
セグメント方式

[内径φ3.0・φ3.5]

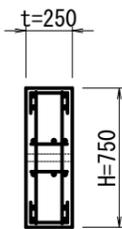
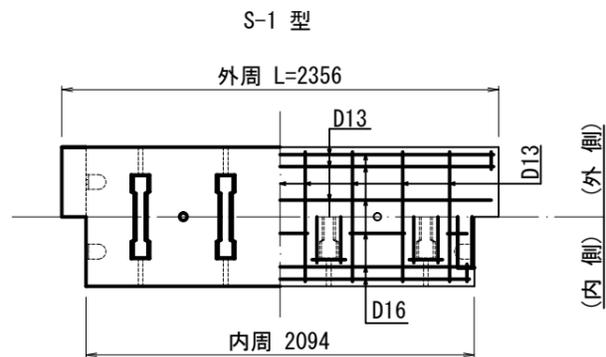


タイプ	参考質量 (kg)	
	内径φ3.0	内径φ3.5
S-1型	515	900
S-2型	515	900
S-3型	515	905

	寸法 (mm)			
	L1	L2	H	T
内径φ3.0	1759	1571	750	180
内径φ3.5	2042	1833	1000	200
寸法許容差	±3	-	±3	±3

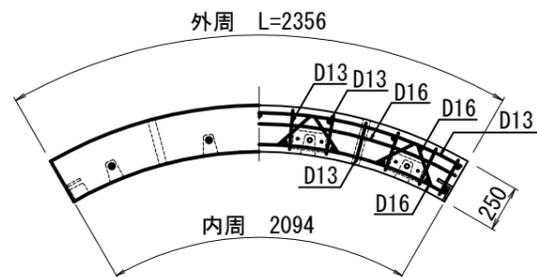


[内径φ4.0]



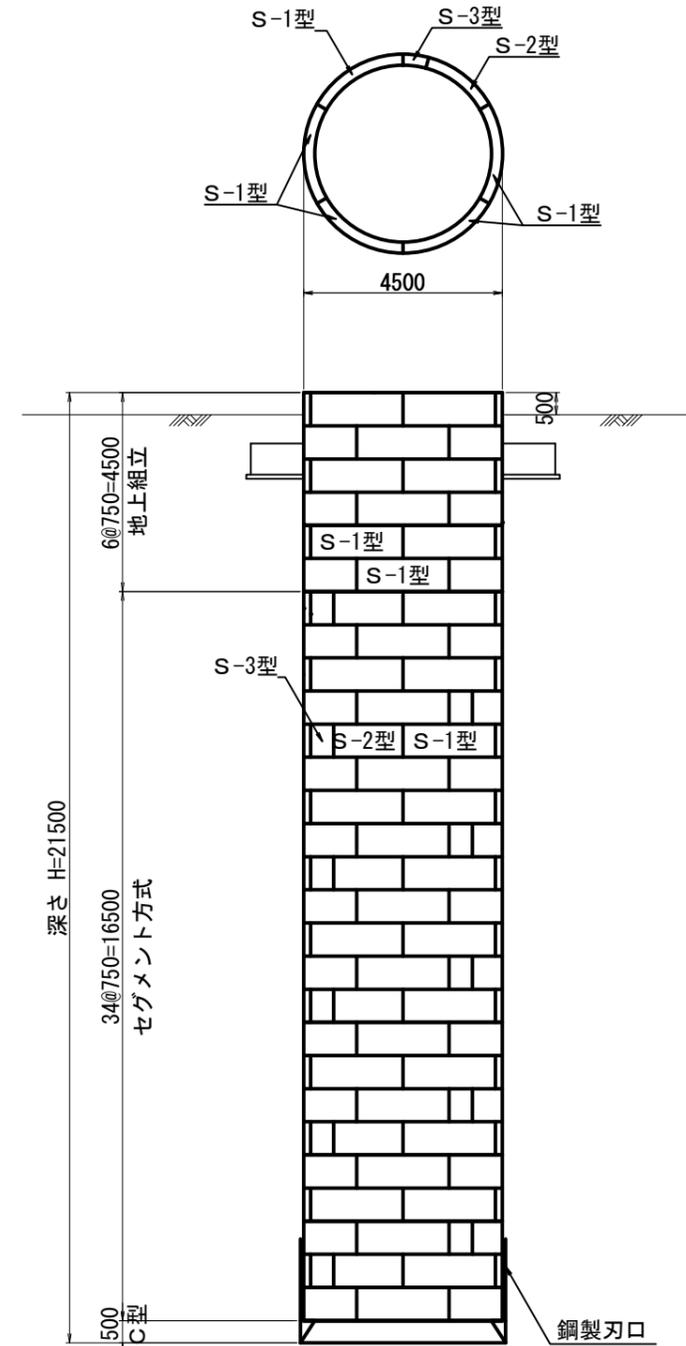
タイプ	参考質量 (kg)
S-1型	1040
S-2型	780
S-3型	260

寸法許容差		
L	H	t
±3	±3	±3



一般構造図 (内径φ4.0)

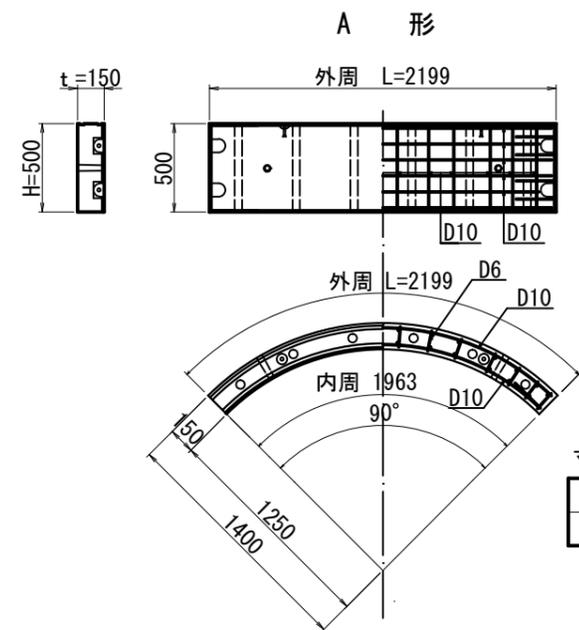
セグメント式組図



特記事項

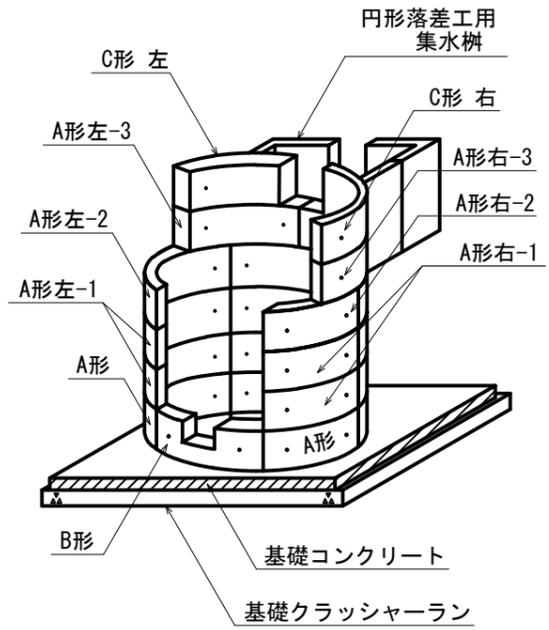
- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k = 40N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295Aとする。
- ・セグメント方式の連結は、M22高カメッキボルト を使用する。

名称	円形落差工	標準設計番号	共-Ⅷ-5
		工種記号	砂-落差工

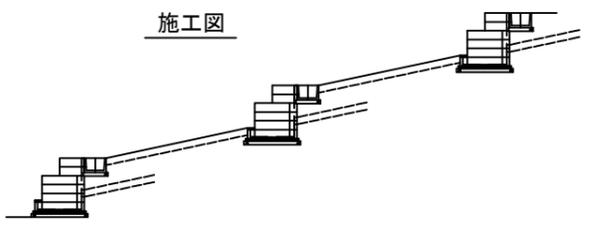


寸法許容差

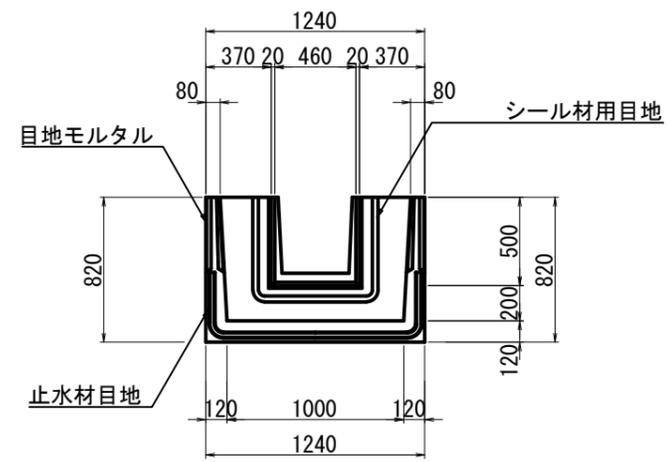
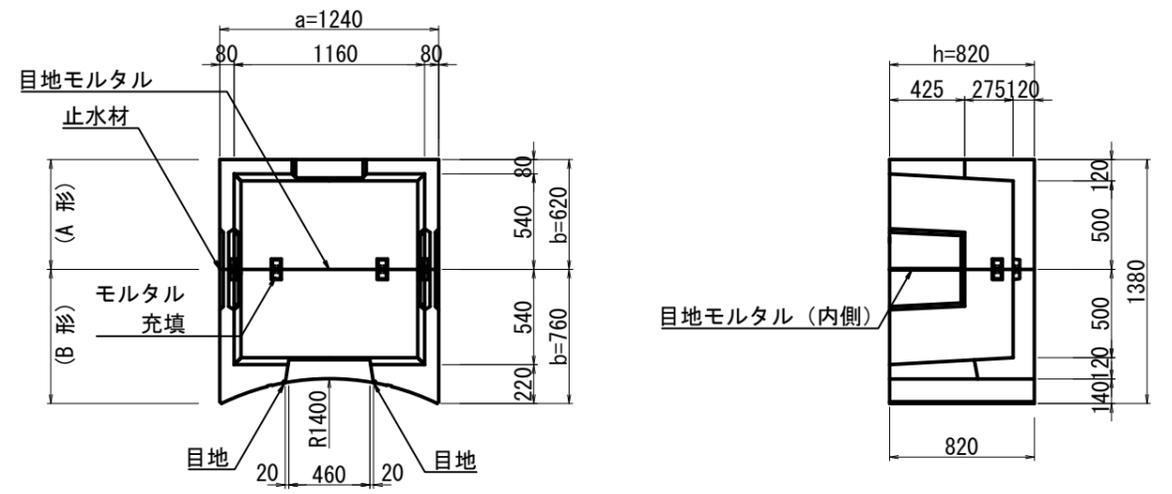
L	H	t
±5	±5	±5



呼び名	参考質量 (kg/ヶ)	数量
A形	360	4
A形 右-1	360	2
A形 左-1	360	2
A形 右-2	360	1
A形 左-2	360	1
A形 右-3	360	1
A形 左-3	360	1
A形 暗渠 上	335	1
A形 暗渠 下	335	1
B形	315	1
C形 右	320	1
C形 左	320	1



円形落差工用集水樹



参考質量 (kg)

1130
------

寸法許容差

a	b	h
+3, -2	+3, -2	+3, -2

特記事項

- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=30N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295Aとする。
- ・施工は、組立挿入鉄筋(D16)を挿入し、グラウトを充填する。
- ・円形落差工本体と集水樹との連結は、ボルトを使用する。
- ・基礎コンクリートは、現場打ちとする。

参考図表

項目	参考数量					1基当り	
	基礎寸法 (m)	基礎厚さ (mm)	基礎材厚さ (mm)	基礎材余裕幅 (mm)	底張コンクリート厚さ (mm)	基礎型枠面積 (m <sup>2</sup> )	基礎
呼び名	3.0×3.0	150	200	100	100	1.800	基礎
H = 2.0m							
H = 2.5m							
H = 3.0m							

項目	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎材 (本体) (m <sup>3</sup> )	基礎材 (集水樹) (m <sup>3</sup> )	底張コンクリート (m <sup>3</sup> )	垂直鉄筋		
					鉄筋径	鉄筋量 (kg)	
呼び名	1.350	2.048	0.404	0.491	D16 (SD345)	H = 2.0m	73
H = 2.5m						89	
H = 3.0m						103	

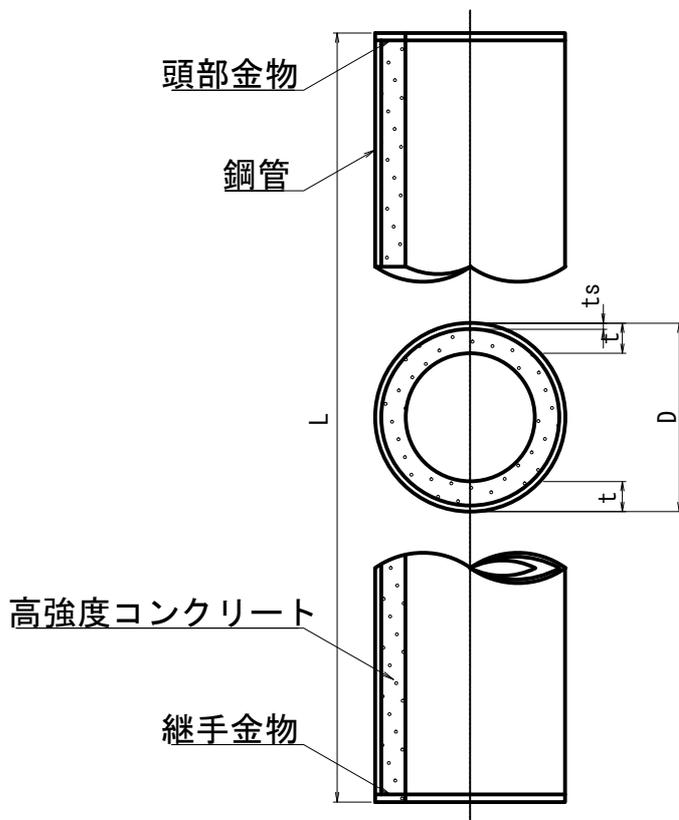
# SCくい

標準設計番号

-

工種記号

-



呼び径 D (mm)	厚さ t (mm)	くい長さ L (m)	鋼管厚 ts (mm)	参考質量 (kg/m)
400	65	5~15	4.5~12	200~250
450	70	5~15	4.5~14	240~300
500	80	5~15	4.5~16	300~390
600	90	5~15	4.5~16	410~520
700	100	5~15	6~22	540~720
800	110	5~15	6~22	680~880

寸法の許容差 (mm)

区分	外径	厚さ	長さ
くい外径	±0.5%	+規定せず, -0	+70, -30

**特記事項**

- ・  $\sigma_{ck} = 80\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 金物は、SM400・490、鋼管はSKK400・490とする。

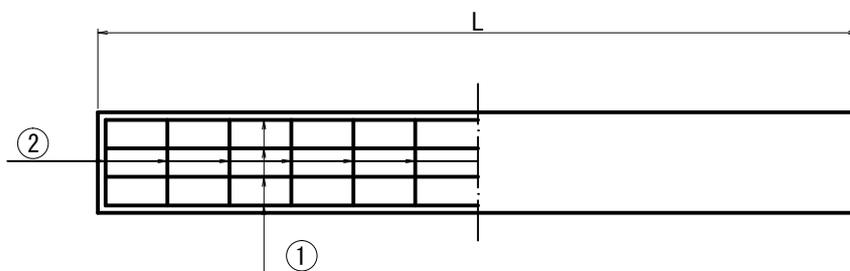
# コンクリート基礎版

標準設計番号

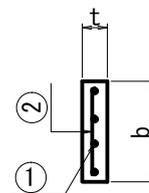
-

工種記号

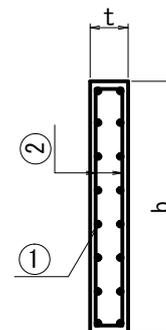
-



一般用



大型用



呼び名	寸法 (mm)			鉄筋				参考質量 (kg)
				①		②		
	b	t	L	径	本数	径	本数	
一般用	400	100	3100	D16	4	D10	13	298
大型用	1000 (2000)	150	3000	D13	16 (30)	D10	13	1120 (2250)
許容差	±5	+10, -5		-				-

## 特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295Aとする。

名称

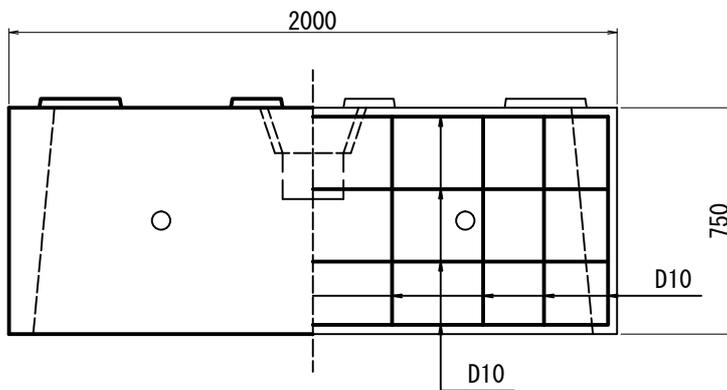
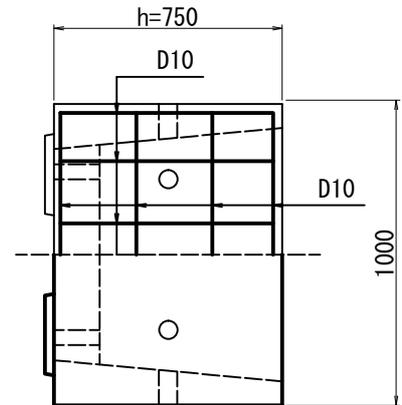
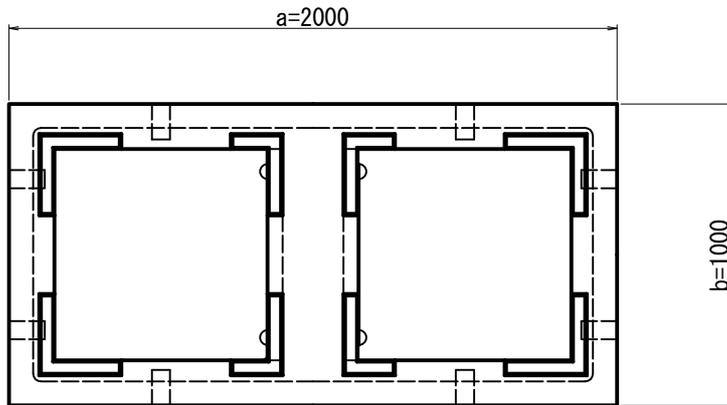
災害用土留ボックス

標準設計番号

-

工種記号

-



参考質量 (kg)

1170

寸法許容差

a	b	h
±5	±3	±5

特記事項

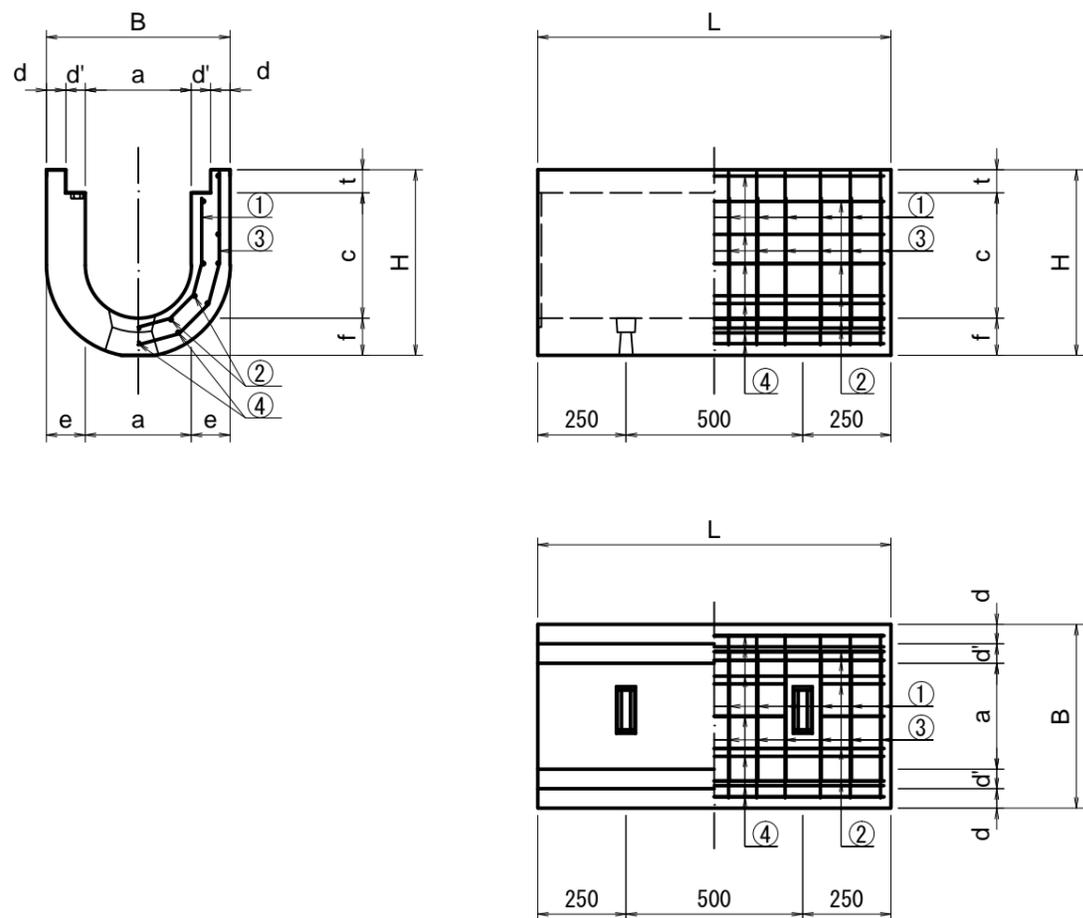
- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋はSD295Aとする。
- ・ 吊り下げ孔を用いる等、施工に配慮することができる。
- ・ 中詰め材は、現場発生土を使用する。

参考図表

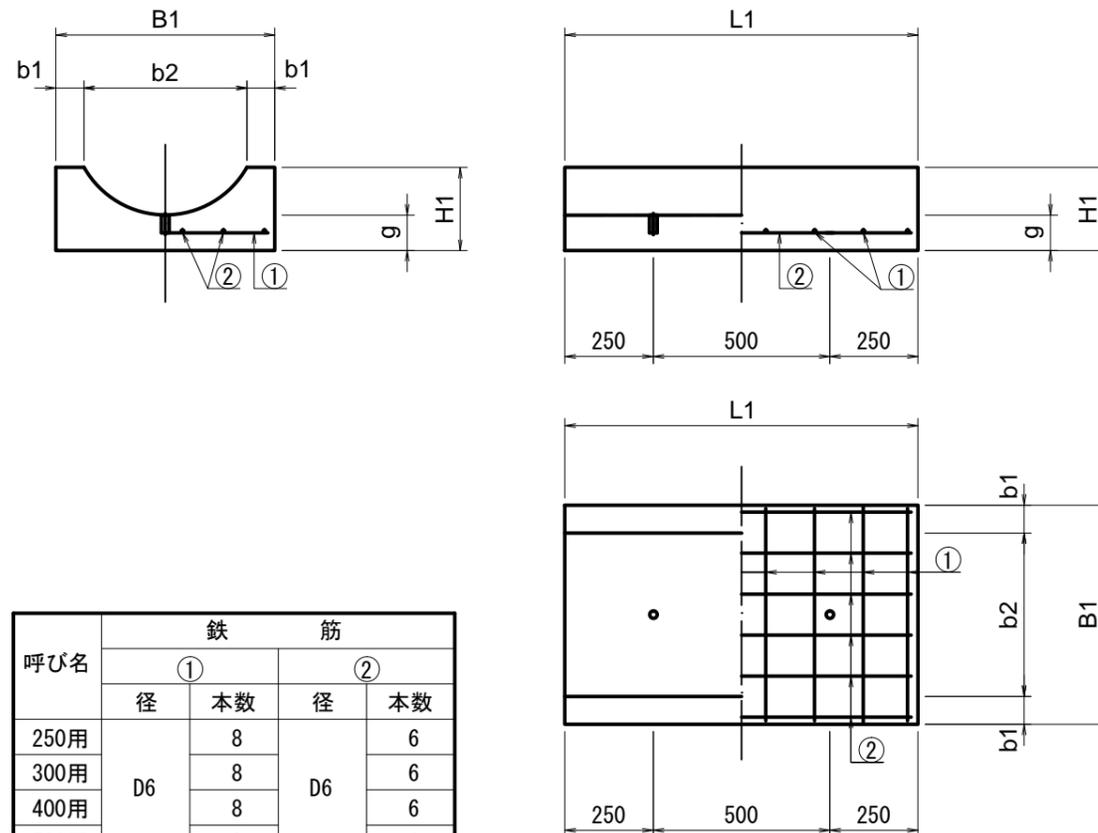
参考数量	1個当り
項目	胴込め 中詰め ( $\text{m}^3$ )
呼び名	
災害用土留ボックス	0.996

名称	勾配対応型横断側溝	標準設計番号	—
		工種記号	—

本体



ベース



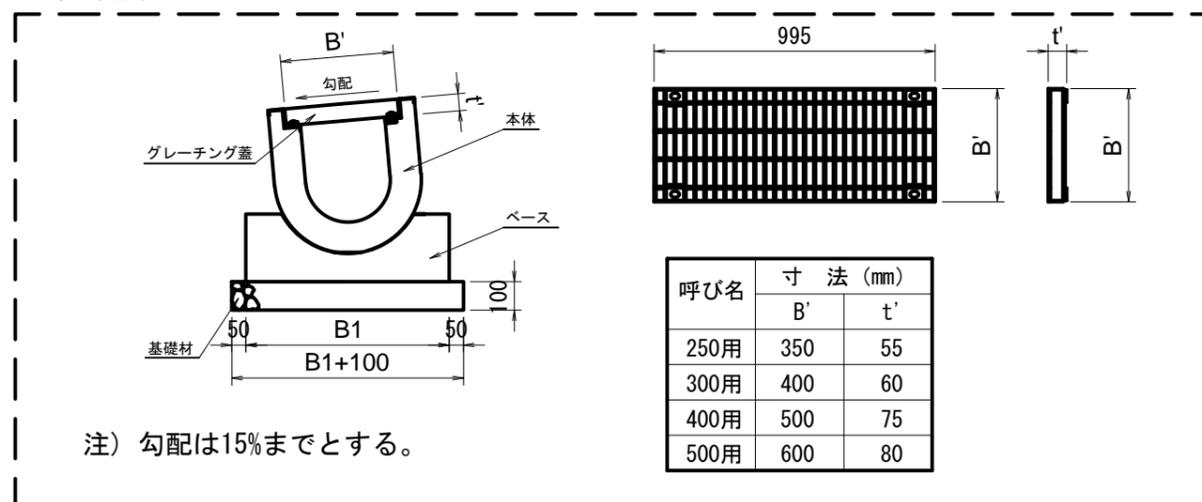
呼び名	鉄筋			
	①		②	
	径	本数	径	本数
250用	D6	8	D6	6
300用		8		6
400用		8		6
500用		8		6

呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)
	B1	b1	b2	H1	g	L1	
250用	560	78	404	215	100	1000 (1500)	212 (314)
300用	620	79	462	235	100	1000 (1500)	245 (368)
400用	730	88	554	260	100	1000 (1500)	304 (456)
500用	850	96	658	290	100	1000 (1500)	378 (567)
許容差	±3					±6	

呼び名	寸法 (mm)										参考質量 (kg)
	B	H	a	c	d	d'	e	f	t	L	
250A	460	455	250	295	50	55	105	100	60	1000 (500)	229 (115)
300A	520	525	300	355	55	55	110	105	65	1000 (500)	295 (148)
300B	520	625	300	455	55	55	110	105	65	1000 (500)	348 (174)
300C	520	725	300	555	55	55	110	105	65	1000 (500)	401 (201)
400A	630	650	400	460	60	55	115	110	80	1000 (500)	423 (212)
500A	750	785	500	580	70	55	125	120	85	1000 (500)	588 (294)
許容差	±3									±6	

呼び名	鉄筋							
	内側				外側			
	①		②		③		④	
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数
250A	D6	10	φ4	9	D6	10	φ4	9
300A		12		9		12		11
300B	D10	8	φ5	11	D10	8	φ5	11
300C		10		11		10		11
400A		8		9		8		11
500A		10		11		10		11

参考図表

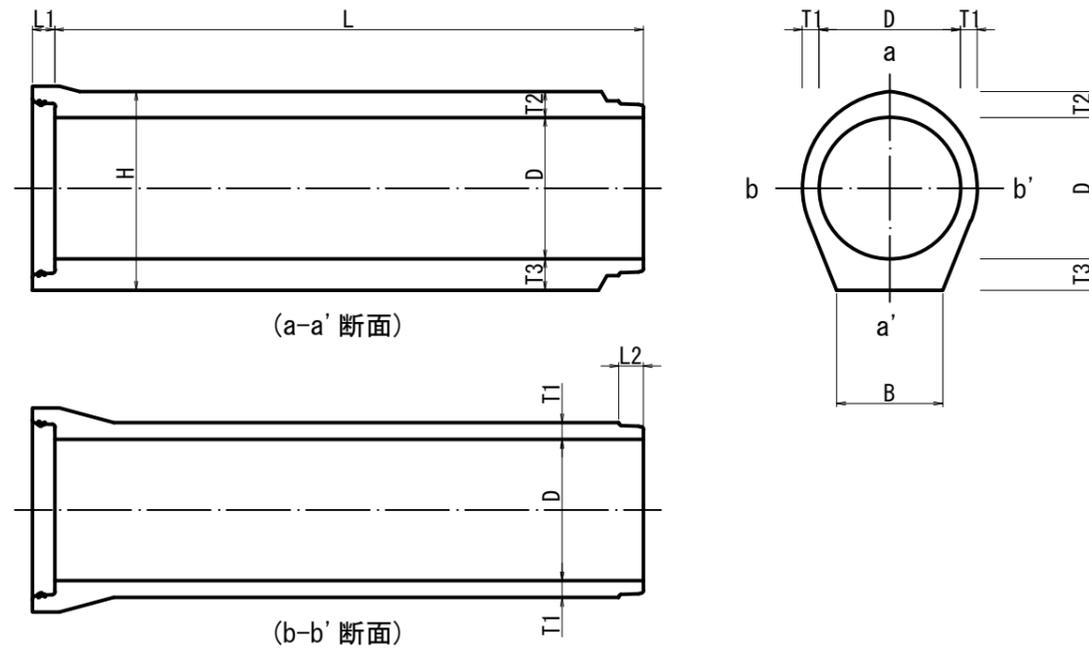


呼び名	寸法 (mm)	
	B'	t'
250用	350	55
300用	400	60
400用	500	75
500用	600	80

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295A 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。

名称	台付鉄筋コンクリート管	標準設計番号	—
		工種記号	—



継手形状 VP形

項目 呼び名	寸法 (mm)									参考質量 (kg)
	D	T1	T2	T3	H	B	L1	L2	L	
VP-150	150	33	48	60	258	120	60	69	1000	66
VP-200	200	38	59	73	332	160	70	76	1000	106
VP-250	250	45	70	84	404	200	69	74	2000	288
VP-300	300	50	69	86	455	240	95	99	2000	381
VP-350	350	54	72	91	513	280	95	101	2000	477
VP-400	400	58	74	98	572	320	95	101	2500	731
VP-450	450	62	96	105	651	360	95	105	2500	893
VP-500	500	65	101	114	715	400	95	105	2500	1,048
VP-600	600	71	110	125	835	450	95	105	2500	1,357
VP-700	700	77	119	136	955	500	110	120	2500	1,686
VP-800	800	83	129	149	1078	550	110	120	2500	2,075
VP-900	900	89	138	163	1201	600	126	136	2500	2,465
VP-1000	1000	95	147	176	1323	650	126	136	2500	2,977
VP-1100	1100	101	157	187	1444	700	126	136	2500	3,340
VP-1200	1200	107	166	200	1566	760	136	146	2500	3,880
許容差	日本下水道協会規格 JSWAS A-9 に準用する									—

- ・ VP台付管は継手部のシーラ材を施工時に管の差し口に装着する構造のもの。
- ・ φ150及びφ200は、日本下水道協会規格 JSWAS A-9の規格外。

継手形状 BZ形

項目 呼び名	寸法 (mm)									参考質量 (kg)
	D	T1	T2	T3	H	B	L1	L2	L	
BZ-250	250	45	70	90	410	200	95	99	2000	320
BZ-300	300	50	69	95	464	240	95	99	2000	390
BZ-350	350	54	72	100	522	280	95	101	2000	476
BZ-400	400	58	74	107	581	320	95	101	2500	720
BZ-450	450	62	96	114	660	360	95	105	2500	892
BZ-500	500	65	101	122	723	400	95	105	2500	1,048
BZ-600	600	71	110	133	843	450	95	105	2500	1,339
BZ-700	700	77	119	147	966	550	110	120	2500	1,731
BZ-800	800	83	129	161	1090	630	110	120	2500	2,149
BZ-900	900	89	138	174	1212	700	126	136	2500	2,603
BZ-1000	1000	95	147	188	1335	780	126	136	2500	3,129
許容差	日本下水道協会規格 JSWAS A-9 に準用する									—

- ・ BZ台付管は継手部のシーラ材が、管の受け口にあらかじめ埋め込まれている構造のもの。

参考図表

普通地盤の場合

30  
100 B 100  
余裕幅 余裕幅  
敷モルタル  
基礎材

継手形状 VP形  
参考数量 延長1m当り

項目 呼び名	敷 モルタル (m <sup>3</sup> )	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
VP-150	0.004	150	0.048
VP-200	0.005	150	0.054
VP-250	0.006	150	0.060
VP-300	0.007	150	0.066
VP-350	0.008	150	0.072
VP-400	0.010	150	0.078
VP-450	0.011	150	0.084
VP-500	0.012	150	0.090
VP-600	0.014	150	0.098
VP-700	0.015	150	0.105
VP-800	0.017	150	0.113
VP-900	0.018	150	0.120
VP-1000	0.020	200	0.170
VP-1100	0.021	200	0.180
VP-1200	0.023	200	0.192

継手形状 BZ形  
参考数量 延長1m当り

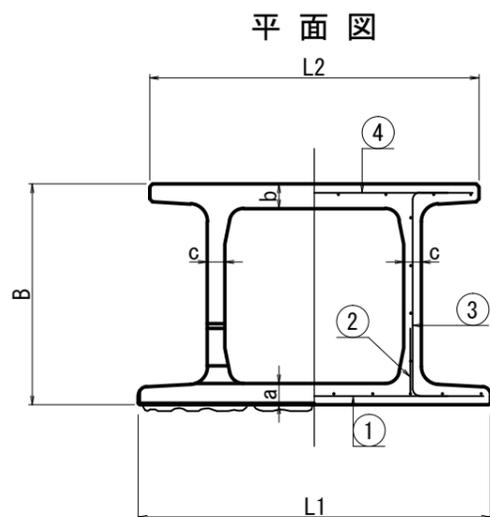
項目 呼び名	敷 モルタル (m <sup>3</sup> )	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
BZ-250	0.006	150	0.060
BZ-300	0.007	150	0.066
BZ-350	0.008	150	0.072
BZ-400	0.010	150	0.078
BZ-450	0.011	150	0.084
BZ-500	0.012	150	0.090
BZ-600	0.014	150	0.098
BZ-700	0.017	150	0.113
BZ-800	0.019	150	0.125
BZ-900	0.021	150	0.135
BZ-1000	0.023	200	0.196

・ 軟弱地盤の場合は、厚さ100mmの基礎材及び厚さ100mmの均しコンクリート(またはベース板)とする。

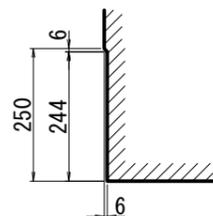
特記事項

- ・ 詳細は、「管・函渠型側溝設計資料集(北陸土木コンクリート製品技術協会)」及び「日本下水道協会規格 JSWAS A-9」による。
- ・ 施工用のアンカー等を設けるなど施工に配慮することができる。

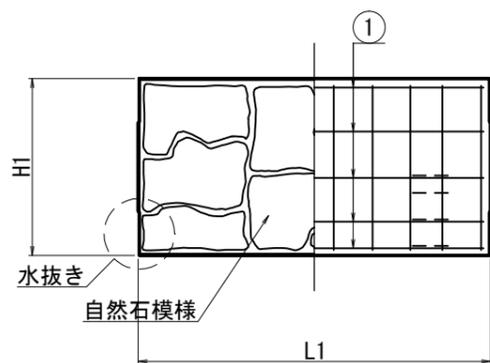
名称	箱型擁壁	標準設計番号	-
		工種記号	-



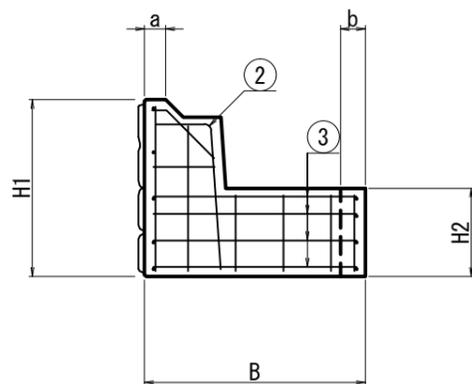
水抜き部詳細図



正面図



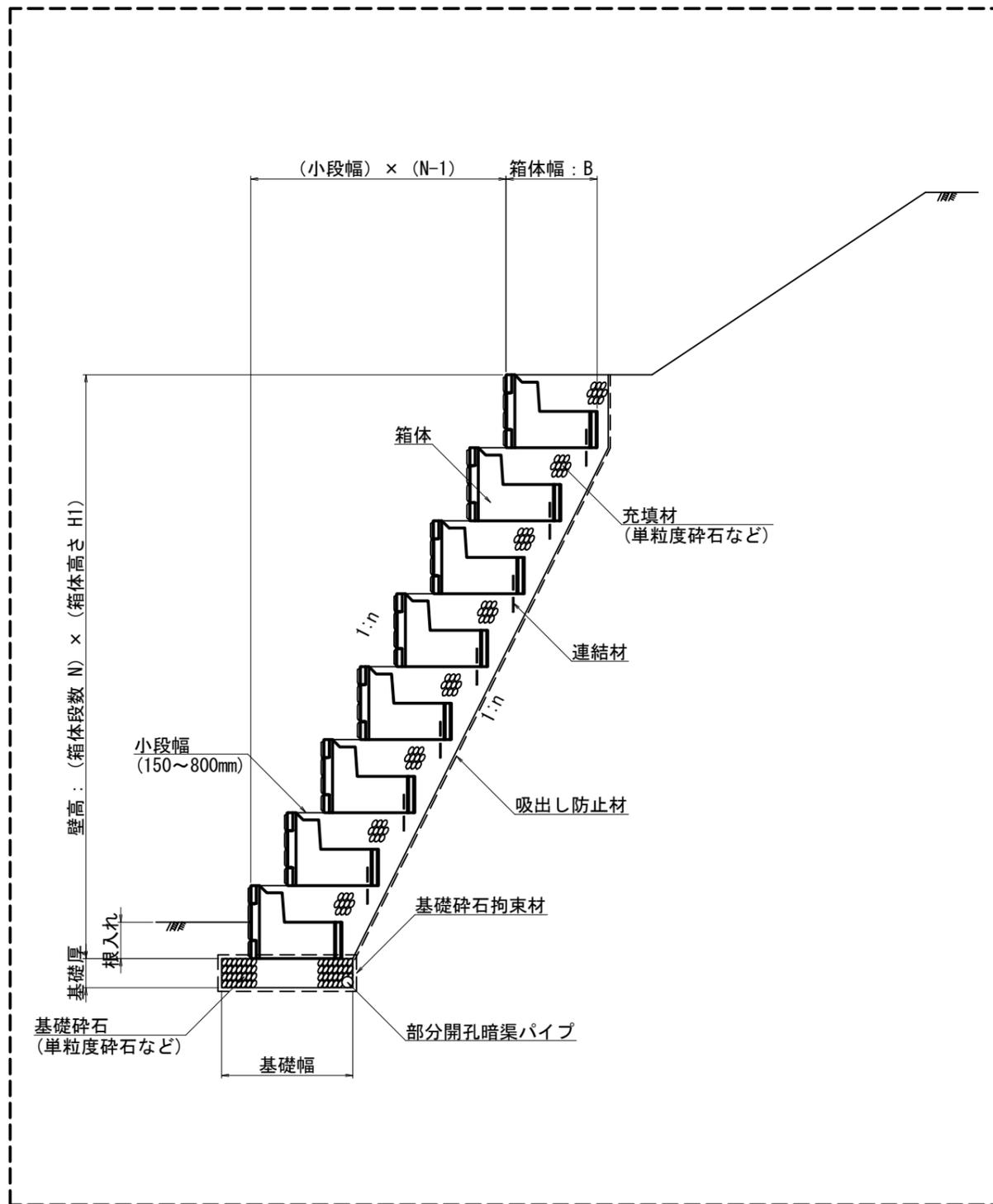
側面図



呼び名	寸法 (mm)								参考質量 (kg)
	H1	H2	B	L1	L2	a	b	c	
AL型	1000	498	1250	1995	1865	120	140	100	1304
BL型	1000	498	1250	1496	1262	120	120	100	1028
許容差	+10~-5				+5~-2				

呼び名	鉄筋							
	①		②		③		④	
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数
AL型	D13	5	D13	2	D13	8	D13	4
BL型	D13	5	D13	2	D13	8	D13	4

参考図表



特記事項

- ・詳細は、「箱型擁壁工法 設計・施工マニュアル (一般財団法人 土木研究センター)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 35\text{N/mm}^2$ 以上とする。
- ・鉄筋の種類は、SD295 及び SD345 とする。
- ・模様は、自然石模様のほかに陰影模様とすることができる。

名称

# 貯水用L型ブロック

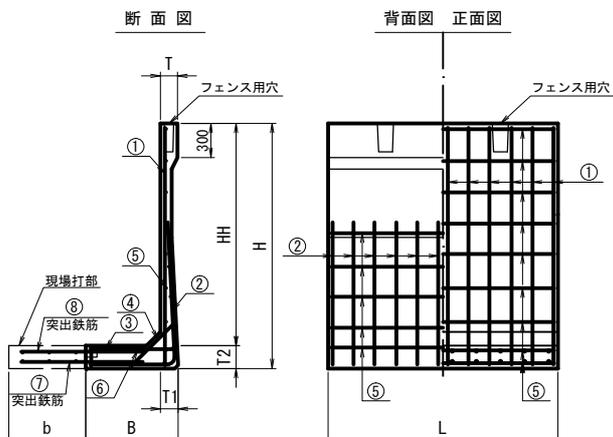
標準設計番号

—

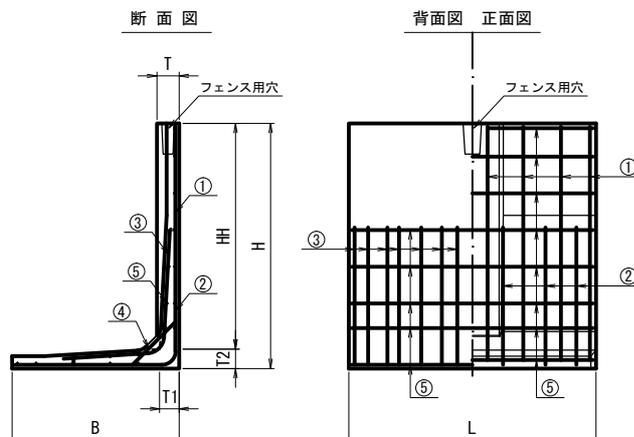
工種記号

—

## I 型



## II 型



呼び名	寸法 (mm)								参考質量 (kg)	
	H	HH	B	T	T1	T2	L	b		
								タイプA		タイプB
1000	1100	1000	655	150	100	100	2000	500	500	840
1500	1630	1500	807	150	150	130	2000	550	600	1440
2000	2150	2000	808	150	150	150	2000	1000	1100	1790
2500	2700	2500	913	150	200	200	2000	1300	1500	2585
3000	3250	3000	1119	150	250	250	2000	1600	1800	3660
許容差	+10 -5			+5 -2			+10 -5			

注) 通常条件では、b=タイプA。背面土が無い場合は、b=タイプBとする。  
注) 突出鉄筋が複鉄筋の規格は、底版先端部に切欠が付く。

呼び名	寸法 (mm)								参考質量 (kg)	
	H	HH	B	(B)	T	T1	T2	L	フェンス用穴有	
									フェンス用穴有	フェンス用穴無
1000	1000	890	850	750	180	110	110	2000	940	830
1500	1500	1390	1100	1050	180	110	110	2000	1330	1200
2000	2000	1850	1350	1300	180	150	150	2000	1970	1840
2500	2500	2320	1600	1600	340	180	180	2000	2970	2560
3000	3000	2780	1850	1850	340	220	220	2000	3940	3490
許容差	+10 -5				+5 -2			+10 -5		

注) (B)はフェンス用穴無の場合

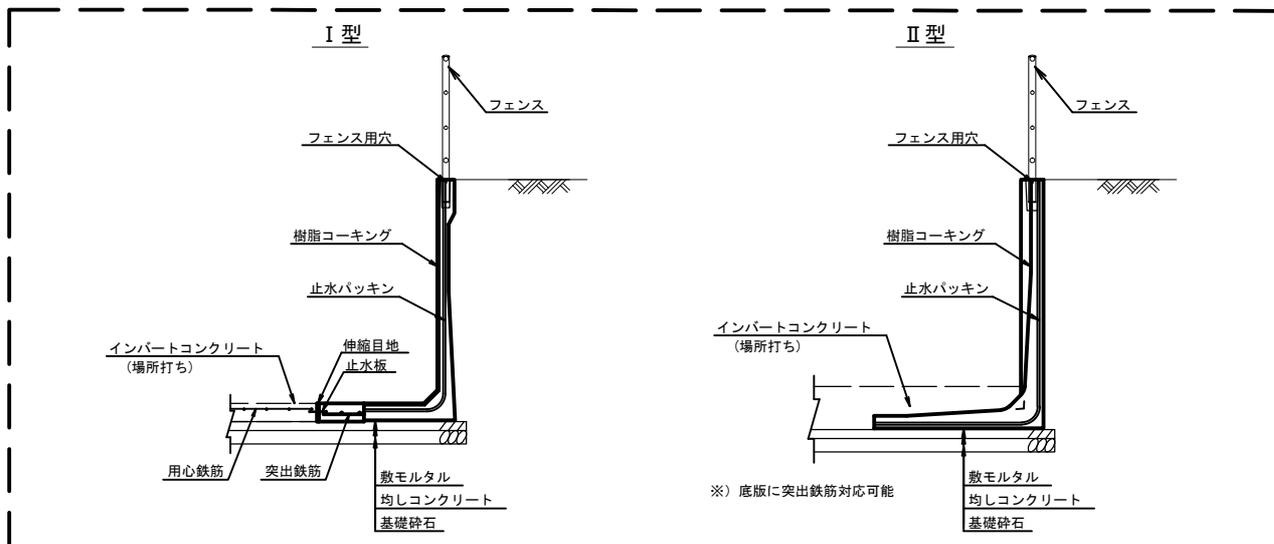
呼び名	タイプ	鉄筋 (径-本数)							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1000	A, B	-	D10-8	-	D10-8	D 6-8	-	D13-10	-
1500	A, B	-	D13-10	-	D10-8	D 6-11	-	D13-12	-
2000	A	-	D16-12	-	D10-8	D10-12	-	D16-10	-
	B	D16-14	D16-12	D13-8	D10-8	D10-12	D 6-4	D16-14	-
2500	A	D13-12	D16-12	D10-8	D10-8	D10-20	D 6-3	D19-10	-
	B	D13-12	D16-12	D13-12	D10-8	D10-20	D 6-3	D19-10	D16-10
3000	A	D16-10	D16-14	D10-8	D10-8	D10-25	D 6-4	D19-12	-
	B	D16-12	D16-14	D16-12	D10-8	D10-29	-	D19-12	D16-12

注) 底版現場打部の配筋筋は、現場にて配置する。

呼び名	タイプ	鉄筋 (径-本数)				
		①	②	③	④	⑤
1000	フェンス用穴有	D10-8	D10-4	-	D10-8	D10-9
	フェンス用穴無	D10-8	D10-4	-	D10-8	D10-9
1500	フェンス用穴有	D10-8	D10-4	-	D10-8	D10-11
	フェンス用穴無	D10-8	D10-4	-	D10-8	D10-11
2000	フェンス用穴有	D13-8	D10-6	D10-8	D10-8	D10-19
	フェンス用穴無	D13-8	D10-6	D10-8	D10-8	D10-19
2500	フェンス用穴有	D16-6	D13-4	D13-8	D13-8	D10-23
	フェンス用穴無	D16-6	D13-4	D13-8	D13-8	D10-23
3000	フェンス用穴有	D16-8	D16-4	D13-8	D13-8	D10-29
	フェンス用穴無	D16-8	D16-4	D13-8	D13-8	D10-29

注) 呼び名1500以下は、シングル鉄筋の配置である。

### 参考図表



### 特記事項

- ・ I 型は、 $\sigma_{ck}=40N/mm^2$ 以上。II 型は、 $\sigma_{ck}=30N/mm^2$ 以上。
- ・ 製品継手部は、止水パッキンおよび樹脂コーキングにて止水性を有する事。
- ・ 鉄筋は、SD295AまたはSD345とする。

名称

法留用コンクリート基礎

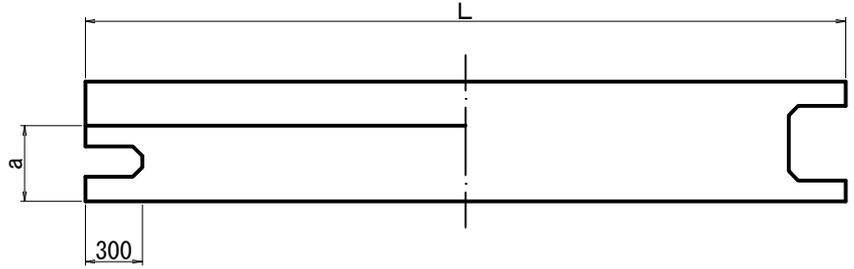
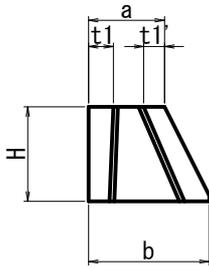
標準設計番号

河-I-1

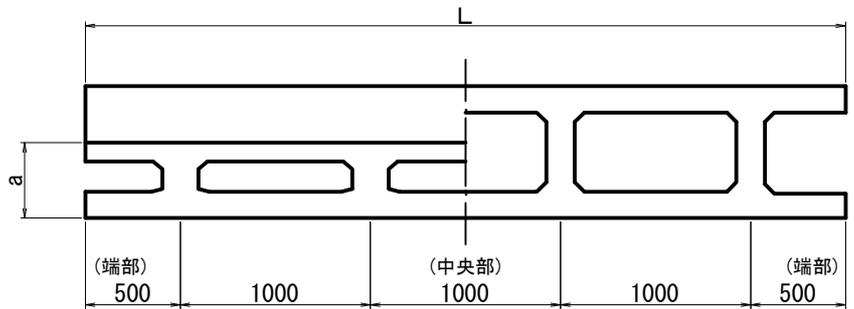
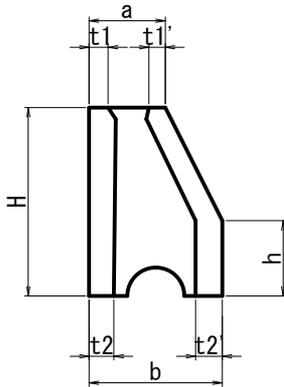
工種記号

基-P

1型



2~6型

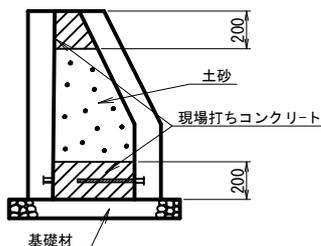


タイプ	寸法 (mm)									参考質量 (kg)
	H	a	b	h	t1	t2	t1'	t2'	L	
1型	500	400	635	—	130	—	110	—	4000	2230
2型	800	400	600	400	140	120	140	120	4000	2610
3型	1000	400	700	400	100	130	90	140	4000	3080
5型	1300	500	900	500	150	140	130	150	4000	4760
6型	1500	600	1000	700	160	150	155	150	4000	6100
許容差	+20, -10	±5	±5	±5	—				+10, -5	—

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ ブロック同士の接合は専用連結プレートを使用し、中詰土砂及びコンクリートを打設する。

参考図表



中央部断面図

参考数量

(製品長L=4.0m当り)

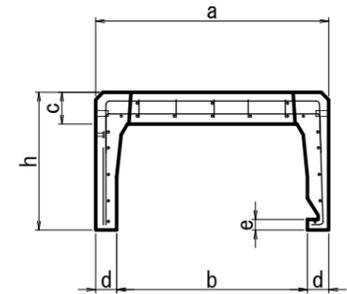
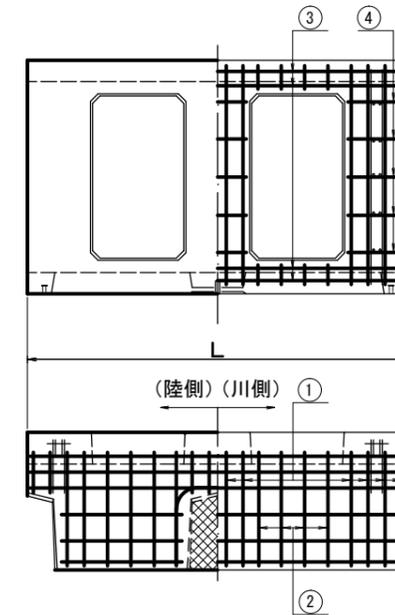
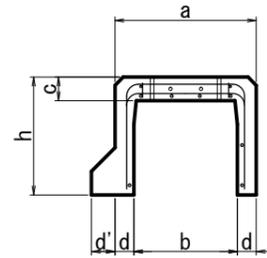
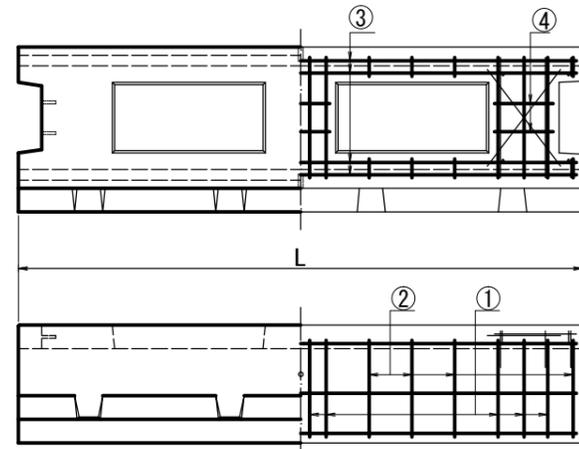
タイプ	中詰量 (m <sup>3</sup> )			基礎	
	端部(ジョイント部) コンクリート	中央部		基礎材料 (m <sup>3</sup> )	基面整正 (m <sup>2</sup> )
		コンクリート	土砂		
1型	0.078	—	—	0.334	3.34
2型	0.162	0.485	—	0.320	3.20
3型	0.275	0.328	0.498	0.360	3.60
5型	0.492	0.459	1.018	0.440	4.40
6型	0.678	0.545	1.488	0.480	4.80

注) 2型の場合、中央部の中詰材については全てコンクリートである。

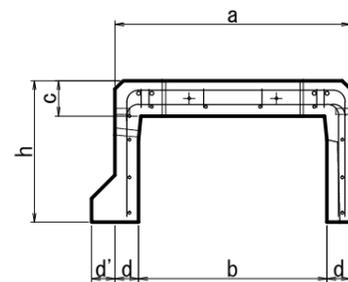
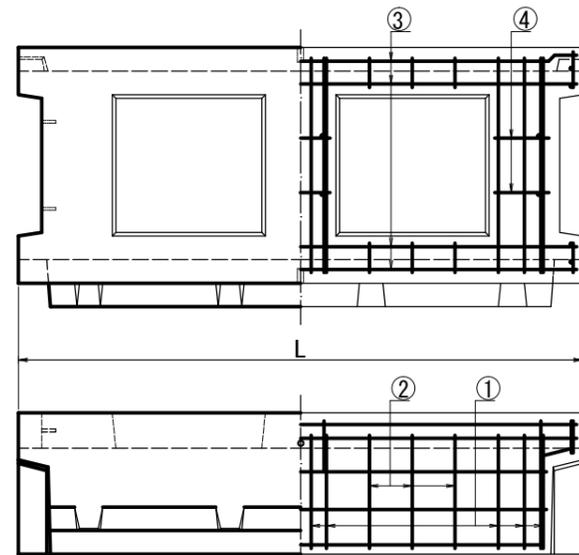
名称	鋼矢板用コンクリート基礎	標準設計番号	河-I-2
		工種記号	基-V

H<sub>3</sub>・H<sub>4</sub>型

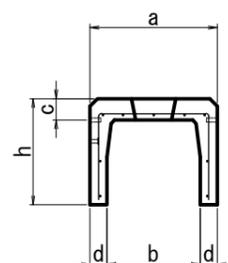
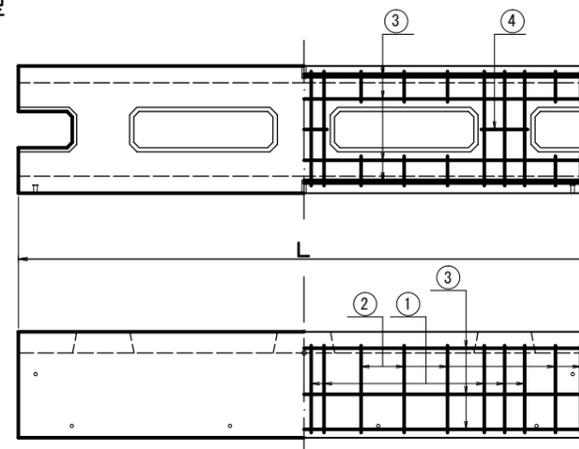
A・C型



B・D型



H<sub>1</sub>・H<sub>2</sub>型



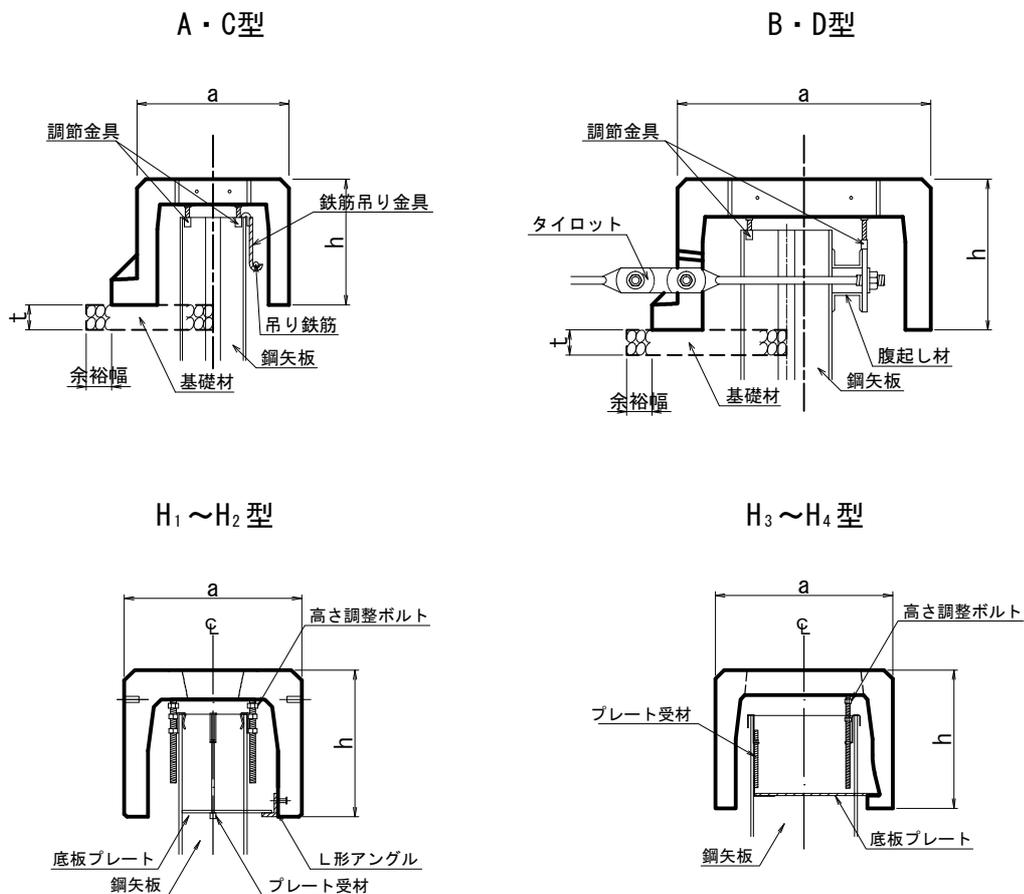
呼び名	寸法 (mm)								参考質量 (kg)
	a	b	c	d	d'	e	h	L	
A型	600	440	100	80	100	-	500	2396	680
B型	1000	800	150	100	100	-	600	2396	1090
C型	700	540	100	80	100	-	500	2396	700
D型	1300	1060	150	120	-	-	800	2396	1630
H <sub>1</sub> 型	600	440	100	80	-	-	500	2694	707
H <sub>2</sub> 型	700	540	100	80	-	-	500	2694	740
H <sub>3</sub> 型	1100	900	150	100	-	50	650	1796	824
H <sub>4</sub> 型	1100	900	150	100	-	50	850	1796	970
許容差	±3	±3	±5	±3	±3	±3	±3	±5	-

呼び名	鉄筋							
	①		②		③		④	
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数
A型	D10	10	D10	16	D6	6	D6	6
B型	D10	10	D10	16	D6	8	D6	6
C型	D10	10	D10	16	D6	6	D6	6
D型	D13	12	D13	16	D10	12	D10	12
H <sub>1</sub> 型	D10	10	D10	20	D6	8	D6	3
H <sub>2</sub> 型	D10	10	D10	20	D6	8	D6	3
H <sub>3</sub> 型	D13	12	D13	16	D10	12	D10	15
H <sub>4</sub> 型	D13	12	D13	16	D10	12	D10	15

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋はSD295Aとする。
- ・ 法留タイプも可能。

参考図表



参考数量 延長2.4m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	中詰コン クリート (m <sup>3</sup> )
A型	100	100	0.46
B型			1.00
C型			0.57
D型			1.80

参考数量 H1, H2型 : 延長2.7m当り  
H3, H4型 : 延長1.8m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	中詰コン クリート (m <sup>3</sup> )
H1型	100	100	0.50
H2型			0.62
H3型			0.88
H4型			1.20

鋼矢板用コンクリート基礎 適用範囲

呼び名	矢板の種類		
	普通鋼矢板	広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板
A型	I型~III型	II型	—
B型	I型~III型	II型~III型	—
C型	III <sub>A</sub> 型~IV <sub>A</sub> 型	II型~IV型	—
D型	I型~IV <sub>A</sub> 型	II型~IV型	—
H1型	—	—	SP-10H
H2型	—	—	SP-25H, SP-45H, SP-50H
H3型	—	—	SP-10H, SP-25H
H4型	—	—	SP-10H, SP-25H

名称

## 大型張ブロック

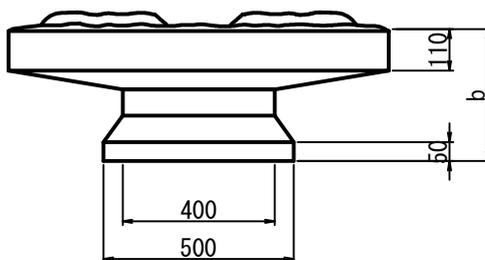
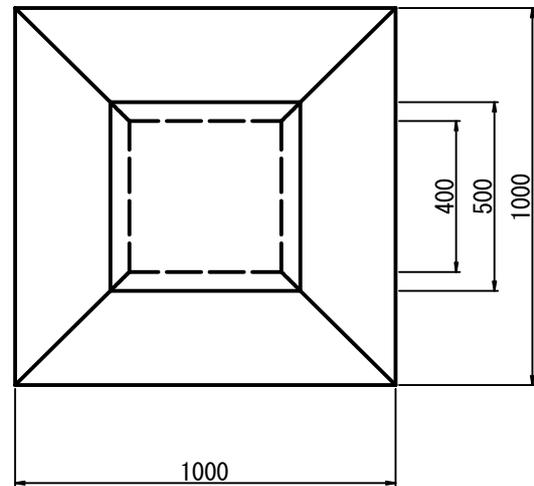
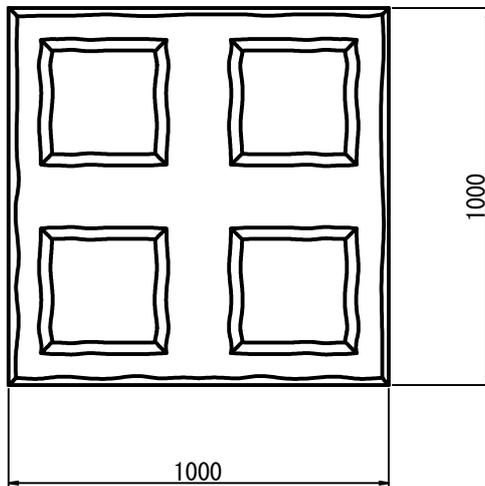
標準設計番号

河-Ⅱ-5

工種記号

張-(大型)

## I 型



タイプ	b寸法 (m)	質量 (kg)
1	0.35	400
2	0.45	455
3	0.50	485

寸法許容差

面	控え
+5, -3	+10, -5

## 特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 間知ブロック張を基本とし、面を大型にしたブロックとする。
- ・ 面の模様は自由とする。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

## 参考図表

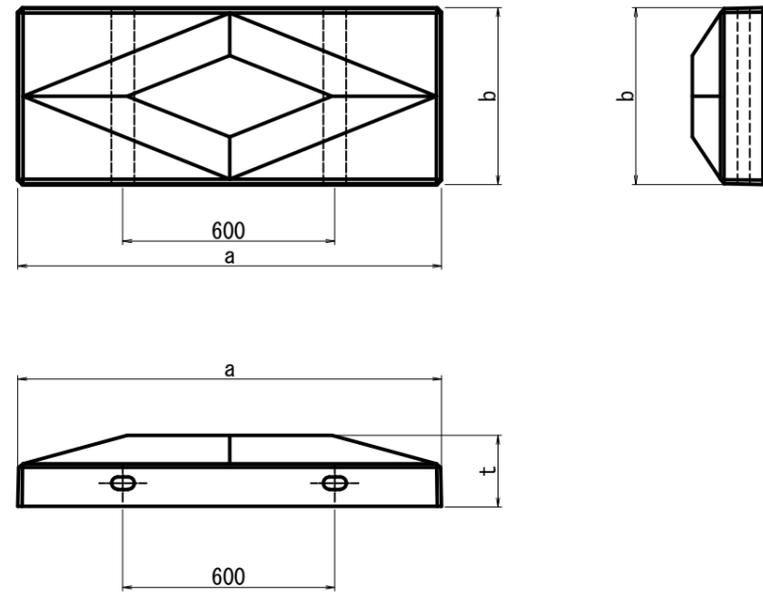
参考数量

(1m<sup>2</sup>当り)

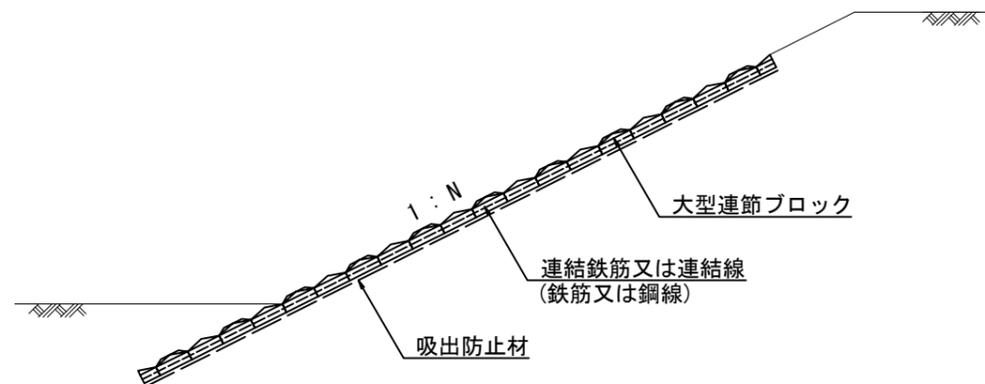
タイプ	胴込コンクリート量 (m <sup>3</sup> )	裏込工 (m <sup>3</sup> )
1	0.18	0.20
2	0.25	0.20
3	0.29	0.20

名称	大型連節ブロック	標準設計番号	河-Ⅱ-6
		工種記号	連-I

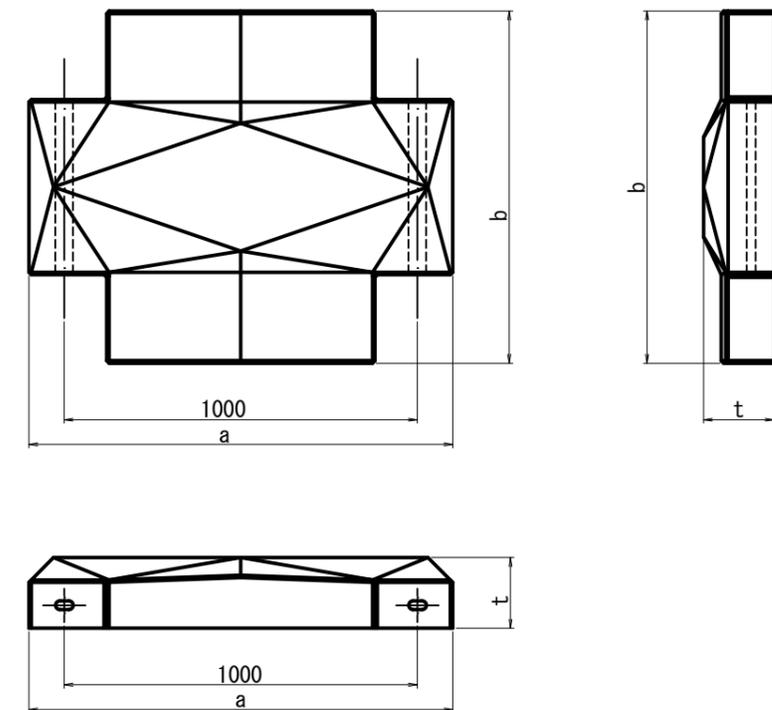
I 型



呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
	a	b	t	
I 型	1200	500	250	210
II 型	1200	996	200	360
許容差	±3		+8,-5	—



II 型



特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・  $1\text{m}^2$  当り  $350 \text{ kg}$  以上とする。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

参考数量		(52m <sup>2</sup> 当り)	
名称	規格	単位	数量
大型連節ブロック	350kg/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	52.0
止杭		本	
鉄筋	$\phi=13\text{mm}$ D=13mm	kg	74.3
河川護岸用吸出防止材	t=10mm	m <sup>2</sup>	57.2
溶接長		m	1.03

名称

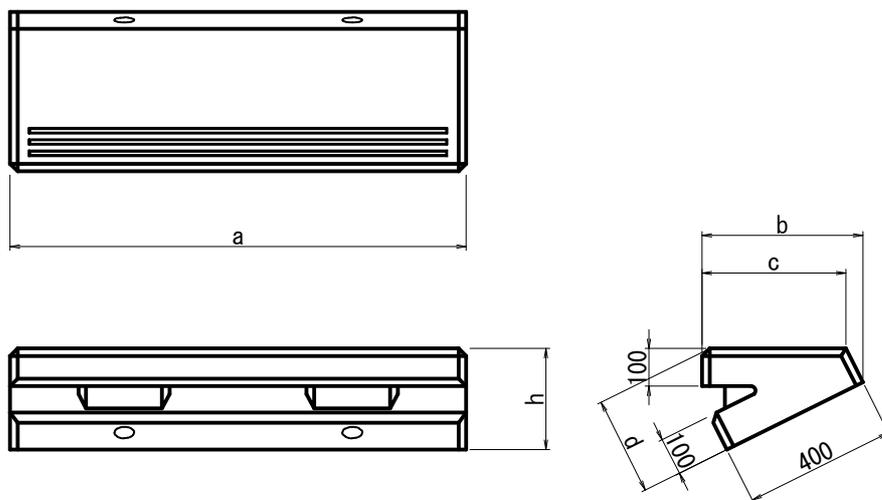
# 連節階段ブロック

標準設計番号

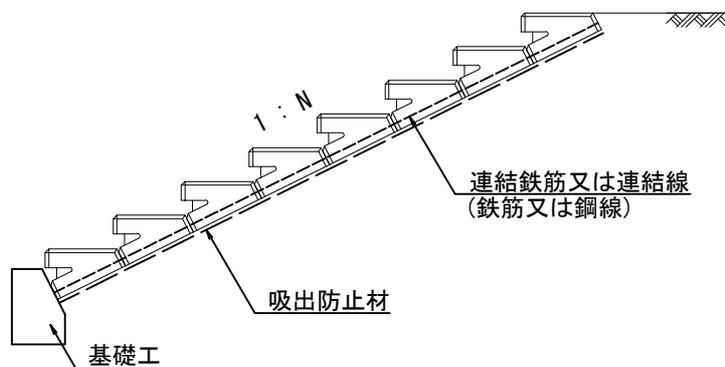
河-II-7

工種記号

連-(階段)



呼び名	寸法 (mm)					参考質量 (kg)
	a	b	c	d	h	
1.0型	1200	374	303	300	354	180
1.5型	1200	408	353	285	305	180
2.0型	1200	423	378	260	268	180
2.5型	1200	429	392	238	241	180
3.0型	1200	432	400	220	221	170
許容差	±3	±3	—	—	±3	—



特記事項

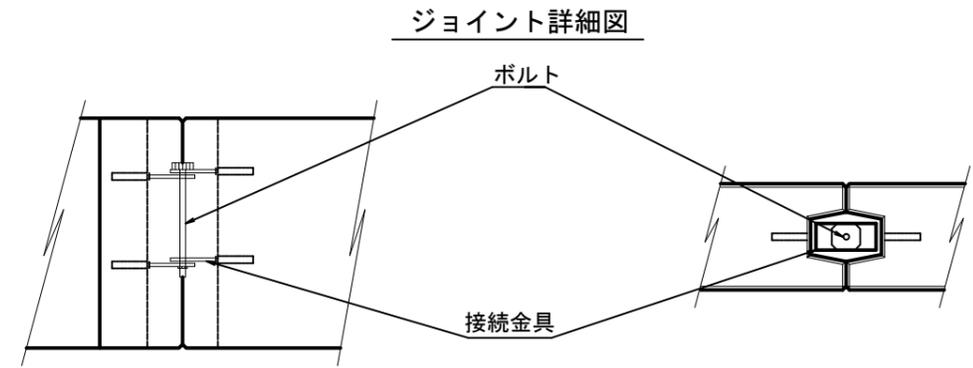
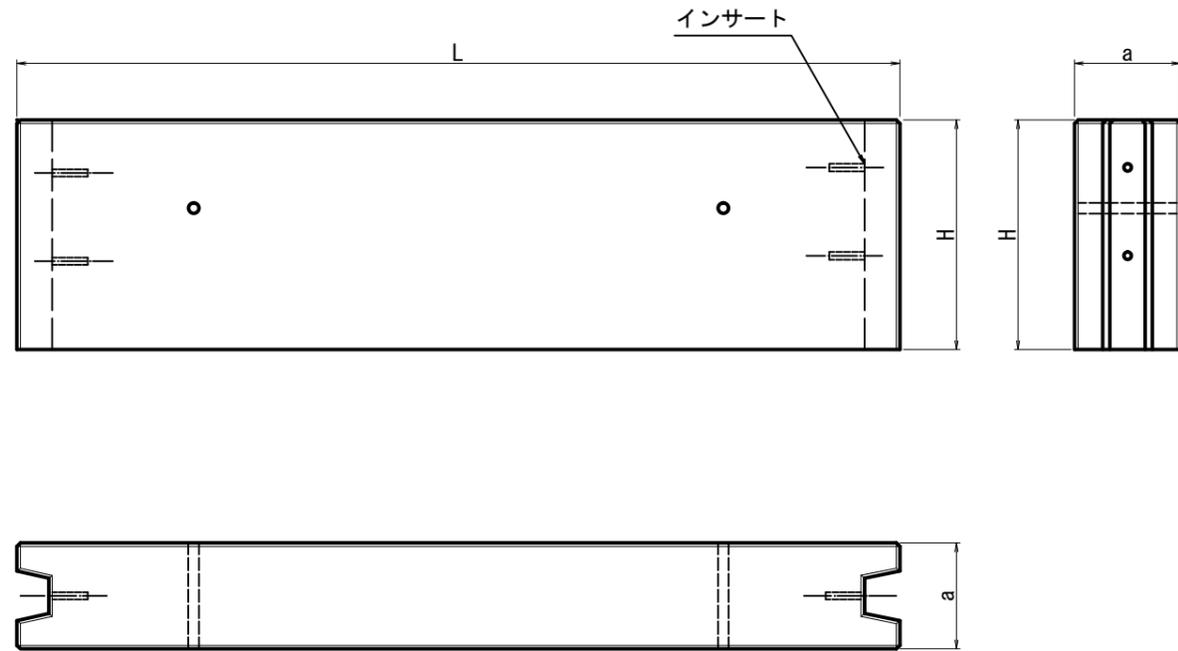
- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。

参考図表

参考数量 (28.8m<sup>2</sup>当り)

名称	規格	単位	数量
連節階段ブロック	350kg/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	28.8
鉄筋	φ=13mm D=13mm	kg	60.9
河川護岸用吸出防止材	t=10mm	m <sup>2</sup>	31.7
溶接長		m	2.16

名称	隔壁・小口止・巻止ブロック	標準設計番号	河-Ⅱ-9
		工種記号	隔 小口止 巻止



呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
	a	L	H	
隔壁	500	2500	500	830
	550		550	910
	650		650	1080
	700		700	1530
	900		900	2480
	1000		1000	2760
小口止め	300	3000	1000	2015
	400		1000	2655
巻止め	300	3000	1000	2015
	400		1000	2655
許容差	±3	+5, -3	+10, -5	-

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ ブロック同士の接合は専用接続金具を使用し、中詰コンクリートを打設する。

参考図表

呼び名	中詰コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎材量 (m <sup>3</sup> )	基面整正面積 (m <sup>2</sup> )
隔壁	500	0.120	0.50
	550	0.132	0.50
	650	0.156	0.50
	700	0.308	0.60
	900	0.450	0.70
	1000	0.500	0.70
小口止め	0.240	0.10	0.50
	0.440	0.12	0.60
巻止め	0.240	0.05	0.50
	0.440	0.06	0.60

名称

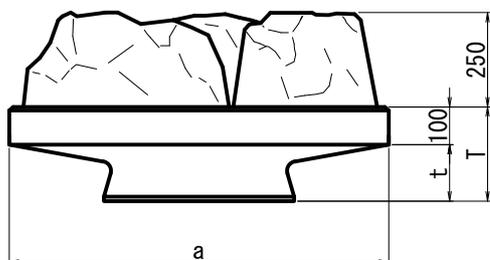
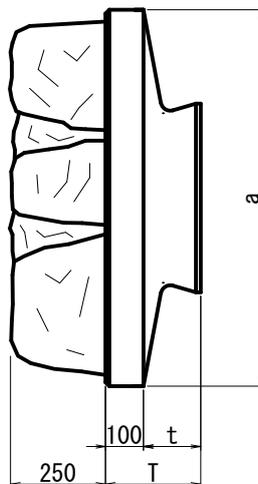
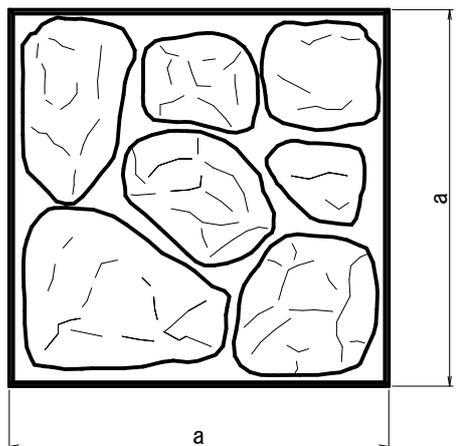
# 突起型張ブロック

標準設計番号

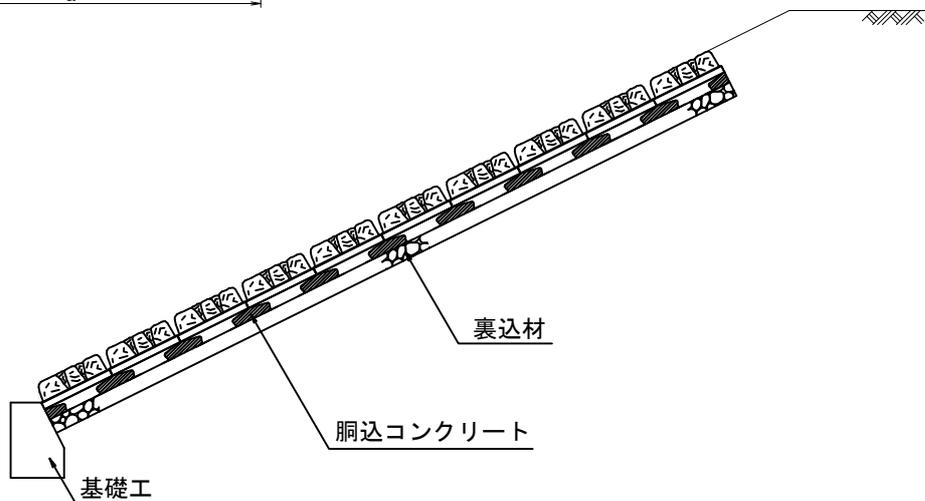
—

工種記号

—



呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg/m <sup>2</sup> )
	a	T	t	
350型	1000	250	150	450以上
許容差	±3	+5,-3	—	—



## 特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

## 参考図表

(1m<sup>2</sup>当り)

呼び名	胴込コンクリート量 (m <sup>3</sup> )	裏込工 (m <sup>3</sup> )
350型	0.129	0.2

名称

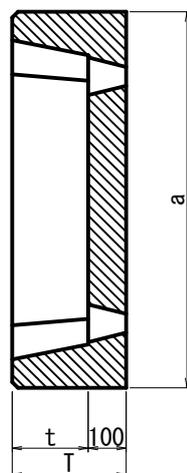
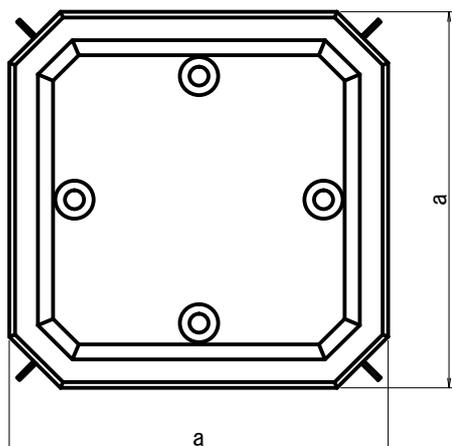
# ボックス型平張ブロック

標準設計番号

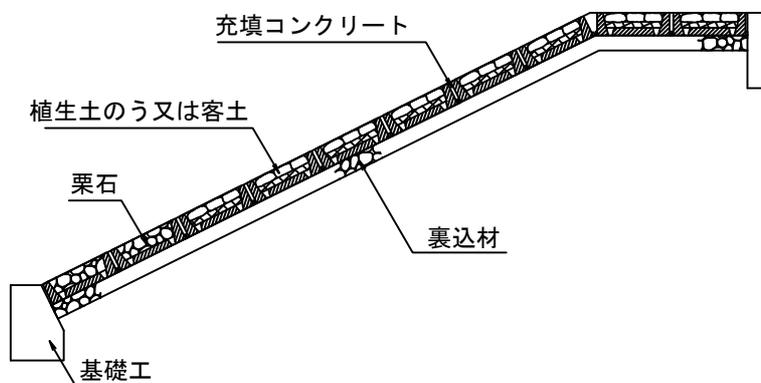
—

工種記号

—



呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg/m <sup>2</sup> )
	a	T	t	
200型	1000	300	200	350以上
300型	1000	400	300	450以上
許容差	±3	+5,-3	+5,-3	—



### 特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・モルタルや金具を用いてブロック同士を接合する。
- ・必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

### 参考図表

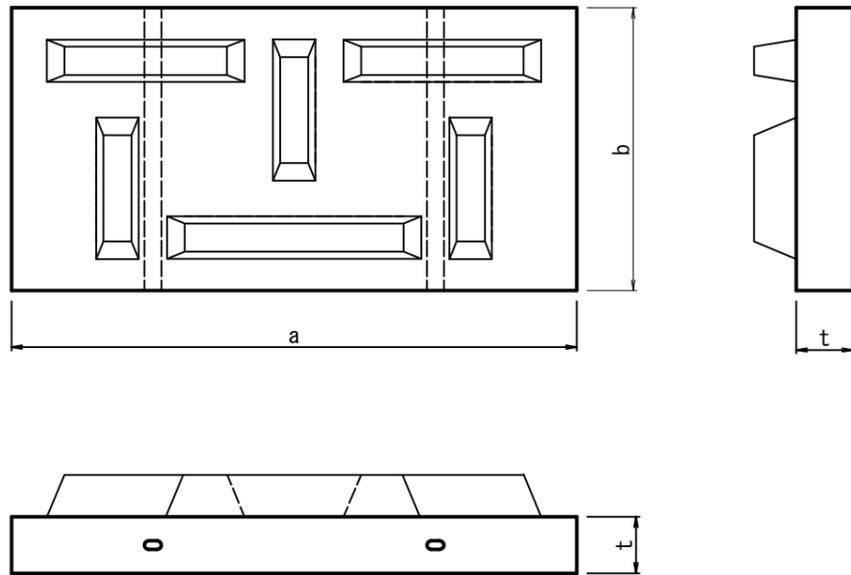
(1m<sup>2</sup>当り)

呼び名	裏込工 (m <sup>3</sup> )
200型	0.2
300型	0.2

名称	覆土型連節ブロック	標準設計番号	-
		工種記号	-

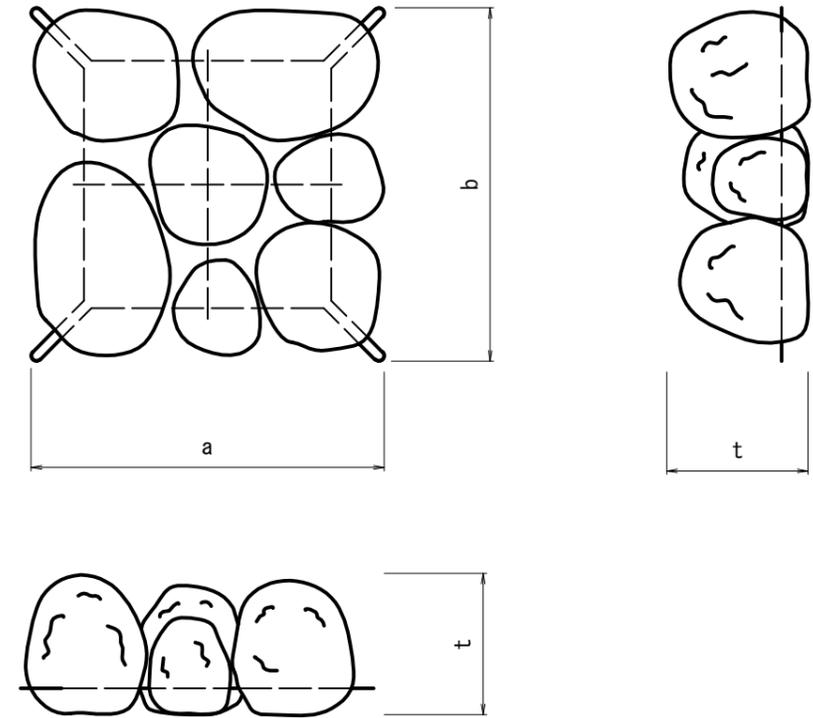
標準図

I 型 (覆土タイプ)

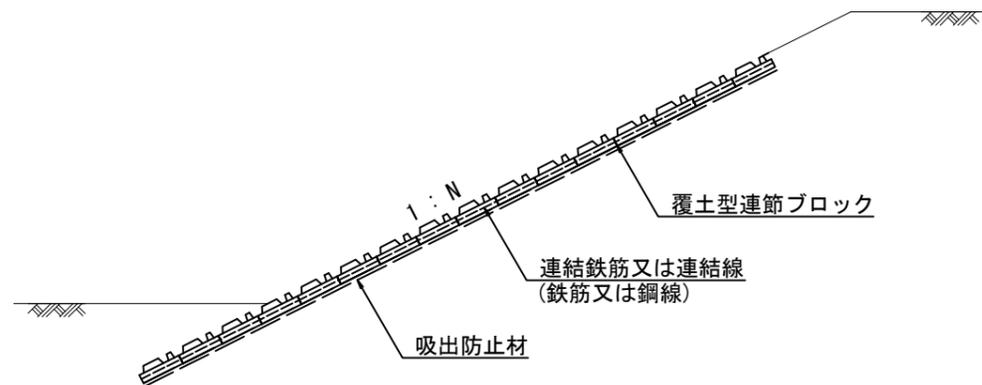


呼び名	寸法 (mm)			施工面積	参考質量
	a	b	t		
標準型	1000~	500~	100以上	1.0m <sup>2</sup> 以上	350kg/m <sup>2</sup> 以上
許容差	±5		+8, -5	-	-

II 型 (擬石タイプ)



呼び名	寸法 (mm)			施工面積	参考質量
	a	b	t		
標準型	1000~	1000~	100以上	1.0m <sup>2</sup> 以上	350kg/m <sup>2</sup> 以上
許容差	±5		+8, -5	-	-



特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・連結鉄筋は、SD295A又はSR235とする。
- ・面の模様や形状は自由とするが、土砂が流れにくく、自然の蘇生を促す構造とする。
- ・必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

名称

コンクリート格子枠

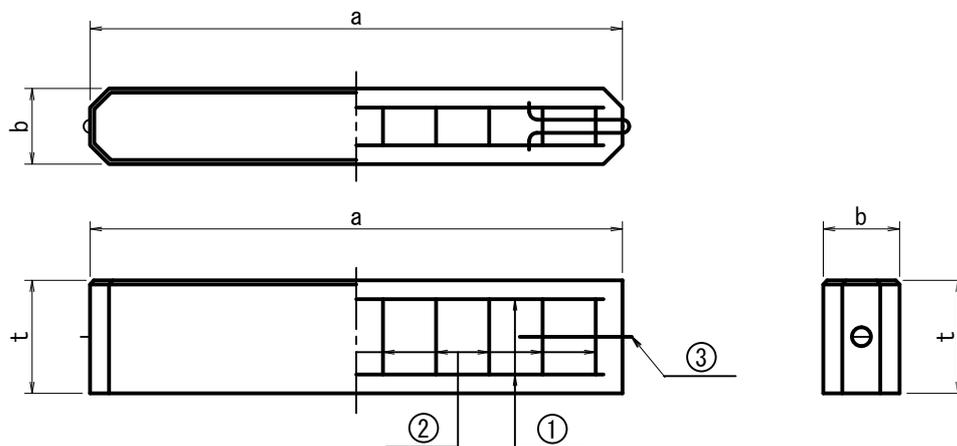
標準設計番号

河-Ⅱ-4

工種記号

枠

Ⅲ 型



呼び名	寸法 (mm)			鉄筋						参考質量 (kg)
				①		②		③		
	a	b	t	径	本数	径	本数	径	本数	
Ⅲ 型	1400	200	300	D10	4	4	10	9	2	197
許容差	±3	±3	+5, -3	-						-

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295A及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

名称

# 魚道ブロック

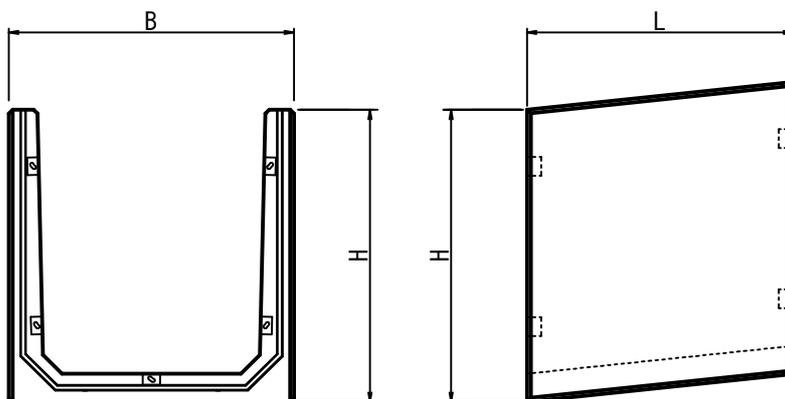
標準設計番号

-

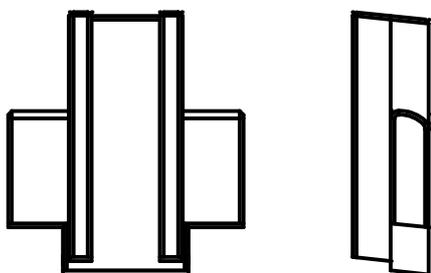
工種記号

-

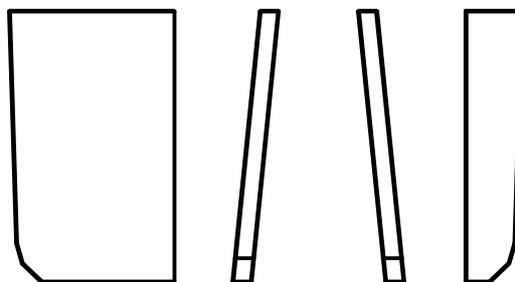
本体



隔壁 (アイスハーバー)



隔壁 (バーチカルスロット)



特記事項

- ・ 詳細は「プレキャスト魚道ブロック工法の手引き（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A とする。
- ・ 水路の形状・隔壁の形状については、現場条件・水理特性等に基づき検討する。

参考図表

基礎形状例

参考数量 <span style="float: right;">(延長1m当り)</span>		
敷モルタル ( $\text{m}^3$ )	基礎コンクリート ( $\text{m}^3$ )	基礎砕石 ( $\text{m}^3$ )
$0.02 \times (B+0.2)$	$0.1 \times (B+0.2)$	$0.15 \times (B+0.2)$

敷モルタル  
基礎コンクリート  
基礎砕石

# 監査廊

標準設計番号

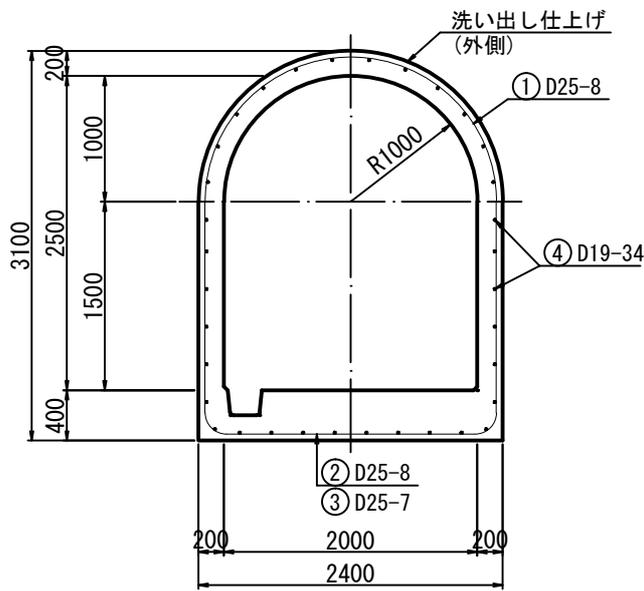
—

工種記号

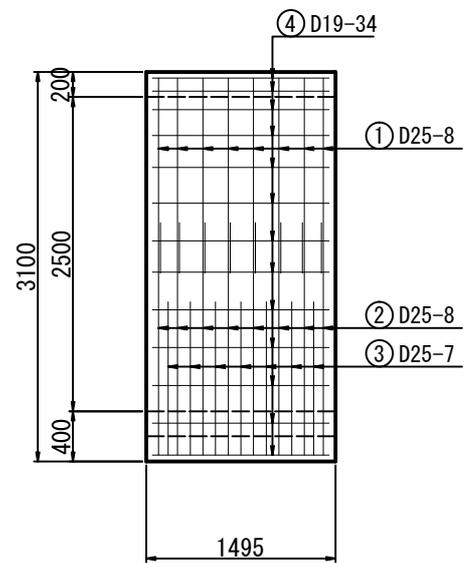
—

[一般水平部]

断面図



側面図



特記事項

- ・ 部材の種類は他に階段部・交差部がある。

名称

# ブロックマット

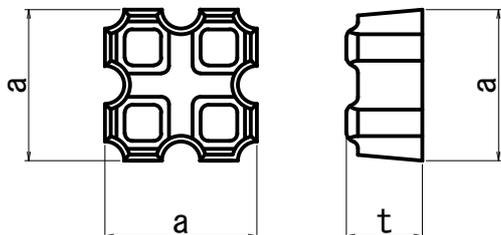
標準設計番号

—

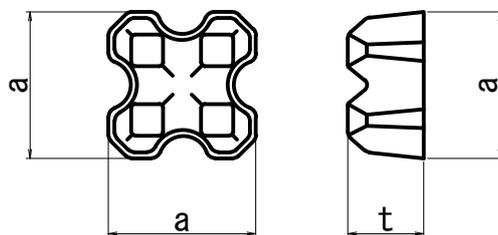
工種記号

—

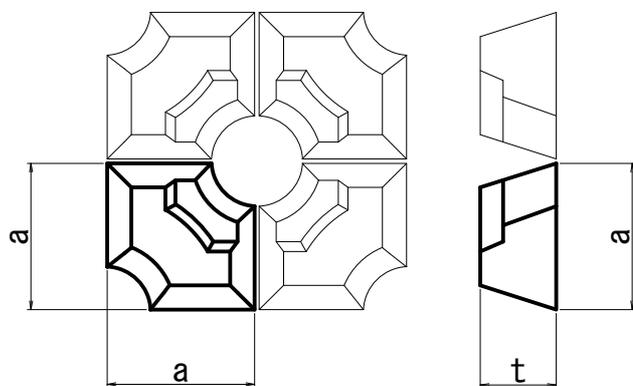
## I 型



## II 型

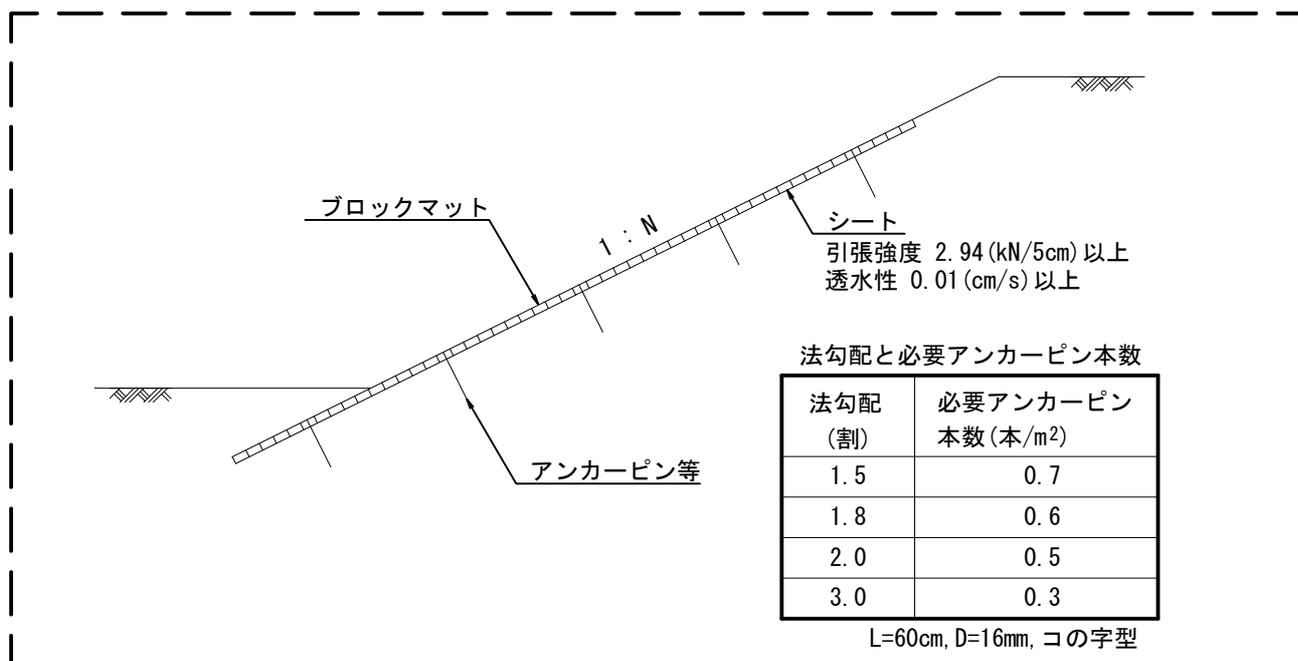


## III 型



タイプ	寸法 (mm)		参考質量 (kg/m <sup>2</sup> )
	a	t	
I 型	200	100	135
許容差	±3	±3	—
II 型	194	100	140
許容差	±3	±3	—
III 型	195	100	125
許容差	+3 -2	+5 -3	—

### 参考図表

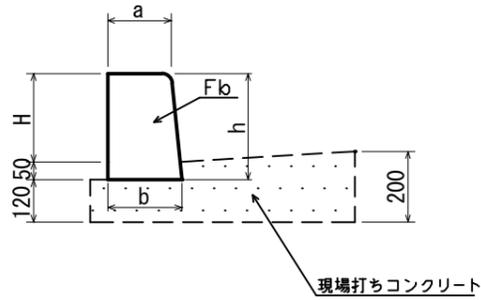


### 特記事項

- ・ 詳細は、「河川災害復旧護岸工法技術指針(案) (社団法人 全国防災協会)」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$  以上。

名称	L形側溝	標準設計番号	道-I-1
		工種記号	La~Ld

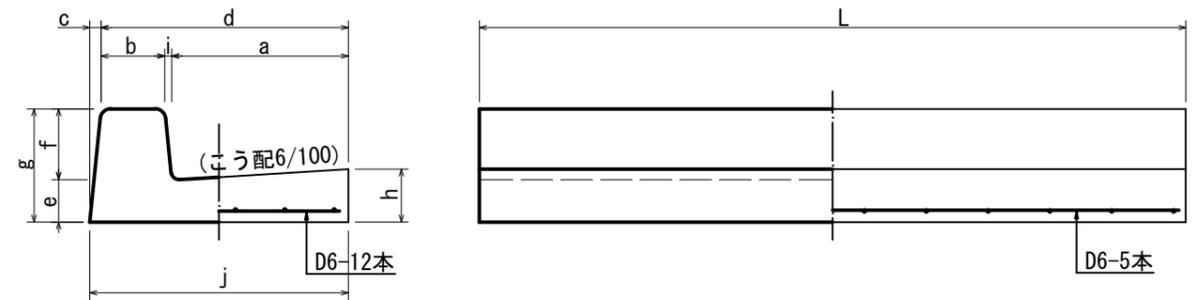
a種



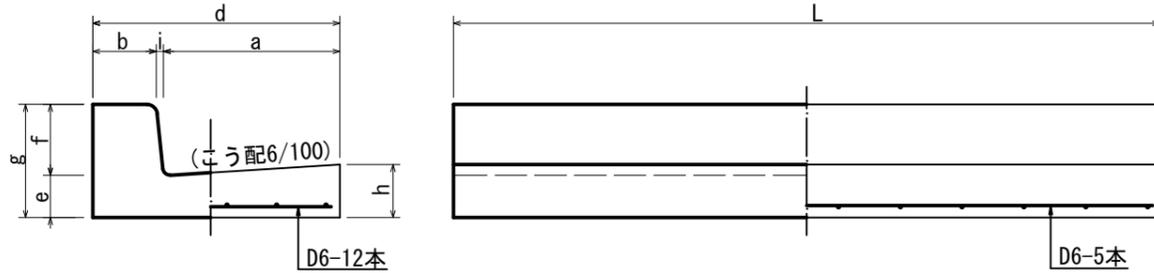
項目 呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)	JIS A 5371
	a	b	h	L		
La-15	150	170	200	2000	146	JIS A 5371
La-20 (Fb-15)	180	205	250	2000	220	JIS A 5371
La-25 (Fb-20)	180	210	300	2000	268	JIS A 5371
許容差	±2	±3	±5	—	—	—

製品延長: L

d種

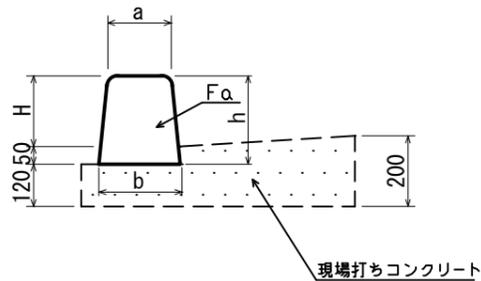


b種



項目 呼び名	寸法 (mm)									参考質量 (kg)	JIS A 5372
	a	b	d	e	f	g	h	i	L		
Lb-15	500	150	665	120	150	270	150	15	2000	532	JIS A 5372
Lb-20	500	180	700	120	200	320	150	20	2000	621	JIS A 5372
Lb-25	500	180	705	120	250	370	150	25	2000	672	JIS A 5372
許容差	—	±2	±2	—	±2	±3	±3	—	±6	—	—

c種



項目 呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)	JIS A 5371
	a	b	h	L		
Lc-15 (Fa-10)	150	190	200	2000	155	JIS A 5371
Lc-20 (Fa-15)	180	230	250	2000	234	JIS A 5371
Lc-25 (Fa-20)	180	240	300	2000	288	JIS A 5371
許容差	±2	±3	±5	—	—	—

製品延長: L

項目 呼び名	寸法 (mm)											参考質量 (kg)
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	L	
Ld-15	500	180	27	695	120	150	270	150	15	722	2000	588
Ld-20	500	180	32	700	120	200	320	150	20	732	2000	645
Ld-25	500	180	37	705	120	250	370	150	25	742	2000	704
許容差	—	±2	—	—	—	±2	±3	±3	—	±2	±6	—

特記事項

- ・ a種、c種は $\sigma_c k=24N/mm^2$ 以上、b種は $\sigma_c k=27N/mm^2$ 以上、d種は $\sigma_c k=30N/mm^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295Aとする。
- ・ 吊り下げ孔を用いる等、施工に配慮することが出来る。
- ・ La-15, La-20, La-25, Lb-15, Lb-20, Lb-25, Lc-15, Lc-20, Lc-25 は JIS 仕様を準用している。
- ・ 歩道部に防草効果をもとめる際には、切り込みを設けることが出来る。

参考図表

延長1m当り						
項目 呼び名	コンクリート (m³)	型枠面積 (m²)	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m³)	
a種	La-15	0.118	0.320	50	100	0.077
	La-20	0.122	0.320			0.080
	La-25	0.123	0.320			0.081
b種	Lb-15	—	—	50	100	0.072
	Lb-20	—	—			0.075
	Lb-25	—	—			0.076
c種	Lc-15	0.121	0.320	50	100	0.079
	Lc-20	0.125	0.320			0.083
	Lc-25	0.127	0.320			0.084
d種	Ld-15	—	—	50	100	0.077
	Ld-20	—	—			0.078
	Ld-25	—	—			0.079

名称

縁石

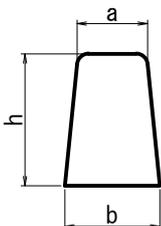
標準設計番号

道-I-2

工種記号

Fa~Fc

a 種 I 型



項目 呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	h	L	
Fa-10	150	190	200	2000	155
Fa-15	180	230	250	2000	234
Fa-20	180	240	300	2000	288
Fa-25	180	250	350	2000	344
Fa-30	180	260	400	2000	403
許容差	±2	±3	±5	—	—

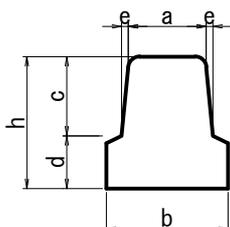
JIS A 5371

JIS A 5371

JIS A 5371

製品延長 : L

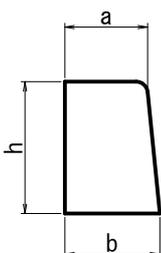
a 種 II 型



項目 呼び名	寸法 (mm)							参考質量 (kg)
	a	b	c	d	e	h	L	
Fa-20(II)	200	320	210	140	20	350	2000	413
Fa-25(II)	200	320	260	140	20	400	2000	464
許容差	±2	±3	—	—	—	±3	±5	—

製品延長 : L

b 種



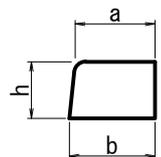
項目 呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	h	L	
Fb-15	180	205	250	2000	220
Fb-20	180	210	300	2000	268
Fb-25	180	215	350	2000	317
Fb-30	180	220	400	2000	367
許容差	±2	±3	±5	—	—

JIS A 5371

JIS A 5371

製品延長 : L

c 種



項目 呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	h	L	
Fc-2	210	220	100	1000	49
Fc-5	210	225	150	1000	74
許容差	±2	±3	±5	—	—

製品延長 : L

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 運搬及び施工性を確保するため、つり下げ孔などを設けることができる。
- ・ Fa-10, Fa-15, Fa-20, Fb-15, Fb-20 は JIS 仕様を準用している。
- ・ Fc-2 は横断歩道部用、Fc-5 は乗入れ部用である。
- ・ デリネーター用、すり付け用も製作することができる。
- ・ 氷点下の気温に晒される頻度の多い地域では、「耐極寒歩車道境界ブロック設計資料」(北陸土木コンクリート製品技術協会)による。
- ・ 歩道部に防草効果をもとめる際には、切り込みを設けることができる。

参考図表

延長1m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
Fa-10	50	100	0.024
Fa-15			0.028
Fa-20			0.029
Fa-25			0.030
Fa-30			0.031
Fa-20(II)			0.037
Fa-25(II)	0.037		

延長1m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
Fb-15	50	100	0.026
Fb-20			0.027
Fb-25			0.026
Fb-30			0.027
Fc-2			0.027
Fc-5	0.028		

名称

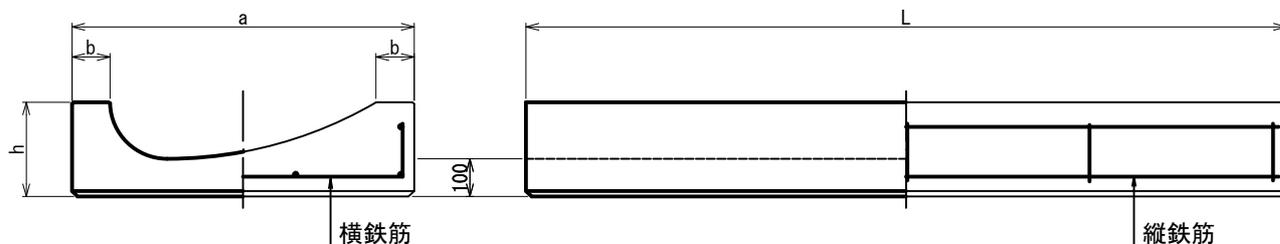
ロードガッター

標準設計番号

道-I-6

工種記号

RG

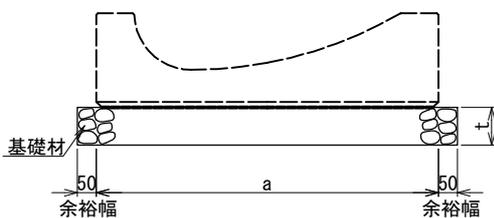


項目 呼び名	寸法 (mm)				鉄筋					参考 質量 (kg)
	a	b	h	L	横鉄筋			縦鉄筋		
					径	本数	形状	径	本数	
250	900	100	250	2000	D6	5	┌─┐	D10	6	713
200	600	50	200	2000			─┬─		4	399
許容差	±3			±5	—					—

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 用心鉄筋は SD295A 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。
- ・ ブロック間は、モルタル又は同等以上の止水材料を用いる構造となっている事。

参考図表



参考数量 延長1m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
250	50	100	0.100
200	50	100	0.070

名称

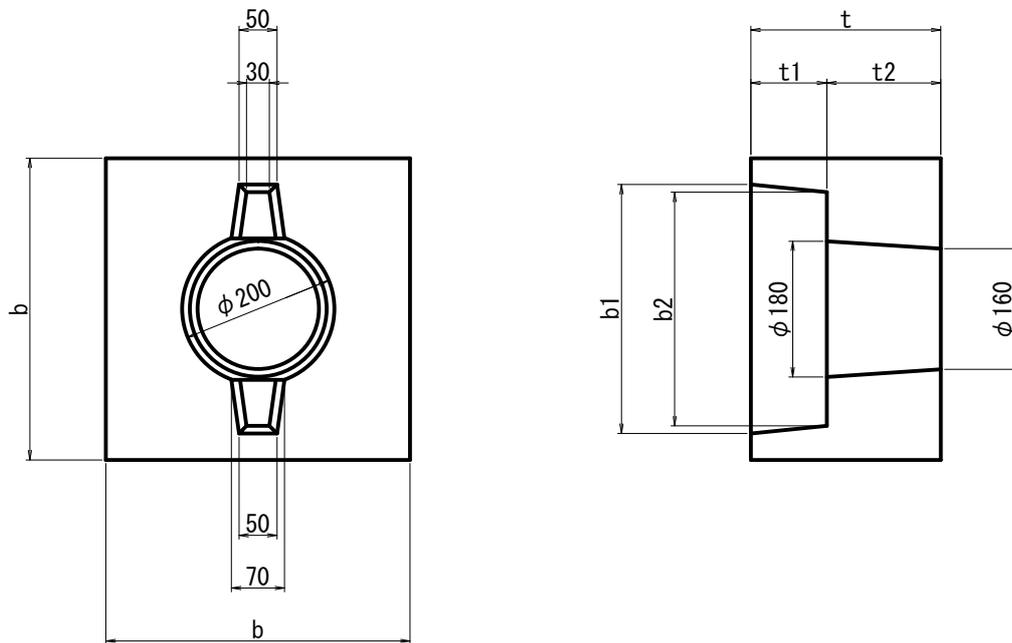
防護柵用根巻ブロック

標準設計番号

道-Ⅱ-1~12

工種記号

-

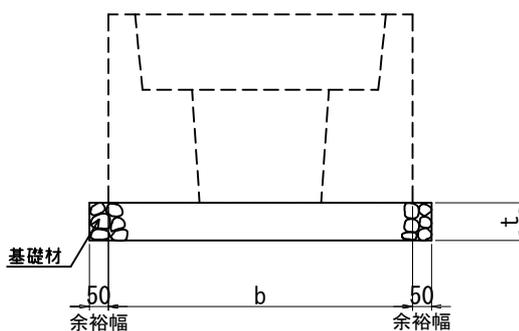


呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)
	b	t	b1	b2	t1	t2	
I	400	250	330	310	100	150	75
Ⅱ	450	300	380	360	100	200	120
Ⅲ	500	350	430	410	100	250	178
許容差	±3		-				-

特記事項

- ・ 詳細は、「積雪地におけるプレキャストコンクリート防護柵要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

参考図表



項目 呼び名	1基当り		
	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m <sup>3</sup> )
I	50	100	0.025
Ⅱ			0.030
Ⅲ			0.036

名称

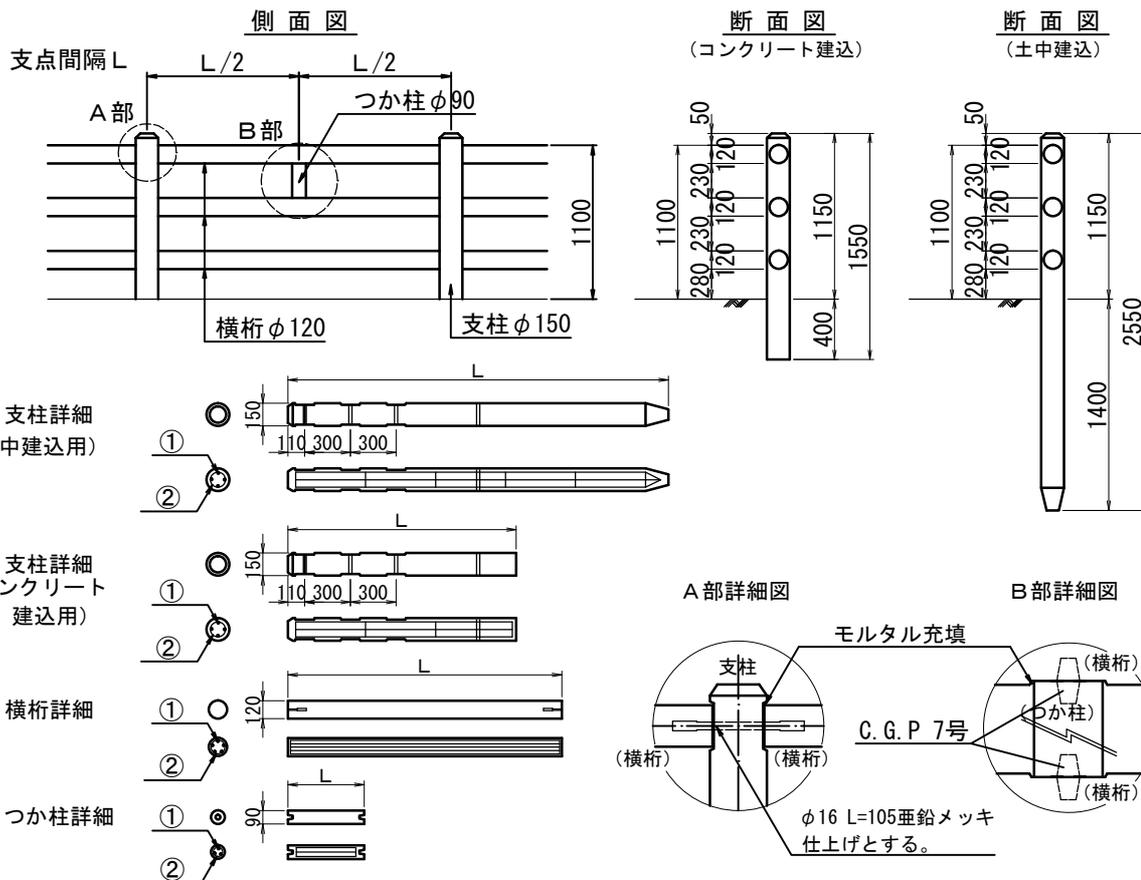
# 歩道用コンクリート防護柵

標準設計番号

道-Ⅱ-12

工種記号

P1~P5-RCE



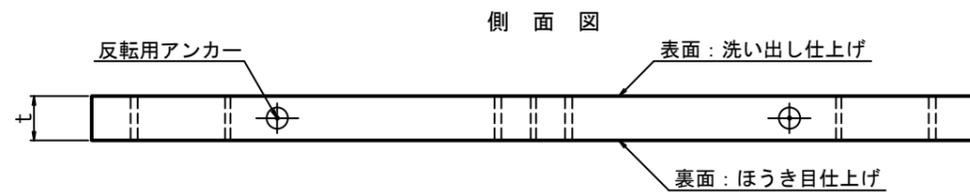
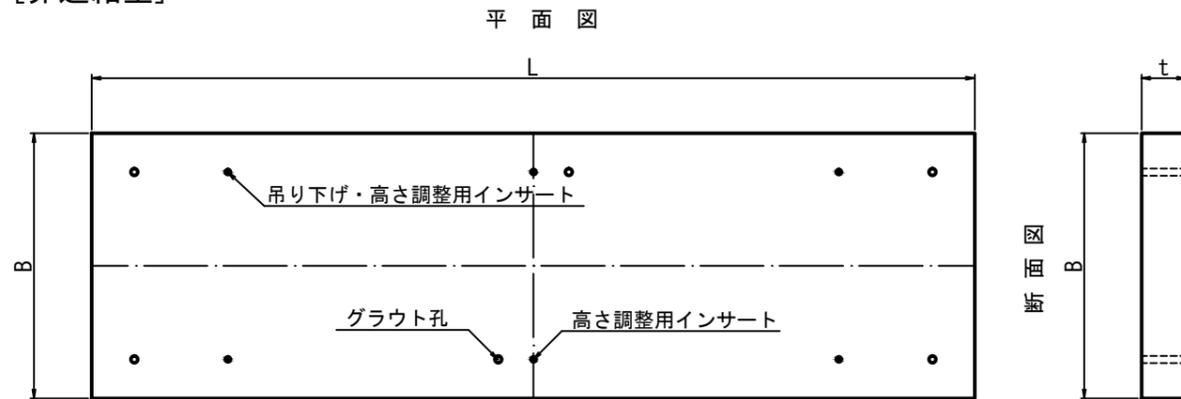
	呼び名	寸法 (mm)		配筋				参考質量 (kg)	備考	
		I	φ	①		②				
支柱	土中建込み	1100	2550	150	径	本数	径	本数	110	
	コンクリート建込み	1100	1550	150	D10	4	φ3.2	4	64	
横桁	積雪ランク	柱スパン	部材	寸法	配筋				参考質量 (kg)	備考
					A		B			
					径	本数	径	本数		
	1	2500		上段	D13	5	φ3.2	6	66	
				中段	D10	5	φ3.2	6		
				下段	D10	5	φ3.2	6		
	3	2000		上段	D13	5	φ3.2	6	52	
				中段	D10	5	φ3.2	6		
				下段	D10	5	φ3.2	6		
	4	2000		上段	D10	5	φ3.2	6	52	つか柱使用
				中段	D13	5	φ3.2	6		
				下段	D10	5	φ3.2	6		
5	1500		上段	D10	5	φ3.2	6	38	つか柱使用	
			中段	D13	5	φ3.2	6			
			下段	D10	5	φ3.2	6			
つか柱	呼び名	寸法		配筋				参考質量 (kg)	備考	
	H	I	φ	A		B				
				径	本数	径	本数			
	1100	270	90	D10	3	φ3.2	2	5		
許容差		±5	±3	+5, -3						

### 特記事項

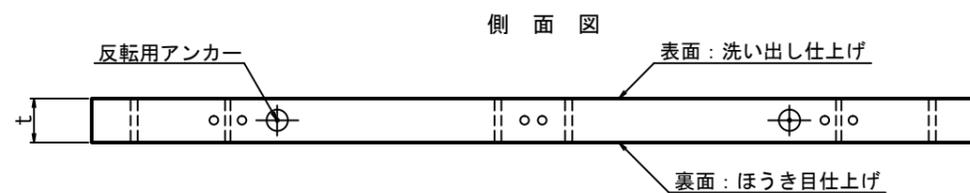
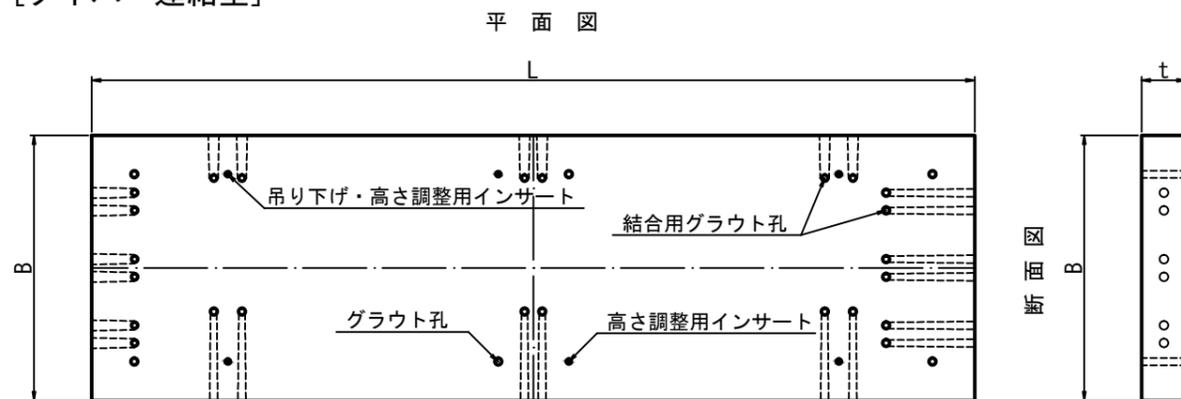
- ・ 詳細は、「積雪地におけるプレキャスト防護柵要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295A及びSR235とする。

名称	コンクリート舗装版	標準設計番号	道-III-4
		工種記号	PRC

[非連結型]



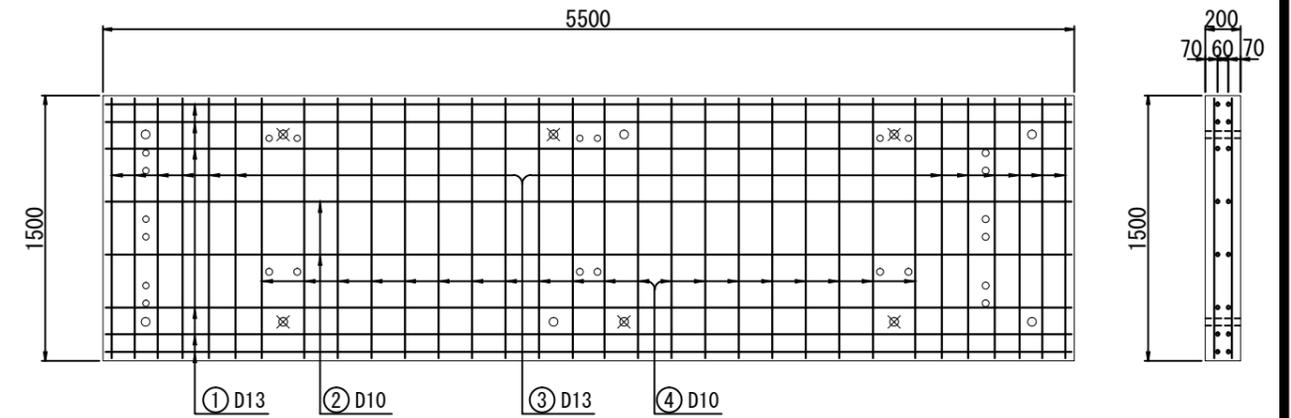
[タイバー連結型]



呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
	B	L	t	
1500	1500	5500	150	3090
			180	3710
			200	4120
			230	4740
			250	5150
			280	5770
許容差	±5		±3	-

呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
	B	L	t	
1700	1700	5000	150	3180
			180	3820
			200	4250
			230	4880
			250	5310
			280	5950
許容差	±5		±3	-

配筋図 (参考)



呼び名	鉄筋				適用条件 (例)	
	①	②	③	④	適用場所：明かり部 (温度差：小) 交通量：N6 (1,000~3,000台/日・方向) 曲げ強度：5.9 N/mm <sup>2</sup> 鉄筋比：0.41%以上	
1500×5500×200	径 本数	径 本数	径 本数	径 本数		
	D13 12	D10 4	D13 24	D10 40		

特記事項

- ・ 詳細は、「リバーシブル型・融雪配管埋設型プレキャストRC版舗装 設計施工マニュアル (プレキャストRC版舗装協会)」による。
- ・ 曲げ強度=5.9 N/mm<sup>2</sup> 以上。
- ・ 鉄筋は SD295A とする。
- ・ 版厚、配筋については、適用条件 (交通量・温度差等) により決定する。

名称

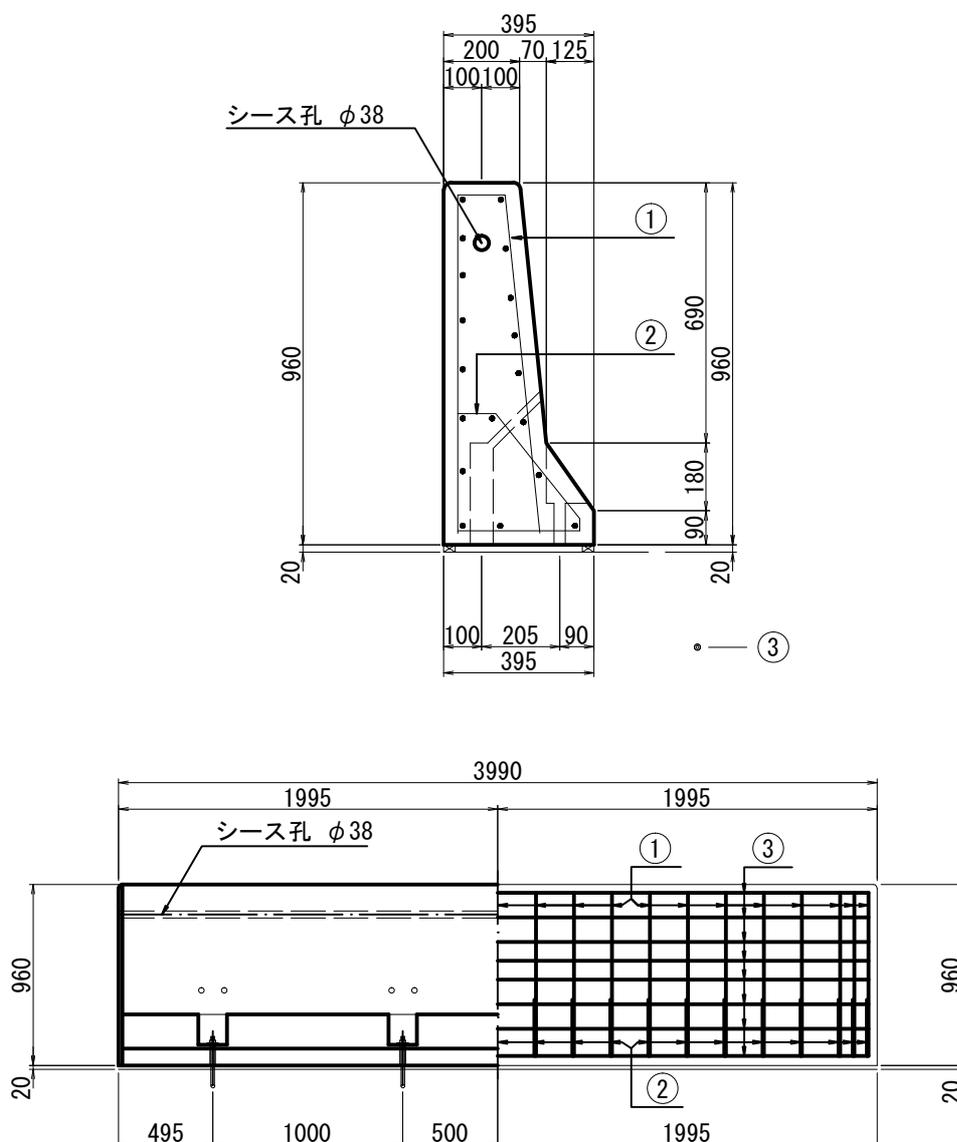
車道用高欄

標準設計番号

道-V-11~12

工種記号

BPGW

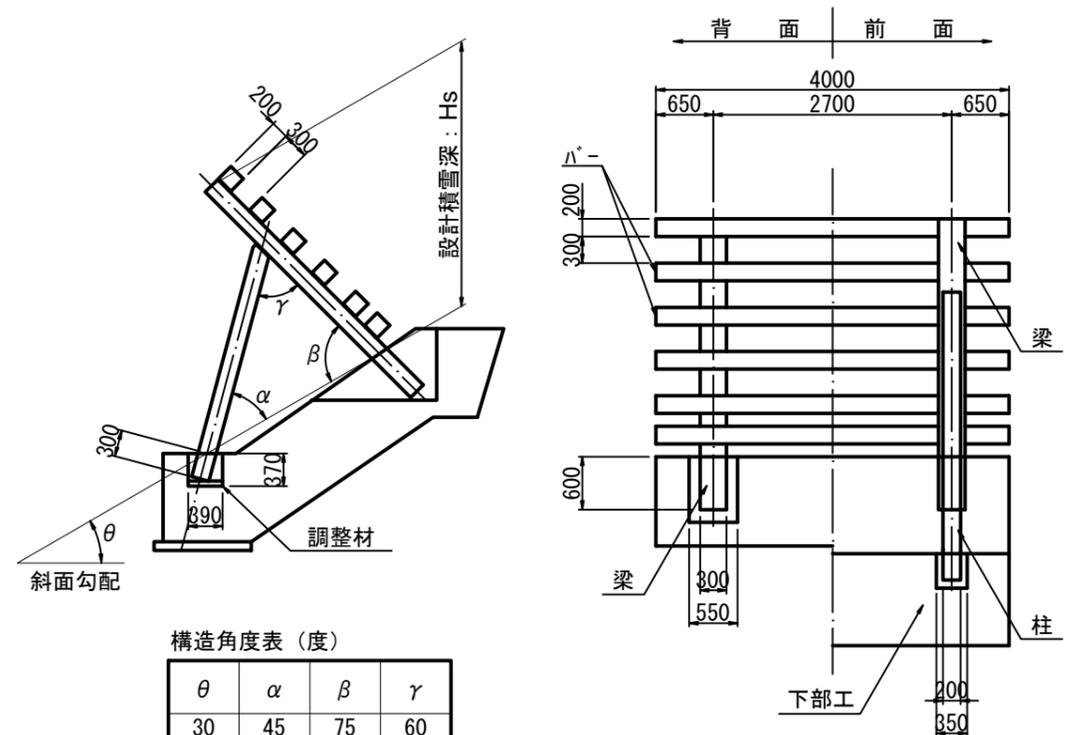


種別	許容差 (mm)			鉄筋						参考質量 (kg)
	高さ(H)	幅(B)	長さ(L)	①		②		③		
SB	+5, -3	+5, -3	+6, -3	径 D13	本数 23	径 D13	本数 23	径 D13	本数 18	2570

特記事項

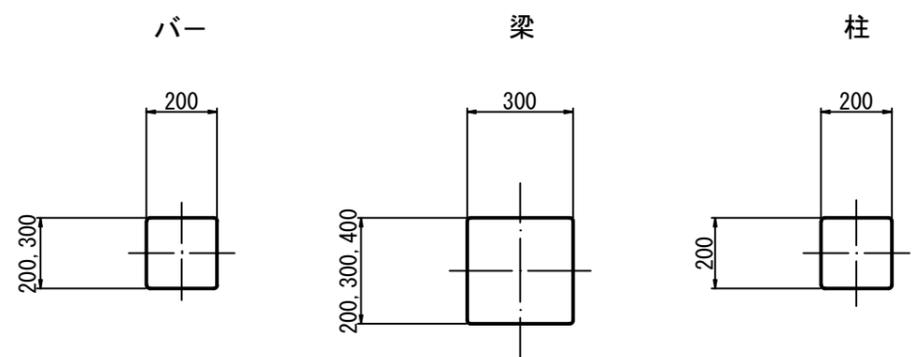
- ・ 詳細は、「防護柵の設置基準・同解説(社団法人 日本道路協会)」, 「車両用防護柵標準仕様・同解説(社団法人 日本道路協会)」および「積雪地におけるプレキャストコンクリート防護柵要領(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・  $\sigma_{ck}=35N/mm^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A 以上とする。
- ・ 製品長は3.990mを標準とする。ただし平面曲線半径が小さい場合2.990mとする。
- ・ 各製品をPC鋼より線1T21.8(アンボンド処理)により緊張し連結する。

名称	PC雪崩予防柵	標準設計番号	道-VI-9~14
		工種記号	SB-P



構造角度表 (度)

θ	α	β	γ
30	45	75	60
35	42.5	77.5	60
40	40	80	60
45	37.5	82.5	60
50	35	85	60



部材選定表

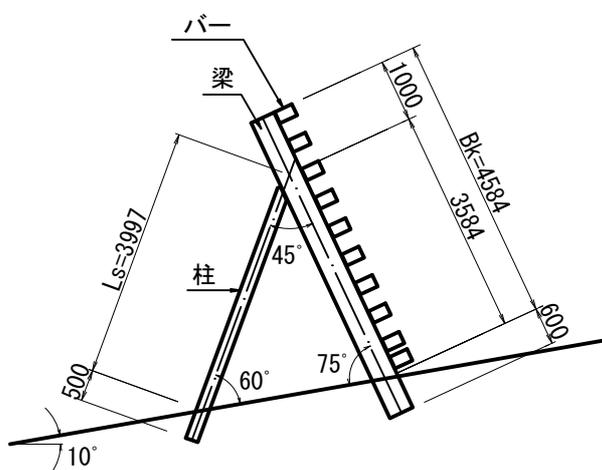
斜面勾配 (度)	グライド係数	部材	設計積雪深 (m)					斜面勾配 (度)	グライド係数	部材	設計積雪深 (m)				
			3.0	3.5	4.0	4.5	5.0				3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
30	1.2	バー	200×200					35	1.5	バー	200×200				
		梁	300×200		300×300					梁	300×200		300×300		
	1.3	バー	200×200					1.6	バー	200×200					
		梁	300×200		300×300				梁	300×200		300×300			
	1.6	バー	200×200					2.0	バー	200×200					
		梁	300×200		300×300				梁	300×200		300×300			
	1.8	バー	200×200					2.3	バー	200×200					
		梁	300×200		300×300				梁	300×200		300×300			
	2.0	バー	200×200					2.5	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300				梁	300×200		300×400			
	2.4	バー	200×200					3.0	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300				梁	300×200		300×400			
2.6	バー	200×200					3.3	バー	200×200			200×300			
	梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400				
3.2	バー	200×200			200×300		4.0	バー	200×200			200×300			
	梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400				
40	1.8	バー	200×200					45	1.8	バー	200×200				
		梁	300×200		300×300					梁	300×200		300×300		
	2.0	バー	200×200					2.0	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300				梁	300×200		300×300			
	2.4	バー	200×200			200×300		2.4	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400			
	2.7	バー	200×200			200×300		2.7	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400			
	3.0	バー	200×200			200×300		3.0	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400			
	3.6	バー	200×200			200×300		3.6	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400			
3.9	バー	200×200			200×300		3.9	バー	200×200			200×300			
	梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400				
4.8	バー	200×200			200×300		4.8	バー	200×200			200×300			
	梁	300×300		300×400		適用外		梁	300×300		300×400				
50	1.8	バー	200×200			200×300		50	1.8	バー	200×200			200×300	
		梁	300×200		300×300		300×300			梁	300×200		300×300		
	2.0	バー	200×200					2.0	バー	200×200					
		梁	300×200		300×300				梁	300×200		300×300			
	2.4	バー	200×200					2.4	バー	200×200					
		梁	300×200		300×300				梁	300×200		300×400			
	2.7	バー	200×200			200×300		2.7	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400			
	3.0	バー	200×200			200×300		3.0	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400			
	3.6	バー	200×200			200×300		3.6	バー	200×200			200×300		
		梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400			
3.9	バー	200×300			適用外		3.9	バー	200×300			適用外			
	梁	300×200		300×300		300×400		梁	300×200		300×400				
4.8	バー	200×300			適用外		4.8	バー	200×300			適用外			
	梁	300×300		300×400		適用外		梁	300×300		300×400				

特記事項

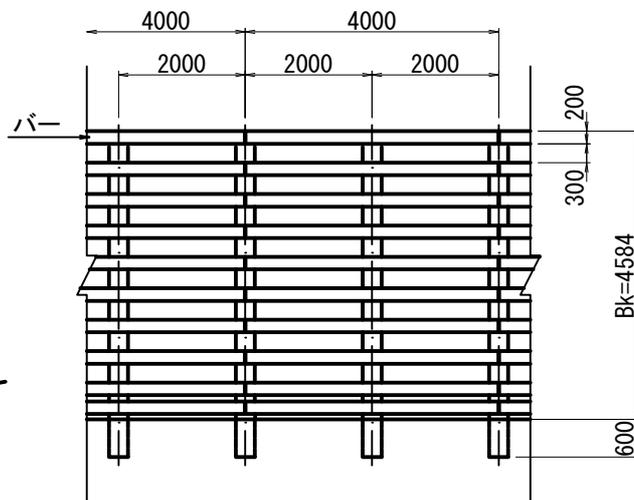
- ・ 詳細は「道路防雪施設マニュアル (社団法人 北陸建設弘済会)」による。
- ・  $\sigma_{ck}=60N/mm^2$  以上。
- ・ PC鋼材は SWPR7BL とする。
- ・ 鉄筋は SD295A または SD345 とする。

名称	PC雪崩防護柵	標準設計番号	-
		工種記号	-

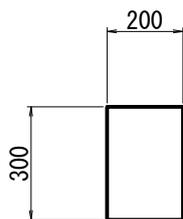
横断図



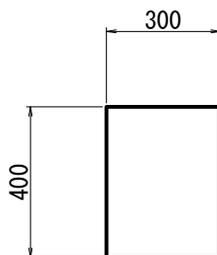
正面図



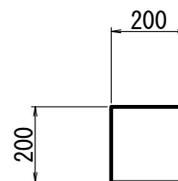
バー



梁



柱



設計条件		
死荷重	上部工	25.00 kN/m <sup>3</sup>
種別	設計積雪深	2.50 m
	設計単位重量	3.50 kN/m <sup>3</sup>
	クリーブ係数	0.27
	グライド係数	3.2
雪崩荷重	雪崩の種類	表層雪崩
	雪崩層圧	1.25 m
	雪崩単位重量	1.50 kN/m <sup>3</sup>
斜面勾配	発生区	45.00 度
	堆雪区	10.00 度

部材種別	
バー	プレテンション方式PC部材
梁	プレキャストRC部材
柱	プレキャストRC部材

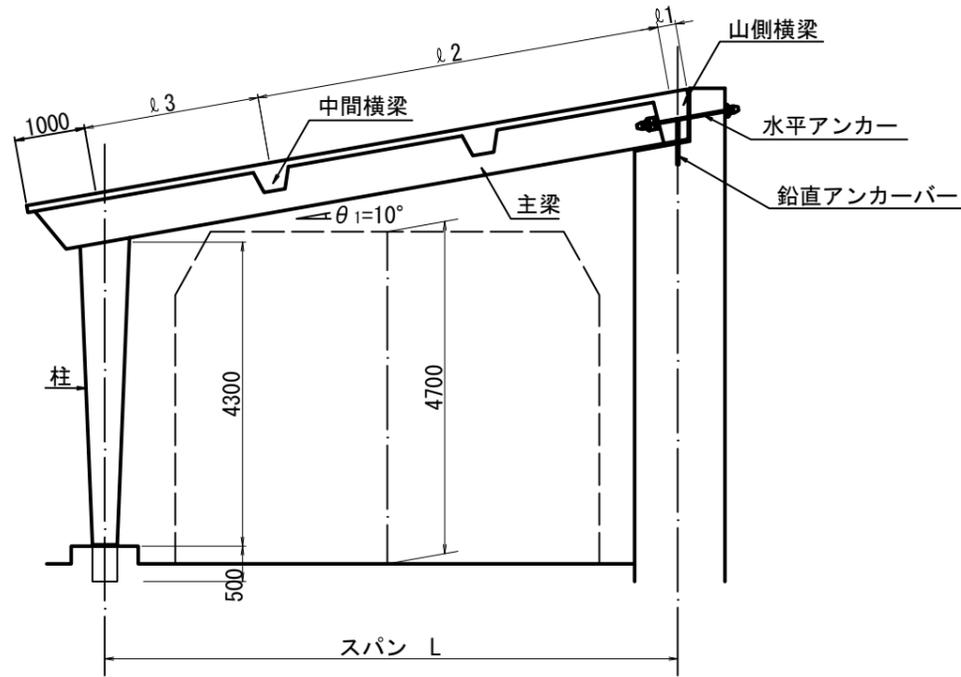
寸法許容差			
長さ	幅	高さ	厚さ
± 10mm	± 5mm		

特記事項

- ・ 設計は「道路防雪施設マニュアル(社団法人 北陸建設弘済会)」による。
- ・  $\sigma_{ck}=60\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A または SD345 とする。
- ・ PC鋼材は SWPR7BL とする。

名称	PCスノーシェッド	標準設計番号	道-VI-17~18
		工種記号	SS

横断図



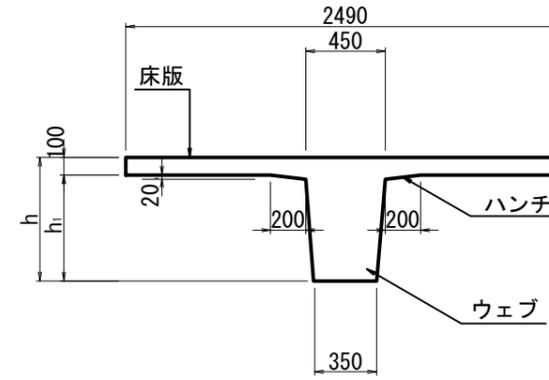
寸法表

記号	スパン L (m)					
	8	9	10	11	12	13
φ1 (mm)	175+h×tanθ <sub>1</sub>					
φ2 (mm)	2@3000 =6000	3@3000 =9000	3@3000 =9000	3@3000 =9000	4@3000 =12000	4@3000 =12000
φ3 (mm)	2123	139	1154	2170	185	1200

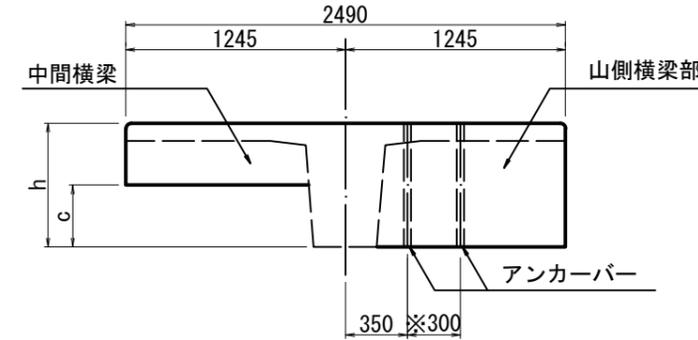
主梁・柱選定表

積雪深 H <sub>s</sub> (m) (単位重量 γ <sub>s</sub> (kN/m <sup>3</sup> ))	項目	スパン L (m)					
		8	9	10	11	12	13
1.0 (γ <sub>s</sub> =3.50)	構造タイプ	S108	S109	S110	S111	S112	S113
	使用部材	Bs50-Cs50			Bs60-Cs60		
2.0 (γ <sub>s</sub> =3.50)	構造タイプ	S208	S209	S210	S211	S212	S213
	使用部材	Bs50-Cs50			Bs60-Cs60		Bs70-Cs70
3.0 (γ <sub>s</sub> =3.50)	構造タイプ	S308	S309	S310	S311	S312	S313
	使用部材	Bs50-Cs50	Bs60-Cs60		Bs70-Cs70		Bs80-Cs80
4.0 (γ <sub>s</sub> =3.50)	構造タイプ	S408	S409	S410	S411	S412	S413
	使用部材	Bs60-Cs60		Bs70-Cs70		Bs80-Cs80	
5.0 (γ <sub>s</sub> =3.83)	構造タイプ	S508	S509	S510	S511	S512	S513
	使用部材	Bs60-Cs60	Bs70-Cs70		Bs80-Cs80		Bs90-Cs90
6.0 (γ <sub>s</sub> =4.17)	構造タイプ	S608	S609	S610	S611	S612	
	使用部材	Bs70-Cs70		Bs80-Cs80		Bs90-Cs90	
7.0 (γ <sub>s</sub> =4.50)	構造タイプ	S708	S709	S710	S711		
	使用部材	Bs70-Cs70	Bs80-Cs80		Bs90-Cs90		適用外

主梁断面図



主梁断面図  
中間横梁部・山側横梁部



※は外梁のみで中梁には設けない

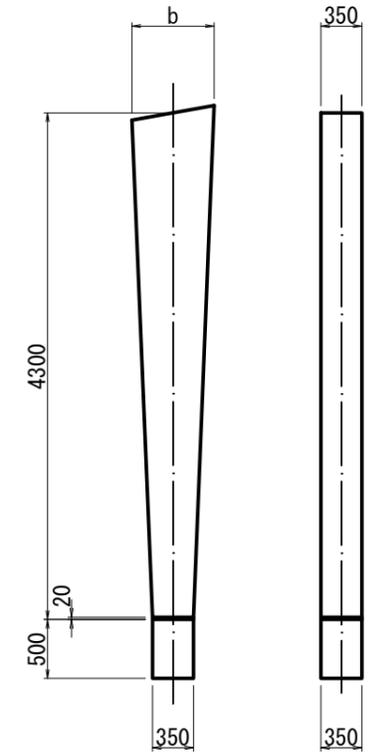
主梁寸法表

タイプ名	h (mm)	h <sub>1</sub> (mm)	C (mm)	
			中間横梁	山側横梁
Bs-50	500	400	150	0
Bs-60	600	500	250	0
Bs-70	700	600	350	0
Bs-80	800	700	400	0
Bs-90	900	800	500	0

特記事項

- ・ 詳細は「道路防雪施設マニュアル(社団法人 北陸建設弘済会)」による。
- ・ σ<sub>ck</sub>=60N/mm<sup>2</sup> 以上。
- ・ PC鋼材は SWPR7BL 及び SWPR19L とする。
- ・ 鉄筋は SD295A または SD345 とする。

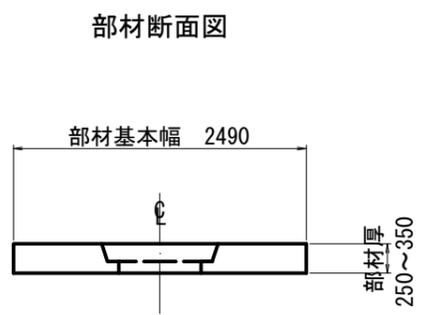
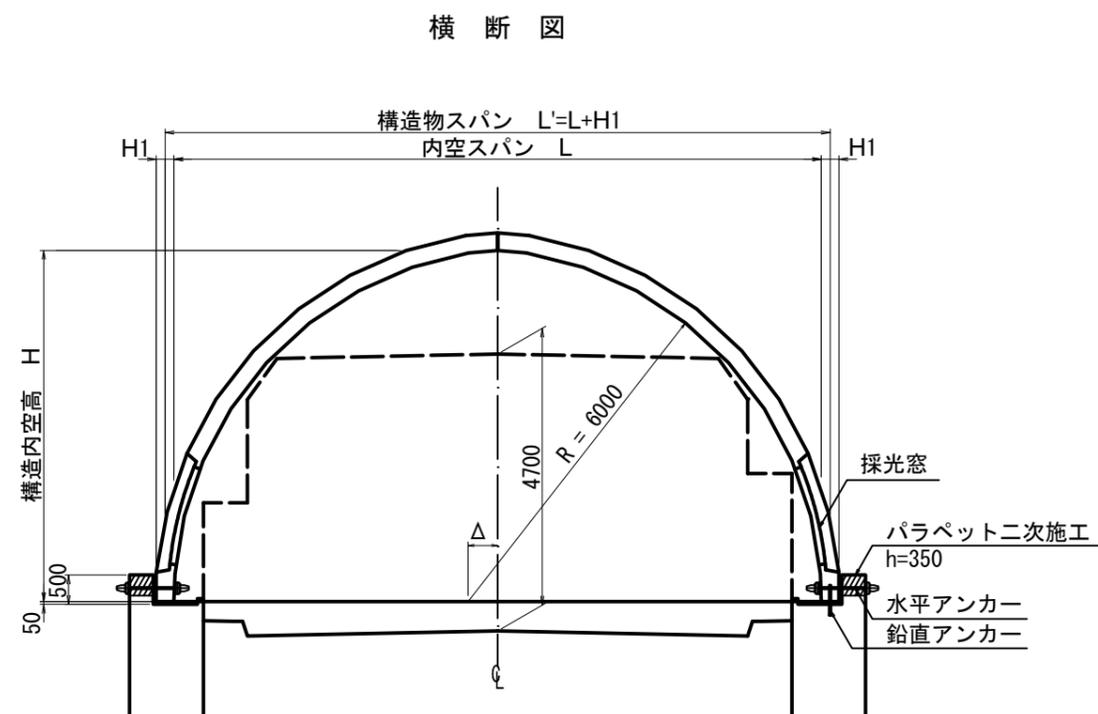
柱断面図



柱寸法表

タイプ名	Cs-50	Cs-60	Cs-70	Cs-80	Cs-90
柱頭巾 b (mm)	500	600	700	800	900

名称	PCスノーシェルター	標準設計番号	道-VI-19~22
		工種記号	SR



部材選定表

積雪深 単位重量	項目	スパンL (m)							
		8	9	10	11	12	13	14	15
1.0 ( $\gamma_s=3.50$ )	構造タイプ	S108	S109	S110	S111	S112	S113	S114	S115
	使用部材	M25-4-10(I)					M25-6-10(I)	M30-4-10(I)	
2.0 ( $\gamma_s=3.50$ )	構造タイプ	S208	S209	S210	S211	S212	S213	S214	S215
	使用部材	M25-4-10(I)				M25-6-10(I)	M30-4-10(I)	M30-6-10(I)	M30-6-12(I)
3.0 ( $\gamma_s=3.50$ )	構造タイプ	S308	S309	S310	S311	S312	S313		
	使用部材	M25-4-10(I)			M25-6-10(I)	M30-4-10(I)	M30-4-12(I)		
4.0 ( $\gamma_s=3.50$ )	構造タイプ	S408	S409	S410	S411	S412	S413		
	使用部材	M25-4-10(I)		M25-6-10(I)	M30-4-10(I)	M30-6-12(I)			
5.0 ( $\gamma_s=3.83$ )	構造タイプ	S508	S509	S510	S511	S512	S513		
	使用部材	M25-4-10(I)	M25-6-10(I)	M30-4-10(I)	M30-4-12(I)	M30-6-12(I)	M35-6-10(I)		
6.0 ( $\gamma_s=4.17$ )	構造タイプ	S608	S609	S610	S611	S612			
	使用部材	M25-6-10(I)	M30-4-10(II)	M30-4-12(II)	M30-6-12(I)	M35-6-10(I)			
7.0 ( $\gamma_s=4.50$ )	構造タイプ	S708	S709	S710	S711				
	使用部材	M30-6-10(II)			M35-6-12(II)				

寸法表

記号	スパン L (m)							
	8	9	10	11	12	13	14	15
H (mm)	5 650	5 787	5 914	5 958	6 000	6 000	6 000	6 000
$\Delta$ (mm)	2 000	1 500	1 000	500	0	0	0	0

(使用部材タイプの記号説明)



特記事項

- ・ 詳細は「道路防雪施設マニュアル(社団法人 北陸建設弘済会)」による。
- ・  $\sigma_{ck}=60N/mm^2$  以上。
- ・ PC鋼材は SWPR19L とする。
- ・ 鉄筋は SD295A および SD345 とする。

名称

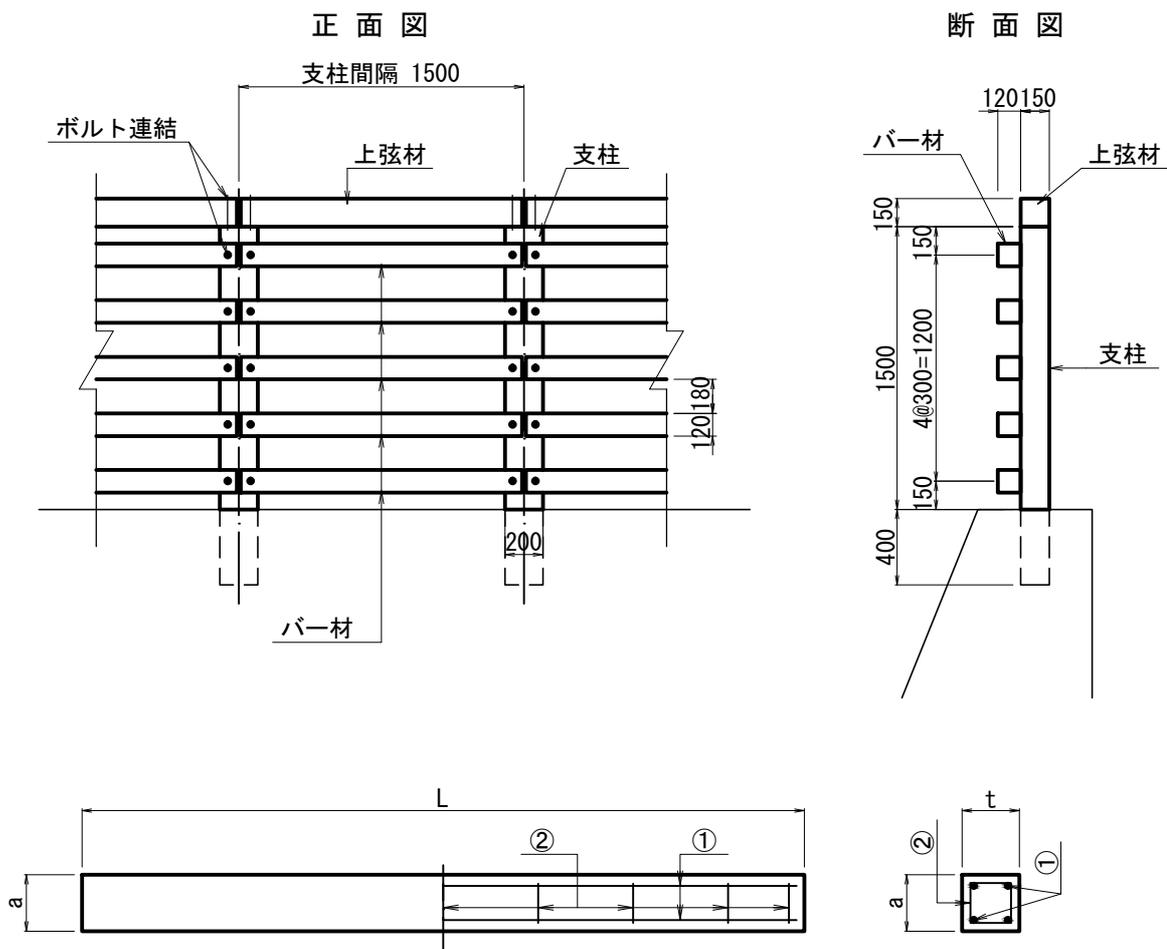
# 雪庇防止柵

標準設計番号

—

工種記号

—



項目 呼び名	寸法 (mm)			鉄筋				参考質量 (kg)
	a	t	L	①		②		
				径	本数	径	本数	
支柱	200	150	1900	D10	4	D6	9	137
上弦材	150	150	1480	D10	4	D6	7	80
バー材	120	120	1480	D6	4	D6	7	51
許容差	±5		±10	—				—

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A とする。
- ・ 適用場所は次の通りとする。
  - a) 積雪深  $H = 2.5 \text{ m}$  以下の場所
  - b) 斜面雪圧の作用しない場所

名称

PCスノーキーパー

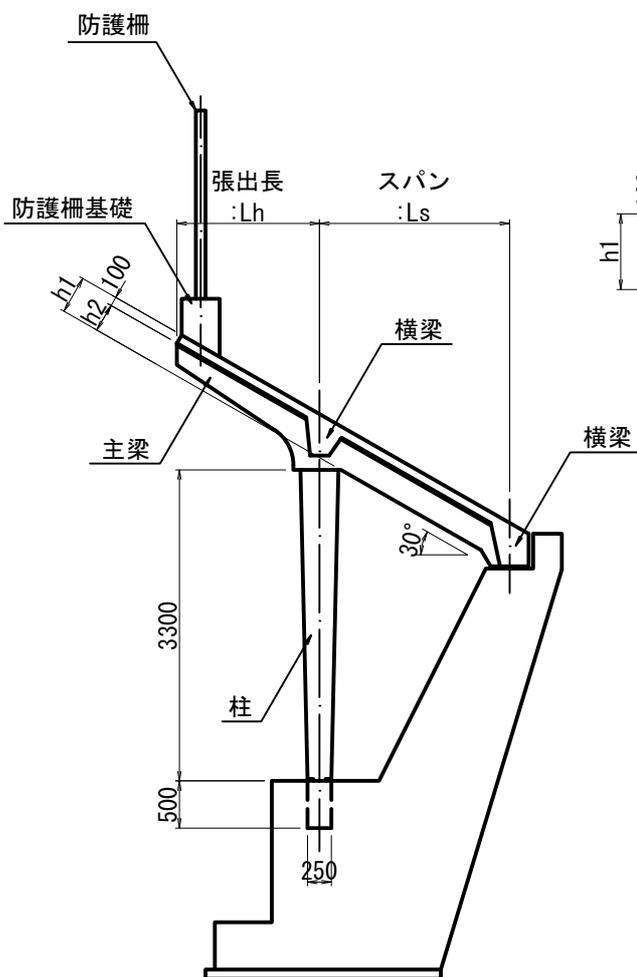
標準設計番号

-

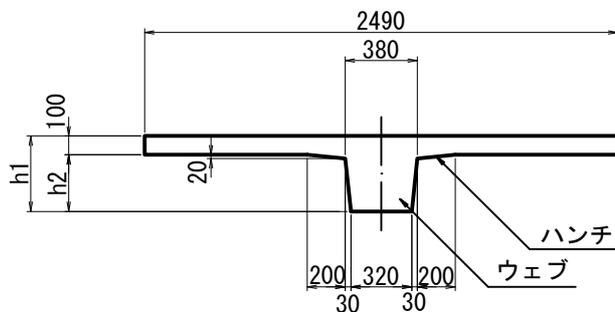
工種記号

-

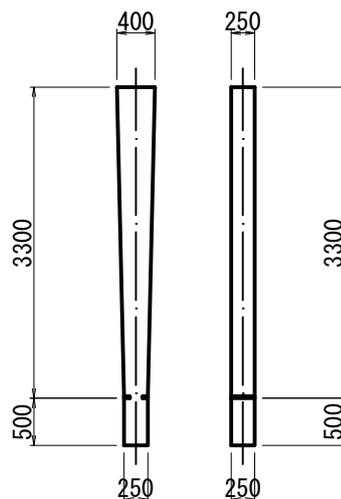
横断図



主梁断面図



柱断面図



寸法表

タイプ	Ls (mm)	Lh (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)
S	2000	1500	400	300
M	2500	1500	400	300
L	3000	2000	500	400

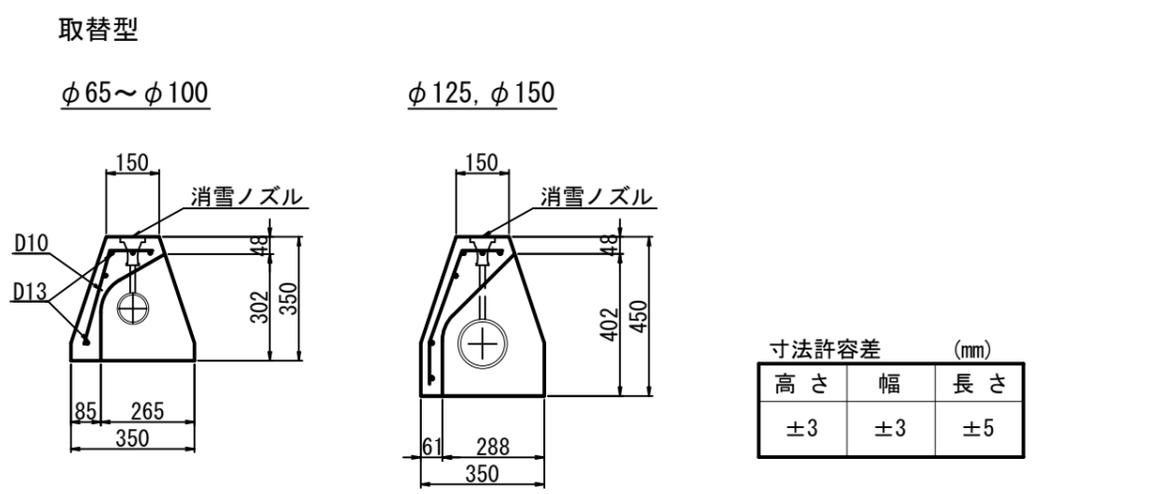
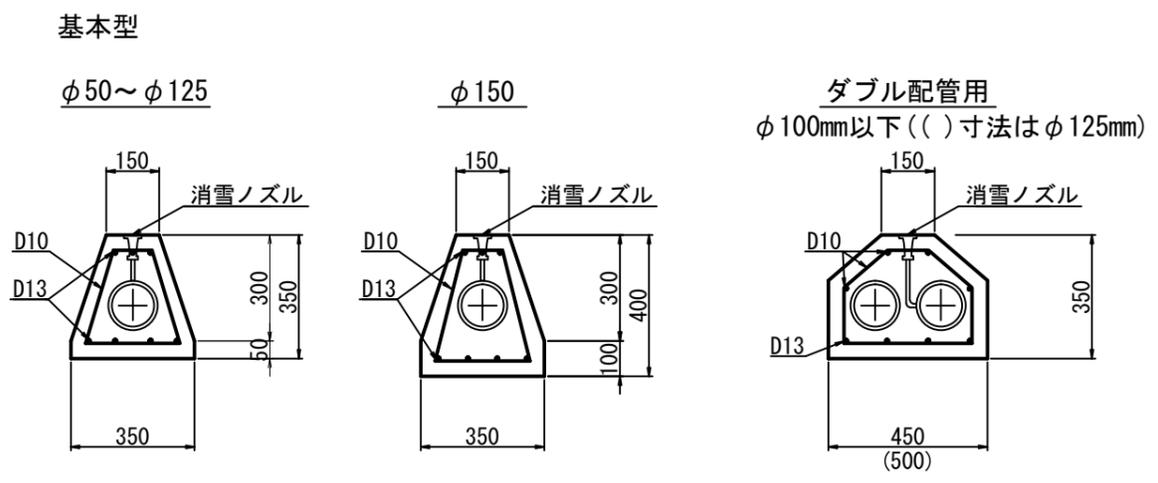
寸法許容差

主梁	長さ	幅	高さ	厚さ
	±10mm		±5mm	
柱	柱長さ	幅	厚さ	根入れ長
	±10mm		±5mm	

特記事項

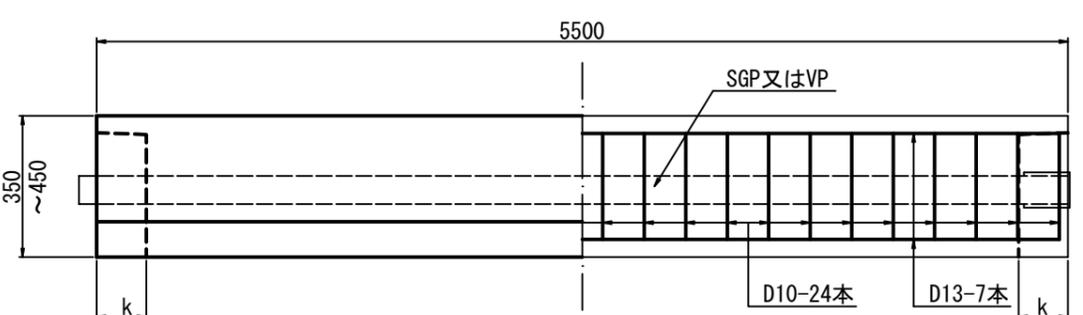
- ・ 設計は「道路防雪施設マニュアル(社団法人 北陸建設弘済会)」を参照する。
- ・  $\sigma_{ck}=60\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ PC鋼材は SWPR7BL 及び SBPR930/1080 とする。
- ・ 鉄筋は SD295A または SD345 とする。

名称	消雪パイプ	標準設計番号	道-Ⅶ-2 道-Ⅶ-5
		工種記号	SMF-S SMF-W SMF-T



寸法許容差 (mm)

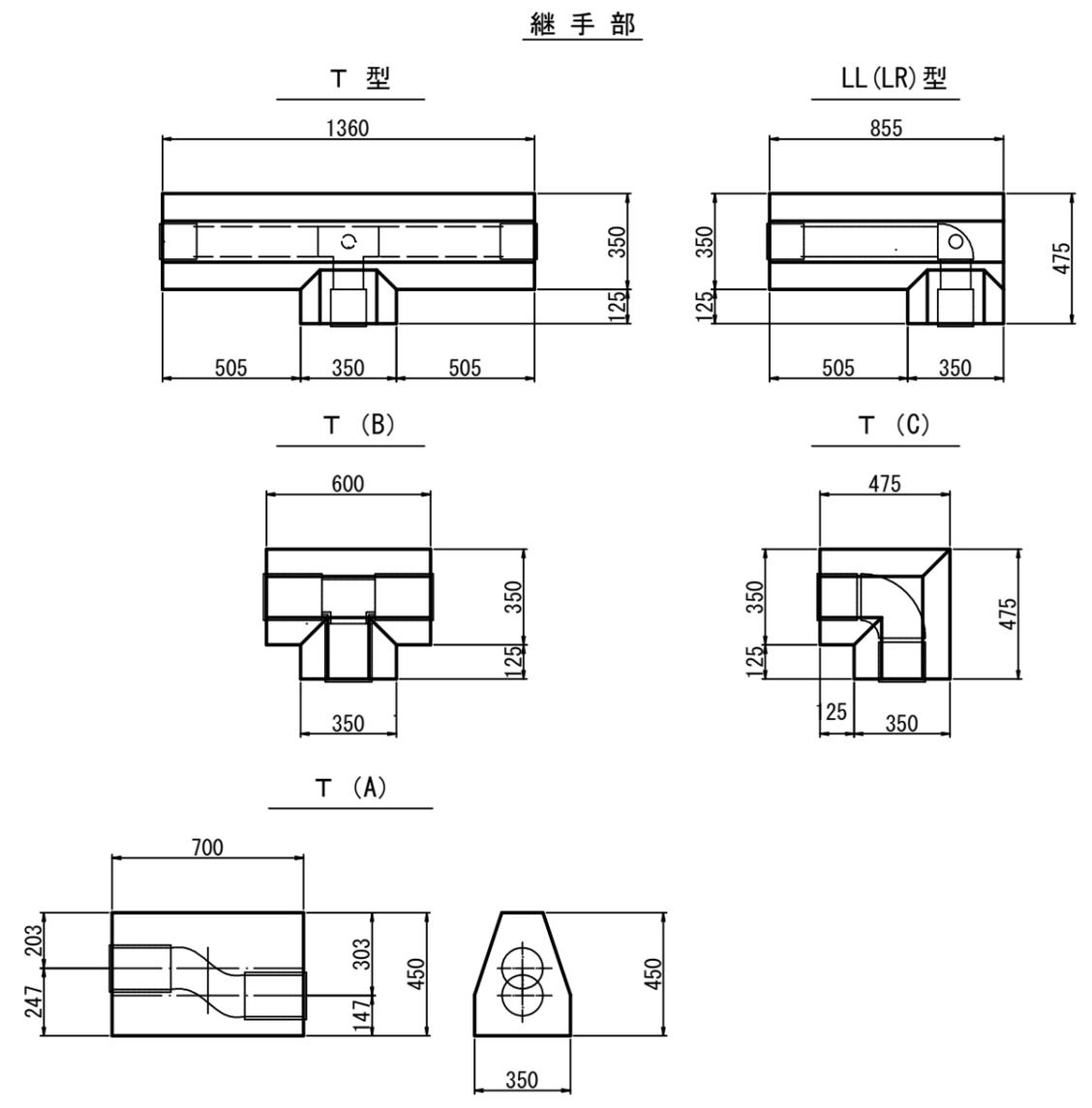
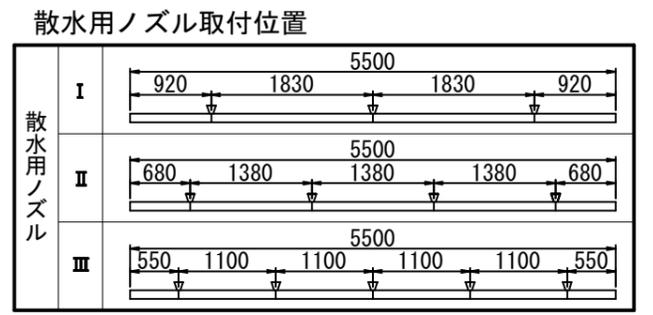
高さ	幅	長さ
±3	±3	±5



取替型  
φ65~φ100の場合、k=140  
φ125~φ150の場合、k=170

参考質量 (Kg)

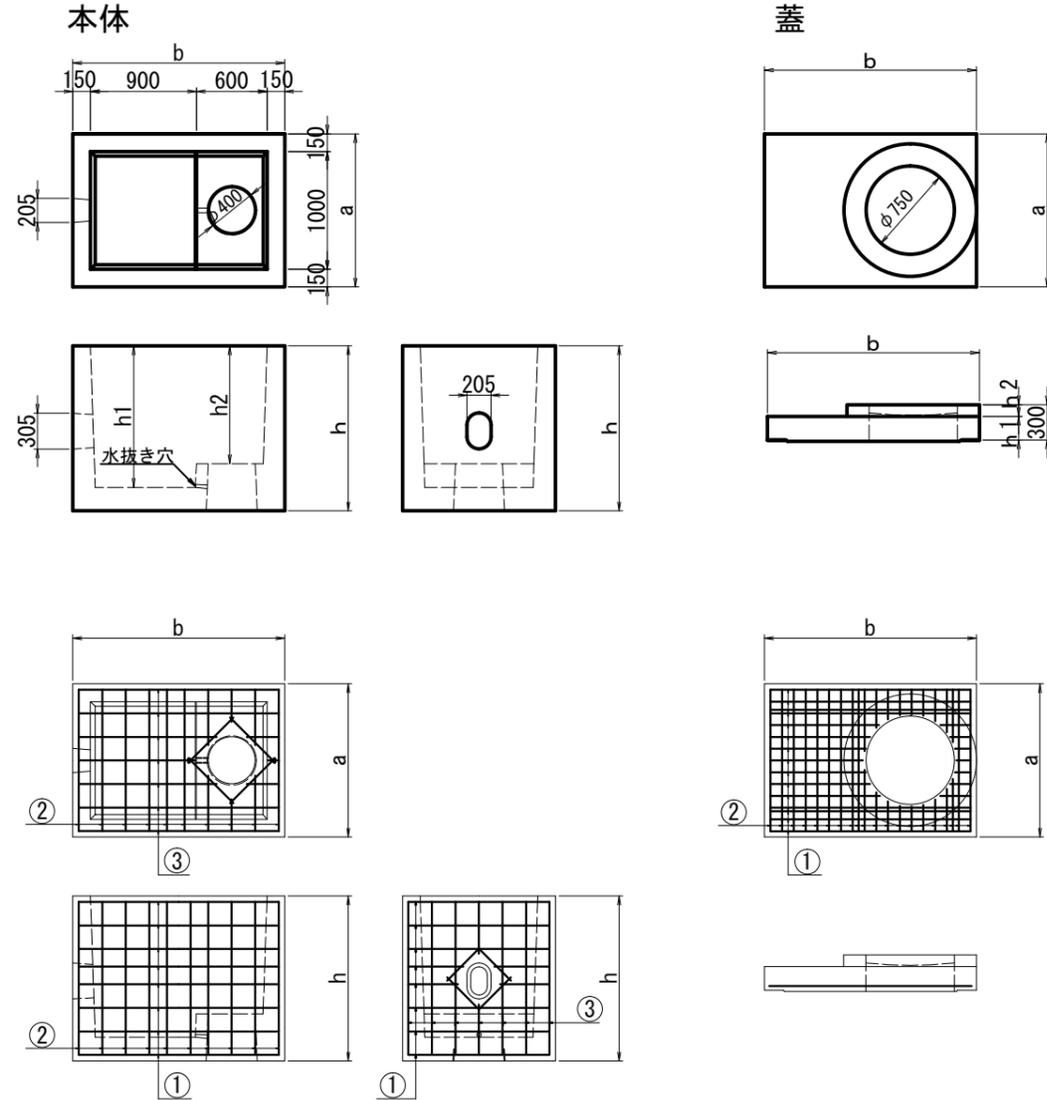
呼び名	基本型	取替型	呼び名	基本型	取替型
SGP 50A	1210	-	VP 50	1190	-
SGP 65A	1200	1160	VP 65	1165	1130
SGP 80A	1185	1145	VP 75	1150	1110
SGP100A	1150	1110	VP 100	1105	1065
SGP125A	1100	1490	VP 125	1040	1435
SGP150A	1275	1440	VP 150	1205	1365



- 特記事項
- ・詳細は、「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル(散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会)」による。
  - ・シングル配管用は $\sigma_c k=40N/mm^2$ 以上、ダブル配管用は $\sigma_c k=45N/mm^2$ 以上。
  - ・鉄筋は、SD295Aとする。
  - ・継手ブロック T型, LL(LR)型, T(A), T(B), T(C)も製作可能。
  - ・吊り下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

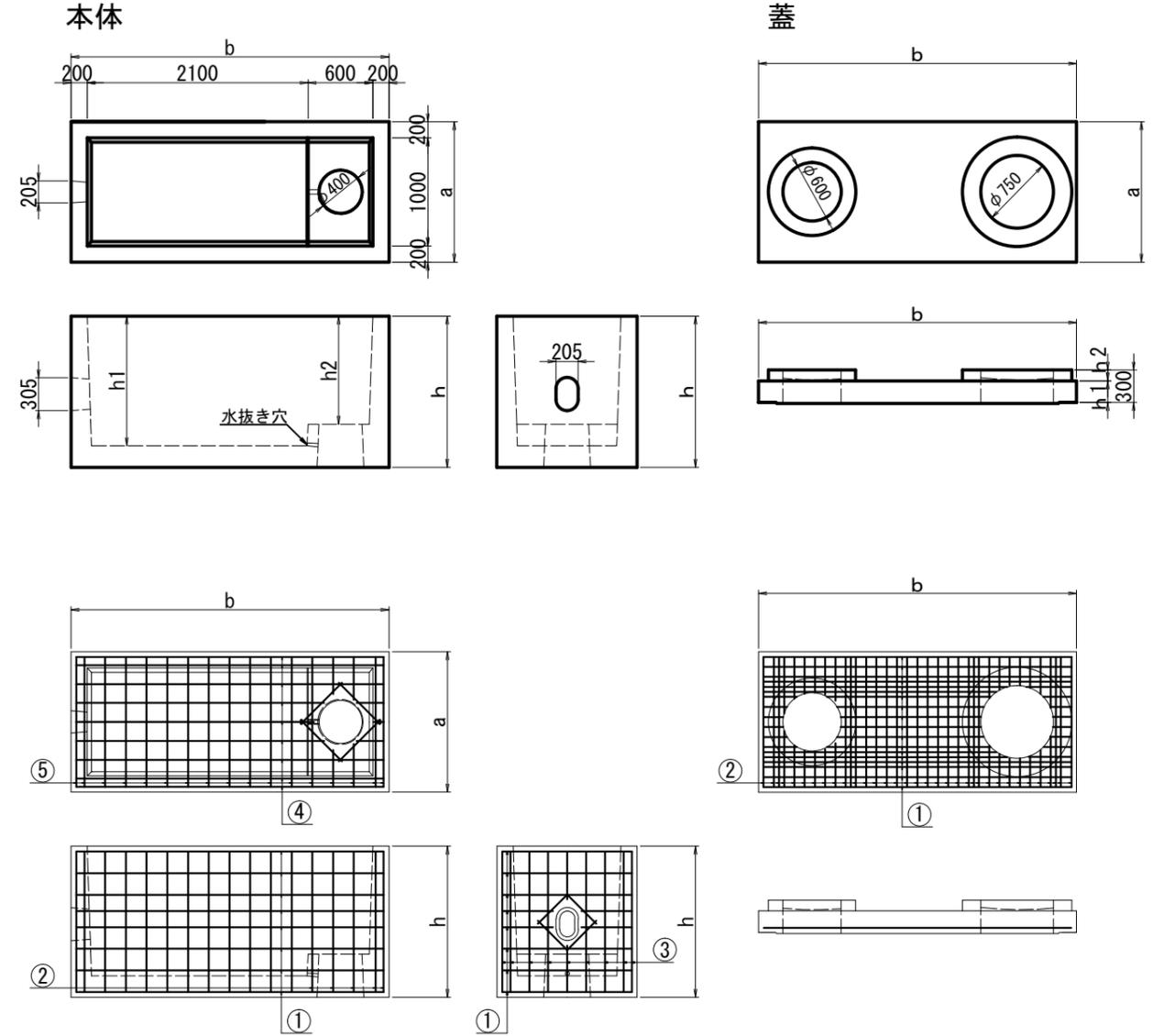
名称	消雪用ポンプ室	標準設計番号	道-VII-6
		工種記号	SMF-P1, P2 PF, P3

標準タイプ



	寸法 (mm)					鉄筋						参考質量 (kg)
	a	b	h	h1	h2	①		②		③		
						径	本数	径	本数	径	本数	
本体	1300	1800	1400	1200	1000	D13	8	D13	10	D13	7	3930
蓋	1300	1800	-	200	100	D13	15	D13	20	-	-	1920
許容差	±3		±5	±3		-						-

流量計併設タイプ



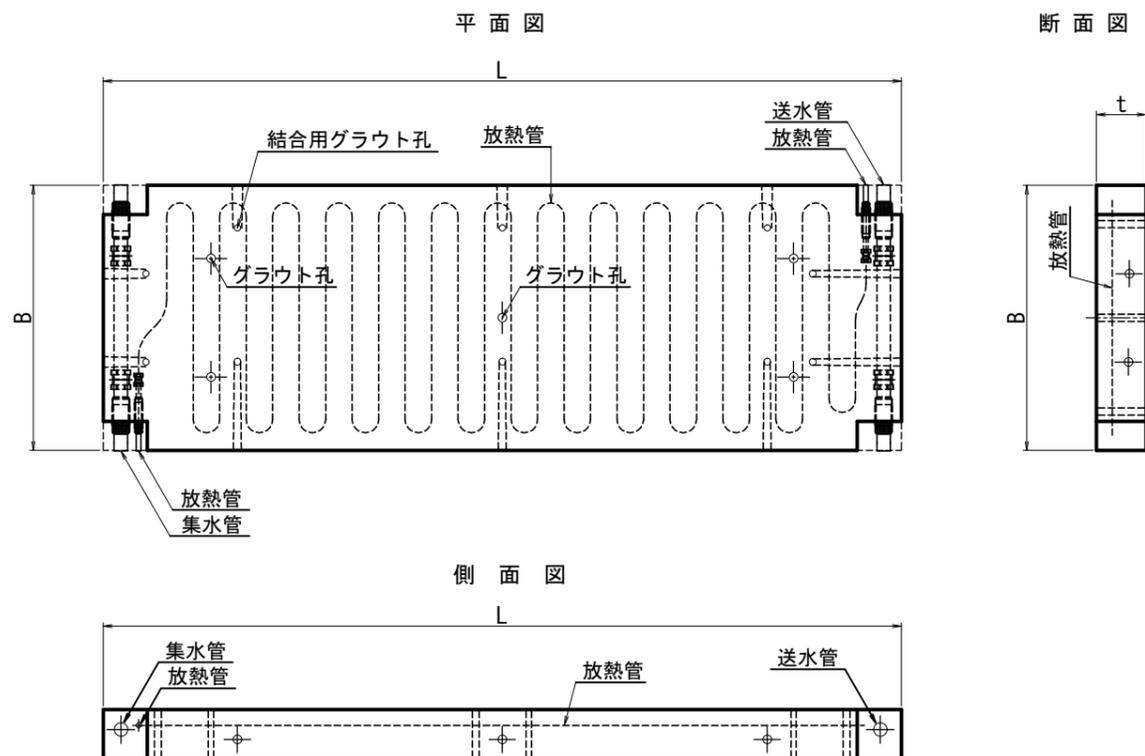
	寸法 (mm)					鉄筋										参考質量 (kg)
	a	b	h	h1	h2	①		②		③		④		⑤		
						径	本数									
本体	1400	3100	1350	1200	1000	D16	8	D16	17	D16	9	D13	9	D13	17	6300
蓋	1400	3100	-	200	100	D13	18	D13	35	-	-	-	-	-	-	2170
許容差	±3		±5	±3		-										-

特記事項

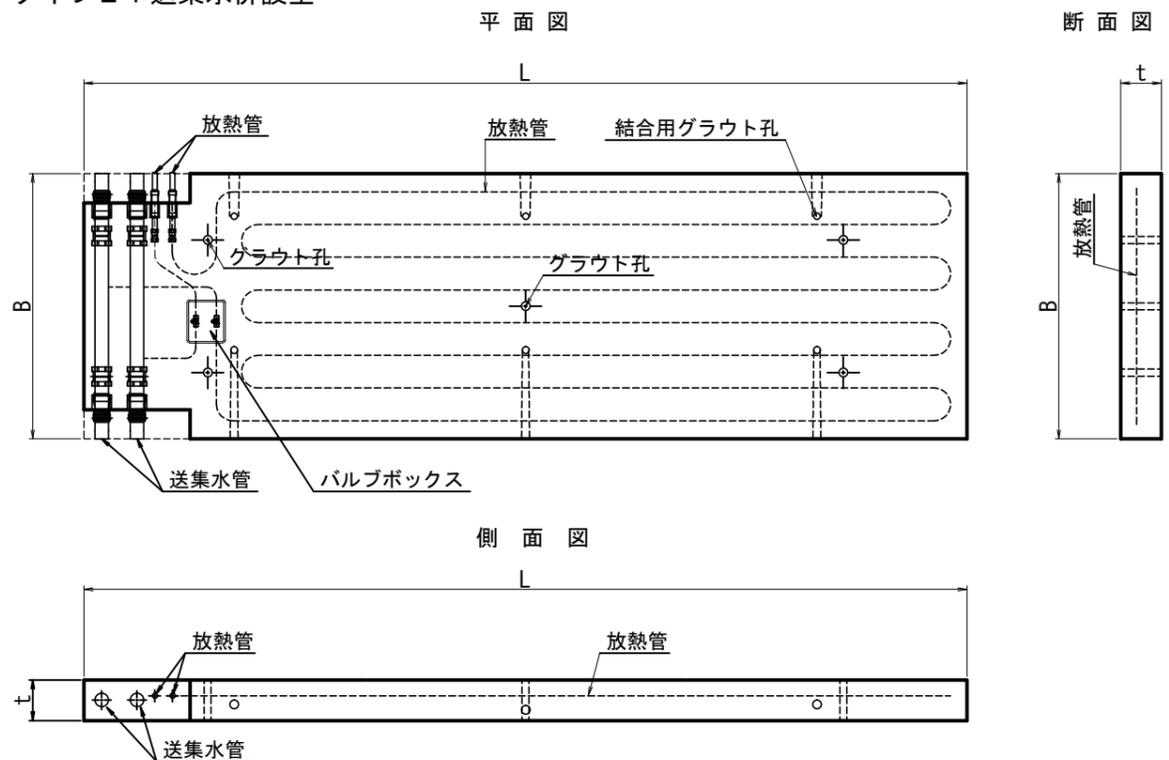
- ・詳細は、「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル(散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k = 30N/mm^2$  以上。
- ・鉄筋は、SD345とする。

名称	融雪舗装版	標準設計番号	道-VII-9
		工種記号	URC

タイプ1：送集水分離型

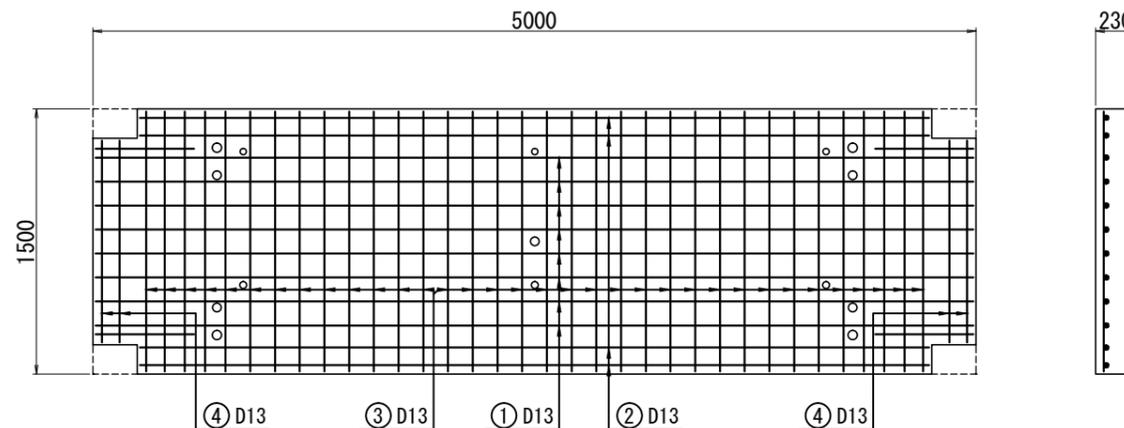


タイプ2：送集水併設型



※寸法の許容差は B, L=±5mm、t=±3mm

配筋図 (参考)



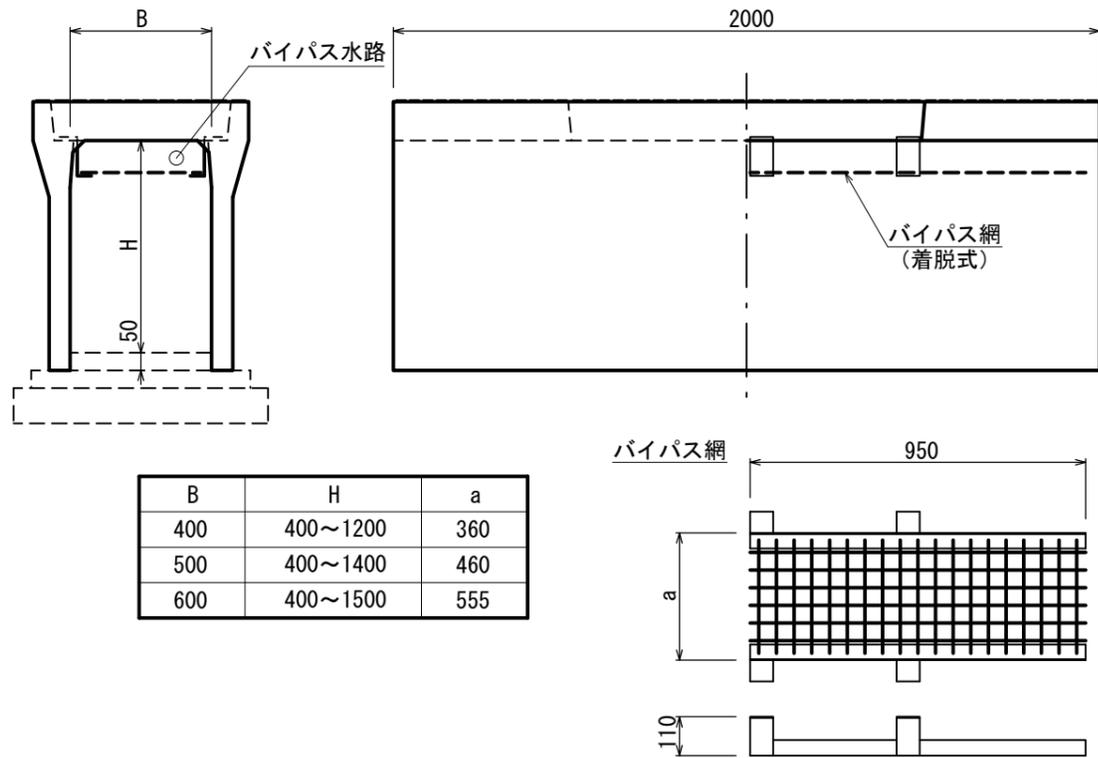
呼び名	鉄筋				適用条件 (例)	
	①	②	③	④	適用場所：明かり部 (温度差：大) 交通量：N6(1,000~3,000台/日・方向) 曲げ強度：5.9 N/mm <sup>2</sup> 鉄筋比：0.51%以上	
1500×5000×230	径 D13 本数 16	径 D13 本数 8	径 D13 本数 68	径 D13 本数 8		

特記事項

- ・詳細は、「リバーシブル型・融雪配管埋設型プレキャストRC版舗装 設計施工マニュアル (プレキャストRC版舗装協会)」を参考にするものとする。
- ・形状寸法、配筋、放熱管配置形状は物件ごとに異なる。
- ・曲げ強度=5.9N/mm<sup>2</sup>以上。(歩道の場合は、σ<sub>ck</sub>=30N/mm<sup>2</sup>以上。)
- ・鉄筋は SD295A とする。
- ・必要に応じて結合用グラウト孔を設ける。
- ・隅部は切欠きのない製品もある。
- ・版厚、配筋については、適用条件 (交通量・温度差等) により決定する。

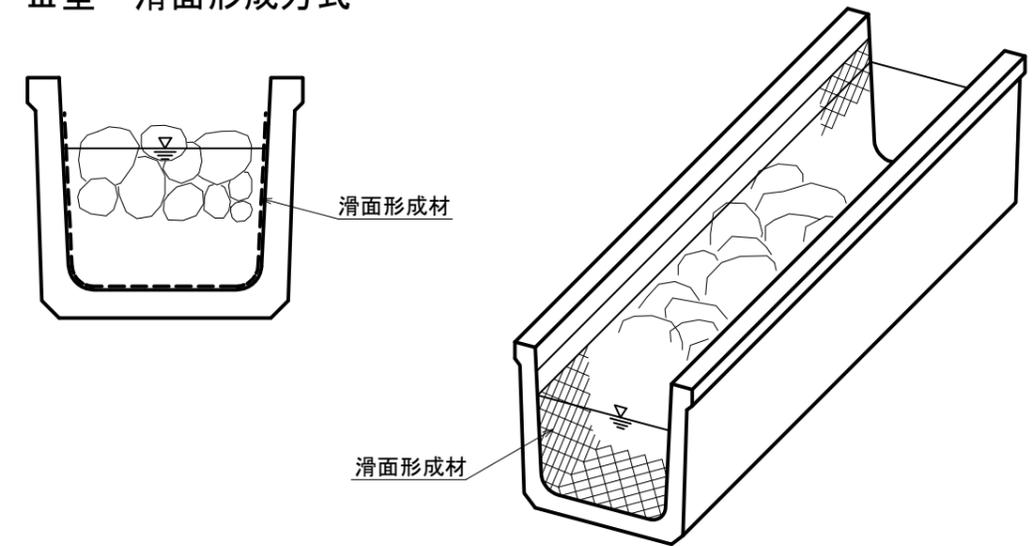
名称	流雪溝	標準設計番号	—
		工種番号	—

I型 上部バイパス方式



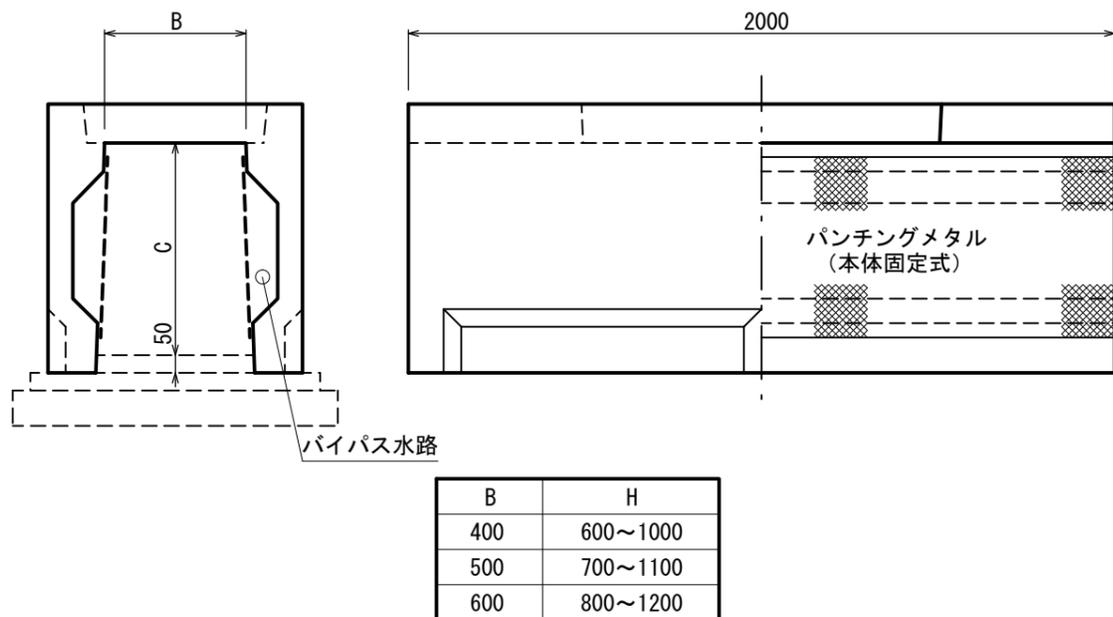
B	H	a
400	400~1200	360
500	400~1400	460
600	400~1500	555

Ⅲ型 滑面形成方式



分類	工法	材質
塗装型	ミゼロン塗装流雪溝	超厚膜型ポリウレタン樹脂塗料
樹脂型	FRP工法	繊維強化プラスチック

Ⅱ型 横バイパス方式

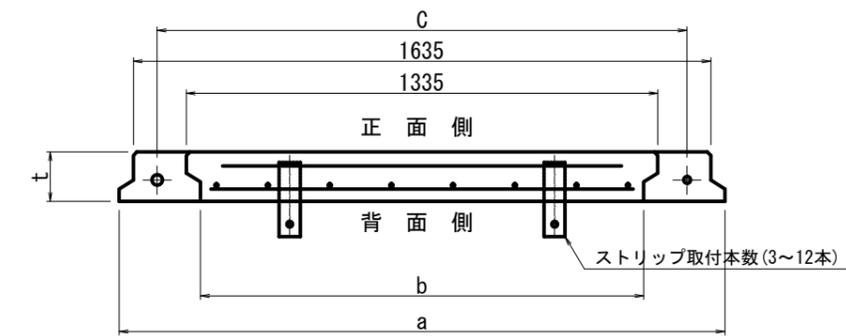
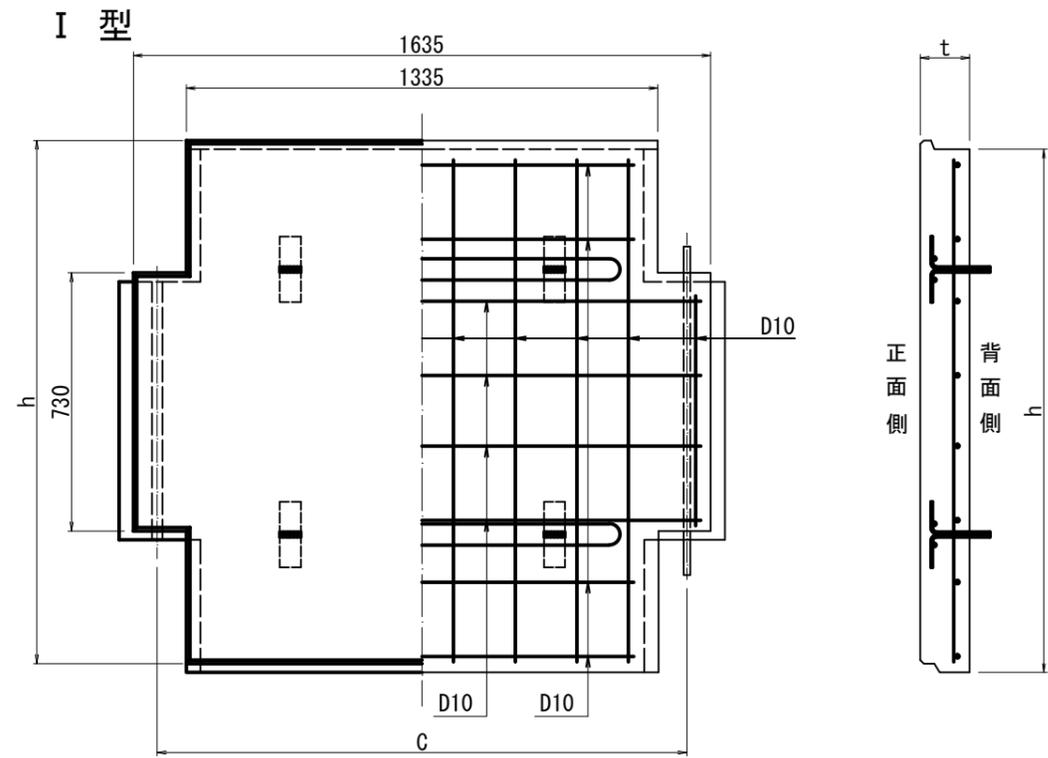


B	H
400	600~1000
500	700~1100
600	800~1200

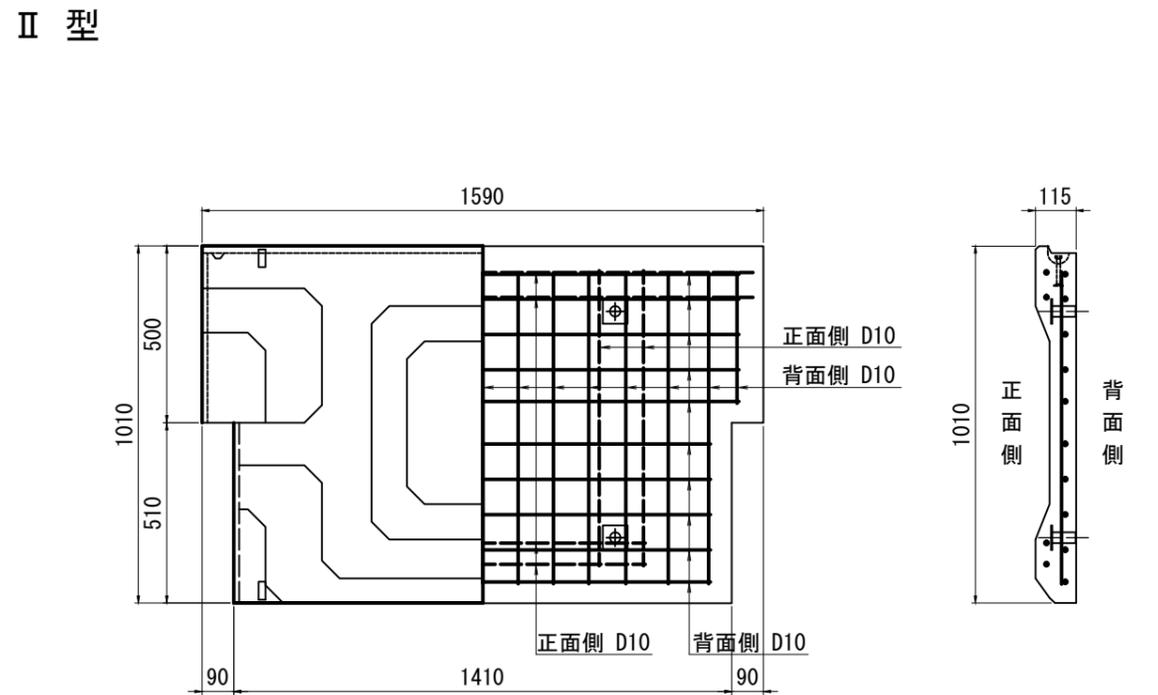
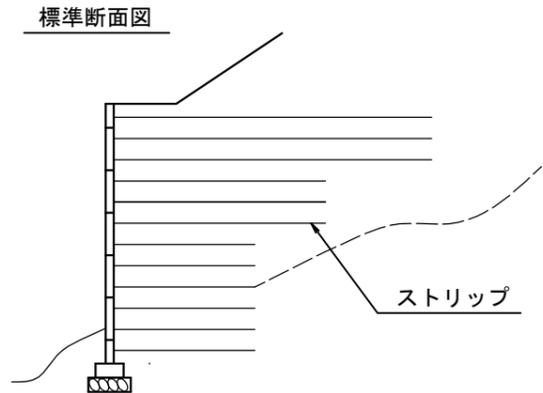
特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A 及び JIS A 3532 に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線とする。
- ・ 設計にあたっては、「流雪溝設計運営要領（建設省北陸地方建設局 1983）」、「道路防雪便覧（（社）日本道路協会 平成2年5月）」を参照のこと。
- ・ I、II型の本体規格は、「自由勾配側溝」の設計資料を準用。
- ・ III型の本体規格は、「U型溝」「道路用側溝」の設計資料を準用。
- ・ III型は、製品に滑面形成材を施した製品。
- ・ 一般的な蓋版として、コンクリート蓋、グレーチング蓋（鋼製格子蓋）、鋼製蓋（縞鋼板、パンチングメタル等）があり、安全性、耐久性、開閉の難易、及び使用場所などに応じて選択すること。
- ・ 投入口には、転落防止用鋼製十字柵を設けるものとする。

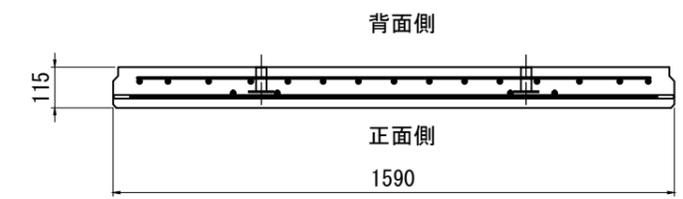
名称	補強土壁ブロック	標準設計番号	-
		工種記号	-



タイプ	寸法 (mm)					参考質量 (kg)
	c	a	b	h	t	
I-1	1500	1715	1255	1480	140	790
I-2		1695				740
許容差		±5				-

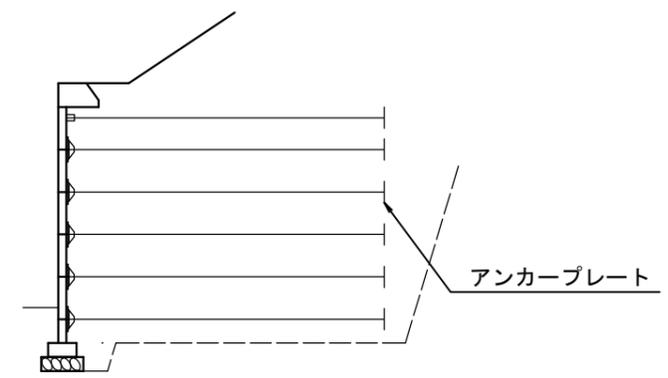


※配筋図はα壁面材を示す。

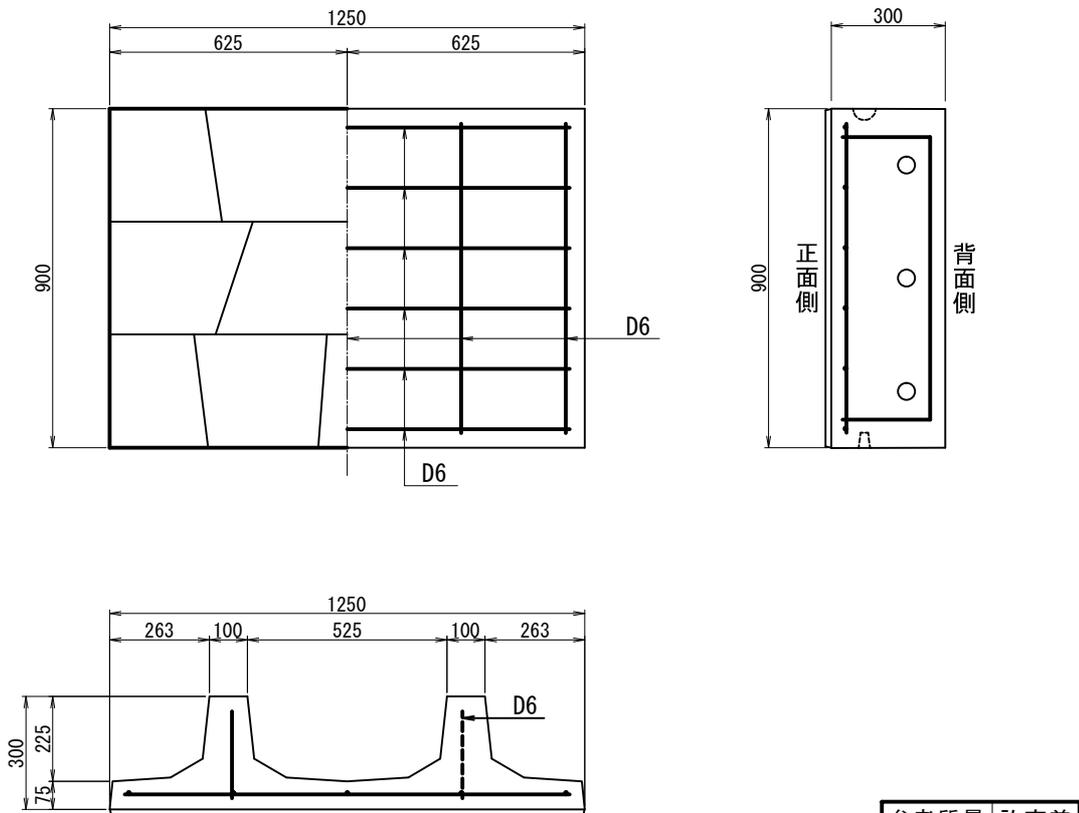


参考質量	許容差
350kg	±5mm

標準断面図

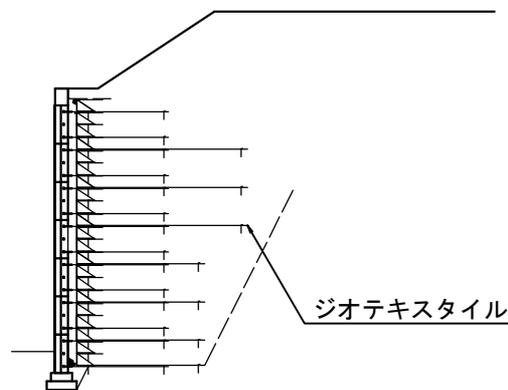


Ⅲ 型



参考質量	許容差
350kg	±5mm

標準断面図

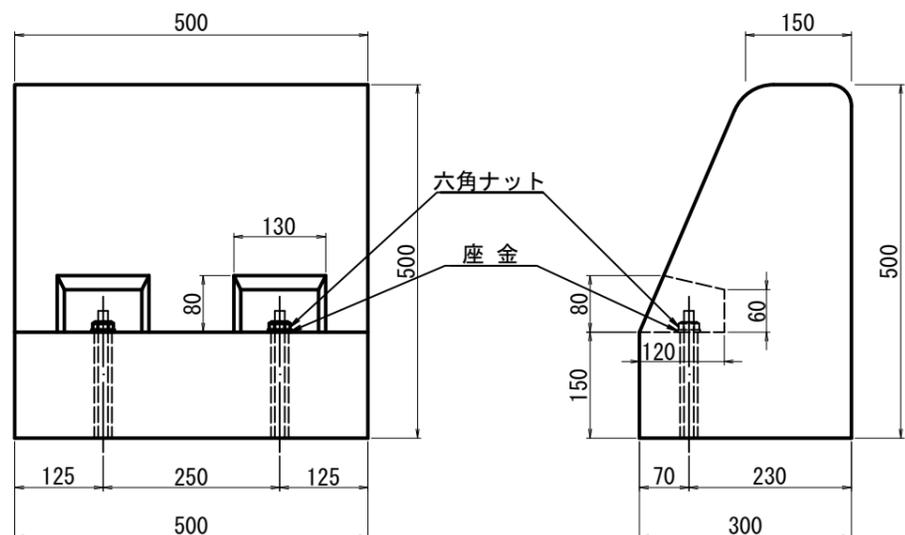


特記事項

- ・ 詳細は、Ⅰ型(テールアルメ)については「補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。
- ・ Ⅱ型(多数アンカー)については、「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。
- ・ Ⅲ型については、「アダムウォール(補強土壁)工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。

名称	駒止めブロック	標準設計番号	—
		工種記号	—

I 型

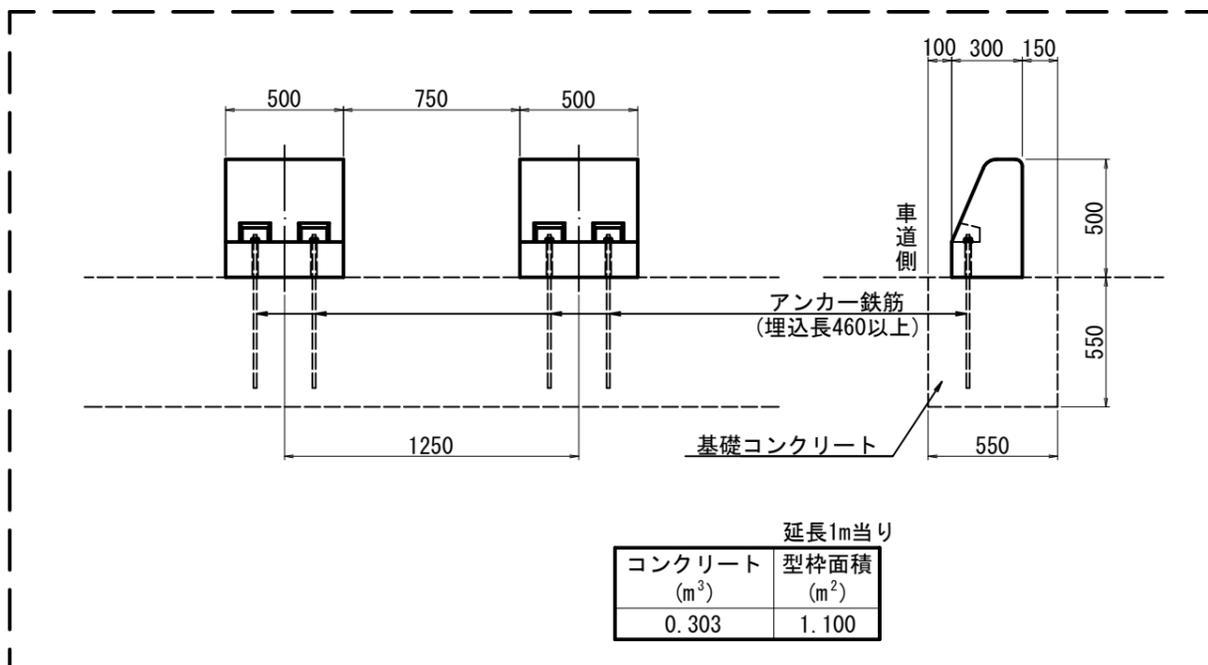


参考質量 (kg)
137

寸法許容差

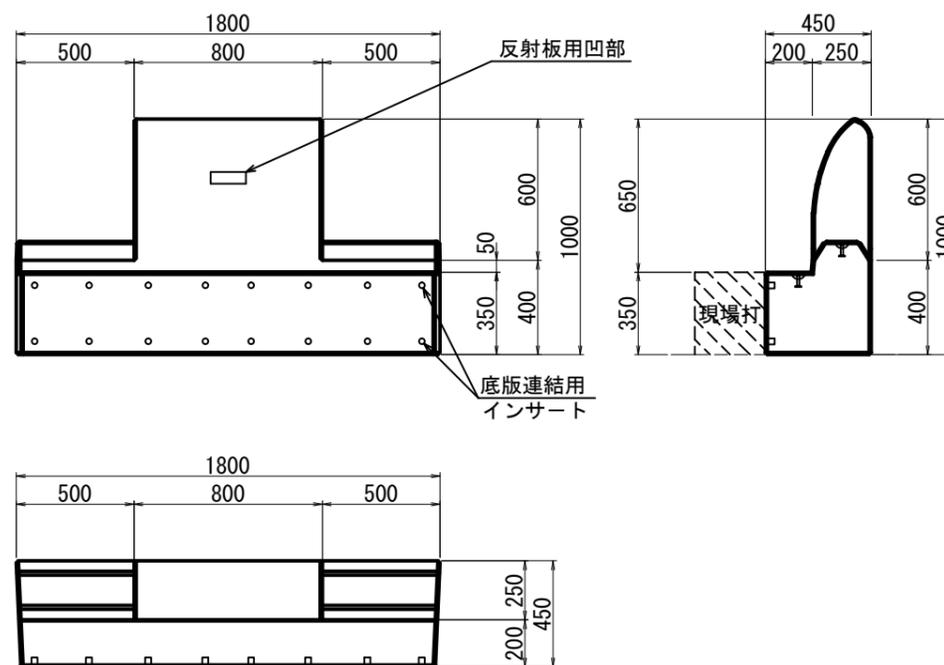
幅	高さ	長さ
±3	±3	±3

参考図表



延長1m当り	
コンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠面積 (m <sup>2</sup> )
0.303	1.100

II 型 (耐雪型)

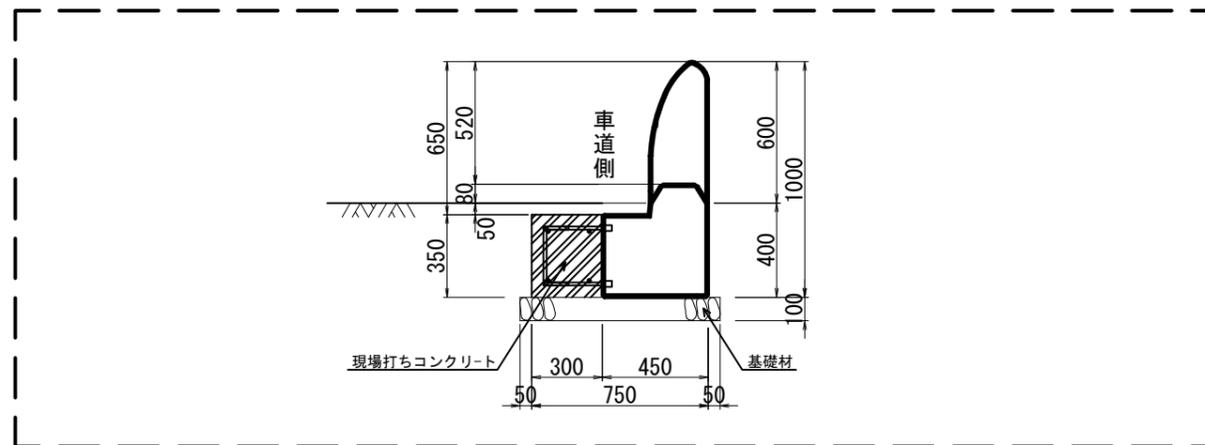


参考質量 (kg)
1054

寸法許容差

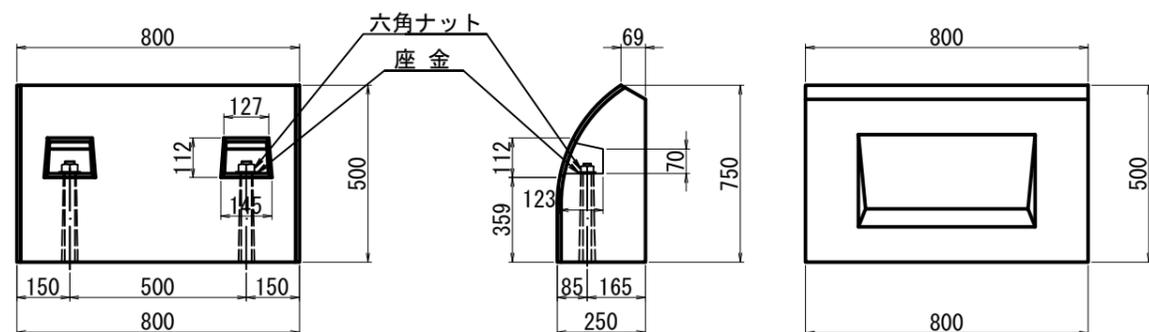
幅	高さ	長さ
±3	±5	±5

参考図表



名称	駒止めブロック	
	標準設計番号	—
	工種記号	—

Ⅲ 型

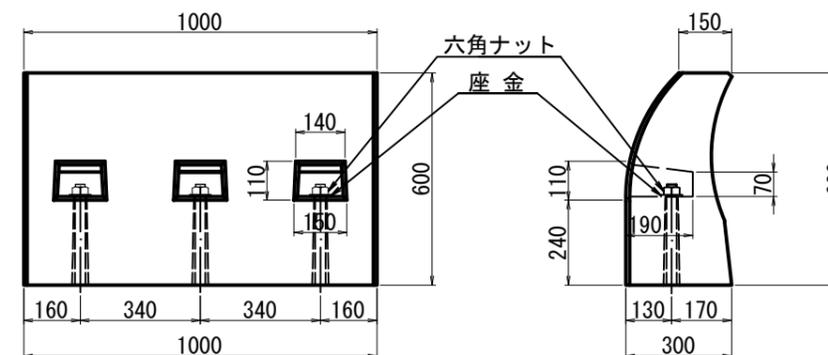


参考質量 (kg)
180

寸法許容差

幅	高さ	長さ
±3	±3	±3

Ⅳ 型

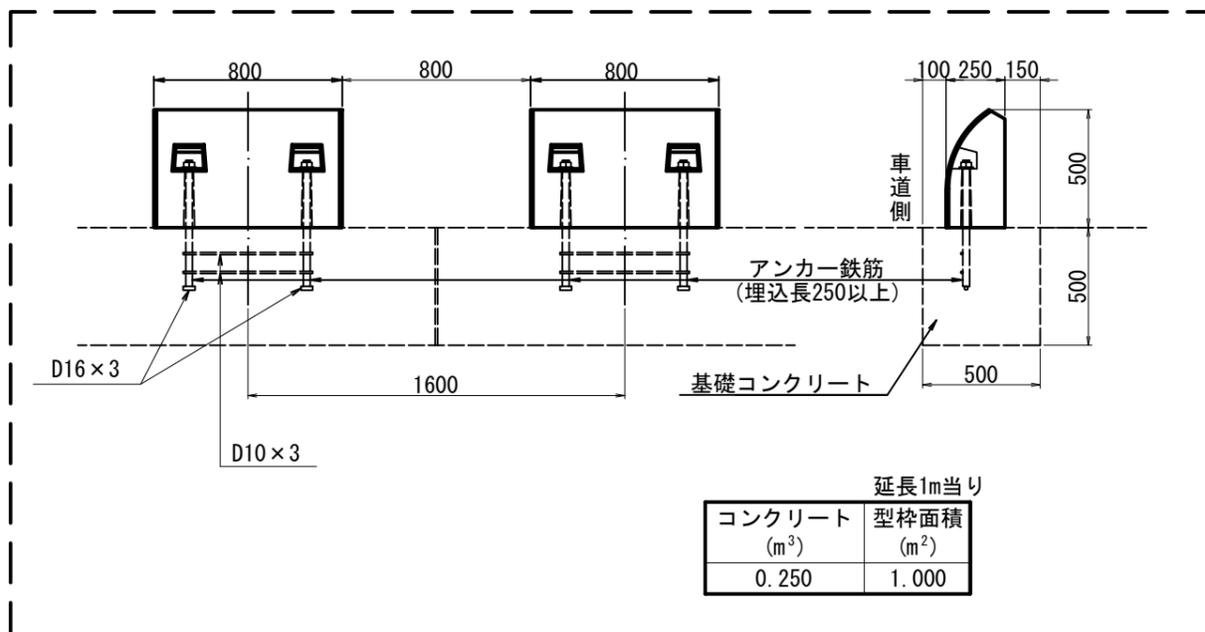


参考質量 (kg)
320

寸法許容差

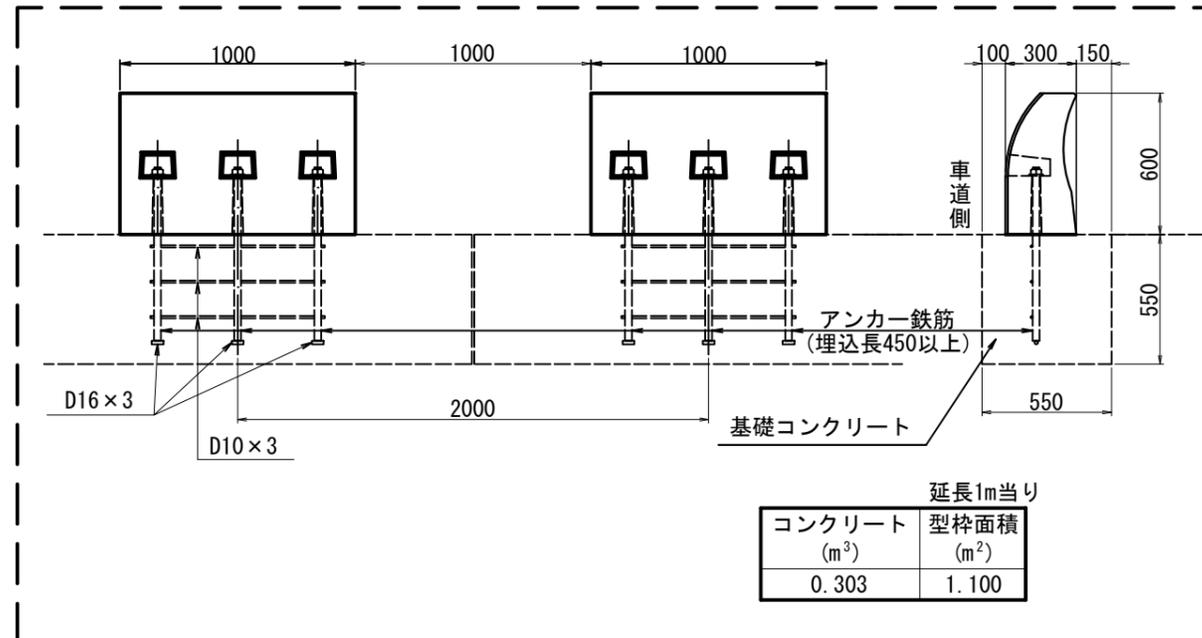
幅	高さ	長さ
±3	±3	±5

参考図表



延長1m当り	
コンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠面積 (m <sup>2</sup> )
0.250	1.000

参考図表



延長1m当り	
コンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠面積 (m <sup>2</sup> )
0.303	1.100

特記事項

- ・ I 型、II 型の詳細は、「積雪地におけるプレキャストコンクリート防護柵要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ II 型、III 型、IV 型の鉄筋は、SD295A 及び JIS G 3532に規定する鉄線とする。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

名称

## ガードレール基礎

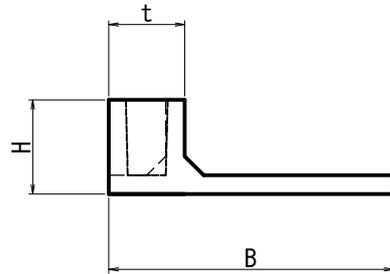
標準設計番号

-

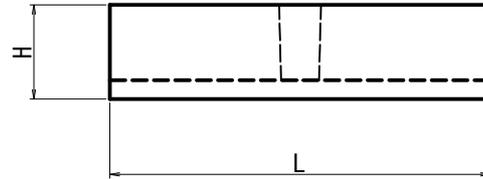
工種記号

-

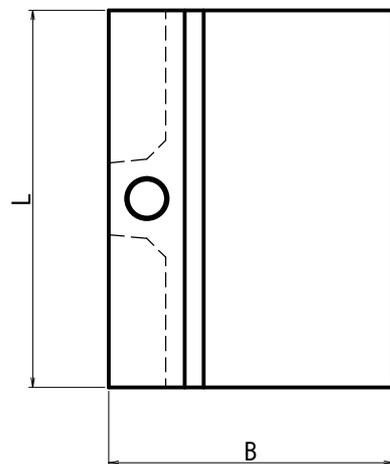
側図



正面



平面図



防護柵の種別	寸法 (mm)				支柱間隔 (mm)	参考質量 (kg)
	t	H	B	L		
A種~B, C種	300~400	480~700	800~2000	2000 (3000)	2000~4000	630~2235
許容差	—	±3		+5, -3	—	—

## 特記事項

- ・詳細は、「道路土工—擁壁工指針（社団法人 日本道路協会）」及び「車両用防護柵標準仕様・同解説（社団法人 日本道路協会）」、「積雪地におけるプレキャスト防護柵要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・鉄筋は、SD295Aとする。
- ・ガードレール基礎ブロックは、連結構造とする。

名称

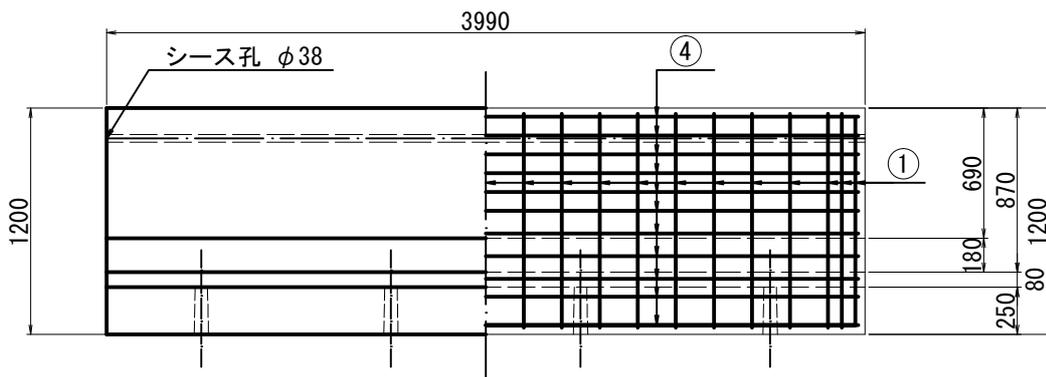
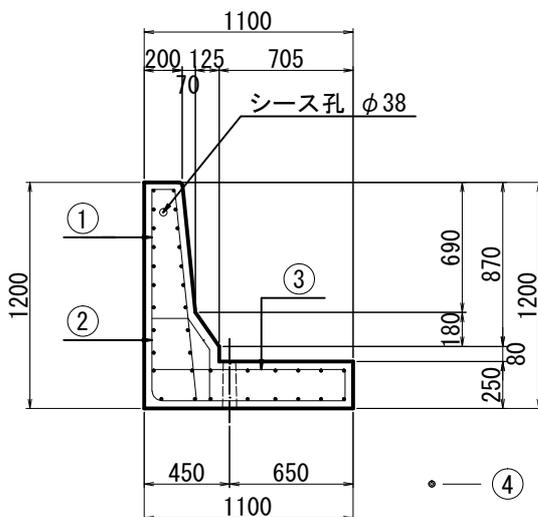
プレキャスト壁型防護柵

標準設計番号

-

工種記号

-



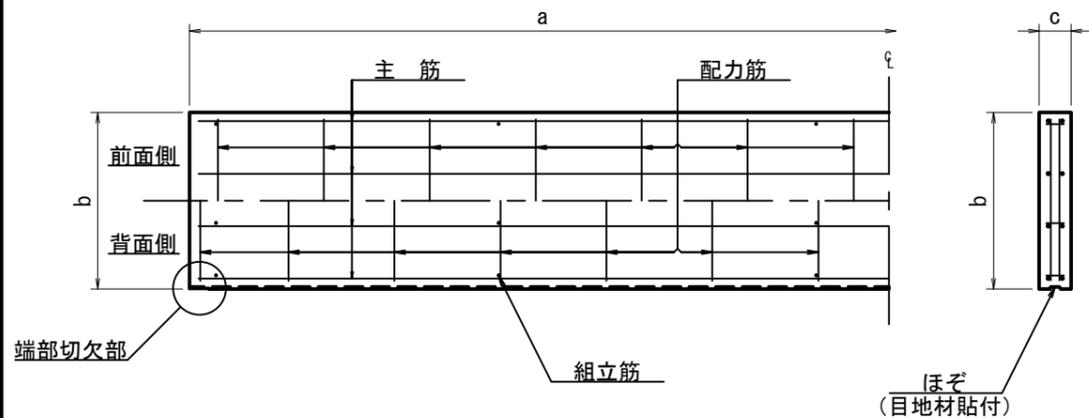
種別	許容差 (mm)			鉄筋								参考質量 (kg)
	高さ (H)	幅 (B)	長さ (L)	①		②		③		④		
				径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
SB	+5, -3	+5, -3	+6, -3	D13	23	D13	23	D13	23	D13	34	5270

特記事項

- ・ 詳細は、「防護柵の設置基準・同解説(社団法人 日本道路協会)」, 「車両用防護柵標準仕様・同解説(社団法人 日本道路協会)」および「積雪地におけるプレキャストコンクリート防護柵要領(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・  $\sigma_{ck}=35N/mm^2$  以上。
- ・ 鉄筋は SD295A 以上とする。
- ・ 製品長は3.990mを標準とする。ただし平面曲線半径が小さい場合2.990mとする。
- ・ 各製品をPC鋼より線1T21.8(アンボンド処理)により緊張し連結する。

名称	遮音壁	標準設計番号	—
		工種記号	—

遮音板

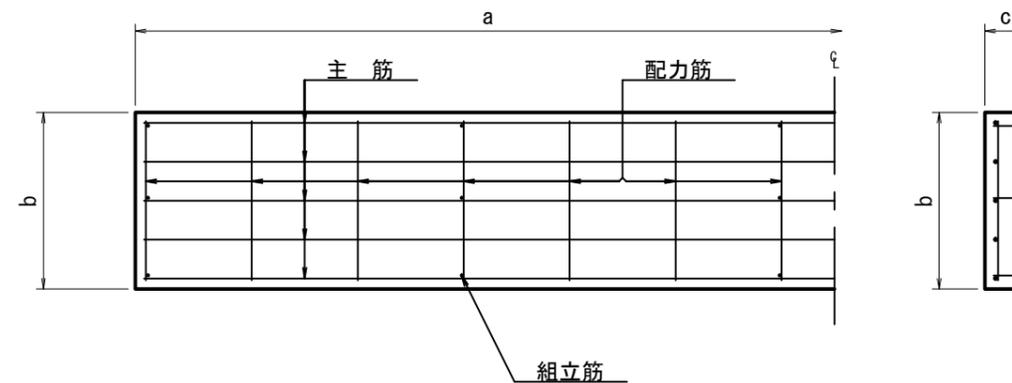


端部切欠形状

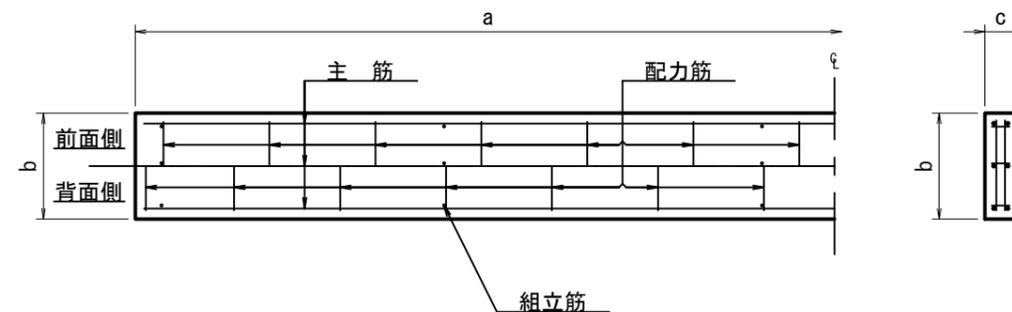


項目	寸法 (mm)			鉄筋						参考質量 (kg)
	a	b	c	主筋		配力筋		組立筋		
				径	本数	径	本数	径	本数	
遮音板	3960	500	90	D10	8	D6	28	D6	18	427
許容差	±4	±3	±3	—	—	—	—	—	—	—

土留板



保護路肩部土留板



項目	寸法 (mm)			鉄筋						参考質量 (kg)
	a	b	c	主筋		配力筋		組立筋		
				径	本数	径	本数	径	本数	
土留板	3960	500	120	D10	10	D6	28	D6	18	570
保護路肩部土留板	3960	300	90	D10	6	D6	28	D6	18	257
許容差	±4	±3	±3	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

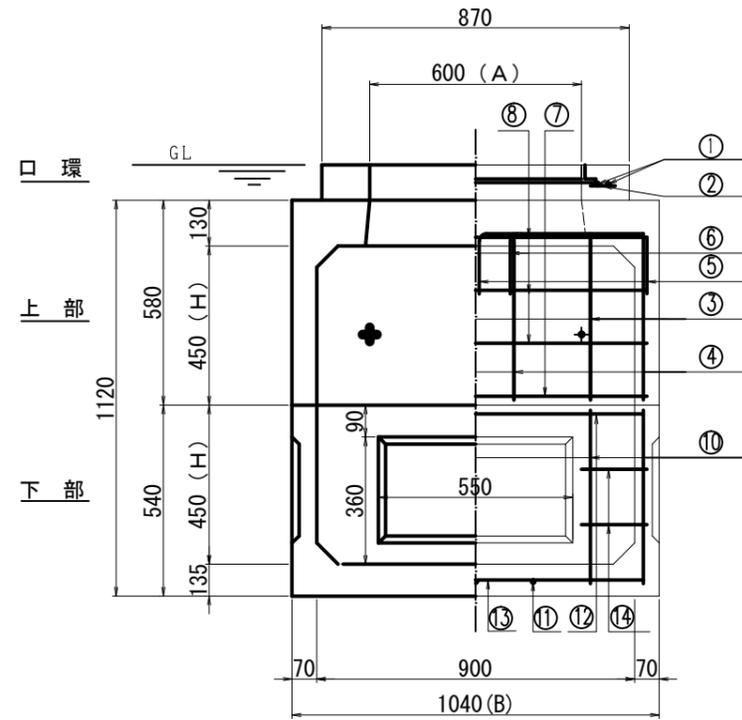
- ・ 詳細は「遮音壁標準設計図集（東・中・西日本高速道路株）」による。
- ・  $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋はSD295Aとする。
- ・ 板厚90mmの土留板は遮音板と同様の型式（ほぞ有り）としても良い。  
この場合目地材は用いない。

名称	情報ボックス(ハンドホール)	標準設計番号	道-Ⅷ-1
		工種記号	HCM

ハンドホールA

ハンドホールB

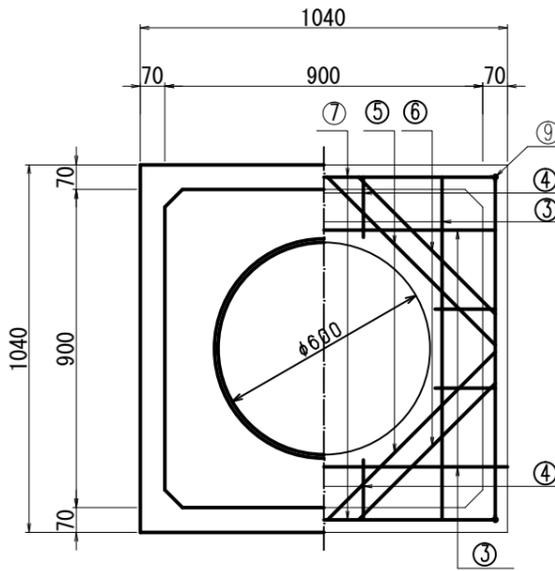
組立図



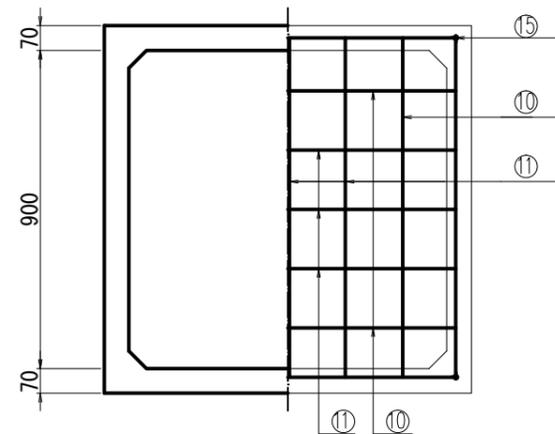
参考質量	上部	530kg
	下部	550kg
許容差	A・B・H	±3mm

番号	径	本数
①	D10	2
②	φ5	8
③	D10	4
④	D10	8
⑤	D13	4
⑥	D13	4
⑦	D13	1
⑧	D10	3
⑨	D10	4
⑩	D10	4
⑪	D10	6
⑫	D13	1
⑬	D10	1
⑭	D10	8
⑮	D10	4

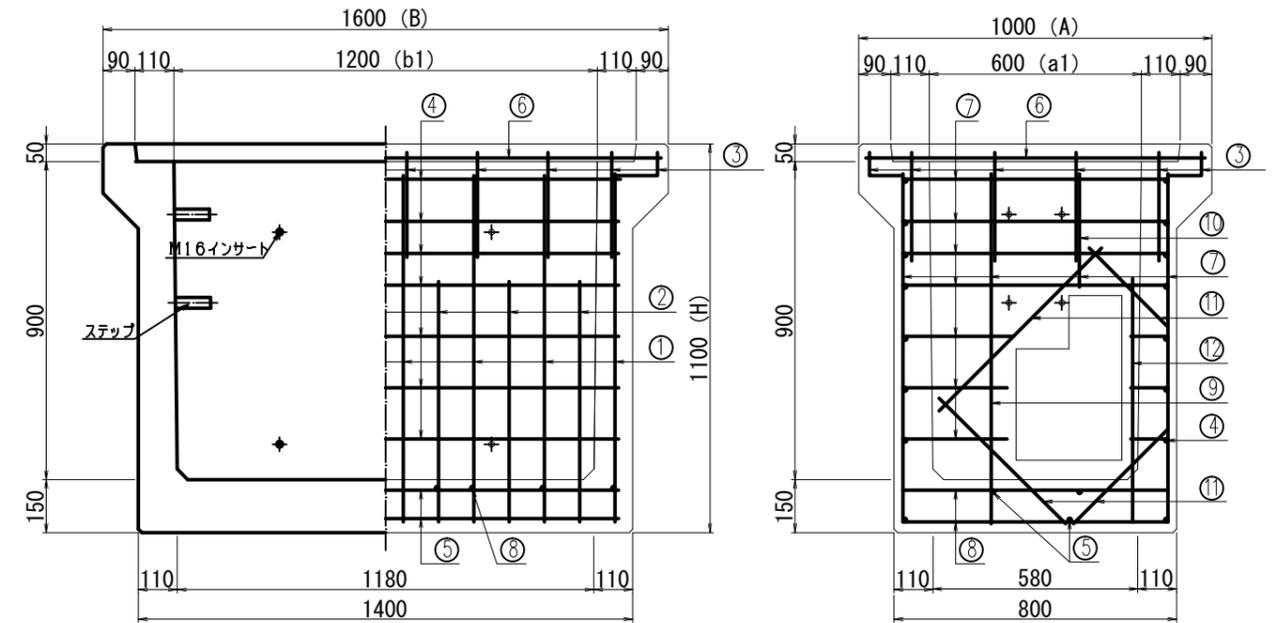
上部平面図



下部平面図



ハンドホールB



参考質量	1530kg
許容差	A・a1・B・b1・H ±3mm

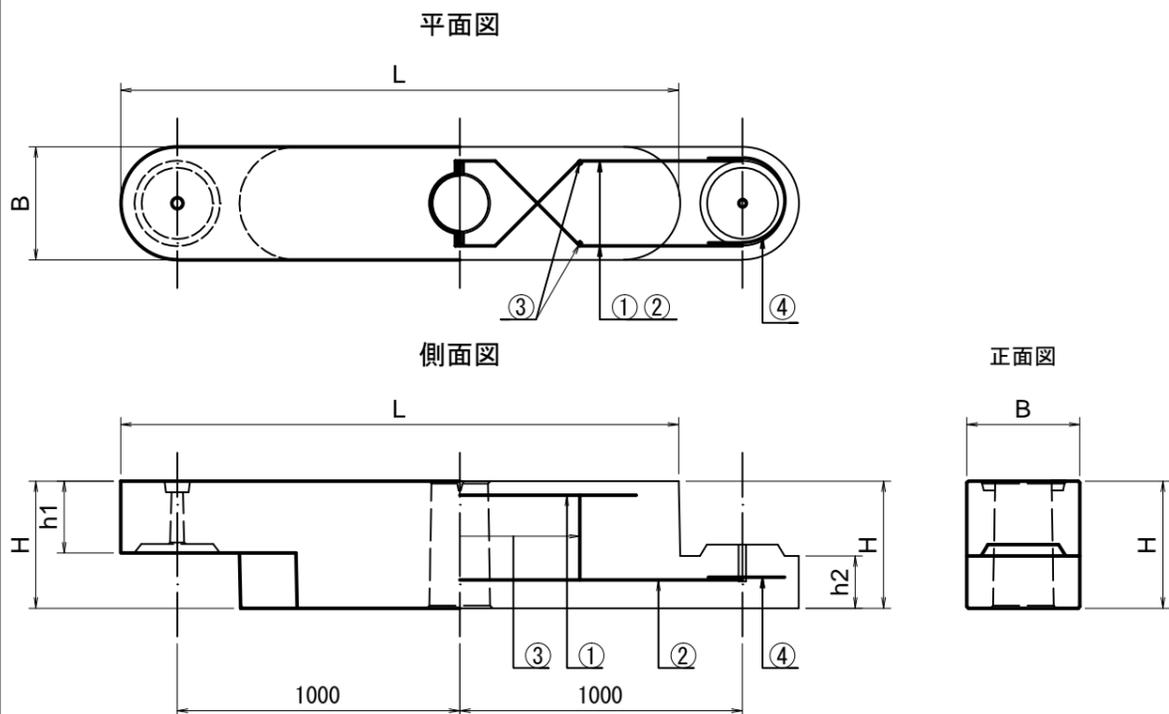
番号	径	本数
①	D10	8
②	D10	6
③	D10	24
④	D10	14
⑤	D10	7
⑥	D10	1
⑦	D10	14
⑧	D10	8
⑨	D10	2
⑩	D10	2
⑪	D10	8
⑫	D10	2

特記事項

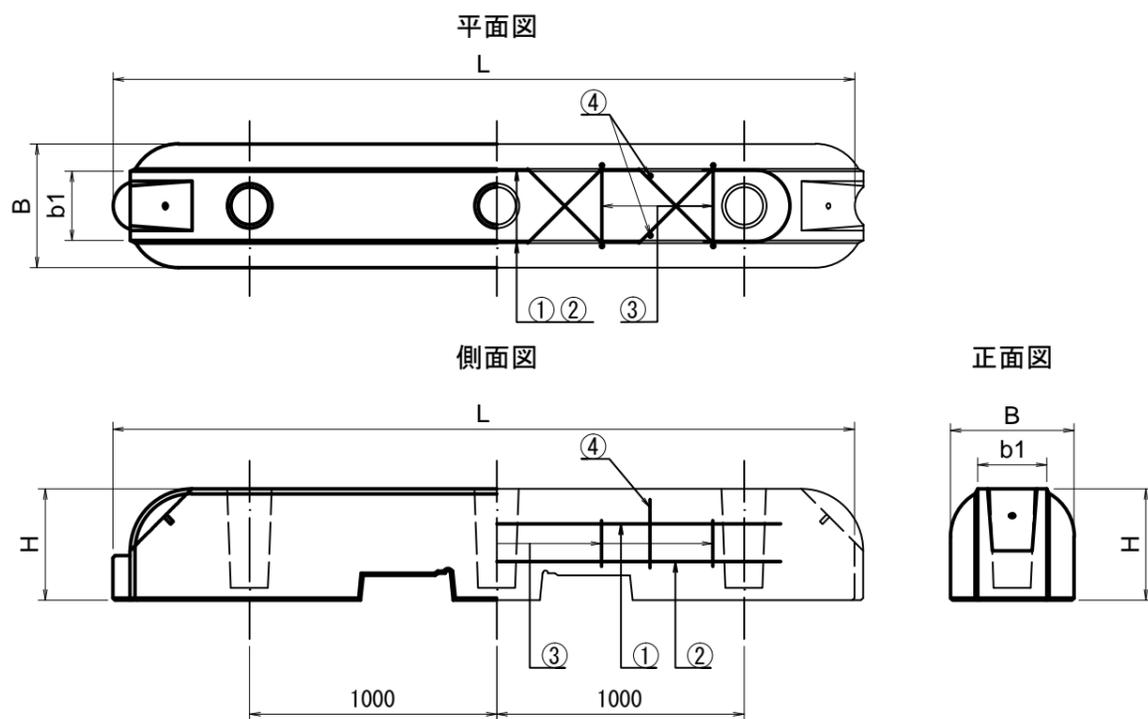
- ・  $\sigma_{ck} = 3 \text{ ON/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋はSD295A及びJIS A 3532に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線（円形）とする。
- ・ 吊り下げ孔を設けるなど施工に配慮することができる。
- ・ 製品間の接合としてパッキン等を使用することができる。

名称	置き式防護柵基礎	標準設計番号	—
		工種記号	—

I 型



II 型



I 型

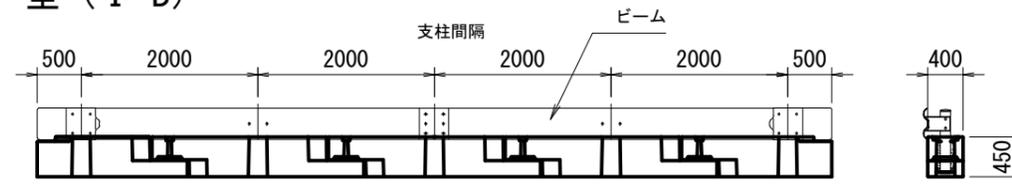
呼び名	寸法 (mm)					鉄筋								参考質量 (kg)
	B	H	h1	h2	L	①		②		③		④		
I-A	630	450	255	185	1965	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D6	本数 4	径 D6	本数 2	1202
I-B	400	450	255	185	1975	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D6	本数 4	径 D6	本数 2	778
許容差	±3				±6	-	-	-	-	-	-	-	-	

II 型

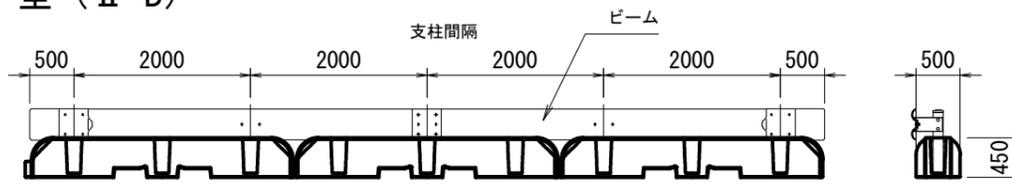
呼び名	寸法 (mm)				鉄筋								参考質量 (kg)
	B	H	b1	L	①		②		③		④		
II-A	600	450	280	3000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D13	本数 4	径 D10	本数 4	1530
				2000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D10	本数 4	1010
				1000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	-	-	径 D10	本数 4	440
II-B	500	450	280	3000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D13	本数 4	径 D10	本数 4	1280
				2000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D10	本数 4	850
				1000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	-	-	径 D10	本数 4	370
II-C	400	450	280	3000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D13	本数 4	径 D10	本数 4	1050
				2000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	径 D10	本数 4	700
				1000	径 D13	本数 2	径 D13	本数 2	-	-	径 D10	本数 4	310
許容差	±3			±6	-	-	-	-	-	-	-	-	

参考図表

I 型 (I-B)



II 型 (II-B)



最小連結長一覧表 (安全率1.5)

I 型		A種	B種	C種
衝突条件				
衝突荷重	55kN	30kN		
I-A	26m	14m	14m	
I-B	-	33m	34m	

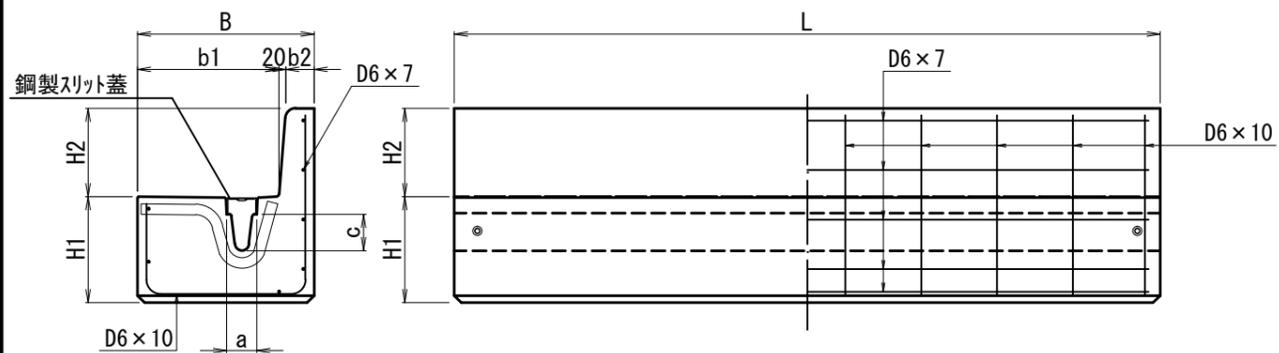
II 型		A種	B種	C種
衝突条件				
衝突荷重	55kN	30kN		
II-A	32m	18m	18m	
II-B	44m	25m	25m	
II-C	65m	38m	38m	

特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ 鉄筋は、SD295AまたはSD345とする。

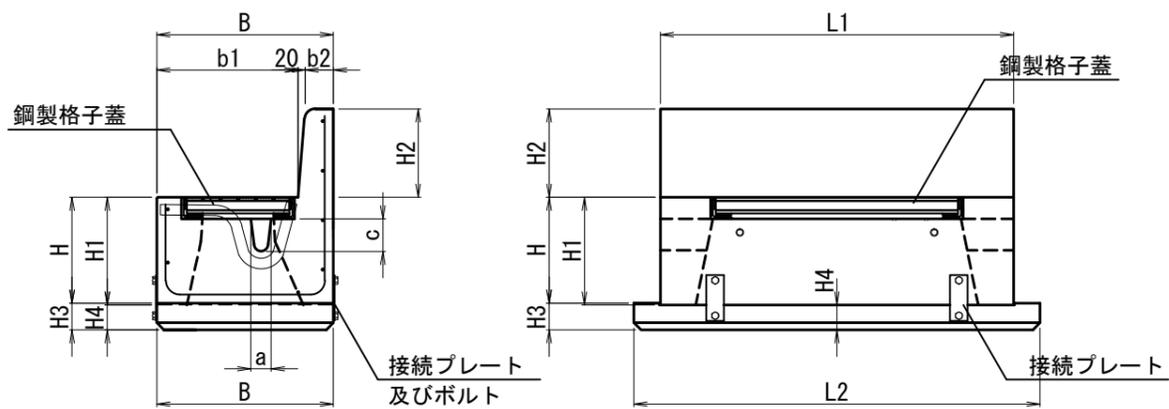
名称	トンネル用路面排水側溝	標準設計番号	—
		工種記号	—

側溝



項目	寸法 (mm)								参考質量 (kg)
呼び名	B	H1	H2	L	a	b1	b2	c	
側溝	500	300	250	2000	85	400	80	103	752
許容差	+5, -3	+5, -3	+5, -3	±5	±3	±3	±3	±3	—

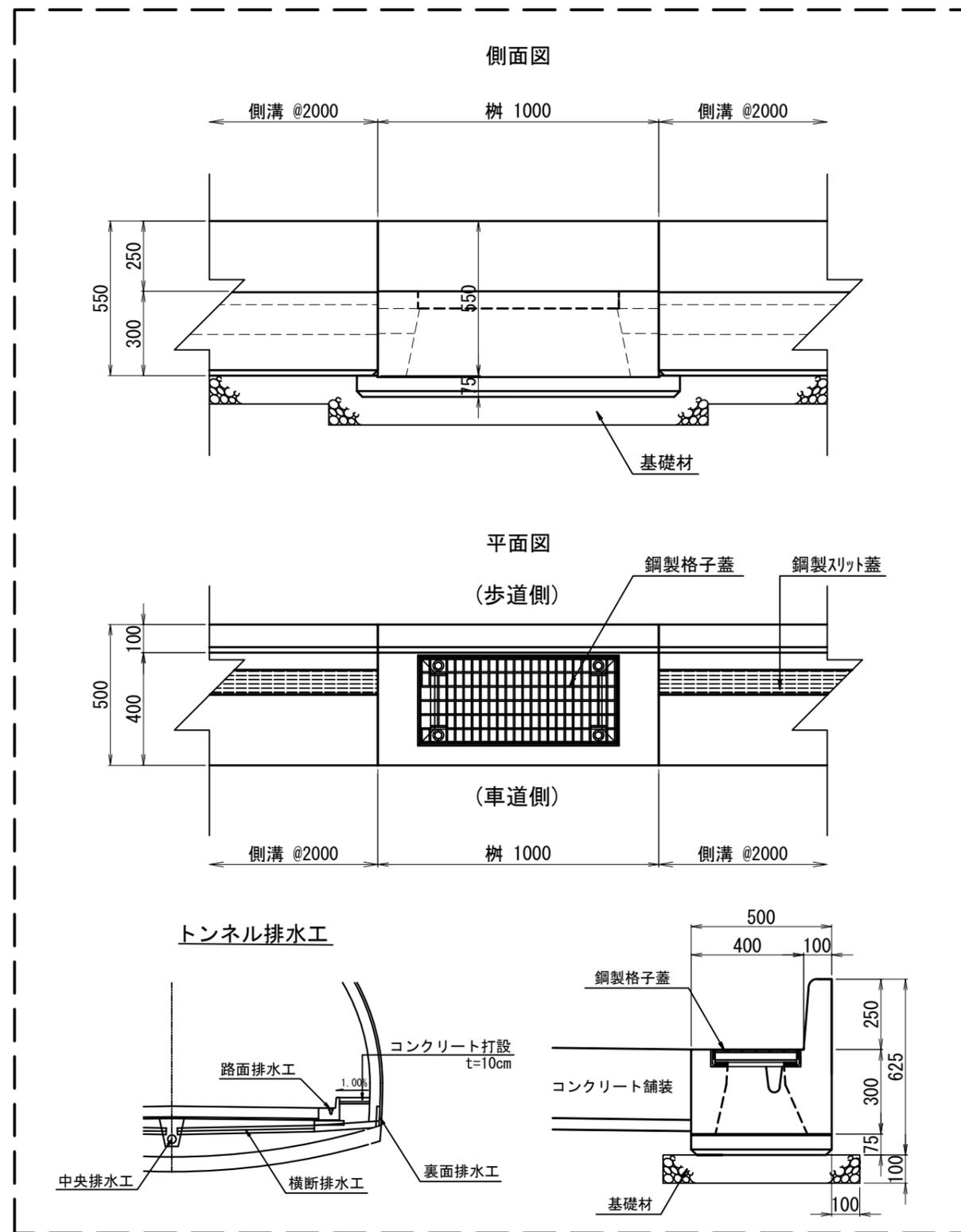
柵



項目	寸法 (mm)								
呼び名	B	H	H1	H2	L1	a	b1	b2	c
柵	500	300	305	250	1000	58	400	80	105
許容差	+5, -3	+5, -3	+5, -3	+5, -3	±5	±3	±3	±3	±3

項目	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
呼び名	H3	H4	L2	
柵	75	70	1000	380
許容差	±3	±3	±5	—

参考図表

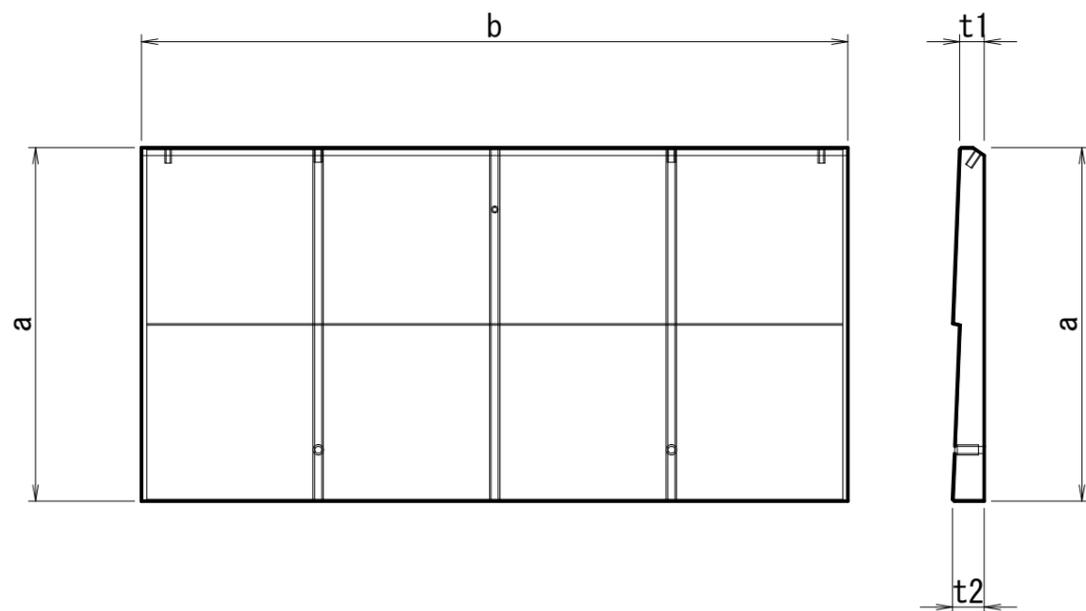


特記事項

- ・  $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ タイヤの接地面には、すべり止めを設けることができる。
- ・ 柵の組立ては、接続プレート及びボルトにより接合する。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することができる。
- ・ 鉄筋は、SD295Aとする。

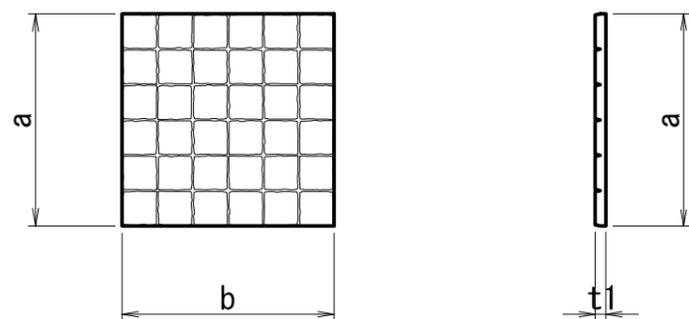
名称	のり面防草パネル	標準設計番号	—
		工種記号	—

I 型



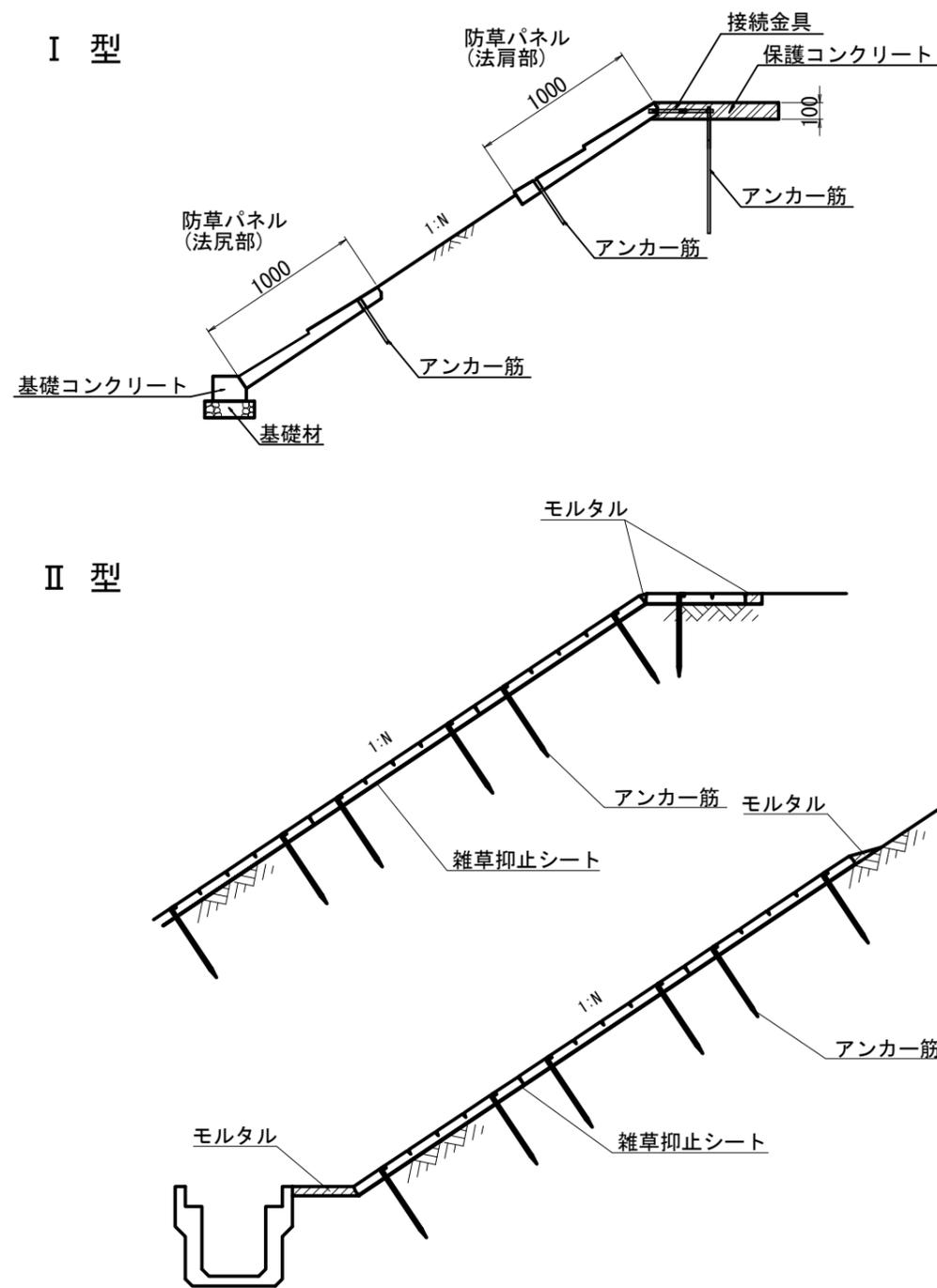
呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	t1	t2	
I 型	1000	2000	70	90	375
許容差	±3	±3	±2	±2	-

II 型



呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	t1	t2	
II 型	600	600	30	-	24
許容差	±5	±5	±3	±3	-

参考図表

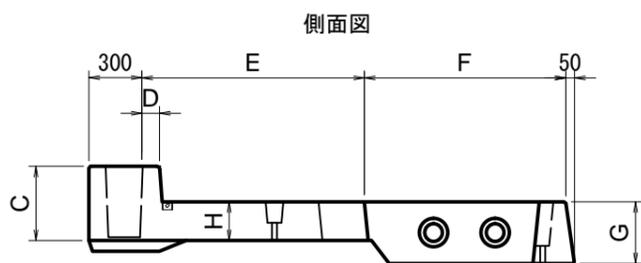
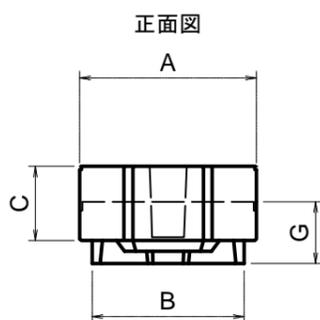
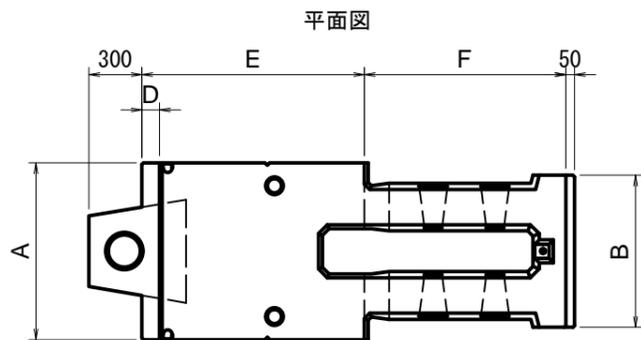


特記事項

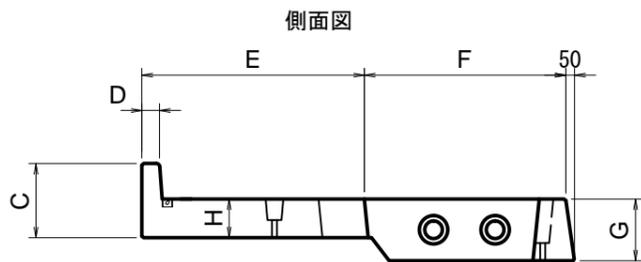
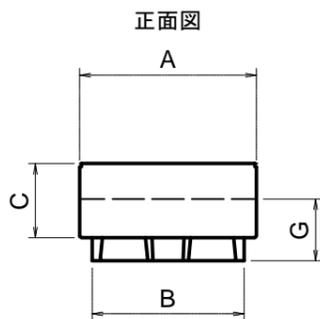
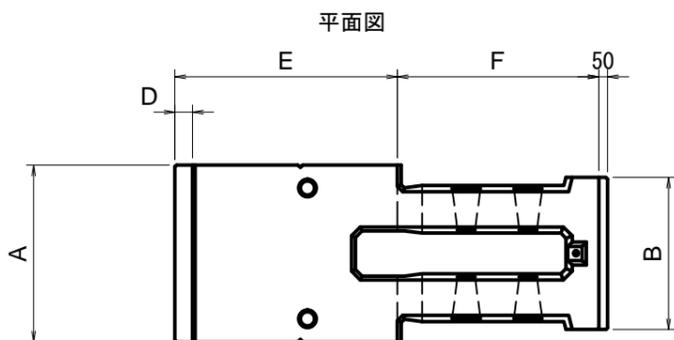
- ・ I 型は $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$  以上、II 型は $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$  以上。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

名称	張出式車道拡幅ブロック	標準設計番号	—
		工種記号	—

Pタイプ (ポスト・支柱取付用)



Fタイプ (フラット)

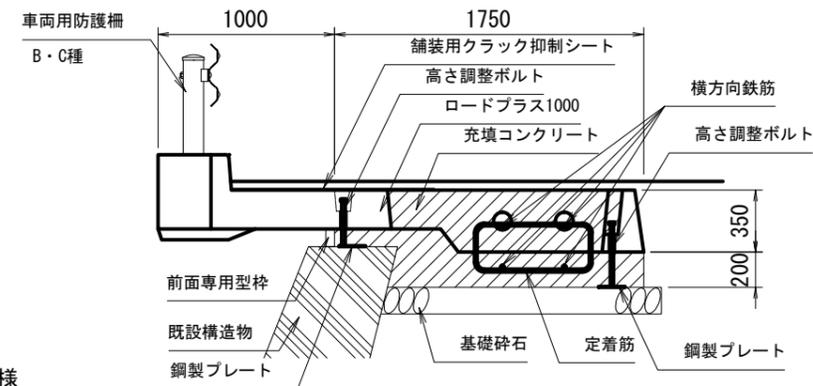


張出幅	タイプ	寸法 (mm)								参考質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H	
1000	Pタイプ	1000	860	420	100	1260	1140	350	220	1355
	Fタイプ	1000	860	420	100	1260	1140	350	220	1210
許容差		±5	±5	±3	+4, -2	±6	±5	±3	±3	
1500	Pタイプ	1000	860	480	100	1500	1900	430	280	2550
	Fタイプ	1000	860	480	100	1500	1900	430	280	2420
許容差		±5	±5	±3	+4, -2	±6	±8	±3	±3	
1750	Pタイプ	1000	860	480	100	1750	2300	430	280	2900
	Fタイプ	1000	860	480	100	1750	2300	430	280	2770
許容差		±5	±5	±3	+4, -2	±7	±9	±3	±3	

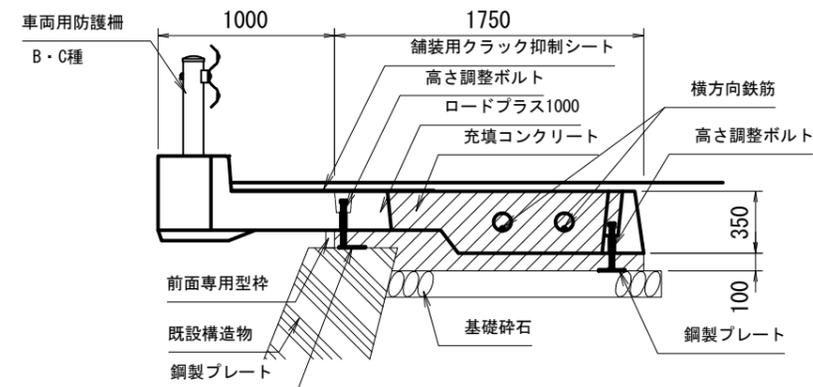
参考図表

張出幅1000 (Pタイプ)

大型車仕様



中型車仕様



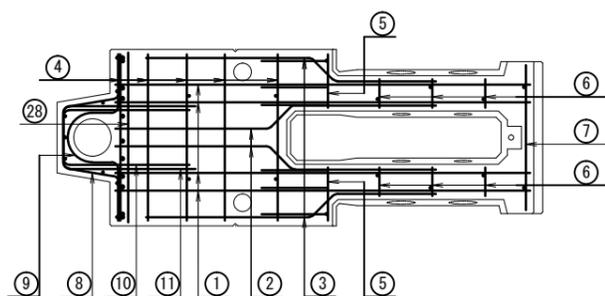
- 注) ・地域特性に応じて、大型車仕様または中型車仕様を選定する。  
 ・PタイプとFタイプを交互に設置することを基本とする。また設置個数は5本以上とする。  
 ・コンクリート擁壁等構造物上への設置を基本とする。地盤上に直接設置する場合は支持力や地盤全体の安定性に十分注意する。  
 ・充填コンクリートは $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上とする。

特記事項

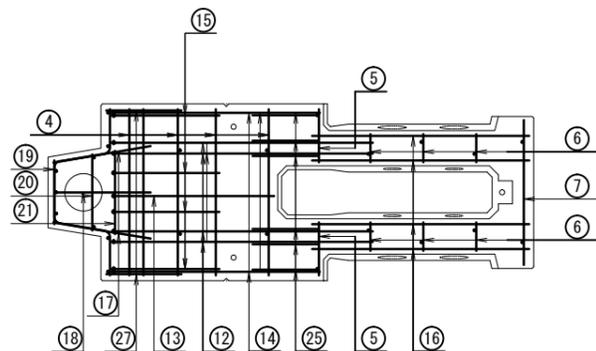
- ・ $\sigma_{ck} = 40\text{N/mm}^2$ 以上とする。
- ・鉄筋は、SD295A または SD345 とする。

張出幅 1000 Pタイプ (ポスト・支柱取付用)

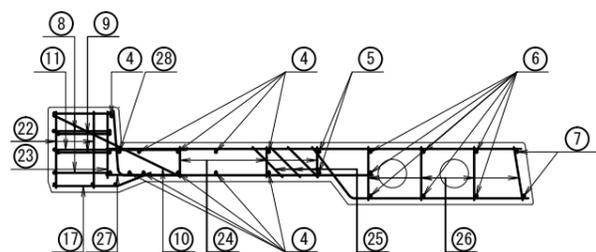
平面図 (上側)



平面図 (下側)

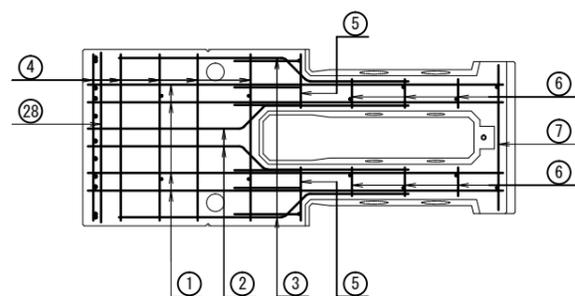


断面図

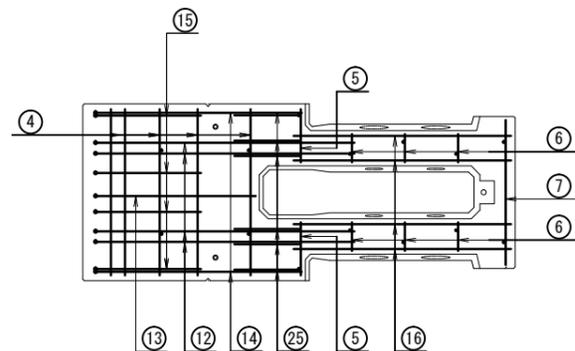


張出幅 1000 Fタイプ (フラット)

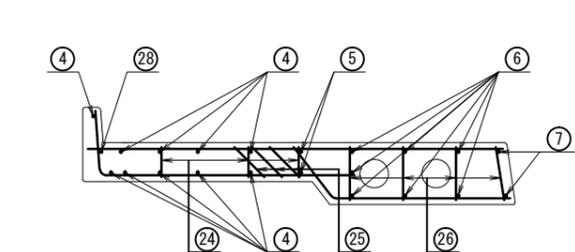
平面図 (上側)



平面図 (下側)

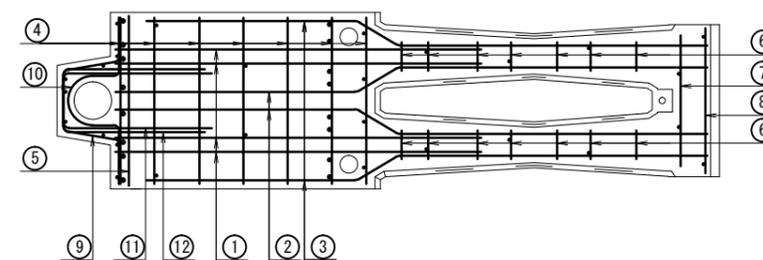


断面図

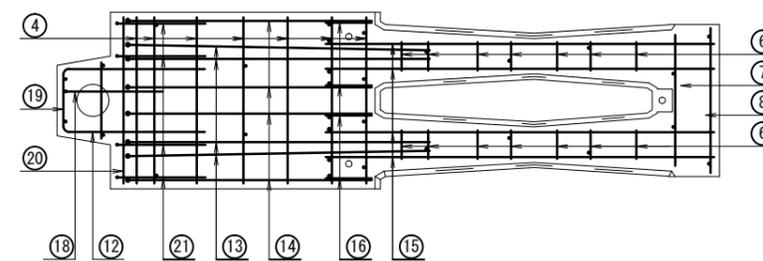


張出幅 1500 Pタイプ (ポスト・支柱取付用)

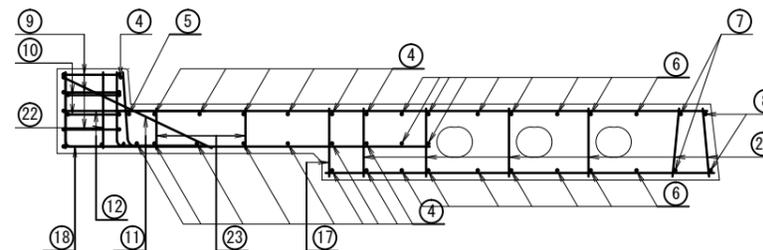
平面図 (上側)



平面図 (下側)

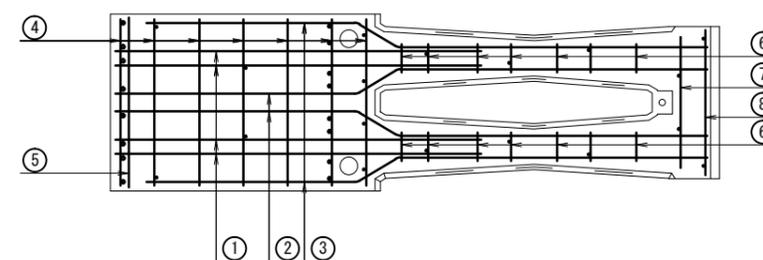


断面図

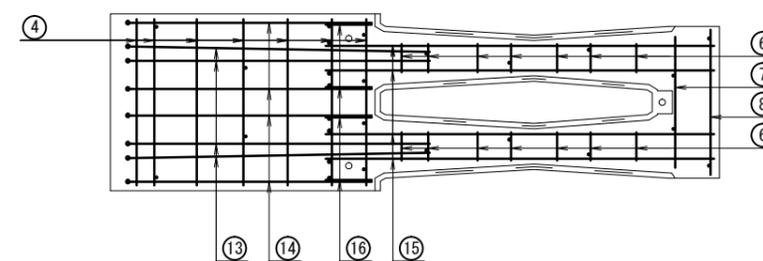


張出幅 1500 Fタイプ (フラット)

平面図 (上側)



平面図 (下側)



断面図

